



ユーザガイド
PUBLIC (公開)

2024-04-22

SAP Translation Hub

この PDF 文書はお客様の便宜のために機械翻訳されたものです。本機械翻訳の正確性または完全性について SAP ではいかなる保証もいたしません。英語版の正式な文書は、SAP Help Portal、または、こちら (<https://help.sap.com/doc/392c858a3cc8489d993d1abc060b642c/Cloud/en-US/>) で確認することができます。機械翻訳に関するフィードバックについては、[こちら](#)をクリックしてください。

目次

1	SAP Translation Hub の概要	5
1.1	地域.....	7
1.2	サービス計画.....	8
1.3	SAP Translation Hub で何を使用するのか.....	9
2	SAP Translation Hub の新機能	13
3	コンセプト	29
3.1	ドメイン.....	29
3.2	用語集.....	31
3.3	品質指数.....	32
4	初期設定	34
4.1	権限の設定.....	36
4.2	SAP Translation Hub へのサブスクライブ.....	36
4.3	SAP Translation Hub ユーザインタフェースにアクセスする権限をユーザに付与する.....	38
4.4	サービスインスタンスおよびサービスバインディングの作成.....	38
4.5	エンタープライズおよび SAP BTP 無償利用枠アカウント.....	42
5	サービスの範囲	44
5.1	サポートされている言語.....	44
5.2	SAP Translation Hub の UI の言語.....	49
5.3	サポートされる ABAP オブジェクトタイプ.....	49
6	ソフトウェア翻訳	57
6.1	独自の言語データの統合.....	57
	独自の言語データの統合に関する前提条件.....	58
	独自の言語データを統合する UI へのアクセス.....	63
	言語データのアップロード.....	63
	会社 MLTR の作成.....	64
	会社 MLTR の準備.....	64
	会社 MLTR の有効化.....	65
	会社 MLTR によるテキストの翻訳.....	66
	会社 MLTR の更新.....	66
6.2	ソフトウェア翻訳のための SAP Translation Hub の使用.....	67
	パフォーマンスに関するヒント.....	68
	翻訳ワークフローシナリオのアプリケーションへのアクセス.....	68
	ABAP システム.....	69

ファイル	84
Git リポジトリ	90
事後編集およびレビューステップの管理	106
翻訳プロジェクトの使用	110
6.3 開発	112
SAP Translation Hub API の使用	115
domains メソッド	119
languages メソッド	121
texttypes メソッド	123
translate メソッド	124
翻訳プロジェクト API	150
機械翻訳による Document Translation API	248
7 文書翻訳	249
7.1 文書翻訳 - 概要	249
7.2 機械翻訳エンジンから最高の品質を得る	251
翻訳からのテキストの除外	252
トレーニングデータのタイプ	254
7.3 サポートされている言語 (文書翻訳)	258
7.4 言語識別	261
7.5 文書翻訳ユーザインタフェースの使用	262
のユーザインタフェースを開く 文書翻訳	262
ファイルの翻訳	262
テキストの翻訳	263
ユーザ設定の定義	263
7.6 API リファレンス	263
文書翻訳 API - プロセス文書	263
非同期文書翻訳 API - プロセス文書	282
サポート言語 API	309
クライアント認証情報の付与	310
ユーザ固有の JSON Web トークン	312
SAP BTP 無償利用枠アカウントによる API のテスト	312
コア MT API	313
7.7 FAQ	347
8 統合	349
8.1 ソフトウェア翻訳の統合シナリオ	349
ABAP システムでの SAP Translation Hub の使用	349
SAP Business ByDesign での SAP Translation Hub の使用	356
SAP Translation Hub を使用して、SAP Focused Build テストステップの多言語テストケースを提 供	356
SAP Translation Hub を使用した Solution Manager の構造エレメントの説明の翻訳	357

	SAP BTP for ABAP アプリでの SAP Translation Hub の使用	357
8.2	文書翻訳の統合シナリオ	357
	Enable Now の学習教材に SAP Translation Hub 文書翻訳 を使用	358
	SAP Translation Hub の XTM の機械翻訳プロバイダとしての使用	358
9	チュートリアル	359
10	セキュリティ	360
10.1	開始する前に	360
10.2	概要	361
10.3	ID およびアクセス管理	362
10.4	データ保護およびプライバシー	362
	用語集	363
	読み取りアクセスロギング	365
	個人データレコード	365
	変更ログ	365
	ユーザの承諾	365
	個人データの翻訳	365
	個人データの削除	366
10.5	監査とロギングの情報	369
10.6	ネットワークおよび通信のセキュリティ	370
11	監視およびトラブルシューティング	371

1 SAP Translation Hub の概要

多言語データの再利用と AI により、翻訳を迅速化します。

SAP Translation Hub を使用して、ソフトウェアおよび文書の翻訳を迅速化および合理化します。AI を活用した機械翻訳とインテリジェントな多言語データの再利用のメリットを享受できます。直感的なユーザーインターフェースとワークフロー、さまざまな API、または SAP の製品やサービスの既存の統合を通じて利用できます。ソフトウェア翻訳用の Document Translation サービスおよび SAP Translation Hub が含まれています。

ビジネスシナリオ

SAP Translation Hub は、さまざまなタイプのビジネス固有のテキストの翻訳を必要とし、以下を必要とする場合の主要なアプリケーションです。

- SAP が学習させた機械翻訳エンジンの使用
- SAP ベースの多言語テキストリポジトリの使用
- セキュアな環境での翻訳タスクの運用

環境

SAP Translation Hub 製品には、ソフトウェア翻訳 (以前は Neo) のサービスと Document Translation サービスが 1 つの製品に含まれています。このサービスは、SAP BTP マルチ環境、Cloud Foundry、Kubernetes、および Kyma 環境で使用できます。

機能

ソフトウェアおよび UI テキストの翻訳

複数の翻訳プロバイダを使用して、製品でサポートされている翻訳先言語にソフトウェアテキストを翻訳します。これには、検証済翻訳を含む多言語テキストリポジトリ (MLTR)、SAP の安全な AI 対応の機械翻訳ソリューション、または独自の言語データを含む会社の多言語テキストリポジトリ (会社 MLTR) が含まれます。

ABAP 拡張および BTP アプリの翻訳

SAP Translation Hub の UI ベースのワークフローを使用して、ユーザ独自の ABAP 拡張および BTP アプリを、サポートされているいずれかの形式に翻訳するか、ABAP バックエンドシステムで拡張を直接翻訳します。

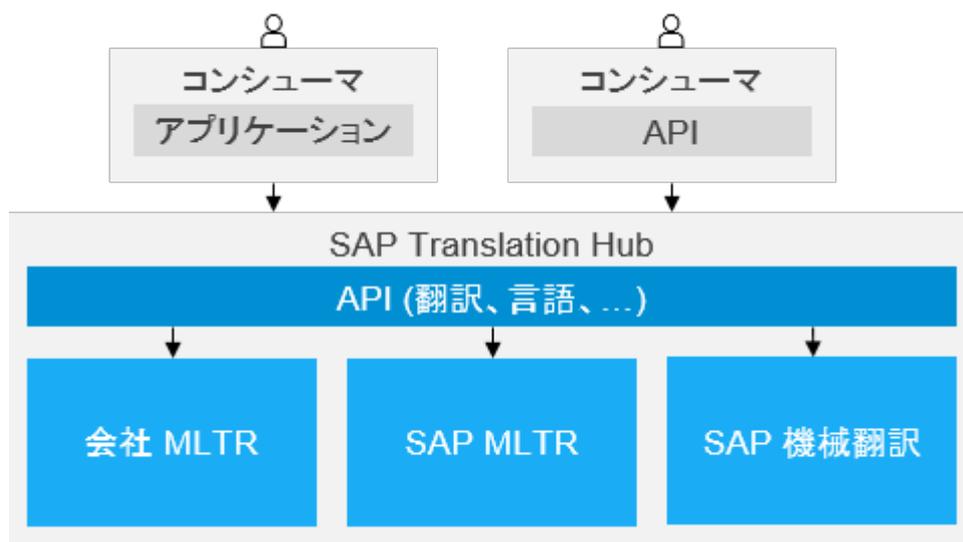
AI 対応 MT を使用した文書の翻訳

機械では、SAP Translation Hub の Document Translation サービスを使用してテキストおよびファイルを翻訳し、40 以上の翻訳先言語で安全な AI 対応の機械翻訳エンジンを提供し、SAP 関連コンテンツの最適な結果を得るためにトレーニングします。

- 使いやすいユーザーインターフェースのメリット** ソフトウェア翻訳 UI を使用して、ファイル、Git リポジトリ、または ABAP システムからのコンテンツのソフトウェア翻訳プロジェクトを作成および管理します。文書翻訳 UI にナビゲートして、テキストおよびファイルを迅速かつ簡単かつ安全に翻訳します。
- 独自の言語データの統合** ソフトウェア翻訳では、会社または業種に固有の言語データを統合することができます。独自の言語データを統合することで、翻訳の品質を高め、翻訳のレビューと事後編集に必要な労力を削減することができます。
- ソフトウェア翻訳の品質評価の表示** ソフトウェア翻訳のために SAP Translation Hub によって提供される翻訳の品質見積を取得します。0 から 100 の段階で、数値が高いほど品質が良くなります。品質指数は、翻訳プロジェクトの UI および翻訳 API メソッドの応答の一部です。
- API の利用** ソフトウェア翻訳 API: SAP Translation Hub のソフトウェア翻訳機能を他のアプリケーションに統合するか、さまざまな API メソッドを使用してプロセスを自動化します。文書翻訳 API: アプリケーションおよびサービスに機械翻訳を統合するには、使用可能な 2 つの Document Translation API から選択します。1. 文書翻訳 API: 同期文書翻訳は、短い文書またはインタラクティブなシナリオに推奨される API です。2. 非同期文書翻訳 API 非同期文書翻訳は、大きなファイルに対して推奨されます。これを使用して、バッチによる翻訳またはバックグラウンドによる翻訳を行うことができます。
- 既存の統合の活用** SAP 製品およびサービスの既存の統合を活用します。

概要図

使いやすいユーザーインターフェースで統合された一連の翻訳ワークフローシナリオを使用して、ソフトウェアおよび UI テキストを翻訳することができます。文書およびテキストの翻訳については、文書翻訳インターフェースにアクセスして文書をアップロードするか、小さなテキストを即座に翻訳します。統合を目的として、さまざまな API メソッドが提供されています。これにより、ソフトウェア開発フェーズでテキストの翻訳だけでなく、ソーステキストの提案も取得することができます。



さまざまな開発環境の翻訳ワークフローシナリオの一部として、テキストを翻訳できます。また、一連の API メソッドを使用することにより、ソフトウェア開発フェーズにおいてテキストの翻訳および翻訳元テキストに対する提案の取得も可能です。

SAP Translation Hub は、以下の翻訳プロバイダで構成されています。

- SAP が認定した言語エキスパートによって検証された多数の翻訳についてトレーニングされた、SAP のトレーニングを受けたエンジンからの AI による機械翻訳。ソフトウェアおよび文書の翻訳に使用できます。
- SAP アプリケーションからの多言語テキストのデータベース。多言語テキストは、多言語テキストリポジトリ (MLTR) と呼ばれる SAP HANA データベースに保存されます。
- オプション: ユーザ独自の言語データを SAP Translation Hub にアップロードすると、優先される翻訳プロバイダとしてテキストの独自のリポジトリを使用できます。このリポジトリは、会社 MLTR と呼ばれています。

① 注記

ソフトウェア翻訳に SAP Translation Hub を使用する場合、ソース UI テキストおよびターゲット UI テキストの長さは、それぞれ 3,000 文字の制限があります。

関連情報

[初期設定 \[34 ページ\]](#)

[ソフトウェア翻訳のための SAP Translation Hub の使用 \[67 ページ\]](#)

[文書翻訳ユーザインタフェースの使用 \[262 ページ\]](#)

1.1 地域

このセクションでは、SAP Translation Hub が利用可能な SAP Business Technology Platform 地域を示します。

グローバルアカウントタイプ	Amazon Web Services (AWS) 地域	データセンター
エンタープライズアカウント/無償利用 枠	ヨーロッパ (Frankfurt)	cf-eu10
	米国東部 (VA)	cf-us10
トライアル	米国東部 (VA)	cf-us10

関連情報

[SAP Business Technology Platform 上の地域およびホスト](#)

1.2 サービス計画

SAP Translation Hub ソフトウェア翻訳 (BTP アプリ、拡張の翻訳など) と Document Translation サービスの機能範囲が 1 つの製品およびサービスに含まれるようになりました。製品を設定する必要があるのは 1 回のみで、両方の製品の利点を活用できます。SAP Translation Hub の利用可能性は、使用するサービス計画のタイプによって決定されます。

使用ケースにより、SAP Translation Hub または有料サービス計画のいずれに対して無償利用枠オプションを選択するかが決定されます。

BTP グローバルアカウントを本稼働モードで使用する場合は、有料のエンタープライズアカウントを購入する必要があります。アカウントモデルを計画および設定する際には、このことを認識しておくことが重要です。

① 注記

メトリック "文字" の定義:

「クラウドサービス」の「使用メトリクス」は、翻訳されたテキストとして顧客に返される、空白文字を含む 100,000 文字のブロックとする。複数バイトの文字は 1 文字としてカウントされます (例: zh_CN)。

Service Plan	目的	翻訳ボリュームおよび商業モデル
無料	<p>評価またはテスト目的でのみ使用します。</p> <p>利用可能地域: AWS: ヨーロッパ (Frankfurt) cf-eu10、米国東部 (VA) cf-us10。</p>	<p>無償利用枠モデル。</p> <p>月ごとに最大 500,000 文字の翻訳が可能です。この制限を超えると、それ以上は翻訳できません。その月で有料のサービス計画に切り替えるか、または翌月に無償のサービス計画を再び使用することができます。</p>
デフォルトおよびデフォルト (アプリケーション)	<p>本稼働目的で使用します。</p> <p>利用可能地域: AWS: ヨーロッパ (Frankfurt) cf-eu10、米国東部 (VA) cf-us10。</p>	<p>翻訳量 (文字) は、企業契約で合意されています。</p> <p>利用可能な商業モデル:</p> <ul style="list-style-type: none"> Cloud Platform Enterprise Agreement (CPEA) モデル (使用量を計算するための リンク) Pay-As-You-Go (PAYG) モデル (使用量を計算するための リンク)

① 注記

SAP Translation Hub は、SAP BTP トライアルでも利用できます。これは、AWS: 米国東部 (VA) cf-us10 の地域でのみ使用可能です。

試用版では最大 60 万文字の翻訳が可能で、90 日間に限定される。

Business Technology Platform のトライアルアカウントおよび無償利用枠の詳細については、[こちら](#)を参照してください。

① 注記

サブアカウントがヨーロッパ (Frankfurt) または米国東部 (VA) で作成されていない場合は、別のサブアカウントを作成する必要があります。SAP Translation Hub は、ヨーロッパ (Frankfurt) または米国東部 (VA) の AWS でのみ使用可能であるためです。

本稼働アカウントの場合は、以下の手順に従います。

- グローバルアカウント [SAP BTP コックピット](#) に移動します。
- [新しいサブアカウント](#) を作成します。
- プロバイダとして [Amazon Web Services](#) を選択します。
- 地域として [ヨーロッパ \(Frankfurt\)](#) または [米国東部 \(VA\)](#) を選択します。
- [サブドメイン](#) の関連名称を選択します。
- 新しく作成したサブアカウントのタイルを開きます。
- [権限の設定](#) を選択します。
- [サービス計画を追加](#) を選択します。
- ドロップダウンメニューから SAP Translation Hub を選択します。
- 利用可能な計画として [デフォルト](#) を選択します。
- [サービス計画を追加](#) を選択します。
- 変更を保存します。
- SAP Translation Hub が権限に追加されました。

関連情報

[SAP Translation Hub の機能範囲の説明](#)

[SAP Translation Hub ユーザーインターフェースにアクセスする権限をユーザに付与する \[38 ページ\]](#)

1.3 SAP Translation Hub で何を使用するのか

SAP の機械翻訳ソリューションで翻訳するテキストがあります。以下のガイドラインを使用して、適切なサービスを決定します。

	ソフトウェア翻訳 (SAP BTP マルチクラウド)	文書翻訳 (SAP BTP マルチクラウド)
ドメインコンセプトでは、さまざまなビジネスコンテキストに由来する用語に基づいてテキストを翻訳することができます。	利用可能です。詳細については、 ドメイン [29 ページ] を参照してください。	使用できません。
品質指標です。	利用可能な詳細については、 品質指数 [32 ページ] を参照してください。	使用できません。

	ソフトウェア翻訳 (SAP BTP マルチクラウド)	文書翻訳 (SAP BTP マルチクラウド)												
プラットフォーム	定義された SAP Business Technology Platform Neo 地域でのみ利用可能です。詳細については、 地域 [7 ページ] を参照してください。(SAP BTP マルチクラウドへの移行が計画されています)。	SAP BTP マルチクラウドでのみ利用可能です。												
SAP マルチリンガルテキストリポジトリ	利用可能な詳細については、 用語集 [31 ページ] を参照してください。	使用できません。												
会社のマルチリンガルテキストリポジトリでは、独自の用語を SAP 機械翻訳環境で使用できるようになります。	利用可能な詳細については、 独自の言語データの統合 [57 ページ] を参照してください。	使用できません。												
SAP 機械翻訳	利用可能な詳細については、 用語集 [31 ページ] を参照してください。	利用可能な詳細については、 用語集 [31 ページ] を参照してください。												
サポートされている言語	利用可能な言語ペアおよび言語コードの概要については、 サポートされている言語 [44 ページ] を参照してください。	利用可能な言語ペアおよび言語コードの概要については、 サポートされている言語 を参照してください。												
翻訳後に編集を行えるインターフェースを使用します。	利用可能な詳細については、 独自の言語データを統合する UI へのアクセス [63 ページ] を参照してください。	使用できません。												
ABAP システムおよび Git リポジトリにアクセスします。	利用可能な詳細については、 ABAP システム [69 ページ] を参照してください。	使用できません。												
サポートされるファイルタイプ	サポートされているファイルタイプの一覧: サポート対象のファイル形式 [85 ページ]	<table border="1"> <thead> <tr> <th>タイプ</th> <th>書式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>HTML</td> <td>*.html、UTF-8 エンコーディング</td> </tr> <tr> <td>Microsoft Office</td> <td>*.docx、*.xlsx、*.pptx</td> </tr> <tr> <td>テキスト</td> <td>*.txt、UTF-8 エンコーディング</td> </tr> <tr> <td>XLIFF</td> <td>xliff1.2</td> </tr> <tr> <td>Adobe PDF</td> <td>*.pdf</td> </tr> </tbody> </table> <p>サポートされている MIME タイプの詳細については、以下を参照してください。</p>	タイプ	書式	HTML	*.html、UTF-8 エンコーディング	Microsoft Office	*.docx、*.xlsx、*.pptx	テキスト	*.txt、UTF-8 エンコーディング	XLIFF	xliff1.2	Adobe PDF	*.pdf
タイプ	書式													
HTML	*.html、UTF-8 エンコーディング													
Microsoft Office	*.docx、*.xlsx、*.pptx													
テキスト	*.txt、UTF-8 エンコーディング													
XLIFF	xliff1.2													
Adobe PDF	*.pdf													
認証	Identity Authentication サービスの詳細については、 SAP Translation Hub ユーザーインターフェースにアクセスする権限をユーザーに付与する [38 ページ] を参照してください。	SAP BTP マルチクラウド権限コンセプトを参照してください。詳細については、 ここ を参照してください。												

	ソフトウェア翻訳 (SAP BTP マルチクラウド)	文書翻訳 (SAP BTP マルチクラウド)
API	<ul style="list-style-type: none"> ドメイン 言語 翻訳プロジェクト 提案 テキストタイプ 翻訳 	文書翻訳

サポートされている MIME タイプ

書式	拡張子	MIME タイプ
テキスト	.txt	text/plain
HTML	.html、.htm	text/html
XLIFF	.xlf、.xliff	application/x-xliff+xml
Word	.docx	application/vnd.openxmlformats-officedocument.wordprocessingml.document
Word (マクロあり)	.docm	application/vnd.openxmlformats-officedocument.wordprocessingml.template
Word (テンプレート)	.dotm	application/vnd.openxmlformats-officedocument.wordprocessingml.template
Word (マクロを含むテンプレート)	.dotm	application/vnd.ms-word.template.macroenabled.12
PowerPoint	.pptx	application/vnd.ms-powerpoint.presentation.macroenabled.1
Powerpoint (スライドショー)	.ppsx	application/vnd.openxmlformats-officedocument.presentationml.slideshow
Powerpoint (マクロを含むスライドショー)	.potm	application/vnd.ms-powerpoint.template.macroenabled.12
Excel	.xlsx	application/vnd.openxmlformats-officedocument.spreadsheetml.sheet
Excel (マクロあり)	.xltx	application/vnd.ms-excel.sheet.macroenabled.12
Excel (テンプレート)	.xltx	application/vnd.openxmlformats-officedocument.spreadsheetml.template

書式	拡張子	MIME タイプ
Excel (マクロを含むテンプレート)	.xltm	application/vnd.ms-excel.template.macroenabled.12

2 SAP Translation Hub の新機能

2024

技術 コン ポー ネン ト	環境	タイ トル	説明	アクション	ライ フサ イク ル	タイ プ	業務 ライ ン	モジ ユー ル型 ビジ ネス プロ セス	最新 の改 訂	利用 開始
SAP Tran slati on Hub	Clou d Foun dry	• S o f t w a r e T r a n s l a t i o n ド ロ ッ プ ダ ウ ン で 社 内 M L T R オ プ シ ョ ン を 利 用 可 能	• ソ フ ト ウ ェ ア 翻 訳 プ ロ ジ ェ ク ト 一 覧 の ド ロ ッ プ ダ ウ ン メ ニ ュ ー か ら 会 社 M L T R オ プ シ	ソ情報のみ	制限 付利 用可 能在 庫	新規	テク ノロ ジー	該当 なし コ ン テ ン ツ と コ ラ ボ レ ー シ ョ ン	202 4-04 -08	202 4-04 -08

技術	コンポーネント	環境	タイプ	説明	アクション	ライセンス	タイプ	業務	ライセンス	ビジネスプロセス	モジュール型	最新	改訂	利用開始
SAP Translation Hub	Cloud Foundry			<ul style="list-style-type: none"> 文書翻訳のドキュメントからソフトウェア翻訳のサービスオプションにアクセスできるようになりま 文書翻訳のドキュメントから、ソフトウェア翻訳 情報のみ ドキュメント Translati ons プラットフォーム ドキュメント サービスオプション にアクセスできるようになりま 		制限付利用可能在庫	新規	テクノロジー		該当なし	コンテンツコレクション	202	4-04-08	202 4-04-08

技術	コンポーネント	環境	タイプ	説明	アクション	ライセンス	タイプ	業務	ライセンス	ビジネスプロセス	最新	利用	
											の改訂	開始	
SAP Translation Hub	Cloud Foundry		サポーター	•	•	A	情報のみ	制限付利用可能在庫	変更	テクノロジ	該当なし	2024-04-08	2024-04-08

技術 コン ポー ネン ト	環境	タイ トル	説明	アクション	ライ フサ イク ル	タイ プ	業務 ライ ン	モジ ュー ル型 ビジ ネス プロ セス	最新 の改 訂	製品	利用 開始
---------------------------	----	----------	----	-------	---------------------	---------	---------------	--	---------------	----	----------

スト
(短)
オブ
ジ
エ
ク
ト
タイ
プ
を
翻
訳
で
き
る
よ
う
に
な
り
ま
し
た
。
こ
れ
は
、
T
A
D
C
、
T
A

技術 コン ポー ネン ト	環境	タイ トル	説明	アクション	ライ フサ イク ル	タイ ライ プ	業務 ライ ン	モジ ユー ル型 ビジ ネス プロ セス	最新 の改 訂	製品	利用 開始
---------------------------	----	----------	----	-------	---------------------	---------------	---------------	--	---------------	----	----------

D
W
な
ど
の
グ
ル
ー
プ
内
の
す
べ
て
の
オ
ブ
ジ
ェ
ク
ト
タイ
プ
に
適
用
さ
れ
ま
す
。

技術	コンポーネント	環境	タイプ	説明	アクション	ライセンス	タイプ	業務	ライセンス	ビジネスプロセス	最新	利用
											の改訂	開始
SAP Translation Hub	Cloud Foundry		ソフトウェア翻訳用の SAP Translation Hub が、マルチ環境 / Cloud	ソ情報のみ		制限付利用可能在庫	新規	テクノロジ	該当なし	コンテンツコレクション	2024-03-18	2023-03-18

技術 コン ポー ネン ト	環境	タイ トル	説明	アクション	ライ フサ イク ル	タイ プ	業務 ライ ン	モジ ュー ル型 ビジ ネス プロ セス	最新 の改 訂	製品	利用 開始
			F o u n d r y で 利 用 可 能 に な り ま し た 。 顧 客 は 、 A I を 活 用 し た 。 • S A P T r a n s l a t i o n H u b と D o c	境 に 移 行 さ れ ま し た 。 顧 客 は 、 A I を 活 用 し た 機 械 翻 訳 と 、 マ ル チ 環 境 / C l o u d F o							

技術 コン ポー ネン ト	環境	タイ トル	説明	アクション	ライ フサ イク ル	タイ ライ プ	業務 ライ ン	モジ ユー ル型 ビジ ネス プロ セス	最新 の改 訂	利用 開始
		u m e n t T r a n s l a t i o n	u n d r y で の イ ン テ リ ジ エ ン ト デ ー タ 再 利 用 を 組 み 合 わ せ た 利 点 を 得 ら れ る よ う に な り							

技術	コン	ポー	ネン	ト	環境	タイ	トル	説明	アクション	ライ	フサ	イク	ル	タイ	プ	業務	ライ	ン	モジ	ユー	ル型	ビジ	ネス	プロ	セス	製品	最新	の改	利用
----	----	----	----	---	----	----	----	----	-------	----	----	----	---	----	---	----	----	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

ま
ま
し
し
た
た
た
。
。

- このリリースでは、Cloud Foundryで数年前から利用可能であった以

技術 コン ポー ネン ト	環境	タイ トル	説明	アクション	ライ フサ イク ル	タイ プ	業務 ライ ン	モジ ュー ル型 ビジ ネス プロ セス	最新 の改 訂	製品	最新 の改 訂	利用 開始
---------------------------	----	----------	----	-------	---------------------	---------	---------------	--	---------------	----	---------------	----------

ー
ビ
ス
と
マ
ー
ジ
さ
れ
ま
す
。
N
e
o
上
の
S
A
P
T
r
a
n
s
l
a
t
i
o
n
H
u
b
サ
ー
ビ
ス
は
、

3 コンセプト

このセクションでは、SAP Translation Hub で使用されるコンセプトについて説明します。

関連情報

[ドメイン \[29 ページ\]](#)

[品質指数 \[32 ページ\]](#)

3.1 ドメイン

ビジネスコンテキストに応じて翻訳元テキストを異なるように翻訳する必要がある状況に対応するため、SAP Translation Hub ではドメインと呼ばれる概念を使用しています。

① 注記

開発環境においてドメインまたは類似の概念を使用しない場合でも、SAP Translation Hub での翻訳ワークフローシナリオの一部として翻訳プロジェクトを作成する場合には、ドメインを指定する必要があります。

背景情報

特定のビジネスコンテキスト、業種、またはアプリケーションでは、所与の翻訳元テキストを特定の方法で翻訳する必要が生じる場合があります。指定のコンテキストにおいていずれの翻訳を使用するかを決定するには、そのテキストに関する多少のコンテキスト情報が必要です。SAP Translation Hub では、翻訳プロジェクトまたは translate API メソッドで指定したドメインを使用して、テキストに関する基本コンテキスト情報が取得されません。

SAP 多言語テキストリポジトリ (SAP MLTR) 内のテキストは、SAP の翻訳および用語のプロセスでその原典により 2 文字のドメインが割り当てられています。

❖ 例

翻訳する英語の翻訳元テキストの 1 つが *application* であるとします。そのテキストが使用されているビジネスコンテキストに関する情報がない場合は、得られる翻訳が特定のコンテキストで機能しない可能性があります。

そのテキストが人事管理 (HR) のコンテキストで使用されている場合は、求職を意味すると思われる。しかし、そのテキストがテクノロジーのコンポーネントで使用されている場合は、ソフトウェアアプリケーションを意味すると思われる。

ドメインの形式でコンテキストに関する情報を提供すると、適切な翻訳が得られるように改善されます。

ドメインおよびドメイングループ

SAP Translation Hub でのドメインの選択が容易になるように、2文字のドメインはドメイングループの一覧に統合されます。

次のドメイングループが使用可能です。

ドメイングループの名前	ドメイングループの ID	ビジネスコンテキストまたはアプリケーションの例
分析	06	データ分析およびビジネスインテリジェンス
財務会計	05	財務会計、管理会計、および財務管理
一般	08	残りのアプリケーションエリア
業種	09	自動車、航空宇宙と防衛、および保険などの SAP 業種別ソリューション
ロジスティクス	03	物流管理、在庫/購買管理、およびプラント保全
人材管理	04	Human capital management (HCM)、Learning Solution
販売	02	販売管理、およびカスタマリレーションシップマネジメント (CRM)
テクノロジー	07	SAP Technology コンポーネント (SAP NetWeaver など)

→ ヒント

ドメインの完全な一覧を確認するには、*domains API* メソッドを参照してください。

SAP Translation Hub での使用

SAP Translation Hub が SAP MLTR 内の翻訳を検索する場合は、ドメイン割当を使用して指定のビジネスコンテキストにおいて最も正確な翻訳が検索されます。

SAP Translation Hub では、ドメインおよびドメイングループを以下のように使用します。

- 翻訳ワークフローシナリオにおいて、ドメイングループを選択します。
- *translate API* メソッドでは、個別の2文字のドメインまたはドメイングループを指定できます。

関連情報

[domains メソッド \[119 ページ\]](#)

3.2 用語集

SAP Translation Hub で使用されるコンセプトの定義に関する用語集です。

自社マルチリンガルテキストリポジトリ (自社 MLTR)	SAP Translation Hub にアップロードする、独自の言語データの保管場所です。このリポジトリは SAP HANA データベース上で動作します。
------------------------------	--

ドメイン	特定のアプリケーションやビジネスコンテキストに従って翻訳を系統立てる方法です。 テキストをドメインに割り当てることで、用語の観点から論理的な集合である各アプリケーションにおいて、テキストを正しく一貫して翻訳することができます。アプリケーションやビジネスコンテキストに関するコンテキスト情報を指定することで、テキストが使用されているビジネスコンテキストやアプリケーションに応じて、同一の翻訳元テキストを異なるように翻訳できます。
------	--

❖ 例

翻訳する英語の翻訳元テキストの1つが *application* であるとします。そのテキストが使用されているビジネスコンテキストに関する情報がない場合は、得られる翻訳が特定のコンテキストで機能しない可能性があります。

そのテキストが人事管理 (HR) のコンテキストで使用されている場合は、求職を意味すると思われる。しかし、そのテキストがテクノロジーのコンポーネントで使用されている場合は、ソフトウェアアプリケーションを意味すると思われる。

ドメインの形式でコンテキストに関する情報を提供すると、適切な翻訳が得られるように改善されます。

SAP 多言語テキストリポジトリ (SAP MLTR)	言語学の専門家、および正式な SAP 用語エントリによって提供された翻訳の保管場所です。リポジトリは、マスタ言語のテキストとそのテキストの1つ以上の翻訳で構成されています。また、リポジトリには、テキストに割り当てられた SAP 翻訳ドメインおよびテキストタイプも含まれます。このリポジトリは SAP HANA データベース上で動作します。
-----------------------------	---

SAP 機械翻訳 (SAP MT)	テキストを別の言語に自動的に翻訳するソフトウェアです。SAP MT では、SAP が認証した言語エキスパートにより検証された多数の翻訳が記憶されています。SAP MT は、SAP に関連するコンテンツの翻訳に特化し、オープンソースの MT システムとは異なっています。つまり、ドメインの適合と用語の範囲に優れています。
-------------------	---

翻訳プロジェクト	SAP Translation Hub がサポートする翻訳ワークフローシナリオにおいて翻訳の管理に使用される SAP Translation Hub でのエンティティです。翻訳プロジェクトは、翻訳するテキストの位置などのメタデータ、および必要な翻訳先言語で構成されています。
----------	---

3.3 品質指数

翻訳の品質を評価するために、SAP Translation Hub では品質指数と呼ばれる品質評価が使用されます。0 から 100 の段階で、数値が高いほど品質が良くなります。

背景情報

SAP Translation Hub では、多言語テキストリポジトリ (MLTR) および SAP 機械翻訳 (SAP MT) によって提供される翻訳の品質指数が計算されます。SAP Translation Hub を使用せずに翻訳プロジェクトの一部またはすべてを翻訳する場合は、それらのテキストについては、SAP Translation Hub で品質指数は計算されません。SAP Business Technology Platform の Git リポジトリ内の `.properties` ファイルまたは ABAP システムなどから、既存の翻訳を翻訳プロジェクトにインポートする場合、この状況が当てはまります。

翻訳プロバイダに応じて、SAP Translation Hub では異なる方法を使用して品質指数が計算されます。

翻訳プロバイダ: 会社多言語テキストリポジトリ

会社多言語テキストリポジトリ (会社 MLTR) により翻訳が提供される場合、品質指標は 99 です。

① 注記

会社 MLTR 内の翻訳が指定の項目ラベルに対して長すぎる場合、SAP Translation Hub ではテキストを切り詰め、品質指数を 1 に設定します。

翻訳プロバイダ: **SAP** 多言語テキストリポジトリ

SAP 多言語テキストリポジトリ (SAP MLTR) によって翻訳が提供される場合、品質指数は以下に基づきます。

品質評価

言語の専門家が SAP MLTR に格納された翻訳を保存する際に、各翻訳に品質評価を割り当てて翻訳の品質を評価します。

発生数

SAP Translation Hub では、翻訳元テキストと特定の翻訳の組合せが SAP MLTR で出現する事例の数を分析します。翻訳元テキストと翻訳の特定の組合せが多く出現するほど、その翻訳の信頼性は高くなります。

翻訳プロバイダ: SAP 機械翻訳

SAP 機械翻訳で翻訳が提供される場合、品質指数は定数値 25% に設定されます。この値は、翻訳の人によるレビューが推奨されることを示しています。

① 注記

長さ制限のため、SAP 機械翻訳が提供する翻訳を短くする必要がある場合、特に、ABAP 翻訳プロジェクトに該当する場合、品質指数の値は 1 です。

関連情報

[用語集 \[31 ページ\]](#)

4 初期設定

SAP Business Technology Platform でアカウントにサインアップして、SAP Translation Hub を有効にする方法について学びます。

前提条件

- SAP BTP 管理者が、SAP Business Technology Platform のグローバルアカウントにアクセスできる必要があります。詳細については、[エンタープライズアカウント](#)を参照してください。
- エンタープライズ契約が締結されているか、無償利用枠オプションを使用してサービスを試用します。詳細については、[サービス計画 \[8 ページ\]](#)を参照してください。
- SAP BTP 管理者が、アマゾンウェブサービス (AWS) 地域ヨーロッパ (Frankfurt) cf-eu10 または米国東部 (VA) cf-us10 で SAP BTP サブアカウントを作成しておく必要があります。

1. コンセプトをよく理解してください。

SAP Translation Hub を使用する前に、基本的なコンセプトおよびサポートされる言語に関してよく理解することをお奨めします。詳細については、[コンセプト \[29 ページ\]](#)を参照してください。

2. サポートされている地域でサブアカウントを作成します。

SAP Translation Hub を使用できるようにするには、サポートされている地域の1つで SAP Business Technology Platform のアカウントが必要です。非本稼働の目的で基本的な機能を試す場合は、SAP BTP 無償利用枠アカウントにサインアップできます。SAP Business Technology Platform の各アカウントタイプの差異の詳細については、[サービス計画 \[8 ページ\]](#)を参照してください。

① 注記

サブスクリバアカウント名は 50 文字未満にする必要があります。この制限を超える名前を入力すると、最初の 50 文字だけが選択されます。

① 注記

サブアカウントがヨーロッパ (Frankfurt) または米国東部 (VA) で作成されていない場合は、別のサブアカウントを作成する必要があります。SAP BTP マルチクラウドの SAP Translation Hub は、ヨーロッパ (Frankfurt) または米国東部 (VA) の AWS でのみ使用可能であるためです。

本稼働アカウントの場合は、以下の手順に従います。

- グローバルアカウント [SAP BTP コックピット](#)に移動します。

- 新しいサブアカウントを作成します。
- *Amazon Web Services (AWS)* で、地域としてヨーロッパ (*Frankfurt*) または米国東部 (*VA*) を選択します。
- サブドメインの関連名称を選択します。
- 新しく作成したサブアカウントのタイルを開きます。

3. SAP Translation Hub サービスを設定します。

サービスを設定するには、最初に SAP Business Technology Platform コックピットで権限を設定してから、サービスにサブスクライブし、ユーザを追加する必要があります。API を利用するには、サービスインスタンスを作成し、OAuth 認証情報を取得するためのバインドが必要です。

- [権限の設定 \[36 ページ\]](#)
- [SAP Translation Hub にサブスクライブ \[36 ページ\]](#) します。
- [SAP Translation Hub ユーザインタフェースにアクセスする権限をユーザに付与する \[38 ページ\]](#) を参照してください。
- [サービスインスタンスおよびサービスバインディングの作成 \[38 ページ\]](#) (API ユーザ)
- [サービスキーを作成し、認証情報を取得します \(API ユーザ\) \[38 ページ\]](#)。

① 注記

詳細なスクリーンショットとともにステップを確認するには、[SAP Translation Hub の有効化](#) チュートリアルを参照してください。

アカウントにユーザを追加する必要がある場合は、詳細について [SAP Translation Hub ユーザインタフェースにアクセスする権限をユーザに付与する \[38 ページ\]](#) を参照してください。

4. SAP Translation Hub を使用します。

統合された翻訳ワークフローシナリオの一部としての SAP Translation Hub の主な機能を理解するために、チュートリアルのステップバイステップの説明と [ミッション](#) を一通り参照することをお奨めします。詳細については、[SAP Translation Hub ユーザインタフェースにアクセスする権限をユーザに付与する \[38 ページ\]](#) を参照してください。

文書翻訳のユーザインタフェースについて理解するには、を参照してください。

API を直接使用する場合は、[SAP Business Accelerator Hub](#) を参照するか、またはお気に入りの REST API クライアントを API 文書とともに使用します ([開発 \[112 ページ\]](#) を参照)。

5. SAP 認定パートナーによる追加サポート

SAP による機械翻訳は継続して改善されていますが、翻訳をレビューする必要がまだあります。特に、大量のテストケースに対して機械翻訳を使用している場合は、追加の作業が発生すると思われます。翻訳の提案をレビュー

一するための追加のサポートが必要な場合は、SAP が認証するパートナーに連絡してください (そのサービスの一般的な説明、およびパートナーの一覧を参照)。

関連情報

[用語集 \[31 ページ\]](#)

[地域 \[7 ページ\]](#)

[ソフトウェア翻訳のための SAP Translation Hub の使用 \[67 ページ\]](#)

4.1 権限の設定

SAP Translation Hub をサブアカウントの権限に追加し、さまざまなサービス計画から選択します。

- SAP BTP コックピットで、Amazon Web Services (AWS) ヨーロッパ (Frankfurt) cf-eu10 または米国東部 (VA) cf-us10 地域のサブアカウントを開きます。
- **権限**を選択します。
- 一覧をチェックして、SAP Translation Hub が一覧表示されているかどうかを確認します。
- SAP Translation Hub サービスが一覧表示されていない場合は、**サービス計画を追加**を選択します。
- SAP Translation Hub を検索します。
- これで、さまざまなサービス計画の一覧から選択できます。サービスを試用するだけの場合は、アプリケーションの**無償**の計画を選択できます。
- **デフォルト (アプリケーション)** または **無償 (アプリケーション)** を選択して SAP Translation Hub アプリケーションをサブスクライブし、サービスインスタンスを使用します。API または ABAP システムへの統合を使用する場合は、さらにサービスインスタンスの権限 (**デフォルト** または **無償**) が必要です。

④ 注記

アプリケーションをサブスクライブしない場合、対応するサブアカウントでサービスインスタンスを作成することは技術的には可能ですが、ソフトウェア翻訳用の SAP Translation Hub サービスは使用できません。文書翻訳サービスは、アプリケーションをインストールせずに使用できます。アプリケーションを常にサブスクライブすることをお奨めします。

- **サービス計画を追加**を選択します。
- **保存**を選択します。

SAP Translation Hub サービスがサブアカウントの権限に追加されました。

4.2 SAP Translation Hub へのサブスクライブ

サービスおよびアプリケーションを使用するには、SAP Translation Hub アプリケーションへのサブスクライブが必要です。アプリケーションをサブスクライブしない場合、対応するサブアカウントでサービスインスタンスを

作成することは技術的には可能ですが、ソフトウェア翻訳用の SAP Translation Hub サービスは使用できません。文書翻訳サービスは、アプリケーションをインストールせずに使用できます。ただし、アプリケーションをインストールすることをお奨めします。

前提条件

のステップを完了しておきます。

- SAP Business Technology Platform グローバルアカウント
- CPEA (Cloud Platform Enterprise Agreement) ライセンスまたは SAP Translation Hub の SAP Store ライセンス
- BTP マルチクラウド環境を使用している必要があります (このサービスは Neo では使用できません)。
- Amazon Web Services (AWS) 地域 (ヨーロッパ (Frankfurt) cf-eu10 または米国東部 (VA) cf-us10) のいずれかの SAP BTP サブアカウント
- SAP Translation Hub サービスが権限に追加されました。 [権限の設定 \[36 ページ\]](#) を参照してください。

① 注記

Neo でのソフトウェア翻訳用の SAP Translation Hub は、既存のカスタマがまだ使用可能です。ただし、できるだけ早く新しい BTP マルチクラウドバージョンに移行することを強くお奨めします。サポートおよび計画については、translationhub@sap.com にお問い合わせください。

手順

- SAP BTP コックピットで、[サブアカウント](#)を選択します。
- アプリケーションを使用するサブアカウントにナビゲートします。
- ナビゲーションペインで、**▶ サービス ▶ サービスマーケットプレイス ▶**を開きます。
- [SAP Translation Hub](#) を検索し、タイルを選択します。
- [Create](#) を選択します。
- ポップアップで、サービスが事前選択されています。 [計画](#) ドロップダウンで、使用するサービス計画を選択します。
- サブスクリプションプランにより、SAP Translation Hub がアプリケーションとして有効化されます。 [サブスクリプション](#) セクションで、[デフォルト](#) (または、ユーザインタフェースを使用してサービスを利用する場合は [free](#)) を選択し、[作成](#) をクリックします。

→ 注意

アプリケーションをサブスクライブしない場合、対応するサブアカウントでサービスインスタンスを作成することは技術的には可能ですが、ソフトウェア翻訳向け SAP Translation Hub サービス API は使用できません。文書翻訳サービスは、アプリケーションをインストールせずに使用できます。アプリケーションを常にサブスクライブすることをお奨めします。

- ユーザが SAP Translation Hub のユーザインタフェースを利用できるようにします。 [SAP Translation Hub ユーザインタフェースにアクセスする権限をユーザに付与する \[38 ページ\]](#) を参照してください。

- インスタンス計画により、SAP Translation Hub を API として使用できるようになります。SAP Translation Hub サービスインスタンスではアプリケーションを設定する必要があるため、アプリケーションサービス計画も選択していることを確認します。API 認証情報を生成して外部アプリケーションがサービスインスタンスにアクセスできるようにする場合は、インスタンス計画を選択します。サービスインスタンスを作成して認証情報を取得する方法については、[サービスインスタンスおよびサービスバインディングの作成 \[38 ページ\]](#) で説明されている手順に従います。

4.3 SAP Translation Hub ユーザインタフェースにアクセスする権限をユーザに付与する

ユーザインタフェースを使用して SAP Translation Hub を利用できるようにするには、ユーザに SAP BTP サブアカウントへのアクセス権が付与され、ロールが割り当てられている必要があります。

手順

1. サービスが有効化されている SAP Business Technology Platform サブアカウントを開きます。
2. [セキュリティ](#)で、[ユーザ](#)を開きます。
3. アクセス権を付与するユーザがまだ一覧表示されていない場合は、[登録](#)をクリックしてユーザを追加します。
4. ユーザが一覧表示されたら、そのユーザをクリックして[ロールコレクション](#)を割り当てます。
5. SAP Translation Hub Document Translation という名称の[ロールコレクション](#)を割り当てます。

① 注記

ロールコレクション SAP Translation Hub Document Translation は、現在、ソフトウェア翻訳 UI と Document Translation ユーザインタフェースの両方に適用されます。ユーザには、両方のユーザインタフェースですべての機能を使用する権限が付与されます。

4.4 サービスインスタンスおよびサービスバインディングの作成

この手順を使用して、サービスインスタンスおよびサービスバインディングを作成し、SAP Translation Hub サービスを利用します。サービスブースタを使用すると、サービスインスタンスが自動的に作成されます。ブースタを使用していない場合は、インスタンスをマニュアルで作成する必要があります。

前提条件

- SAP Business Technology Platform グローバルアカウント

- CPEA (Cloud Platform Enterprise Agreement) ライセンスまたは SAP Translation Hub の SAP Store ライセンス
- Amazon Web Services (AWS) ヨーロッパ (Frankfurt) cf-eu10 または米国東部 (VA) cf-us10 地域の SAP BTP サブアカウント
- BTP マルチクラウド環境を使用している必要があります (このサービスは Neo では使用できません)。
- SAP Translation Hub サービスが、アプリケーションおよびサービスインスタンスの両方の権限に追加されました。必要なすべての権限が追加されていることを確認します。SAP Translation Hub ソフトウェア翻訳のサービスインスタンスの場合は、アプリケーションも必要です (サービス計画およびデフォルト (アプリケーション)、またはフリーおよびフリー (アプリケーション))。 [エンタープライズおよび SAP BTP 無償利用枠アカウント \[42 ページ\]](#) を参照してください。
- SAP Translation Hub アプリケーションにサブスクライブしておく必要があります。詳細については、 [SAP Translation Hub へのサブスクライブ \[36 ページ\]](#) を参照してください。

① 注記

Neo でのソフトウェア翻訳用の SAP Translation Hub は、既存のカスタマがまだ使用可能です。ただし、できるだけ早く新しい BTP マルチクラウドバージョンに移行することを強くお奨めします。サポートおよび計画については、translationhub@sap.com にお問い合わせください。

自分に適した環境の決定

SAP Translation Hub サービスは、その他の環境、Cloud Foundry、Kyma、および Kubernetes の複数の環境で使用できます。いずれの環境が適切であるかは、ユーザのビジネスシナリオによって異なります。

シナリオ 1: ユーザインタフェースによる自動翻訳の取得

ユーザインタフェースを使用するために、サービスインスタンスを作成する必要はありません。SAP Translation Hub へのサブスクライブで十分かどうかを検討してください。詳細については、 [SAP Translation Hub へのサブスクライブ \[36 ページ\]](#) を参照してください。

シナリオ 2: SAP Translation Hub と SAP Business Technology Platform 環境外のアプリケーションの統合

SAP Business Technology Platform 外の環境から SAP Translation Hub API にのみアクセスする場合は、Other 環境を選択し、サービスバインディングで使用可能な認証情報を使用して統合します。

シナリオ 3: SAP Translation Hub サービスと Cloud Foundry 環境のアプリケーションの統合

Cloud Foundry にアプリケーションがあり、そのアプリケーションで SAP Translation Hub サービスを使用する場合は、Cloud Foundry 環境を選択します。これにより、Cloud Foundry 上の SAP Translation Hub サービスのインスタンスにアプリケーションを直接接続できます。また、ユーザインタフェースからサービスにアクセスし、翻訳元テキストをアップロードして、翻訳されたファイルを直接ダウンロードすることもできます。

シナリオ 4: SAP Translation Hub サービスと Kubernetes 環境のアプリケーションの統合

Kubernetes にアプリケーションがあり、そのアプリケーションで SAP Translation Hub サービスを使用する場合は、Kubernetes 環境を選択します。これにより、Kubernetes 上の SAP Translation Hub サービスのインスタンスにアプリケーションを直接接続できます。また、ユーザインタフェースを介してサービスにアクセスし、翻訳元テキストをアップロードして、翻訳されたファイルを直接ダウンロードすることもできます。

複数環境でのサービスインスタンスおよびサービスバインディングの作成

1. SAP BTP コックピットで、グローバルアカウントおよびサブアカウントにナビゲートします。
2. サブアカウントで、[サービスマーケットプレイス](#)に移動し、[SAP Translation Hub](#) を検索します。
3. タイルを開き、右側のペインで[登録](#)を選択します。
4. 使用する計画を以下から選択します。ソフトウェア翻訳に SAP Translation Hub API を使用する場合は、[SAP Translation Hub へのサブスクリプション \[36 ページ\]](#) の説明に従ってアプリケーションにサブスクリプションします。
 - サブスクリプションプランにより、SAP Translation Hub がアプリケーションとして有効化されます。ユーザーインターフェースを使用してサービスを利用する場合は、[Plan > Subscriptions > default](#) を選択し、[Create](#) をクリックします。無償プランの場合は、[free](#) を選択します。

① 注記

SAP Translation Hub のユーザーインターフェースを利用できるようにするには、ユーザーに権限を付与する必要があります。[SAP Translation Hub ユーザーインターフェースにアクセスする権限をユーザーに付与する \[38 ページ\]](#) を参照してください。

- インスタンス計画により、SAP Translation Hub を API として使用できるようになります。API を使用してサービスを利用する場合は、[Plan > Instances > default](#) を選択し、[Create](#) をクリックします。無償プランの場合は [free](#) を選択し、下記の手順を続行します。
 - [実行時環境 > その他を選択します。](#)
 - [インスタンス名を入力します。](#) この名前は自由に選択できます。空白は許可されません。
5. インスタンスに対して意味のある名前を入力し、[Next](#) を選択します (その他すべての詳細はデフォルトで入力されます)。
 6. (オプション) パラメータは JSON ファイルを使用してアップロードできます。[Next](#) を選択して続行します。
 7. インスタンスをレビューおよび検証してから、作成を選択します。

① 注記

アプリケーションをサブスクリプションしない場合、対応するサブアカウントでサービスインスタンスを作成することは技術的には可能ですが、ソフトウェア翻訳用の SAP Translation Hub サービスは使用できません。文書翻訳サービスは、アプリケーションをインストールせずに使用できます。アプリケーションとすべてのサービスにアクセスできるため、アプリケーションをサブスクリプションすることをお奨めします。[SAP Translation Hub へのサブスクリプション \[36 ページ\]](#) を参照してください。

これで、新しいサービスインスタンスのサービスバインディングを作成できるようになります。サービスバインディングは、アプリケーションがサービスインスタンスにアクセスして通信できるようにする認証情報の生成に使用されます。サービスバインディングは、ABAP との統合や開発する統合など、既存の統合の API 認証情報を取得するために必要です。

1. SAP BTP コックピットで、[インスタンスおよびサブスクリプション](#)に移動し、[インスタンス](#)で以前に作成したインスタンスを見つけて、3つのドットをクリックしてメニューを開きます。次に、[Create Service Binding](#) を選択します。
2. バインドの名前を入力します。この名前は自由に選択できます。
3. [作成](#)を選択して、サービスバインディングを作成します。
4. これで、API 認証情報が作成されます。3つのドットをクリックし、[\[表示\]](#)を選択すると、それらを表示することができます。これで、ソフトウェア翻訳および Document Translation サービスに SAP Translation Hub サービスを使用する準備ができました。

Cloud Foundry 環境でのサービスインスタンスの作成および認証情報の取得

1. サブアカウントで、Cloud Foundry が有効化されていることを確認します。有効化されていない場合は、Cloud Foundry を有効化します。
2. サービスマーケットプレイスに移動し、*SAP Translation Hub* を検索します。
3. タイルを開き、右側のペインで登録を選択します。
4. インスタンス計画を選択し、▶ **実行時環境** ▶ *Cloud Foundry* ▶ が選択されていることを確認します。
5. 新しいスペースの作成を求められたら、**スペースの作成**リンクをたどります。領域作成ページで、領域名を入力します。この名前は自由に選択できます。次に、**作成**を選択します。
6. **インスタンス名**を入力します。このインスタンス名は自由に選択することもできます。
7. **次**を選択し、**次**を再度選択した後、**作成**を選択します。
これで、SAP BTP コックピットでインスタンスを確認できます。
8. サービスインスタンスエントリの横にある 3 つのドットをクリックし、**サービスキー作成**を選択します。
9. サービスキーの名前を入力します。API を使用するためのサービスキーが作成されます。
10. インスタンスの**認証情報**エレメントをクリックして、そのキーを確認します。
11. これで、Cloud Foundry での SAP Translation Hub サービスインスタンスの設定が完了しました。

① 注記

アプリケーションをサブスクライブしない場合、対応するサブアカウントでサービスインスタンスを作成することは技術的には可能ですが、ソフトウェア翻訳用の SAP Translation Hub サービスは使用できません。文書翻訳サービスは、アプリケーションをインストールせずに使用できます。アプリケーションとすべてのサービスにアクセスできるため、アプリケーションをサブスクライブすることをお奨めします。
[SAP Translation Hub へのサブスクライブ \[36 ページ\]](#) を参照してください。

→ ヒント

[Cloud Foundry 環境でのサービスの使用](#)を参照してください。

Kubernetes でのサービスインスタンスおよび認証情報の作成

前提条件:

- Kubernetes が使用されている必要があります。
- SAP Service Manager プローカプロキシ (サービスカタログ) が使用されている必要があります (詳細については[ここ](#)を参照)。
- svc-cat が使用されている必要があります。

インスタンス作成の構文 (default 計画の場合、free 計画を使用する場合は `--plan default` を `--plan free` に置き換えます):

❏ サンプルコード

```
svcat provision dtkube --class document-translation --plan default
```

バインド作成の構文:

🔗 サンプルコード

```
svcat bind dtkube dtkube
```

4.5 エンタープライズおよび SAP BTP 無償利用枠アカウント

Software Translation および Document Translation に対する SAP Translation Hub サービスの利用可能性は、使用するサービス計画のタイプによって決まります。

詳細	エンタープライズ	BTP 無償利用枠
目的	本稼働目的で使用します。	評価またはテスト目的でのみ使用します。
翻訳ボリューム	翻訳量は、企業契約によって決定されません。	制限は、使用するオプションによって異なります。 文書翻訳 - 月ごとに最大 500,000 文字の翻訳が可能です。 ソフトウェア翻訳 - 1 カ月あたり最大 100,000 文字まで許可されます。 両方のサービスを使用する場合、無償利用枠の合計は 600,000 文字です。 この制限を超過すると、それ以上翻訳できなくなります。今月は、デフォルトの有料サービス計画に更新することも、翌月に無償のサービス計画を再度使用することもできます。

📌 注記

アカウントがヨーロッパ (Frankfurt) または米国東部 (VA) で作成されていない場合は、別のサブアカウントを作成する必要があります。BTP マルチクラウド向け SAP Translation Hub サービスは、ヨーロッパ (Frankfurt) - cf-EU10 または米国東部 (VA) - cf-US10 でのみ使用可能であるためです。Neo 上の SAP Translation Hub は、既存のカスタマがまだ使用可能です。ただし、お客様は、できるだけ早く新しい BTP マルチクラウドバージョンに移行するように求められます。

本稼働アカウントの場合は、以下の手順に従います。

- グローバルアカウント [SAP BTP コックピット](#) に移動します。
- [新しいサブアカウント](#) を作成します。
- プロバイダとして [Amazon Web Services](#) を選択します。
- 地域として [ヨーロッパ \(Frankfurt\)](#) または [米国東部 \(VA\)](#) を選択します。
- [サブドメイン](#) の関連名称を選択します。
- 新しく作成したサブアカウントのタイトルを開きます。
- [権限の設定](#) を選択します。

- [サービス計画を追加](#)を選択します。
- ドロップダウンメニューから [文書翻訳](#) を選択します。
- 利用可能な計画として [デフォルト \(アプリケーション\)](#) を選択します。
- [サービス計画を追加](#)を選択します。
- 変更を保存します。
- これで、SAP Translation Hub が権限に追加されました。

📌 注記

SAP Translation Hub サービスでは、翻訳量の測定に文字が使用されます。文字数には、空白とマルチバイト文字も含まれます。マルチバイト文字は、1文字としてカウントされます。

SAP BTP 無償利用枠: [商品化およびライセンス](#)について学びます。

SAP Business Technology Platform: [無償のサービス計画の使用](#)

以下のチュートリアルでは、[追加情報として文書を翻訳 SAP Business Accelerator Hub](#)👉します。

[チュートリアル用の SAP BTP アカウントの設定](#)👉

5 サービスの範囲

5.1 サポートされている言語

SAP Translation Hub では、さまざまな言語がサポートされています。翻訳は、ソフトウェア翻訳オプション用の SAP 多言語テキストリポジトリ (MLTR) または SAP 機械翻訳 (SAP MT) および文書翻訳用の SAP 機械翻訳によって提供されます。

① 注記

SAP Translation Hub のソフトウェア翻訳でサポートされているすべての言語を、翻訳元言語および翻訳先言語として使用できます。特定のテキストに対して SAP Translation Hub が使用する翻訳プロバイダに応じて、翻訳元言語と翻訳先言語の一部の組み合わせでは翻訳が戻されません。詳細については、以下のセクションの表を参照してください。

翻訳プロバイダ: SAP 多言語テキストリポジトリ

SAP MLTR が翻訳プロバイダである場合は、以下の表にあるすべての言語を翻訳元言語および翻訳先言語として使用できます。言語の最新の一覧を取得するには、API メソッド `languages` を呼び出します。

言語名	言語コード	BCP 言語コード	ダウンロードされたファイルの言語コード
アラビア語	ar	ar-SA	ar_SA
ブルガリア語	bg	bg-BG	bg_BG
カタロニア語	ca	ca-ES	ca_ES
中国語 (簡体字)	zh*	zh-CN	zh_CN
中国語 (繁体字)	zf*	zh-TW	zh_TW
クロアチア語	hr	hr-HR	hr_HR
チェコ語	cs	cs-CZ	cs_CZ
デンマーク語	da	da-DK	da_DK
オランダ語	nl	nl-NL	nl_NL
英語 (英国)	6n*	en-GB	en_GB
英語 (米国)	en	en-US	en_US
エストニア語	et	et-EE	et_EE

言語名	言語コード	BCP 言語コード	ダウンロードされたファイルの言語コード
フィンランド語	fi	fi-FI	fi_FI
フランス語(フランス)	fr	fr-FR	fr_FR
フランス語(カナダ)	3f*	fr-CA	fr_CA
ドイツ語	de	de-DE	de_DE
ギリシャ語	el	el-GR	el_GR
ヘブライ語	he*	he-IL	iw_IL
ヒンディー語	hi	hi-IN	hi_IN
ハンガリー語	hu	hu-HU	hu_HU
インドネシア語	id	id-ID	id_ID
イタリア語	it	it-IT	it_IT
日本語	ja	ja-JP	ja_JP
カザフ語	kk	kk-KZ	kk_KZ
韓国語	ko	ko-KR	ko_KR
ラトビア語	lv	lv-LV	lv_LV
リトアニア語	lt	lt-LT	lt_LT
マレー語	ms	ms-MY	ms_MY
ノルウェー語	no	nn-NO	nn_NO
ポーランド語	pl	pl-PL	pl_PL
ポルトガル語(ブラジル)	pt	pt-BR	pt_BR
ポルトガル語(ポルトガル)	1p*	pt-PT	pt_PT
ルーマニア語	ro	ro-RO	ro_RO
ロシア語	ru	ru-RU	ru_RU
セルビア語	sr	sr-Cyrl-RS	sr_RS
セルビア語(ラテン)	sh*	sr-LATN-RS	sr_RS
スロバキア語	sk	sk-SK	sk_SK
スロベニア語	sl	sl-SI	sl_SI
スペイン語(コロンビア)	0s*	es-CO	es_CO
スペイン語(スペイン)	es	es-ES	es_ES
スウェーデン語	sv	sv-SE	sv_SE
タイ語	th	th-TH	th_TH
トルコ語	tr	tr-TR	tr_TR
ウクライナ語	uk	uk-UA	uk_UA
ベトナム語	vi	vi-VN	vi_VN

* これらの言語コードは、ファイルの印刷、プッシュ、またはダウンロードの実行中に、一部のファイルタイプの BCP コード (4 桁のコード) に表示されます。

翻訳プロバイダ: SAP 機械翻訳

SAP 機械翻訳 (SAP MT) が翻訳プロバイダである場合は、翻訳元言語と翻訳先言語の以下のペアがサポートされています。選択した言語に対して翻訳指数スコアが提供されます。

翻訳元言語名	翻訳元言語コード	翻訳先言語名	翻訳先言語コード
アラビア語	ar-SA	英語 (米国)	en-US
ブルガリア語	bg-BG	英語 (米国)	en-US
カタロニア語	ca-ES	英語 (米国)	en-US
チェコ語	cs-CZ	英語 (米国)	en-US
中国語 (簡体字)	zh-CN	英語 (米国)	en-US
中国語 (繁体字)	zh-TW	英語 (米国)	en-US
クロアチア語	hr-HR	英語 (米国)	en-US
デンマーク語	da-DK	英語 (米国)	en-US
オランダ語	nl-NL	英語 (米国)	en-US
英語 (米国)	en-US	アラビア語	ar-SA
英語 (米国)	en-US	ブルガリア語	bg-BG
英語 (米国)	en-US	カタロニア語	ca-ES
英語 (米国)	en-US	中国語 (簡体字)	zh-CN
英語 (米国)	en-US	中国語 (繁体字)	zf-TW
英語 (米国)	en-US	クロアチア語	hr-HR
英語 (米国)	en-US	チェコ語	cs-CZ
英語 (米国)	en-US	デンマーク語	da-DK
英語 (米国)	en-US	オランダ語	nl-NL
英語 (米国)	en-US	エストニア語	et-EE
英語 (米国)	en-US	フィンランド語	fi-FI
英語 (米国)	en-US	フランス語 (フランス)	fr-FR
英語 (米国)	en-US	ドイツ語	de-DE
英語 (米国)	en-US	ギリシャ語	el-GR
英語 (米国)	en-US	ヘブライ語	he-IL
英語 (米国)	en-US	ヒンディー語	hi-IN
英語 (米国)	en-US	ハンガリー語	hu-HU
英語 (米国)	en-US	イタリア語	it-IT

翻訳元言語名	翻訳元言語コード	翻訳先言語名	翻訳先言語コード
英語 (米国)	en-US	日本語	ja-JP
英語 (米国)	en-US	カザフ語	kk-KZ
英語 (米国)	en-US	韓国語	ko-KR
英語 (米国)	en-US	ラトビア語	lv-LV
英語 (米国)	en-US	リトアニア語	lt-LT
英語 (米国)	en-US	インドネシア語	id-ID
英語 (米国)	en-US	マレー語	ms-MY
英語 (米国)	en-US	ノルウェー語	no-NO
英語 (米国)	en-US	ポーランド語	pl-PL
英語 (米国)	en-US	ポルトガル語 (ブラジル)	pt-BR
英語 (米国)	en-US	ルーマニア語	ro-RO
英語 (米国)	en-US	ロシア語	ru-RU
英語 (米国)	en-US	セルビア語 (ラテン)	sh-Latn-RS
英語 (米国)	en-US	スロバキア語	sk-SK
英語 (米国)	en-US	スロベニア語	sl-SI
英語 (米国)	en-US	スペイン語 (スペイン)	es-ES
英語 (米国)	en-US	スウェーデン語	sv-SE
英語 (米国)	en-US	タイ語	th-TH
英語 (米国)	en-US	トルコ語	tr-TR
英語 (米国)	en-US	ウクライナ語	uk-UA
英語 (米国)	en-US	ベトナム語	vi-VN
エストニア語	et-EE	英語 (米国)	en-US
フィンランド語	fi-FI	英語 (米国)	en-US
フランス語 (フランス)	fr-FR	英語 (米国)	en-US
ドイツ語	de-DE	ブルガリア語	bg-BG
ドイツ語	de-DE	中国語 (簡体字)	zh-CN
ドイツ語	de-DE	クロアチア語	hr-HR
ドイツ語	de-DE	チェコ語	cs-CZ
ドイツ語	de-DE	英語 (米国)	en-US
ドイツ語	de-DE	フランス語 (フランス)	fr-FR
ドイツ語	de-DE	ハンガリー語	hu-HU
ドイツ語	de-DE	イタリア語	it-IT
ドイツ語	de-DE	ポーランド語	pl-PL
ドイツ語	de-DE	ルーマニア語	ro-RO

翻訳元言語名	翻訳元言語コード	翻訳先言語名	翻訳先言語コード
ドイツ語	de-DE	ロシア語	ru-RU
ドイツ語	de-DE	セルビア語(ラテン)	sh-Latn-RS
ドイツ語	de-DE	スロバキア語	sk-SK
ドイツ語	de-DE	スロベニア語	sl-SI
ドイツ語	de-DE	スペイン語(スペイン)	es-ES
ギリシャ語	el-GR	英語(米国)	en-US
ヘブライ語	he-IL	英語(米国)	en-US
ヒンディー語	hi-IN	英語(米国)	en-US
ハンガリー語	hu-HU	英語(米国)	en-US
イタリア語	it-IT	英語(米国)	en-US
日本語	ja-JP	英語(米国)	en-US
カザフ語	kk-KZ	英語(米国)	en-US
韓国語	ko-KR	英語(米国)	en-US
リトアニア語	lt-LT	英語(米国)	en-US
ラトビア語	lv-LV	英語(米国)	en-US
マレー語	ms-MY	英語(米国)	en-US
ノルウェー語	no-NO	英語(米国)	en-US
ポーランド語	pl-PL	英語(米国)	en-US
ポルトガル語(ブラジル)	pt-BR	英語(米国)	en-US
ルーマニア語	ro-RO	英語(米国)	en-US
ロシア語	ru-RU	英語(米国)	en-US
スペイン語(スペイン)	es-ES	英語(米国)	en-US
セルビア語(ラテン)	sh-Latn-RS	英語(米国)	en-US
スロバキア語	sk-SK	英語(米国)	en-US
スロベニア語	sl-SI	英語(米国)	en-US
スウェーデン語	sv-SE	英語(米国)	en-US
タイ語	th-TH	英語(米国)	en-US
トルコ語	tr-TR	英語(米国)	en-US
ウクライナ語	uk-UA	英語(米国)	en-US
ベトナム語	vi-VN	英語(米国)	en-US
インドネシア語	id-ID	英語(米国)	en-US

関連情報

[languages メソッド \[121 ページ\]](#)

[品質指数 \[32 ページ\]](#)

5.2 SAP Translation Hub の UI の言語

SAP Translation Hub の UI は多言語で使用可能です。

以下に、使用可能な言語の一覧を示します。

- Chinese
- English
- French
- German
- Japanese
- Portuguese
- Spanish

UI の言語の指定

翻訳プロジェクトに対する SAP Translation Hub UI の言語を変更するには、設定メニューで必要な言語を選択します。これには、画面の右上部にある歯車アイコンを選択してアクセスします。

Google Chrome や Mozilla Firefox などの一部のブラウザでは、ブラウザの設定で SAP Translation Hub UI の言語が決定される場合があります。Internet Explorer (バージョン 11 より前) などの他のブラウザでは、オペレーティングシステムの言語によって UI の言語が決定されます。Internet Explorer 11 からは、設定メニューを使用して SAP Translation Hub の言語設定を変更できます。

5.3 サポートされる ABAP オブジェクトタイプ

以下の表は、ソフトウェア翻訳のために SAP Translation Hub でサポートされている ABAP テキスト (短) オブジェクトタイプを示しています。

① 注記

この一覧は、SAP_BASIS 7.58 のシステムに対して適切です。システムのベースリリースレベルがこれより低い場合は、ここに一覧表示されているオブジェクトタイプの一部が含まれていない可能性があります。

オブジェクト名	説明
ACGR	ロール

オブジェクト名	説明
ADSO	(拡張) データストアオブジェクト
BCBS	ByDesign BC セット
BCEL	BAC エlement
BCOS	ビジネスコンフィグレーションオブジェクト (その他)
BCSC	ファクトシートセクション
BEZD	外部キー依存
BSP	BSP テキスト
BSP1	BSP テキストレイアウト (クライアント非依存)
BSP2	BSP テキストレイアウト (クライアント依存)
CA1	インタフェーステキスト (FUGR)
CA2	インタフェーステキスト (FUGS)
CA3	インタフェーステキスト (FUGX)
CA4	インタフェーステキスト (PROG)
CA5	インタフェーステキスト (TRAN)
CA7	インタフェーステキスト (LDBA)
CAD1	開発者インタフェース文書 (FUGR)
CAD2	開発者インタフェース文書 (FUGS)
CAD3	開発者インタフェース文書 (FUGX)
CAD4	開発者インタフェース文書 (PROG)
CAD5	開発者インタフェース文書 (TRAN)
CAD7	開発者インタフェース文書 (LDBA)
CCTH	Control Composite ヘッダ
CCTT	Control Composite テキスト
CHDO	変更文書の定義
CLAS	クラス
CNPA	DMC: 制御パラメータの定義

オブジェクト名	説明
CNTN	DMC: コンテナの定義 (送信者/受信者)
COBJ	DMC: 変換オブジェクトの定義
CODE	コード値
CRWB	バージョンの Crystal Report
DCRW	D バージョン Crystal Report
DDLS	CDS ビュー
DDLT	CDS ビュー (技術テキスト)
DDSO	(拡張) データストアオブジェクト (SAP デリバリ)
DEVC	パッケージ
DHCP	HANA 複合プロバイダ (SAP デリバリ)
DIAL	ダイアログモジュール
DLLC	CRM デザインレイヤ項目ラベル (得意先)
DLLS	CRM デザインレイヤ項目ラベル (SAP)
DOMA	ドメイン
DSEL	動的選択
DTEL	データエレメント
DXCL	D バージョン Xcelsius ダッシュボード
ENQU	ロックオブジェクト
FEL1	項目選択 (FUGR)
FEL2	項目選択 (FUGS)
FEL3	項目選択 (FUGX)
FEL4	項目選択 (PROG)
FLD	項目ラベル
FNC1	機能表題、パラメータ、および例外 (FUGR)
FNC2	関数タイトル、パラメータ、および例外 (FUGS)
FNC3	機能タイトル、パラメータ、および例外 (FUGX)

オブジェクト名	説明
FVAL	DMC: 固定値の定義と標準バリエーション
HCPR	HANA 複合プロバイダ
ホット	HANA オブジェクトテキスト (短)
HSD	HR テキスト (短) (クライアント依存)
HSI	HR テキスト (短) (クライアント非依存)
INDX	索引
INTF	クラスインタフェース
LARS	レポート設定およびバリエーション
LBT1	汎用グループ (FUGR)
LBT2	汎用グループ (FUGS)
LBT3	汎用グループ (FUGX)
LDBT	Logical Databases
LRCS	LRepository クライアント非依存テキスト (短)
LRDS	LRepository クライアント依存テキスト (短)
MCID	マッチコード ID
MCOB	マッチコードオブジェクト
MESS	メッセージ
MSAG	メッセージクラス
MSG	システムメッセージ
NROB	番号範囲
PBUT	押ボタン
PE01	転記エンジンプロジェクト
PE02	転記エンジン領域
PE12	転記エンジンインタフェース
PE14	転記エンジンインタフェースマッピング
PINF	パッケージインタフェース

オブジェクト名	説明
PMES	進捗インジケータ
PROJ	DMC: プロジェクトの定義
PT01	移行プロジェクトテンプレート
PT02	移行オブジェクトテンプレート
RPT1	テキストエレメント (FUGR)
RPT2	テキストエレメント (FUGS)
RPT3	テキストエレメント (FUGX)
RPT4	テキストエレメント (PROG)
RPT6	テキストエレメント (CNTX)
RPT7	テキストエレメント (LDBA)
RPT8	テキストエレメント (CLAS)
RULE	DMC: ルールの定義および実装
SCP1	BC セットタイプ 1
SCP2	BC セットタイプ 2
SCT1	画面制御 (FUGR)
SCT2	画面制御 (FUGS)
SCT3	画面制御 (FUGX)
SCT4	画面制御 (PROG)
SDCT	MIME テキスト
SGPA	SET/GET パラメータ
SHI3	階層ノードテキスト
SHI5	階層の拡張
SHLP	検索ヘルプ
スモ	ソリューション(テキスト(短))
SOTR	OTR テキスト(短)
SPRJ	DMC: サブプロジェクトの定義

オブジェクト名	説明
SQLT	SQL テーブル
SRH1	スクリーンペインタヘッダ (FUGR)
SRH2	スクリーンペインタヘッダ (FUGS)
SRH3	スクリーンペインタヘッダ (FUGX)
SRH4	スクリーンペインタヘッダ (PROG)
SRH8	スクリーンペインタヘッダ (CLAS)
SRT1	スクリーンペインタテキスト (FUGR)
SRT2	スクリーンペインタテキスト (FUGS)
SRT3	スクリーンペインタテキスト (FUGX)
SRT4	スクリーンペインタテキスト (PROG)
SRT8	スクリーンペインタテキスト (CLAS)
SYAG	システムログメッセージ
TABS	UI テーブルテキスト
TABT	テーブルテキスト
TADA	テーブル (アプリケーション - マスタデータおよびトランザクションデータ)
TADC	テーブル (カスタマイジング - カスタマによる更新のみ)
TADE	テーブル (制御 - SAP およびカスタマのキー領域)
TADG	テーブル (カスタマイジング - SAP UPD なし、INS のみ)
TADL	テーブル (一時データのストレージ)
TADS	テーブル (システム - SAP による更新のみ)
TADW	テーブル (システム - 個別移送オブジェクトでの移送)
タイア	テーブル (アプリケーション - マスタデータおよびトランザクションデータ)
テック	テーブル (カスタマイジング - カスタマによる更新のみ)
タイヤ	テーブル (制御 - SAP およびカスタマのキー領域)
TAIG	テーブル (カスタマイジング - SAP UPD なし、INS のみ)

オブジェクト名	説明
テール	テーブル (一時データのストレージ)
テス	テーブル (システム - SAP による更新のみ)
テアウ	テーブル (システム - 個別移送オブジェクトでの移送)
TAX1	テーブルセグメント (技術テキスト)
TITL	タイトル
TKPS	KPI 定義 (テキスト (短))
TLGS	ロック可能論理オブジェクト (テキスト (短))
TOBJ	カスタマイジングオブジェクト
TRAN	Transactions
トロブ	DMC: 変換オブジェクトの定義
TTIT	タブ表題
TTYP	テーブルタイプ
TYPE	データ型グループ
UI5T	SAPUI5 テキストエレメント
UICS	UI デザイナからのオブジェクトのテキスト (短)
UPK	権限プロファイル
UPT	権限
VALU	ドメインの固定値
VARI	レポートバリエント (システム)
VARX	レポートバリエント (ローカル)
VIEW	ビュー
VRBL	DMC: 変数の定義
WDYN	Web Dynpro
XCLS	バージョン Xcelsius ダッシュボード
XDPS	Adobe フォームのテキスト (短)
XINX	拡張索引

オブジェクト名	説明
XLSS	Xrepository のテキスト (短)

6 ソフトウェア翻訳

SAP Translation Hub と Document Translation サービスの機能を組み合わせて、1つのユーザフレンドリなインタフェースとソフトウェア翻訳用の BTP 複数環境バージョンを活用します。

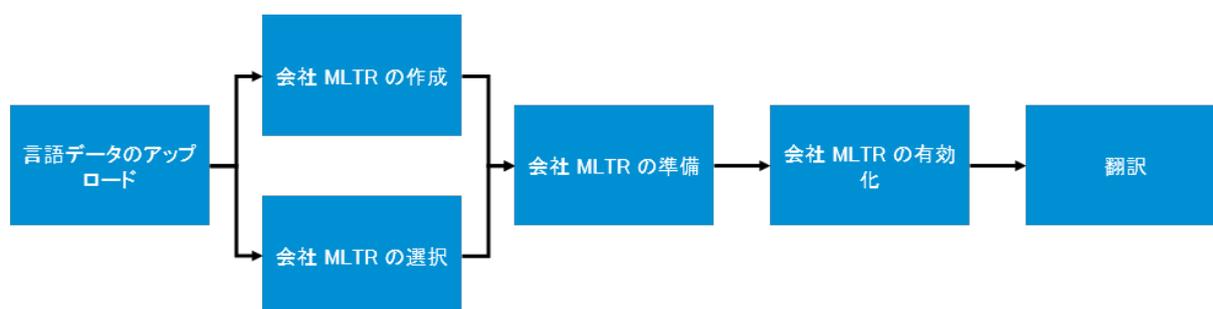
BTP 複数環境バージョンにより、SAP Translation Hub では、ソフトウェア翻訳向け SAP Translation Hub サービスと Document Translation サービスの機能が1つの使いやすいユーザインタフェースにまとめられました。

6.1 独自の言語データの統合

翻訳ワークフローシナリオの一部として、translate API メソッドを使用してテキストを翻訳する場合、SAP Translation Hub では2つの翻訳プロバイダ (SAP 多言語テキストリポジトリ (SAP MLTR) および SAP 機械翻訳 (SAP MT)) が使用されます。

これらの翻訳プロバイダが提案する翻訳では業種や会社に固有の要件を常に満たすとは限らないため、ユーザ独自の言語データを翻訳プロセスに統合できます。独自の言語データを使用するには、追加の翻訳プロバイダとして機能する会社 MLTR を使用します。

SAP Translation Hub で独自の言語データを使用するには、以下のステップが必要です。



- [言語データのアップロード \[63 ページ\]](#)
- [会社 MLTR の作成 \[64 ページ\]](#)
- [独自の言語データを統合する UI へのアクセス \[63 ページ\]](#)
- [会社 MLTR の準備 \[64 ページ\]](#)
- [会社 MLTR の有効化 \[65 ページ\]](#)
- [会社 MLTR によるテキストの翻訳 \[66 ページ\]](#)

以下の動画は、SAP Translation Hub で XLIFF ファイルから独自の言語データを統合する方法を示しています。

関連情報

[独自の言語データを統合する UI へのアクセス \[63 ページ\]](#)

[独自の言語データの統合に関する前提条件 \[58 ページ\]](#)

[地域 \[7 ページ\]](#)

[言語データのアップロード \[63 ページ\]](#)

6.1.1 独自の言語データの統合に関する前提条件

このセクションには、独自の言語データを SAP Translation Hub に統合する前に完了する必要があるタスクが含まれています。

タスク	詳細情報
必要な権限をユーザに付与	独自の言語データの統合に関する権限 [58 ページ]
SAP Translation Hub にアップロードする XLIFF ファイルを準備	XLIFF ファイルの内容および属性 [58 ページ]
ソース ABAP システムでオブジェクト一覧を準備	RFC を使用して ABAP テキスト (短) を翻訳するための前提条件 [70 ページ] の 1. ABAP バックエンドシステムセクションで翻訳のオブジェクト一覧を参照してください。

6.1.1.1 独自の言語データの統合に関する権限

SAP Translation Hub で独自の言語データを使用するには、ユーザが独自の言語データをアップロードし、会社 MLTR を設定するための権限が必要です。

手順

SAP Translation Hub を使用する必要があるユーザに権限が付与されている必要があります。詳細については、[SAP Translation Hub ユーザインタフェースにアクセスする権限をユーザに付与する \[38 ページ\]](#) を参照してください。

6.1.1.2 XLIFF ファイルの内容および属性

SAP Translation Hub が会社 MLTR で使用する XLIFF ファイルを処理できるようにするには、アップロードした XLIFF ファイルが特定の前提条件を満たしている必要があります。

以下のセクションでは、個別の前提条件の概要を示します。属性および構造を確認するには、サンプル XLIFF ファイルを参照してください。

ファイルの属性

- XLIFF ファイルの構造は、XLIFF バージョン 1.2 に準拠している必要があります。
- XLIFF ファイル内のテキストの翻訳元言語は英語またはドイツ語である必要があります。
- 翻訳単位キーがすべての言語ペアのファイルで同一である必要があります。
- アップロードした一連の XLIFF ファイルの翻訳元言語が同一である必要があります。たとえば、英語 - フランス語、英語 - ドイツ語、英語 - スペイン語、ドイツ語 - フランス語、ドイツ語 - スペイン語などがあります。
- それぞれの XLIFF ファイルには翻訳元言語および翻訳先言語のテキストが含まれている必要があります。翻訳単位に `source` タグのみ、または `target` タグのみが含まれている XLIFF をアップロードすることはできません。
- 翻訳単位キーは、会社 MLTR に追加する各 XLIFF ファイルにおいて一意である必要があります。
- 指定のキーの翻訳単位で使用するメタデータは、すべての言語ペアのファイルで同一である必要があります。

① 注記

両方のファイル内のキーが同一であるが、一部の翻訳単位においてメタデータが同一ではない場合は、その会社 MLTR を有効化することはできません。

メタデータ

① 注記

XLIFF ファイルでサポートされるメタデータの例については、サンプル XLIFF ファイルを参照してください。

ファイルレベルのメタデータ

ファイルレベルのメタデータタグは、SAP 固有のメタデータタグで入力しますが、ヘッダタグに埋め込まれています。

{ } コード構文

```
<header>
  <xmlns:metadata xmlns:sxmd="urn:x-sap:mlt:xliff12:metadata:1.0"
  xmlns="urn:x-sap:mlt:tsmetadata:1.0">
    Enter the file-level metadata tags here.
  </xmlns:metadata>
</header>
```

名称	タグ名	説明
オブジェクト名	<code>object-name</code>	開発環境からのオブジェクトの技術名称です。このオブジェクト名は、1 から 70 までの ASCII 文字 (文字コード 0x20 から 0x7e) で構成される必要があります。

名称	タグ名	説明
コレクション	collection	論理的に SAP システムに属する翻訳オブジェクトを共にグループ化するエンティティです。ABAP 開発環境では、コレクションは開発パッケージと同等です。
用語ドメイン	domain	ファイル内のテキストが使用される領域を説明する、SAP 専門用語データベースでの 2 文字のドメインです。サポートされるテキストタイプの一覧を確認するには、 <i>domains</i> メソッドを参照してください。
開発担当者	developer	XLIFF ファイルのテキストに関する質問の開発担当者の名前または ID です。
説明	description	ファイルの説明です。情報提供のみを目的として提供されます。
生成元	origin	XLIFF ファイルの生成元です。たとえば、XLIFF ファイルの生成元のプロパティファイルなどです。

テキスト (翻訳単位) レベルのメタデータ

属性 `xmlns:sap="urn:x-sap:sls-mlt"` をそれぞれの翻訳単位タグに追加します。

名称	タグ名	説明
ID	id	翻訳単位 ID です。
リソースタイプ	restype	キャプションやメニュー項目などのリソースタイプです。
テキストタイプ	sap:sc	テキストタイプの ID。サポートされるテキストタイプの一覧を確認するには、テキストタイプサービスを参照してください。

関連情報

[domains メソッド \[119 ページ\]](#)

[サンプル XLIFF ファイル \[62 ページ\]](#)

[サポート対象の言語コード \[61 ページ\]](#)

[texttypes メソッド \[123 ページ\]](#)

6.1.1.2.1 サポート対象の言語コード

以下の表には、XLIFF ファイルに含めることができる言語コードが示されています。

言語名	言語コード
アラビア語	ar
ブルガリア語	bg
カタロニア語	ca
中国語	zh
中国語 (繁体字)	zh-TW
クロアチア語	hr
チェコ語	cs
デンマーク語	da
オランダ語	nl
英語 (英国)	en-GB
英語	en
エストニア語	et
フィンランド語	fi
フランス語	fr
フランス語 (カナダ)	fr-CA
ドイツ語	de
ギリシャ語	el
ヘブライ語	he
ヒンディー語	hi
ハンガリー語	hu
インドネシア語	id
イタリア語	it
日本語	ja
カザフ語	kk
韓国語	ko
ラトビア語	lv
リトアニア語	lt
マレー語	ms
ノルウェー語	no
ペルシャ語 - パイロット言語	fa
ポーランド語	pl

言語名	言語コード
ポルトガル語 (ブラジル)	pt
ポルトガル語	pt-PT
ルーマニア語	ro
ロシア語	ru
セルビア語	sr
セルビア語 (ラテン)	sh
スロバキア語	sk
スロベニア語	sl
スペイン語 (コロンビア)	es-CO
スペイン語	es
スウェーデン語	sv
タイ語	th
トルコ語	tr
ウクライナ語	uk
ベトナム語	vi

6.1.1.2.2 サンプル XLIFF ファイル

会社 MLTR での使用の要件を満たす XLIFF ファイルの例を示します。

❏ サンプルコード

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<xliff xmlns="urn:oasis:names:tc:xliff:document:1.2" version="1.2">
  <file datatype="plaintext" original="self" source-language="en" target-
language="de">
    <header>
      <sxmd:metadata xmlns:sxmd="urn:x-sap:mlt:xliff12:metadata:1.0"
xmlns="urn:x-sap:mlt:tsmetadata:1.0">
        <object-name>tutorial1</object-name>
        <collection>SHOPS</collection>
        <domain>CA</domain>
        <developer>A180987</developer>
        <description>XLIFF file for shop app</description>
      </sxmd:metadata>
    </header>
    <body>
      <trans-unit id="hello_world" xmlns:sap="urn:x-sap:sls-mlt">
        <source>Hello world!</source>
        <target>Hallo Welt!</target>
      </trans-unit>
      <trans-unit id="file_menu" xmlns:sap="urn:x-sap:sls-mlt"
restype="caption">
        <source>File</source>
        <target>Datei</target>
      </trans-unit>
      <trans-unit id="file_menu_new" xmlns:sap="urn:x-sap:sls-mlt"
restype="menuitem">
```

```
        <source>New</source>
        <target>Neu</target>
    </trans-unit>
    <trans-unit id="file_menu_exit" xmlns:sap="urn:x-sap:sls-mlt"
sap:sc="XMIT">
        <source>Exit</source>
        <target>Beenden</target>
    </trans-unit>
</body>
</file>
</xliff>
```

6.1.2 独自の言語データを統合する UI へのアクセス

独自の言語データの会社 MLTR を管理するための専用 UI を使用します。

この UI には以下の手順でアクセスします。

1. SAP Business Technology Platform コックピットで、[サービス](#)を選択します。
2. [SAP Translation Hub](#) タイルを選択します。
3. ドロップダウンメニューで [Software Translation](#) を選択します。
4. [Software Translation](#) 画面で、ドロップダウンメニューから [Company MLTR](#) を選択します。

関連情報

[SAP Translation Hub の UI の言語 \[49 ページ\]](#)

6.1.3 言語データのアップロード

会社 MLTR で使用するユーザ独自の言語データが XLIFF ファイルに保存されている場合は、そのファイルを SAP Translation Hub にアップロードします。

[XLIFF ファイルの内容および属性 \[58 ページ\]](#) を参照してください。

1. SAP Translation Hub のサービス説明で、[Go to File Upload UI for Company MLTR](#) を選択します。
2. UI の左下にある + 符号を選択します。
3. 同時にアップロードするすべてのファイルに適用する説明を追加します。この説明は、ファイルの目的を簡単に識別するための、自身の参照用です。
4. UI で説明されているオプションを使用して、アップロードするファイルを選択します。
同時にアップロードするファイルの集約された合計サイズが 50MB を超過してはなりません。
5. [Upload](#) を選択します。

関連情報

[独自の言語データを統合する UI へのアクセス \[63 ページ\]](#)

[会社 MLTR の作成 \[64 ページ\]](#)

6.1.4 会社 MLTR の作成

SAP Translation Hub でサポートされる翻訳プロセスでユーザ独自の言語データを使用するには、会社 MLTR を作成します。会社 MLTR では、アップロードされた XLIFF ファイルから取得された言語データを使用できます。

会社 MLTR で使用するデータを準備しておく必要があります ([独自の言語データの統合に関する前提条件 \[58 ページ\]](#) を参照)。

1. Document Translation ユーザインタフェースを使用している場合は、左側の翻訳ハブのドロップダウンメニューから Software Translation ユーザインタフェースに切り替えます。
2. 画面の左下にあるプラス符号 (+) を選択します。
3. XLIFF ファイルに基づいて会社 MLTR を作成します。ABAP オブジェクト一覧は、BTP マルチクラウド上の SAP Translation Hub ではまだサポートされていません。
4. 会社 MLTR のテキスト (短) および内容説明を入力します。

関連情報

[独自の言語データを統合する UI へのアクセス \[63 ページ\]](#)

[会社 MLTR の準備 \[64 ページ\]](#)

6.1.5 会社 MLTR の準備

SAP Translation Hub でサポートされる翻訳プロセスで使用する会社 MLTR を準備するには、その会社 MLTR を必要な参照データにリンクします。会社 MLTR は、XLIFF ファイル、または ABAP システムのオブジェクト一覧を参照可能です。

会社 MLTR を作成しておく必要があります。詳細については、[会社 MLTR の作成 \[64 ページ\]](#) を参照してください。

1. 必要な会社 MLTR を選択します。
2. 会社 MLTR を必要な参照データとリンクします。
 - XLIFF ファイルを追加または削除します。会社 MLTR が少なくとも1つの有効な XLIFF ファイルで構成されるようにします。
 - ABAP オブジェクト一覧を追加または削除します。

関連情報

[独自の言語データを統合する UI へのアクセス \[63 ページ\]](#)

[会社 MLTR の有効化 \[65 ページ\]](#)

6.1.6 会社 MLTR の有効化

SAP Translation Hub での翻訳プロバイダとして会社 MLTR を使用可能にするには、少なくとも 1 つの会社 MLTR を有効化します。

XLIFF ファイルを追加するか、または ABAP オブジェクト一覧を参照して、会社 MLTR の言語データを準備しておく必要があります。詳細については、[会社 MLTR の作成 \[64 ページ\]](#) を参照してください。

XLIFF ファイルに基づいて会社 MLTR を有効化すると、その会社 MLTR に追加した XLIFF ファイルのバージョンと内容が SAP Translation Hub によってチェックされます。XLIFF ファイルにエラーがある場合は、エラーをローカルに修復します。

① 注記

有効化のプロセスが開始されると、SAP Translation Hub による会社 MLTR の処理が終了するまで、会社 MLTR に変更を加えることはできません。

必要な数の会社 MLTR を作成して有効化することができます。特定の翻訳に対していずれの会社 MLTR を使用するかは、翻訳プロジェクト、または translate API メソッドに必要な会社 MLTR を選択して決定します。

会社 MLTR が有効化されると、SAP Translation Hub がサポートする翻訳プロセスにおいて、その会社 MLTR 内の言語データを使用できます。

関連情報

[独自の言語データを統合する UI へのアクセス \[63 ページ\]](#)

[XLIFF ファイルのエラーの修正 \[65 ページ\]](#)

[会社 MLTR によるテキストの翻訳 \[66 ページ\]](#)

6.1.6.1 XLIFF ファイルのエラーの修正

会社 MLTR に追加した XLIFF ファイルが SAP Translation Hub のすべての要件を満たしていない場合は、エラーをローカルに修正してから、そのファイルを再度追加します。

1. XLIFF ファイルを SAP Translation Hub で削除します。
2. エラーをローカルに修復します。たとえば、XLIFF ファイルにある重複しているキーや、不適切な言語コードを削除します。
3. 修正した XLIFF ファイルを SAP Translation Hub にアップロードします。

- 修正した XLIFF ファイルを会社 MLTR に追加し、その会社 MLTR を有効化します。

関連情報

[会社 MLTR の有効化 \[65 ページ\]](#)

[XLIFF ファイルの内容および属性 \[58 ページ\]](#)

[会社 MLTR の作成 \[64 ページ\]](#)

[言語データのアップロード \[63 ページ\]](#)

6.1.7 会社 MLTR によるテキストの翻訳

SAP Translation Hub の翻訳ワークフローシナリオでの翻訳プロバイダとして、または translate API メソッドを利用する場合に、会社多言語テキストリポジトリ (会社 MLTR) を使用できます。

翻訳のプロセスでは、最初に SAP Translation Hub により適合する翻訳が会社 MLTR で検索された後、ABAP を除くすべての場合に他の翻訳プロバイダが使用されます。ABAP シナリオでは、ABAP システムで翻訳済みテキストが検索された後に、会社 MLTR およびその他の翻訳プロバイダから読み込まれることに注意してください。ABAP シナリオ翻訳の詳細については、[RFC を使用した ABAP テキスト \(短\) の翻訳 \[82 ページ\]](#)を参照してください。

関連情報

[translate メソッド \[124 ページ\]](#)

[ソフトウェア翻訳のための SAP Translation Hub の使用 \[67 ページ\]](#)

6.1.8 会社 MLTR の更新

会社 MLTR の内容を更新するには、XLIFF ファイルを追加または削除するか、または ABAP システムでオブジェクト一覧を追加または削除します。

- 使用する新しいまたは更新された XLIFF ファイルがアップロードされている必要があります ([言語データのアップロード \[63 ページ\]](#) を参照)。
 - ABAP バックエンドシステムで、新しいオブジェクト一覧が作成されているか、または既存のオブジェクト一覧が更新されている必要があります ([独自の言語データの統合に関する前提条件 \[58 ページ\]](#) を参照)。
- 更新する会社 MLTR を選択します。
 - 以下のように会社 MLTR の参照データを更新します。
 - XLIFF ファイルを追加または削除します。
 - ABAP システムでオブジェクト一覧を追加または削除します。
 - 会社 MLTR を再有効化します。

関連情報

[独自の言語データを統合する UI へのアクセス \[63 ページ\]](#)

[会社 MLTR の有効化 \[65 ページ\]](#)

[言語データのアップロード \[63 ページ\]](#)

6.2 ソフトウェア翻訳のための SAP Translation Hub の使用

SAP Translation Hub を使用して、統合されたワークフローシナリオの一部としてテキストを翻訳できます。このシナリオにより、テキストの翻訳、翻訳の編集、およびテキストのソースロケーションの更新が可能になります。

翻訳ワークフローを管理するため、SAP Translation Hub では、翻訳するテキストのロケーションや必要な翻訳先言語など、翻訳対象テキストに関するいくつかの情報を必要とします。この情報は、特定の翻訳ワークフローシナリオに固有の翻訳プロジェクトに記録します。ワークフローシナリオは、以下のロケーションに存在するテキストに対して使用できます。

ABAP システム

ファイル

Git リポジトリ

- [ABAP システム \[69 ページ\]](#)
- [ファイル \[84 ページ\]](#)
- [Git リポジトリ \[90 ページ\]](#)

翻訳ワークフローシナリオのメインステップ

いずれかのワークフローシナリオの翻訳プロセスを開始すると、SAP Translation Hub では以下の処理が行われます。

1. 翻訳プロジェクトを読み込みます。
2. 以下の一連の翻訳プロバイダから翻訳を取得します。
 1. 自社マルチリンガルテキストリポジトリ (自社 MLTR)
 2. SAP 多言語テキストリポジトリ (SAP MLTR)
 3. SAP 機械翻訳 (SAP MT)
3. ソース Git リポジトリ、ABAP システム、またはダウンロードしたファイルに翻訳を入力します。

① 注記

ユーザインタフェースにおける長時間実行プロジェクトでタイムアウトの問題を回避するには、パラメータ `Property HTML5.SocketReadTimeoutInSeconds` の値を宛先 `PUBLIC_API_SSO` において 180 秒を超えるように設定します。アカウントレベル宛先では、宛先 `PUBLIC_API_SSO` が事前に設定されます。

関連情報

- [翻訳ワークフローシナリオのアプリケーションへのアクセス \[68 ページ\]](#)
- [RFC を使用する ABAP テキスト \(短\) の翻訳プロジェクトの作成 \[80 ページ\]](#)
- [ファイルの翻訳プロジェクトの作成 \[87 ページ\]](#)
- [Create Translation Projects for Git Repository on SAP Business Technology Platform](#)
- [用語集 \[31 ページ\]](#)
- [翻訳プロジェクトの使用 \[110 ページ\]](#)

6.2.1 パフォーマンスに関するヒント

パフォーマンスの向上に役立つ以下のヒントがあります。

- UI における長時間実行プロジェクトでのタイムアウトの問題を回避するには、宛先 `PUBLIC_API_SSO` でパラメータ `Property HTML5.SocketReadTimeoutInSeconds` を 180 秒より大きい値に設定します。宛先 `Public_API_SSO` には以下のようにアクセスできます。
 - SAP BTP コックピットで、Neo 環境に進みます。
 - コネクティビティメニューで、宛先を選択します。
 - 宛先 `PUBLIC_API_SSO` を検索します。
 - 編集モードに切り替えます。
 - 新しいプロパティ `HTML5.SocketReadTimeoutInSeconds` を追加します。
 - 180 秒より大きい値に更新します。
- 1つの翻訳プロジェクトに1,000を超えるオブジェクトを追加しないようにすることをお奨めします。これは、3つのプロジェクトタイプすべてに適用されます。したがって、使用される ABAP オブジェクト一覧に含まれるオブジェクトが1,000未満であること、および Git またはファイルアップロードシナリオで使用されるファイルがこの制限を超えていないことを確認してください。

6.2.2 翻訳ワークフローシナリオのアプリケーションへのアクセス

ソフトウェア翻訳用の SAP Translation Hub アプリケーションには、SAP BTP コックピットから直接アクセスできます。専用のユーザインタフェースを使用して、翻訳ワークフローシナリオの一部として翻訳プロジェクトを管理し、その後翻訳をレビューおよび編集することができます。

手順

- サブアカウントで、[サービスインスタンスおよびサブスクリプション](#)に移動します。
- サブスクリプションタブで、[SAP Translation Hub](#) アプリケーションを選択します。SAP Translation Hub が Document Translation ウィンドウで開きます。
- 左側のドロップダウンメニューで、[ソフトウェア翻訳](#)を選択します。

ソフトウェア翻訳向け SAP Translation Hub の UI が開き、翻訳プロジェクト一覧が表示されます。

① 注記

ビジネスユーザなどへのリンクを提供する場合、またはリンクをブックマークする場合は、`https://<tenant>.web` の情報を使用します。`<region>.translationhub.cloud.sap/translationhub/`

- `<tenant>` は、アプリケーションをサブスクライブしたサブアカウントのサブドメインを示します。
- `<region>` は SAP BTP 地域を示します (例: EU10 または US10)。

① 注記

カスタム企業 IDP は使用できません。代わりに、IAS テナントの設定時に作成される P ユーザを使用する必要があります。これは、SAP Translation Hub から BTP GIT に接続するためのカスタムテナントで作成されたユーザの使用に関する IAS 制限によるものです。

関連情報

[SAP Translation Hub の UI の言語 \[49 ページ\]](#)

6.2.3 ABAP システム

SAP Translation Hub を使用して、ABAP システムのテキスト (短) オブジェクトを翻訳できます。

ABAP システムで、翻訳するテキストが含まれているオブジェクトをオブジェクト一覧に入力します。オブジェクト一覧は、SAP Translation Hub の翻訳元テキストを表しています。SAP Translation Hub では、ABAP システムに固有の翻訳プロジェクトを作成して、翻訳プロセスを管理します。

① 注記

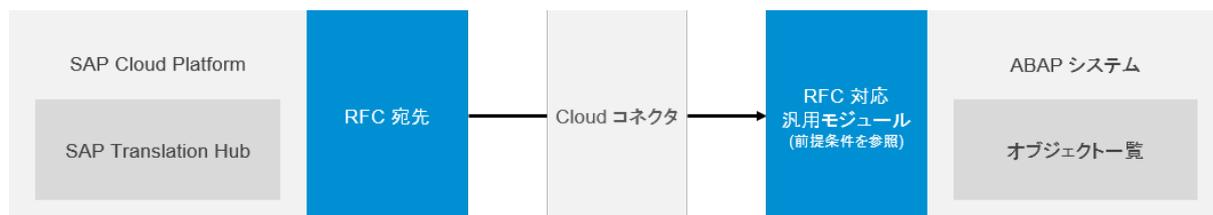
SAP Translation Hub では、ABAP テキスト (短) オブジェクトの翻訳のみがサポートされています。オブジェクト一覧にテキスト (短) ではないオブジェクトが含まれている場合、SAP Translation Hub では単にオブジェクトが無視されます。

SAP Translation Hub を使用して、オブジェクト一覧のオブジェクトのサブセットを翻訳したり、オブジェクト一覧内のすべてのオブジェクトを翻訳して翻訳のサブセットのみを ABAP システムに返送したりすることはできません。

SAP Translation Hub は、リモートファンクションコール (RFC) を使用して ABAP システムのテキストにアクセスします。この 2 つのシステム間の通信は、以下の 3 つの主要部分で構成されています。

- SAP Business Technology Platform コックピットでの RFC 宛先
- Cloud コネクタ
- ABAP システムでの RFC 対応汎用モジュール

以下の図は、ABAP システムの設定の主要部分を示しています。



① 注記

SAP Translation Hub は、比較的少ない ABAP テキスト (短) の翻訳に最適です。翻訳ボリュームが中規模から大規模である場合は、代わりに ABAP システムでレポートを `RS_LXE_MLTR_GET_TEXTS_FOR_OL` 直接実行して、SAP Translation Hub からテキストをフェッチすることをお奨めします。レポートの使用方法については、以下を参照してください。

1. SAP Help Portal () を開きます。 <https://help.sap.com>
2. **SAP S/4HANA** を選択します。
3. 適切なバージョン (2022 など) を選択します。
4. ヘッダ **Product Assistance** で、English または German を選択します。
5. ▶ *Enterprise Technology* ▶ *ABAP Platform* ▶ *Other Services* ▶ *Services for Information Developers and Translators* ▶ *Setting Up and Coordinating Translation* ▶ *Automating Short Text Translation* を選択し、*SAP Translation Hub* を使用したテキスト (短) の翻訳を参照してください。

関連情報

[サポートされる ABAP オブジェクトタイプ \[49 ページ\]](#)

[ABAP シナリオの設定に関するブログ 📝](#)

[RFC を使用する ABAP テキスト \(短\) の翻訳プロジェクトの作成 \[80 ページ\]](#)

[RFC を使用して ABAP テキスト \(短\) を翻訳するための前提条件 \[70 ページ\]](#)

6.2.3.1 RFC を使用して ABAP テキスト (短) を翻訳するための前提条件

SAP Translation Hub を使用して ABAP システムで作成したテキスト (短) を翻訳するには、複数の前提条件が必要です。

→ 推奨事項

さまざまなシステムに必要な設定をより簡単に行うことができるように、ステップを以下の順序で実行します。

1. [ABAP バックエンドシステム \[71 ページ\]](#)
2. [Cloud コネクタ \[74 ページ\]](#)
3. [SAP Business Technology Platform コックピット \[78 ページ\]](#)

6.2.3.1.1 ABAP バックエンドシステム

SAP Translation Hub を使用して ABAP システムで作成したテキスト (短) を翻訳するには、複数の前提条件が必要です。

以下のセクションは、ABAP 翻訳ワークフローの一部として必要なステップを示しています。以下に示す順序でステップを実行することをお奨めします。

1. ユニコードコードページのチェック

システムがユニコードシステムかどうかをチェックします。不明な場合は、以下のいずれかのオプションを使用して確認します。

- トランザクションコード `SNLS` を呼び出します。
- **▶ System ▶ Status... ▶ SAP System Data** を選択する。

2. RFC 対応汎用モジュールのインストール

SAP Translation Hub で ABAP システムの開発オブジェクトのテキストを読み込めるようにするため、ABAP システムに RFC 対応汎用モジュールが必要です。

必要な汎用モジュールは、SAP ノート [2349776](#) に記載されています。

SAP ノートでの更新がユーザのシステムにすでに適用されている場合があるため、必要なサポートパッケージ (SP) がインストールされておらず、SAP ノートが適用されていない場合にのみ、**ノートアシスタント** (SNOTE) トランザクションを使用して SAP ノートを適用します。以下の手順に従って、ポイントをチェックします。

- システム内のソフトウェアコンポーネントのサポートパッケージ (SP) レベルが、`SAP_BASIS` 当 SAP ノートに記載されているバージョン `SAP_BASIS` に対して指定された SP よりも下位です。

❖ 例

システムインストールされた `SAP_BASIS` のバージョンが 740 であり、SP レベルが 15 の場合は、**▶ System ▶ Status...** を選択します。 `SAP System Data` セクションで、`Product Version` フィールドの右にあるボタンを選択します。

SAP ノートの `Support Packages` タブで、更新が SP 16 (SAPKB74016) の一部であることを確認できます。

システムの SP レベル (15) が必要な更新が含まれている SP (16) よりも低いため、**ノートアシスタント** (SNOTE) トランザクションを使用して SAP ノートが適用されているかどうかをチェックします。

- システムの SP レベルが SAP ノートで指定された SP よりも低い場合は、SP によって更新を受信せず、SAP ノートがマニュアルで適用されている可能性があります。確認するには、使用するシステムで `Note Assistant` (SNOTE) トランザクションを呼び出し、SAP ノート 2349776 を検索します。SNOTE で SAP ノートが見つからない場合は、マニュアルで適用します。

3. テクニカルユーザの登録

Cloud コネクタを使用して SAP Translation Hub が ABAP システムと通信できるようにするには、ABAP システムにタイプが *Communications Data* のテクニカルユーザが必要です。追加情報については、[ユーザ管理](#)を参照してください。

4. テクニカルユーザへの権限の割当

テクニカルユーザには、SAP Translation Hub に固有の汎用の権限が必要です。権限およびロール管理に関する一般情報については、[ユーザおよびロール管理の参照文書](#)またはシステムにインストールされている SAP NetWeaver のバージョンに対応する文書を参照してください。

→ ヒント

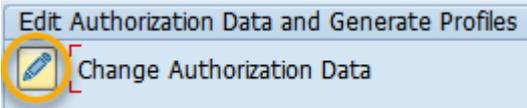
全体像を把握するための参考として述べる、このユーザは、SAP Business Technology Platform コックピットで RFC 宛先を作成する場合に入力するユーザです ([SAP Business Technology Platform コックピット \[78 ページ\]](#)の表を参照)。

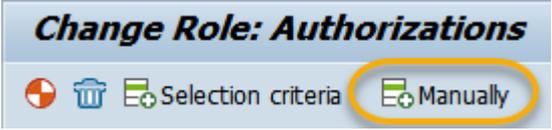
ロール更新 (PFCG) トランザクションのロールによって権限を割り当てることをお奨めします。ロールの作成および必要な権限の割当に関する一般的な文書は、[ロールの作成](#)にあります。これは汎用手順です。SAP Translation Hub に固有の手順は、以下のとおりです。

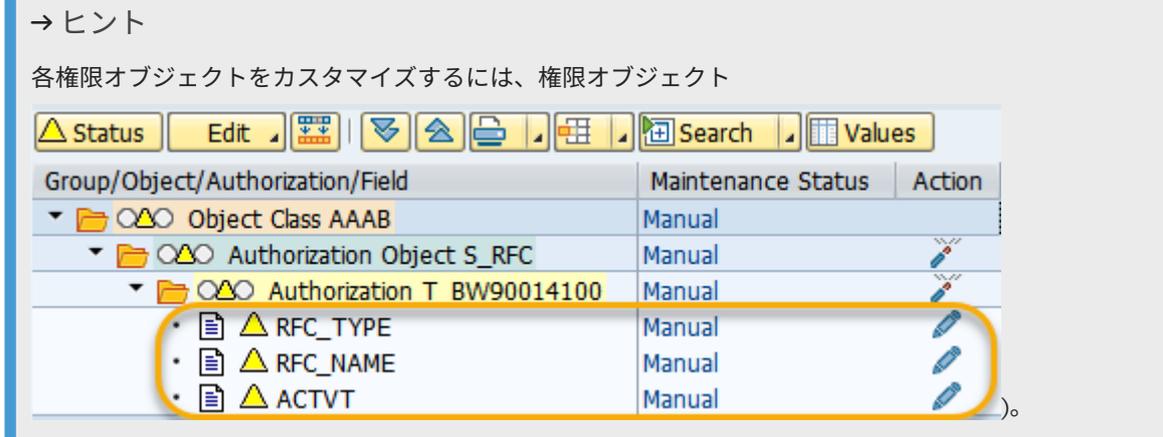
① 注記

テクニカルユーザのロールであるため、[メニュータブ](#)に関連する設定は行わないでください。

1. **ロール更新** (PFCG) トランザクションで、ロールの技術名称を入力し、**単一ロール:**  を選択します。
2. 説明を入力し、ロールを選択します。

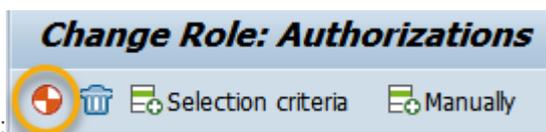
3. **権限** タブで、**権限データ変更:**  を選択します。
後続のダイアログボックスでは、テンプレートを選択しないでください。

4. 権限オブジェクトをロールに追加するには、**マニュアル:**  を選択します。
5. 権限オブジェクト S_RFC および S_ADMI_FCD を入力します。
6. 以下の表のデータを使用して、権限オブジェクトをカスタマイズします。



権限オブジェクト	詳細
S_RFC	<ul style="list-style-type: none"> • RFC_TYPE: FUNC (汎用モジュール) • RFC_NAME: LXE_STH_GET_OBJECT_LISTS, LXE_STH_READ_OBJECT_LIST, LXE_STH_READ_TEXTS, LXE_STH_WRITE_TEXTS, DDIF_FIELDINFO_GET, RFC_GET_FUNCTION_INTERFACE, RFCPING, SYSTEM_RESET_RFC_SERVER, RFC_METADATA, RFC_METADATA_GET • ACTVT: 16 (実行)
S_ADMI_FCD	システムによって提案されたフィールドが S_ADMI_FCD であることをチェックし (システム管理機能)、アクティビティ TRNR を指定します (翻訳管理 SLWA/SLWB)。

7. すべての信号が緑色であることを確認します。緑色ではない場合は、エントリをチェックします。



8. 権限の権限プロファイルを生成するには、生成:  Selection criteria  Manually  を選択します。
- 権限プロファイル名の入力を要求されます。システムによって、カスタマ名前空間で有効な名前が提案されます。エントリを確認するか、独自の名前と説明を入力します。
9. ロールの概要画面に戻って、権限のツリー表示を終了します。
10. ユーザタブを選択し、テクニカルユーザの作成セクションで作成したテクニカルユーザにロールを割り当てます。ロールを割り当てるには、テクニカルユーザのユーザ ID を入力します。
11. ロールを保存します。

5. オブジェクト一覧の登録

翻訳するオブジェクトを含むオブジェクト一覧を登録します。オブジェクト一覧とその登録方法については、以下を参照してください。

1. SAP Help Portal () を開きます。 <https://help.sap.com>
2. **SAP S/4HANA** を選択します。
3. 適切なバージョン (2022 など) を選択します。
4. ヘッダ **Product Assistance** で、English または German を選択します。
5. ▶ [Enterprise Technology](#) ▶ [ABAP Platform](#) ▶ [Other Services](#) ▶ [Services for Information Developers and Translators](#) ▶ [Setting Up and Coordinating Translation](#) ▶ [Creating Worklists and Statistics](#) ▶ を選択し、オブジェクト一覧に関するセクションを参照してください。

6.2.3.1.2 Cloud コネクタ

ABAP システムが SAP Translation Hub にアクセスできるようにするには、Cloud コネクタを使用します。以下のセクションでは、Cloud コネクタのインストールおよび設定に必要なステップについて説明します。

1.Cloud コネクタの理解

初めて Cloud コネクタを使用する場合は、目的と一般的な概念を時間をかけて理解することをお奨めします。詳細については、[Cloud コネクタ](#)を参照してください。

2.Cloud コネクタのインストールと初期設定の実行

1. [インストール](#)で説明されている前提条件が満たされていることを確認します。

① 注記

この文書内のすべての例は、Microsoft Windows のインストールに基づいています。

2. 使用するオペレーティングシステムのインストール手順に従ってください。
3. 次のステップセクションでは、引き続き初期設定 (ログイン、管理者パスワードの変更、およびインストールタイプの選択) を行います。
4. 初期設定の接続パラメータと [HTTPS プロキシの設定セクション](#)の説明に従って使用するサブアカウントの詳細を入力し、初期設定を終了します。

① 注記

サブアカウントに入力するユーザに[クラウドコネクタ管理](#)ロールが割り当てられていることを確認します。接続パラメータと [HTTPS プロキシの設定](#)を参照してください。

5. エントリを保存し、以下の [RFC のアクセス制御の設定セクション](#)に進みます。

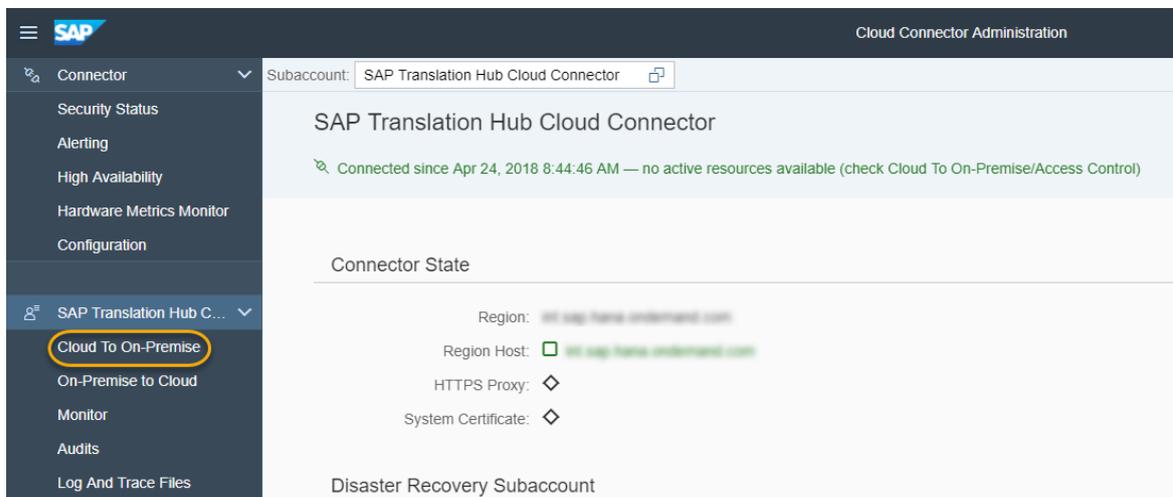
3. RFC のアクセス制御の設定

SAP Translation Hub が ABAP バックエンドシステムにアクセスできるようにするには、RFC プロトコルを使用するように Cloud コネクタを設定します。このステップは以下の 2 つの部分で構成されています。

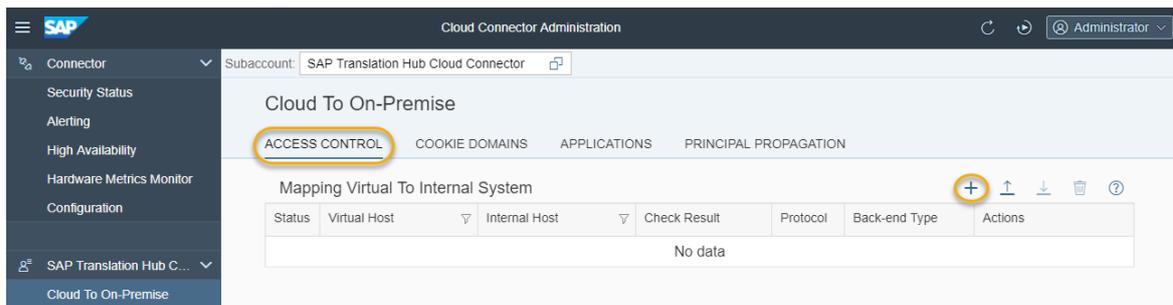
1. ABAP システムへのチャンネルの公開 (A. イン트라ネットシステムの公開を参照)
2. アクセスできる有効な汎用モジュールのリストの作成 (B. 汎用モジュールへのアクセスの許可を参照)

A. イン트라ネットシステムの公開

1. 前のステップで Cloud コネクタにログオンしていない場合は、ログオンします。
2. 左側のメニューで、必要なサブアカウントを展開し、*Cloud To On-Premise* を選択します。



3. *ACCESS CONTROL* タブで、オンプレミス ABAP システムに内部チャンネルを公開するように Cloud コネクタを設定します。プラス (+) 記号を選択します。



4. *Add System Mapping* ダイアログボックスのステップを実行します。

① 注記

Add System Mapping ダイアログで、負荷分散を使用するかどうかを選択します。各オプションに異なるエントリが必要なため、オプションごとにセクションがあります。ABAP システムで使用するオプションを選択します。選択するオプションによって、SAP Business Technology Platform コックピットで行う設定が異なります。

With load balancing (system ID and message server)

ステップ A	
フィールド	エントリ
<i>Back-End Type</i>	ABAP システム
ステップ B	
フィールド	エントリ
<i>Protocol</i>	RFC
ステップ C	
フィールド	エントリ
<i>Connection Type</i>	With load balancing (system ID and message server)
ステップ D	
フィールド	エントリ
<i>Message Server</i>	SAPGUI ログオンウィンドウでシステムエントリのプロパティに示されているメッセージサーバを入力します。
<i>System ID</i>	ABAP システムの 3 文字のシステム ID を入力します。
<i>SAProuter</i> (オプション)	このエントリはオプションです。
ステップ E	
フィールド	エントリ
<i>Virtual Message Server</i>	デフォルトのエントリを使用します。
<i>Virtual System ID</i>	デフォルトのエントリを使用します。
ステップ F	
フィールド	エントリ
説明	オプション: 設定の目的を簡単に記録できるように、説明を入力します。

最終画面にエントリの概要が表示されます。この段階で接続をチェックする場合は、[Check Internal Host](#) を選択します。

完了を選択します。

Without load balancing (application server and instance number)

ステップ A	
フィールド	エントリ
<i>Back-End Type</i>	ABAP システム
ステップ B	
フィールド	エントリ
<i>Protocol</i>	RFC

ステップ C

フィールド	エントリ
<i>Connection Type</i>	<i>Without load balancing (application server and instance number)</i>

ステップ D

フィールド	エントリ
<i>Application Server</i>	SAPGUI ログオンウィンドウでシステムエントリのプロパティに示されているメッセージサーバを入力します。
<i>Instance Number</i>	SAPGUI ログオンウィンドウでシステムエントリのプロパティに示されているインスタンス番号を入力します。
<i>SAProuter</i> (オプション)	このエントリはオプションです。

ステップ E

フィールド	エントリ
<i>Virtual Application Server</i>	デフォルトのエントリを使用します。
<i>Virtual Instance Number</i>	デフォルトのエントリを使用します。

ステップ F

フィールド	エントリ
説明	オプション: 設定の目的を簡単に記録できるように、説明を入力します。

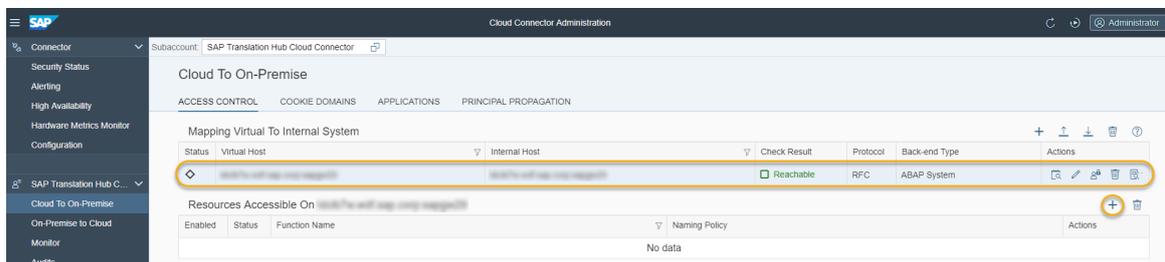
最終画面にエントリの概要が表示されます。この段階で接続をチェックする場合は、*Check Internal Host* を選択します。

完了を選択します。

B. 汎用モジュールへのアクセスの付与

特定のホストおよびポートへのアクセスを許可する他に、そのホストでどの汎用モジュール (Cloud コネクタではリソースと呼ばれる) を呼び出すことができるかを指定します。

1. A で登録したエントリを含む行を選択します。イントラネットシステムを公開し、*Resource Available On* <message serversystem>< ID>: というタイトルのセクションでプラス記号を選択します。



2. Cloud コネクタで呼び出すことができる汎用モジュールを指定するには、以下のデータを入力します。

フィールド	エントリ
<i>Function Name</i>	LXE_ (注記: これは SAP Translation Hub マルチクラウドバージョンで変更されており、このバージョンと同じである必要があります。)
<i>Enabled</i>	チェックボックスを選択します。
<i>Naming Policy</i>	<i>Prefix</i>
説明	オプション: SAP Translation Hub の汎用モジュール 。

3. エントリを保存します。

6.2.3.1.3 SAP Business Technology Platform コックピット

SAP Translation Hub が Cloud コネクタを使用して ABAP システムにアクセスできるようにするには、ABAP システムに作成したテクニカルユーザのユーザ名とパスワードで構成されるリモートファンクションコール (RFC) 宛先が必要です。

使用する ABAP システムごとにサブアカウントレベルで1つの RFC 宛先が必要です。以下の手順に従って、宛先を作成します。

1. SAP Business Technology Platform コックピットで、グローバルアカウントの必要なサブアカウントに移動します。
2. 左側のナビゲーション構造で、**コネクティビティ > 宛先** を選択します。
3. 以下のプロパティを使用して新規宛先を作成します。

フィールド	エントリ
名前	<><ABAP システムの <i>STH_ABAP システム ID_client</i> > ❖ 例 • エンタープライズアカウント: <i>STH_A32_400</i>
<i>Type</i>	<i>RFC</i>
説明	オプション: RFC 宛先の説明を入力します。
ロケーション ID	不要
<i>User</i>	ABAP バックエンドシステムで作成したテクニカルユーザのユーザ ID を入力します。
<i>Password</i>	ABAP バックエンドシステムで作成したテクニカルユーザのパスワードを入力します。
リポジトリのユーザ	不要
リポジトリのパスワード	不要

いくつかの追加のプロパティも必要です。必要な追加プロパティは、Cloud コネクタでアクセス制御を設定する際に選択する負荷分散オプションによって異なります (の [Cloud コネクタ \[74 ページ\]](#) **RFC のアクセス制御の設定 >> イン트라ネットシステムの公開** を参照)。負荷分散オプションから開始します。

With load balancing (system ID and message server)

プロパティ	値
<code>jco.client.client</code>	<p>オンプレミス ABAP システムのクライアントを 3 桁の数字で入力します。</p> <p>プロパティの詳細については、ユーザログオンプロパティを参照してください。</p>
<code>jco.client.mshost</code>	<p>Cloud コネクタで入力したメッセージサーバを入力します。 Cloud コネクタ [74 ページ]の RFC のアクセス制御の設定を参照してください。</p> <p>プロパティの詳細については、ターゲットシステムの設定の負荷分散設定セクションを参照してください。</p>
<code>jco.client.r3name</code>	<p>ABAP システムの 3 文字のシステム ID を入力します。</p> <p>プロパティの詳細については、ターゲットシステムの設定の負荷分散設定セクションを参照してください。</p>
<code>jco.client.group</code>	<p>ユーザが属する ログオングループ を入力します。</p> <p>例: USER、PUBLIC</p> <p>ユーザに RFC 汎用モジュール RFC_METADATA_GET を実行する権限があることを確認してください。</p>

Without load balancing (application server and instance number)

プロパティ	値
<code>jco.client.client</code>	<p>オンプレミス ABAP システムで使用されるクライアント (3 桁の数字) を入力します。</p> <p>プロパティの詳細については、ユーザログオンプロパティを参照してください。</p>
<code>jco.client.ashost</code>	<p>Cloud コネクタでアプリケーションサーバとして入力したメッセージサーバを入力します。 Cloud コネクタ [74 ページ]の RFC のアクセス制御の設定を参照してください。メッセージサーバを使用しない場合は、仮想ホスト名の最初の部分を入力します。</p> <p>プロパティの詳細については、ターゲットシステムの設定を参照してください。</p>
<code>jco.client.sysnr</code>	<p><code>sapgw<##></code> から 2 桁のシステム番号を入力します。## は、クラウドコネクタでインスタンス番号として入力した 2 桁のシステム番号です。 Cloud コネクタ [74 ページ]の RFC のアクセス制御の設定セクションを参照してください。</p> <p>プロパティの詳細については、ターゲットシステムの設定を参照してください。</p>

4. エントリを保存します。

6.2.3.2 RFC を使用する ABAP テキスト (短) の翻訳プロジェクトの作成

SAP Translation Hub では、翻訳プロジェクトを使用して、ABAP システムで生成されたオブジェクト一覧に由来するテキスト (短) の翻訳ワークフローを管理します。SAP Translation Hub は、リモートファンクションコール (RFC) を使用して、選択した ABAP システムと直接通信します。

[RFC を使用して ABAP テキスト \(短\) を翻訳するための前提条件 \[70 ページ\]](#) を参照してください。

ABAP システムで作成されたテキスト (短) を翻訳するために、SAP Translation Hub では、ABAP システム内のテキストが含まれているオブジェクト一覧や、必要な翻訳先言語などの詳細情報を必要とします。

1. タイプとして [ABAP プロジェクト](#) を選択して、翻訳プロジェクトを作成します。
2. 以下のデータを入力します。

フィールド	エントリ
プロジェクト名	翻訳プロジェクトの名前 (例: <code>objectlist01</code>) を入力します。選択した ABAP システムからのオブジェクト一覧を特定できる名前を使用することをお奨めします。
ABAP システム	テキストを翻訳する ABAP システムを選択します。
	<p>① 注記</p> <p>ドロップダウンにサブスクリプションレベルで設定されたシステムと表示されているでしょうか? これは、ABAP システムの RFC 宛先がサブアカウントレベルではなく、サブスクリプションレベルで作成されていることを意味します。詳細については、前提条件の SAP Business Technology Platform コックピット セクションを参照してください。</p>
オブジェクト一覧	翻訳する翻訳元テキストを含むオブジェクト一覧を選択します。オブジェクト一覧を選択するには、フィールドの値ヘルプを開き、ID またはオブジェクト一覧の説明で、必要に応じてワイルドカード (*) を使用して検索します。検索では大文字/小文字が区別されます。
	<p>① 注記</p> <p>検索のパフォーマンスを向上させるには、ID または説明のどちらかのみで検索します。ID および説明の特定の検索フィールドにアクセスするには、フィルタバー を表示を選択します。</p>
ドメイン	翻訳元テキストのアプリケーションエリアまたはビジネスコンテキストに最も近い翻訳ドメインを選択します (例: 財務会計 または ロジスティクス)。
	<p>→ ヒント</p> <p>ドメインや類似のコンセプトを使用せず、選択する項目が不確かな場合は、一般 をお奨めします。</p>
翻訳元言語	ソースファイル内のテキストの翻訳対象にする翻訳元言語を選択します。詳細については、 サポートされている言語 [44 ページ] を参照してください。
翻訳先言語	オブジェクト一覧のテキストの翻訳先にする翻訳先言語を選択します。
	<p>① 注記</p> <p>パフォーマンスを改善するため、必要な翻訳先言語のみを選択します。</p>

フィールド	エントリ
後編集必須	2ステッププロセスを使用して翻訳をチェックするかどうかを決定します。このオプションにより、レビューステップの前に専用の事後編集ステップを実行できるようになります。これらのステップと各テキストに対応するライフサイクルステータスを使用して、事後編集およびレビュープロセスを管理します。このオプションを有効にする場合は、 レビュー必須 も有効にしてください。詳細については、事後編集およびレビューステップの管理を参照してください。
レビュー必須	少なくとも1つのステップを使用して翻訳をチェックするかどうかを決定します。レビューステップは、単独で使用することも、2ステッププロセスの一部として事後編集後に使用することもできます。これらのステップと各テキストに対応するライフサイクルステータスを使用して、事後編集およびレビュープロセスを管理します。詳細については、事後編集およびレビューステップの管理を参照してください。
社内 MLTR の使用	ユーザ独自の言語データが含まれている会社 MLTR を翻訳プロバイダとして使用するかどうかを決定します。
社内 MLTR の選択	会社 MLTR を使用することを決定した場合は、使用する MLTR を選択する必要があります。翻訳プロジェクトごとに1つの会社 MLTR を選択できます。有効な会社 MLTR のみが選択可能です。
4 桁の対象ファイル	このオプションを選択して、翻訳先ファイルを 4 桁の言語コード (ja_JP や de_DE など) で作成します。このオプションを選択しない場合、翻訳先ファイルは 2 桁の言語コード (ja や de など) を使用して作成されます。

3. 翻訳プロジェクトを保存します。

翻訳プロジェクトには、ABAP システムのオブジェクト一覧に由来するテキストを翻訳するために必要なデータが含まれています。

① 注記

一度プロジェクトを作成すれば、そのプロジェクトを編集して、翻訳先言語をさらに追加できます。翻訳プロジェクトでテキストを翻訳した後に翻訳先言語をさらに追加しても、既存の翻訳先言語の翻訳は維持されます (一度その言語を削除した後で追加すると、以前翻訳したものが表示されます)。

関連情報

[翻訳ワークフローシナリオのアプリケーションへのアクセス \[68 ページ\]](#)

[独自の言語データの統合 \[57 ページ\]](#)

[事後編集およびレビューステップの管理 \[106 ページ\]](#)

[品質指数 \[32 ページ\]](#)

[サポートされている言語 \[44 ページ\]](#)

[RFC を使用する ABAP テキスト \(短\) の翻訳 \[82 ページ\]](#)

[RFC を使用する ABAP システムにおける翻訳の更新 \[84 ページ\]](#)

6.2.3.3 RFC を使用する ABAP テキスト (短) の翻訳

SAP Translation Hub の翻訳ワークフローの一環として、ABAP システムに作成されたテキスト (短) を翻訳するには、翻訳プロジェクトを使用します。

[RFC を使用して ABAP テキスト \(短\) を翻訳するための前提条件 \[70 ページ\]](#) に説明されている設定を行う必要があります。翻訳対象テキストを含む ABAP オブジェクトリストの翻訳プロジェクトが存在している必要があります。

翻訳プロジェクトの SAP Translation Hub UI で、翻訳対象オブジェクトリストを参照している翻訳プロジェクトを選択します。次に、画面の右下にある翻訳オプションのいずれかを選択します。

必要な処理	選択するオプション	後続のタスク
テキストを翻訳して、ABAP システムをただちに更新します。ABAP システムを更新する前に翻訳をレビューする必要はありません。	Translate and Transfer	ただし、 Translations タブで翻訳をチェックすることは可能です。
<p>注記</p> <p>ABAP システム内にあるテキストの既存の翻訳は上書きされます。</p>		
テキストを翻訳し、レビューします。一部のテキストは難しいため、ABAP を更新する前に、翻訳が一定の水準に達していることを確認する必要があります。	コンテキストメニューの Translate and Transfer ボタンで、 Translate Without Transfer to ABAP を選択します。	Translations タブで翻訳をレビューします。翻訳に納得した後、 Transfer to ABAP を選択して、翻訳を ABAP システムに転送します。

取り消された翻訳プロジェクトの処理

特定の状況では、翻訳プロジェクトの取消を決定する場合や、接続の問題で処理が取り消される場合があります。これらの場合には、その翻訳プロジェクトをさらに処理する前に、使用可能な翻訳を ABAP システムに転送することをお奨めします。使用可能な翻訳を ABAP システムに転送することで、SAP Translation Hub で同じテキストが再度翻訳されなくなります。また、エンタープライズアカウントの場合は、この処理により、同一の翻訳に対して再度請求されなくなります。

例

ABAP 翻訳プロジェクトの翻訳プロセスを開始します。翻訳プロジェクトの 30% のみが翻訳済である場合に、その翻訳プロセスを取り消します。

使用可能な翻訳を ABAP システムに最初に転送することなく、同じ翻訳プロジェクトの翻訳プロセスを再度開始すると、SAP Translation Hub ではテキストが再度翻訳されます。エンタープライズアカウントの場合は、この翻訳に対して再度請求されます。

この状況を回避するには、翻訳プロジェクトを取り消した後に、使用可能な翻訳を ABAP システムに転送することをお奨めします。翻訳プロジェクトの再度の開始は、必ず翻訳を ABAP システムに転送した後に行います。

翻訳元テキストは、翻訳プロジェクトで指定された翻訳先言語に翻訳され、ABAP システムに転送されます。ABAP システムでは、RFC ユーザによる翻訳としてログに記録されます。

翻訳のレビュー

プロジェクト内の翻訳を表示または変更するには、[Translations](#) タブを選択します。翻訳プロジェクト内のすべての翻訳、およびテキストごとに SAP Translation Hub が使用する翻訳プロバイダが表示されます。オブジェクト一

覧内の一部のテキストがユーザの ABAP システムですでに翻訳されている場合、SAP Translation Hub ではそのテキストを再度翻訳しません。その場合、翻訳プロバイダとして **ABAP** が表示されます。

① 注記

ABAP システムオブジェクトには、複数のテキストエレメントを含めることができます。たとえば、データエレメントには、長さの異なる複数のラベルと 1 つの内容説明が含まれています。翻訳プロジェクトでは、1 つのオブジェクトに属するすべてのテキストエレメントが表示されます。つまり、すべてのテキストエレメントのオブジェクト名が同じになります。また、ABAP システムでの定義に従って、**DTEL** などのオブジェクトタイプ、および各フィールドの長さも表示されます。

長さ制限の考慮

SAP Translation Hub は、ABAP システムのオブジェクトで各テキストに定義されている最大長を使用して、正しい長さの翻訳を検索します。この機能は、SAP Translation Hub が SAP 多言語テキストリポジトリ (SAP MLTR) から取得したテキストに対してのみ適用されることに注意してください。SAP Translation Hub が ABAP システムで定義されている長さ制約内の翻訳を見つけられない場合は、テキストを短縮し、短縮したことを示す括弧 (...) を付加します。

翻訳の品質の表示

品質指数は、翻訳の品質の判断に役立ちます。0 から 100 の段階で、数値が高いほど品質が良くなります。詳細については、品質指数を参照してください。

翻訳の更新

翻訳のいずれかを変更する場合は、翻訳プロジェクトの変更内容を保存し、その変更を ABAP システムにマニュアルで転送します。

例

ABAP テキスト (短) の翻訳方法の概要については、YouTube で以下のビデオを参照してください。

関連情報

[翻訳ワークフローシナリオのアプリケーションへのアクセス \[68 ページ\]](#)

[RFC を使用する ABAP テキスト \(短\) の翻訳プロジェクトの作成 \[80 ページ\]](#)

[RFC を使用する ABAP システムにおける翻訳の更新 \[84 ページ\]](#)

[品質指数 \[32 ページ\]](#)

6.2.3.4 RFC を使用する ABAP システムにおける翻訳の更新

SAP Translation Hub UI を使用して、SAP Translation Hub によって翻訳ワークフロー中に作成された翻訳を追加または変更し、翻訳を ABAP システムに直接プッシュできます。

SAP Translation Hub の翻訳ワークフローを使用して、ABAP オブジェクト一覧からのテキストを翻訳しておく必要があります。

翻訳ワークフローの使用時に、SAP Translation Hub によって、ABAP オブジェクト一覧のテキストの翻訳が翻訳先言語ごとに格納されます。必要に応じて、翻訳を作成または更新してから、ABAP システムにプッシュして戻すことができます。

① 注記

このプロセスによって、ABAP システムに由来する既存の翻訳が上書きされます。ABAP システムで翻訳を追加または調整する場合、これらの変更を維持する場合は、このことに注意してください。

1. SAP Translation Hub UI で、翻訳を更新する ABAP プロジェクト一覧を参照している翻訳プロジェクトを選択します。
2. *Translations* タブを選択します。

SAP Translation Hub には、翻訳プロジェクトに定義されている言語が、オブジェクト一覧の翻訳元テキストおよびその翻訳とともに表示されます。

3. 翻訳をチェックまたは更新する翻訳先言語を選択します。
4. *Translated Text* 列で、必要に応じて翻訳を更新します。

翻訳プロバイダが更新され、SAP Translation Hub によって入力されたテキストを変更したことが示されます。ユーザ名も技術名の下に表示されるので、**you** が翻訳を変更したことが示されます。

5. 変更を保存します。

他の翻訳先言語の翻訳を変更する必要がある場合は、翻訳先言語ごとに前のステップを繰り返します。

6. 翻訳の変更を ABAP システムで更新するには、*Transfer to ABAP* を選択します。

関連情報

[翻訳ワークフローシナリオのアプリケーションへのアクセス \[68 ページ\]](#)

[RFC を使用する ABAP テキスト \(短\) の翻訳プロジェクトの作成 \[80 ページ\]](#)

[RFC を使用する ABAP テキスト \(短\) の翻訳 \[82 ページ\]](#)

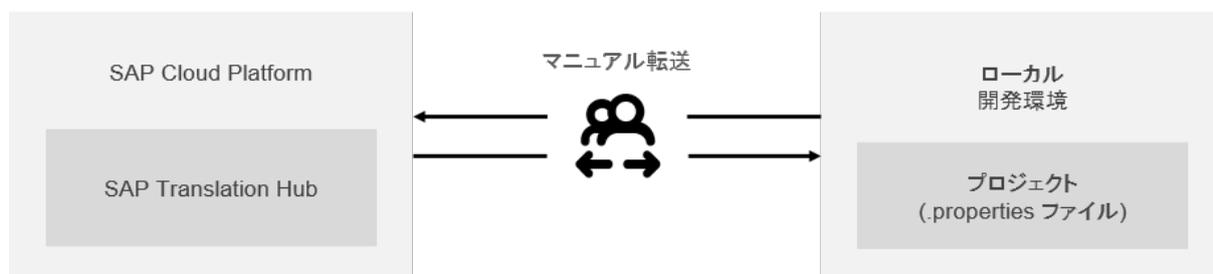
6.2.4 ファイル

SAP Translation Hub を使用すると、マニュアルでアップロードしたファイルの内容を翻訳できます。

一般的なシナリオでは、特定の開発環境でアプリケーションを開発し、翻訳対象のテキストをリソースファイルに格納します。リソースファイルの例には、`.properties` ファイルや `.xliff` ファイルがあります。SAP Translation Hub では、アップロードするファイルの翻訳プロジェクトを作成して、翻訳プロセスを管理します。

ファイルの内容を翻訳するには、そのファイルをローカル開発環境から SAP Translation Hub の翻訳プロジェクトにアップロードします。SAP Translation Hub により翻訳プロジェクト内のテキストが翻訳された後に、翻訳されたファイルをダウンロードして、ローカル開発環境にインポートします。

以下の図には、ファイルアップロードのシナリオの概要が示されています。



関連情報

[ファイルの翻訳プロジェクトの作成 \[87 ページ\]](#)

[サポート対象のファイル形式 \[85 ページ\]](#)

6.2.4.1 サポート対象のファイル形式

SAP Translation Hub を使用して、以下の形式のファイルを翻訳できます。

ファイル書式	ファイル拡張子	サポートされるエンコーディング	追加情報
Android XML	.xml	UTF-8	なし。
一般 XLIFF	.xlf、.xliff	UTF-8	XLIFF バージョン 1.2 がサポートされています。
iOS 文字列	.strings	UTF-8	なし。
iOS XLIFF	.xlf、.xliff	UTF-8	なし。
Java プロパティ	.properties	UTF-8	ISO-8859-1 でエンコードされたソースファイルを使用できますが、翻訳ファイルは UTF-8 でエンコードされます。ISO-8859-1 との互換性のため、翻訳プロジェクトを作成するには <i>Escape Non-ASCII characters</i> オプションを使用します。

ファイル書式	ファイル拡張子	サポートされるエンコーディング	追加情報
JSON	.json	UTF-8	<p>↔ コード構文</p> <pre>{ "key1": "value1", "key2": "value2" }</pre> <p>↔ サンプルコード</p> <pre>{ "okButton": "OK", "cancelButton" : "Cancel" }</pre> <p>① 注記</p> <p>JSON ファイルに以下のいずれかが含まれている場合:</p> <ul style="list-style-type: none">• 変数• タグ• ホワイトスペース <p>この例では、次のようになります。</p> <p>↔ サンプルコード</p> <pre><p>Clicking <span #{fi eldname} I{fieldicon } quits the transaction .</p></pre> <p>正しく翻訳されるように、JSON ファイルを XLIFF ファイルに変換す</p>

ファイル書式	ファイル拡張子	サポートされるエンコーディング	追加情報
			<p>ることをお奨めします。 変換に役立つツールが用意されています。</p>
SAP HANA テキストバンドル	.hdtextbundle	UTF-8	なし。
SAP Smart Business サービス用の XLIFF	.xlf	UTF-8	なし。

6.2.4.2 ファイルの翻訳プロジェクトの作成

SAP Translation Hub では、さまざまな形式のファイルをアップロードして翻訳できます。

ファイルのエンコーディングが SAP Translation Hub でサポートされていること ([サポート対象のファイル形式 \[85 ページ\]](#) を参照)。

1. タイプとして **ファイルのアップロード** を選択して、翻訳プロジェクトを作成します。
2. 以下のデータを入力します。

フィールド	エントリ
プロジェクト名	翻訳プロジェクトを表す名前を入力します。
非 ASCII 文字のエスケープ	<p>ダウンロードした翻訳済ファイルで機械可読テキストを表示する場合はこのオプションを選択します。ファイルに、非 ASCII 文字に対してユニコードエスケープシーケンスが組み込まれるようになります (¥uxxxx)。これが必要なのは、翻訳で ISO-8859-1 エンコードの Java プロパティファイルが関連し、コンテンツを解釈する必要がある場合のみです。</p> <p>このオプションを選択しない場合 (デフォルト)、翻訳済みファイルには人間可読のテキストが含まれます。</p>
ドメイン	<p>翻訳元テキストのビジネスコンテキストに最も近い翻訳ドメインを選択します (例: 財務会計 または ロジスティクス)。</p> <p>→ ヒント</p> <p>ドメインや類似のコンセプトを使用せず、選択する項目が不確かな場合は、一般をお奨めします。</p>
翻訳元言語	ソースファイル内のテキストの翻訳対象にする翻訳元言語を選択します。詳細については、 サポートされている言語 [44 ページ] を参照してください。
翻訳先言語	ソースファイル内のテキストの翻訳先にする翻訳先言語を選択します。
	<p>① 注記</p> <p>パフォーマンスを改善するため、必要な翻訳先言語のみを選択します。</p>

フィールド	エントリ
後編集必須	2ステッププロセスを使用して翻訳をチェックするかどうかを決定します。このオプションにより、レビューステップの前に専用の事後編集ステップを実行できるようになります。これらのステップと各テキストに対応するライフサイクルステータスを使用して、事後編集およびレビュープロセスを管理します。このオプションを有効にする場合は、 レビュー必須 も有効にしてください。詳細については、事後編集およびレビューステップの管理を参照してください。
レビュー必須	少なくとも1つのステップを使用して翻訳をチェックするかどうかを決定します。レビューステップは、単独で使用することも、2ステッププロセスの一部として事後編集後に使用することもできます。これらのステップと各テキストに対応するライフサイクルステータスを使用して、事後編集およびレビュープロセスを管理します。詳細については、事後編集およびレビューステップの管理を参照してください。
社内 MLTR の使用	ユーザ独自の言語データが含まれている会社 MLTR を翻訳プロバイダとして使用するかどうかを決定します。
社内 MLTR の選択	会社 MLTR を使用することを決定した場合は、使用する MLTR を選択する必要があります。翻訳プロジェクトごとに1つの会社 MLTR を選択できます。有効な会社 MLTR のみが選択可能です。
4桁の対象ファイル	このオプションを選択して、翻訳先ファイルを4桁の言語コード (ja_JP や de_DE など) で作成します。このオプションを選択しない場合、翻訳先ファイルは2桁の言語コード (ja や de など) を使用して作成されます。

① 注記

一部の言語は、常に4桁のコードで表されます。それらのコードは、アスタリスクでマークされた以下の一覧で確認できます。[サポートされている言語 \[44 ページ\]](#)。

3. 翻訳プロジェクトを保存します。
4. 入力ヘルプを使用してファイルを選択するか、またはプロジェクトの詳細画面にファイルを直接ドラッグ & ドロップして、ファイルをアップロードします。

翻訳プロジェクトには、ソースファイルのテキストを翻訳するために必要なデータが含まれています。

翻訳プロジェクトを作成したら、以下の点に注意します。

- ソースファイルのタイプを変更することはできません。
- 翻訳先言語をさらに追加できますが、SAP Translation Hub で追加の翻訳先言語を登録できるようにするには、ソースファイルを再度アップロードする必要があります。
- ソースファイルは何度もアップロード可能で、ソースファイルを別のファイルで置き換えることもできます。ただし、別のファイルをアップロードすると、プロジェクトの翻訳元テキストが、アップロードした新しいファイルの翻訳元テキストで置き換えられます。そのプロジェクトで実行した翻訳はすべて削除されます。作業内容を失わないようにするには、別のソースファイルをアップロードする前に翻訳をエクスポートします。詳細については、ファイルの翻訳を参照してください。
- ABAP ベースの XLIFF ファイルを使用する場合、通常、複数の .xlf ファイルが存在します。これは、エクスポートプロセス中に、ABAP システムによって言語ペアごとに1つのファイルが生成されるためです。これらのファイルの1つのみをアップロードします。任意のファイルをアップロードできます。SAP Translation Hub では、XLIFF ファイルに含まれている翻訳はどれもインポートしません。

関連情報

[翻訳ワークフローシナリオのアプリケーションへのアクセス \[68 ページ\]](#)

[独自の言語データの統合 \[57 ページ\]](#)

[事後編集およびレビューステップの管理 \[106 ページ\]](#)

[品質指数 \[32 ページ\]](#)

[サポートされている言語 \[44 ページ\]](#)

[ファイルの翻訳 \[89 ページ\]](#)

[ファイルでの翻訳の更新およびダウンロード \[90 ページ\]](#)

6.2.4.3 ファイルの翻訳

SAP Translation Hub の翻訳ワークフローの一環として、サポートされている形式のファイルを翻訳するには、翻訳プロジェクトを使用します。

翻訳するテキストを含むソースファイルの翻訳プロジェクトが存在している必要があります。

翻訳プロジェクトの SAP Translation Hub UI で、翻訳するソースファイルを参照している翻訳プロジェクトを選択し、*Get Translations* を選択します。

ファイルを翻訳する方法の概要を知るには、Java プロパティファイルを翻訳する方法を示す以下のビデオをチェックします。

翻訳元テキストが、翻訳プロジェクトで指定した翻訳先言語に翻訳されます。詳細については、以下のセクションを参照してください。

翻訳のレビュー

プロジェクト内の翻訳をチェックするには、*Translations* タブを選択します。翻訳プロジェクト内のすべての翻訳と、SAP Translation Hub によって各テキストに使用される翻訳プロバイダが表示されます。

翻訳の品質の表示

品質指数は、翻訳の品質の判断に役立ちます。0 から 100 の段階で、数値が高いほど品質が良くなります。詳細については、品質指数を参照してください。

翻訳のダウンロード

SAP Translation Hub の外部で翻訳を使用するには、*Download Translations* を選択します。

関連情報

[翻訳ワークフローシナリオのアプリケーションへのアクセス \[68 ページ\]](#)

[ファイルの翻訳プロジェクトの作成 \[87 ページ\]](#)

[品質指数 \[32 ページ\]](#)

[ファイルでの翻訳の更新およびダウンロード \[90 ページ\]](#)

6.2.4.4 ファイルでの翻訳の更新およびダウンロード

SAP Translation Hub UI を使用して、翻訳ワークフローで SAP Translation Hub によって作成された翻訳を追加または変更できます。

マニュアルでアップロードしたファイルのテキストを SAP Translation Hub の翻訳ワークフローを使用して翻訳しておく必要があります。

翻訳ワークフローの使用時に、SAP Translation Hub によって、ソースファイルのテキストの翻訳が翻訳先言語ごとに格納されます。必要に応じて、翻訳を作成または更新し、最終的に .zip ファイルでダウンロードできます。翻訳をダウンロードすると、翻訳先言語ごと (または、XLIFF ファイルの言語ペアごと) に1つのファイルが得られます。

1. SAP Translation Hub UI で、翻訳を更新する対象のアップロードされたソースファイルを参照している翻訳プロジェクトを選択します。
2. *Translations* タブを選択します。

SAP Translation Hub には、翻訳プロジェクトに定義されている言語が、オブジェクト一覧の翻訳元テキストおよびその翻訳とともに表示されます。

3. 翻訳をチェックまたは更新する翻訳先言語を選択します。
4. *Translated Text* 列で、必要に応じて翻訳を更新します。

翻訳プロバイダが更新され、SAP Translation Hub によって入力されたテキストを変更したことが示されます。

5. 変更を保存します。

他の翻訳先言語の翻訳を変更する必要がある場合は、翻訳先言語ごとに前のステップを繰り返します。

6. SAP Translation Hub の外部で翻訳を使用するには、*Download Translations* を選択します。

SAP Translation Hub により、翻訳先言語ごと (または XLIFF ファイルの言語ペアごと) に対応する形式のファイルが1つ含まれている .zip ファイルが提供されます。その後、.zip ファイルを抽出し、元のアプリケーションに対象ファイルをマニュアルでアップロードできます。

関連情報

[翻訳ワークフローシナリオのアプリケーションへのアクセス \[68 ページ\]](#)

[ファイルの翻訳プロジェクトの作成 \[87 ページ\]](#)

[ファイルの翻訳 \[89 ページ\]](#)

6.2.5 Git リポジトリ

SAP Translation Hub を使用して、Git リポジトリで管理する .properties ファイル内のテキストを翻訳できます。

以下のタイプの Git リポジトリがサポートされています。

- [ユーザの会社でホストされる Git リポジトリ \[91 ページ\]](#)
- [Web でホストされる Git リポジトリ \[99 ページ\]](#)

6.2.5.1 ユーザの会社でホストされる Git リポジトリ

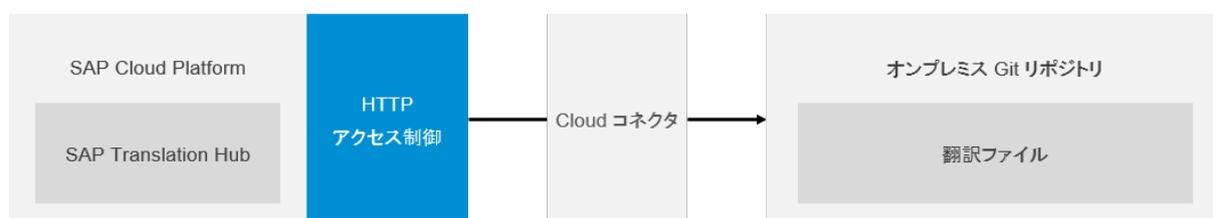
SAP Translation Hub は、ユーザの会社でホストされるオンプレミス Git リポジトリに接続できます。

SAP Translation Hub は、オンプレミス Git リポジトリから翻訳のファイルをプルし、翻訳されたファイルをプッシュして戻します。

SAP Translation Hub は、HTTP(S) 接続を使用してオンプレミス Git リポジトリ内のテキストにアクセスします。この 2 つのシステム間の通信は、以下の 3 つの主要部分で構成されています。

- SAP Business Technology Platform コックピットでの HTTP 接続
- Cloud コネクタ
- ユーザのオンプレミス Git リポジトリ

以下の図は、この設定の主なパートを示しています。



関連情報

[ユーザの会社でホストされる Git リポジトリの前提条件 \[91 ページ\]](#)

[Cloud コネクタの設定 \[92 ページ\]](#)

[ユーザの会社でホストされる Git リポジトリの翻訳プロジェクトの作成 \[94 ページ\]](#)

6.2.5.1.1 ユーザの会社でホストされる Git リポジトリの前提条件

このセクションでは、ユーザの会社でホストされる Git リポジトリを使用可能にするために必要な統合のタスクが示されています。

タスク	詳細情報
オンプレミス Git リポジトリに対するアカウントログインの詳細が必要です。	なし
Cloud コネクタの目的および一般的な概念について習熟している必要があります。	Cloud コネクタ のシナリオおよび基本タスクを参照してください。

タスク

詳細情報

Cloud コネクタをインストールして、初期設定を完了している必要があります。

1. [インストール](#)のタスクを参照してください。
2. [初期設定](#)で説明されているステップを完了します。

① 注記

Cloud コネクタの管理者権限があることを確認します。

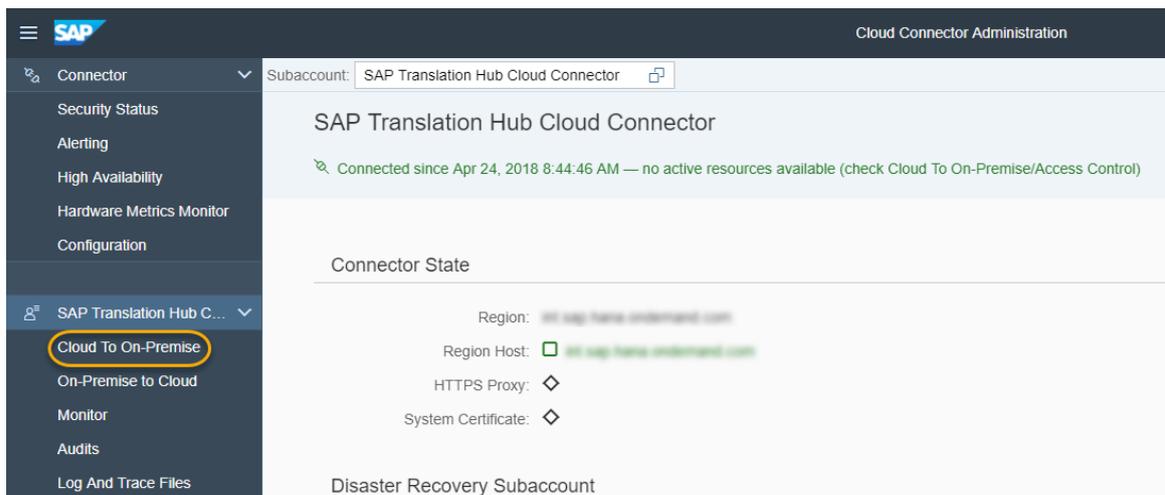
Cloud コネクタがオンプレミス Git リポジトリと通信するように設定しておく必要があります。

[Cloud コネクタの設定 \[92 ページ\]](#) を参照してください。

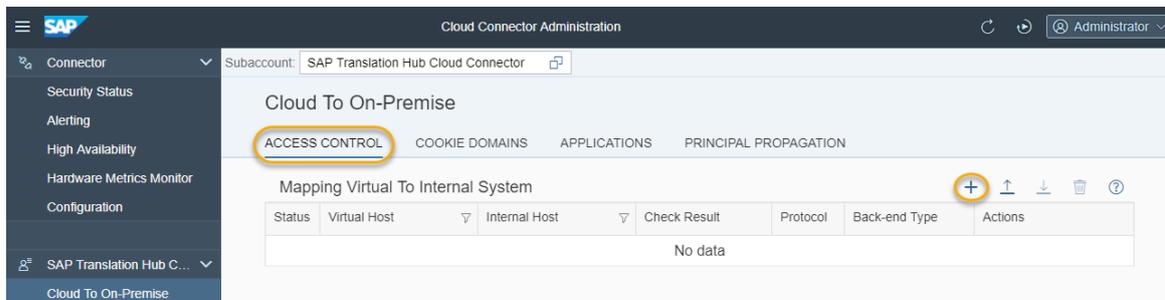
6.2.5.1.2 Cloud コネクタの設定

SAP Translation Hub がユーザのオンプレミス Git リポジトリと通信できるようにするには、Cloud コネクタを設定します。

1. Cloud コネクタにログオンします ([初期設定](#)を参照)。
2. 左側のメニューで、必要なサブアカウントを展開し、[Cloud To On-Premise](#) を選択します。



3. [ACCESS CONTROL](#) タブで、オンプレミス Git サーバーに内部チャンネルを公開するように Cloud コネクタを設定します。プラス (+) 記号を選択します。

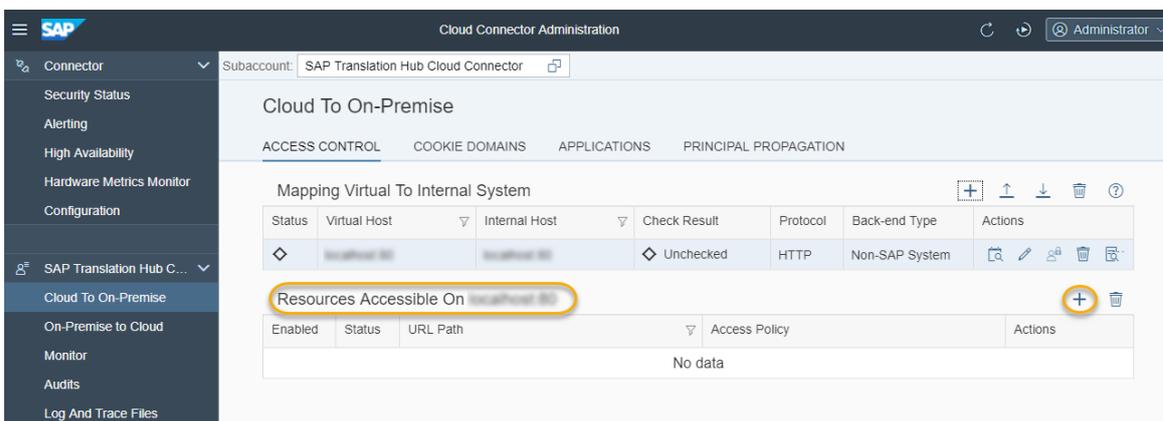


4. 以下の表で設定を行います。

フィールド	エントリ
<i>Back-End Type</i>	Non-SAP System
<i>Protocol</i>	Git サーバの要件に応じて HTTP または HTTPS を入力します。
<i>Internal Host</i>	Git サーバの内部ホストを入力します。
<i>Internal Port</i>	Git サーバの内部ポートを入力します。
<i>Virtual Host</i>	デフォルト値のままにします。仮想ホストは内部ホストと同一です。
<i>Virtual Port</i>	80
<i>Principal Type</i>	None
説明	マッピングに対する任意の説明を入力します。
<i>Check Internal Host</i>	オプション: 内部ホストへの接続をテストするには、このチェックボックスを選択します。

詳細については、[アクセス制御の設定 \(HTTP\)](#) のイントラネットシステムの公開を参照してください。

5. **ACCESS CONTROL** タブの *Resources Accessible On <host>:<port>* セクションで、プラス (+) 記号を選択します。



6. 以下の表で説明されている設定を行って、前のステップで定義したサーバへのパスを入力します。

フィールド	値
<i>URL Path</i>	/
<i>Enabled</i>	Select
<i>Access Policy</i>	<i>Path and all sub-paths</i>
説明	オプション: リソースの説明を入力します。

7. **保存** を選択します。

関連情報

クラウドコネクタ

6.2.5.1.3 ユーザの会社でホストされる Git リポジトリの翻訳プロジェクトの作成

SAP Translation Hub の翻訳プロジェクトの作成は、ユーザの会社でホストされるオンプレミス Git リポジトリを参照して行うことができます。

[ユーザの会社でホストされる Git リポジトリの前提条件 \[91 ページ\]](#) を参照してください。

ソース.properties ファイルを翻訳するには、Git リポジトリ内のソース.properties ファイルの場所や必要な翻訳先言語など、いくつかの詳細が SAP Translation Hub に必要です。

1. [翻訳ワークフローシナリオの UI へのアクセス](#)で説明されているように、翻訳プロジェクトの UI を呼び出します。
2. タイプとして *Git プロジェクト* を選択して、翻訳プロジェクトを作成します。
3. 以下のデータを入力します。

フィールド	エントリ
プロジェクト名	翻訳プロジェクトを表す名前を入力します。
ドメイン	アプリケーションのビジネスコンテキストに最も近い翻訳ドメインを選択します (財務会計 または ロジスティクス など)。 → ヒント ドメインや類似のコンセプトを使用せず、選択する項目が不確かな場合は、 一般 をお奨めします。
翻訳元言語	ソースファイル内のテキストの翻訳対象にする翻訳元言語を選択します。詳細については、 サポートされている言語 [44 ページ] を参照してください。
翻訳先言語	.properties ファイルのテキストの翻訳に使用する翻訳先言語を選択します。 ① 注記 パフォーマンスを改善するため、必要な翻訳先言語のみを選択します。
Git サーバ	<i>Enterprise</i> を選択します。
Git URL	使用するオンプレミス Git リポジトリの URL を入力します。 ❖ 例 https://myenterprise.corp/ShopApp/Resources ① 注記 URL は http:// または https:// で始まる必要があります。
分岐	デフォルトでは、分岐は マスタ です。Git リポジトリの別の分岐を使用する場合は、必要に応じてこのエントリを変更します。
Git 認証情報	Git 認証情報を SAP Translation Hub に保存するには、 保存 を選択します。Git 認証情報を入力することで、翻訳プロジェクト UI のドロップダウンで使用可能な .properties を選択可能になり、翻訳プロジェクトの翻訳を行うたびに Git 認証情報を入力する必要がありません。

フィールド

エントリ

① 注記

GitHub.com および Enterprise GitHub には、個人アクセストークンを使用します。個人アクセストークンを作成するには、<https://help.github.com/en/enterprise/2.18/user/github/authenticating-to-github/creating-a-personal-access-token-for-the-command-line> を参照してください。機能する個人アクセストークンを作成するには、少なくとも **リポジトリ** および **ワークフロー** セクションのエントリを有効化する必要があります。

① 注記

SAP Translation Hub では、翻訳プロジェクト UI での Git 認証情報の保存時に、その有効性および正確性がチェックされません。SAP Translation Hub では、翻訳を Git リポジトリにプッシュする場合にのみ認証情報がチェックされます。

プロパティファイルへのパス

Git リポジトリにおけるアプリケーションのソース .properties ファイルを入力または選択します。

→ ヒント

ドロップダウンから必要な .properties ファイルを選択するには、Git 認証情報を保存します。

非 ASCII 文字のエスケープ

ダウンロードされた翻訳ファイルで機械可読テキストを表示するように選択します。それにより、非 ASCII 文字に対してユニコードエスケープシーケンスがファイルに含まれます (¥uxxxx)。これが必要なのは、翻訳で ISO-8859-1 エンコードが関連し、コンテンツを解釈する必要がある場合のみです。

このオプションを選択しない場合 (デフォルト)、翻訳済みファイルには人間可読のテキストが含まれます。

翻訳の保持

たとえば .properties、SAP Translation Hub に対する別の翻訳プロバイダを使用して、ファイル内のテキストをすでに翻訳している場合は、アプリケーションに言語固有の .properties ファイルに翻訳がすでに含まれています。Keep Translations オプションは、それらの既存の翻訳に対する SAP Translation Hub での処理方法の設定に使用します。

- 既存の翻訳を保持し、SAP Translation Hub ではアプリケーションにまだ翻訳が存在しないテキストのみを翻訳するようにするには、**Yes** を選択します。

① 注記

SAP Translation Hub を使用して .properties ファイル内のテキストを翻訳する場合は、SAP Translation Hub によりその翻訳が保存されます。SAP Translation Hub を使用してファイルを翻訳する .properties 2 回目以降に、翻訳元言語でテキストを追加する場合、SAP Translation Hub では、.properties ファイルの以前の翻訳時に使用された既存のテキストと同じ翻訳が使用されます。

Git プロジェクトにおいて言語固有の .properties ファイルで任意の翻訳を直接変更した後、SAP Translation Hub を再度使用した場合、SAP Translation Hub ではその翻訳の変更が無視されます。Git プロジェクトによる翻訳の変更は失われます。

SAP Translation Hub で Git プロジェクトでの翻訳が上書きされないようにするには、すべての翻訳の変更を SAP Translation Hub で行うことをお勧めします。

フィールド	エントリ
	<ul style="list-style-type: none"> SAP Translation Hub で .properties ファイル内のすべてのテキストを最初から翻訳し、言語固有 .properties ファイル内の既存の翻訳を上書きする場合は、No を選択します。
後編集必須	2 ステッププロセスを使用して翻訳をチェックするかどうかを決定します。このオプションにより、レビューステップの前に専用の事後編集ステップを実行できるようになります。これらのステップと各テキストに対応するライフサイクルステータスを使用して、事後編集およびレビュープロセスを管理します。このオプションを有効にする場合は、 レビュー必須 も有効にしてください。詳細については、事後編集およびレビューステップの管理を参照してください。
レビュー必須	少なくとも1つのステップを使用して翻訳をチェックするかどうかを決定します。レビューステップは、単独で使用することも、2 ステッププロセスの一部として事後編集後に使用することもできます。これらのステップと各テキストに対応するライフサイクルステータスを使用して、事後編集およびレビュープロセスを管理します。詳細については、事後編集およびレビューステップの管理を参照してください。
社内 MLTR の使用	ユーザ独自の言語データが含まれている会社 MLTR を翻訳プロバイダとして使用するかどうかを決定します。
社内 MLTR の選択	会社 MLTR を使用することを決定した場合は、使用する MLTR を選択する必要があります。翻訳プロジェクトごとに1つの会社 MLTR を選択できます。有効な会社 MLTR のみが選択可能です。
4 桁の対象ファイル	このオプションを選択して、翻訳先ファイルを 4 桁の言語コード (ja_JP や de_DE など) で作成します。このオプションを選択しない場合、翻訳先ファイルは 2 桁の言語コード (ja や de など) を使用して作成されます。

- プロジェクト設定セクションでは、翻訳プロジェクトに対して必要な編集およびレビューの要件を指定します。
- 保存を選択します。
- 翻訳プロジェクトが保存されたら、UI の右下部で必要な翻訳オプション (**翻訳およびプッシュ**または**翻訳(プッシュなし)**) を選択します。
- Git の認証情報を入力します。必要な場合は、SAP Translation Hub にその認証情報を保存できます。このオプションを選択した場合は、翻訳プロジェクトを編集することで、後の時点で認証情報を更新できます。
- 実行ステータスが完了になると、**翻訳**タブで翻訳を表示できます。

関連情報

[翻訳ワークフローシナリオのアプリケーションへのアクセス \[68 ページ\]](#)

[独自の言語データの統合 \[57 ページ\]](#)

[事後編集およびレビューステップの管理 \[106 ページ\]](#)

[品質指数 \[32 ページ\]](#)

[サポートされている言語 \[44 ページ\]](#)

[Translate Properties Files](#)

[Update Translations in Properties Files](#)

6.2.5.1.4 プロパティファイルの翻訳

SAP Translation Hub の翻訳ワークフローの一環として、Git リポジトリに保存されている `.properties` ファイルを翻訳するには、翻訳プロジェクトを使用します。

翻訳する `.properties` ファイルが含まれているアプリケーションの翻訳プロジェクトが存在している必要があります。

ファイル内での `.properties` 一重引用符またはアポストロフィの処理:

プレースホルダのあるメッセージ文字列では、一重引用符またはアポストロフィ文字 (') は、書式設定されていないメッセージパターン内のセクションを表すため、特別な目的があります。

そのため、アプリケーションで一重引用符またはアポストロフィを正しく表示するには、プレースホルダを含む文字列の中の一重引用符またはアポストロフィをエスケープ (二重引用符) する必要があります。

プレースホルダのないテキストでは、一重引用符をエスケープする必要はありません。

これは、翻訳者やレビュー担当者、特にフランス語やイタリア語などの収縮でアポストロフィが使用されている言語では混乱を招く可能性があります。

便宜上、SAP Translation Hub では、この複雑さがバックグラウンドで処理され、翻訳ファイル内で一重引用符が正しく処理されるため、他のツールや環境のようにエスケープする必要はありません。

フランス語への翻訳を使用した例:

<code>i18n.properties</code> のソース文字列	SAP Translation Hub に入力するフランス語の翻訳者	翻訳された <code>i18n_fr.properties</code>
<code>textkey1=ユーザー名 {0}</code>	ユーティリティツール {0}	<code>textkey1=リモートノード d'utilisateur {0}</code>
<code>textkey2=結果セットは '{0}' です。</code>	<code>^ a b c a b c a b c a b 0}</code>	<code>textkey2=le jeu de résultats est '{0}'.</code>
<code>textkey3= ユーザ名</code>	Nom d'utilisateur	<code>textkey3=Nom d'utilisateur</code>

翻訳プロジェクトの SAP Translation Hub UI で、翻訳する `.properties` ファイルを参照している翻訳プロジェクトを選択し、画面右下のいずれかの翻訳オプションを選択します。

必要な処理	選択するオプション	後続のタスク
ファイル内のテキストを翻訳し、 <code>.properties</code> 翻訳先言語ごとにファイルを Git リポジトリに作成します。 <code>.properties</code> 。最初にレビューする必要はありません。	<p>Translate and Push</p> <p>① 注記</p> <p>このオプションを選択すると、SAP Translation Hub では Git リポジトリから最新バージョンの <code>.properties</code> ファイルが取得されます。</p>	翻訳先言語のプロパティファイルはすでに Git リポジトリに存在していますが、 Translations タブで翻訳をチェックできます。

必要な処理	選択するオプション	後続のタスク
テキストを翻訳し、レビューします。一部のテキストは難しいため、Git リポジトリにプッシュする前に、翻訳が一定の水準に達していることを確認する必要があります。	コンテキストメニューの <i>Translate and Push</i> ボタンで、 <i>Translate Without Push</i> を選択します。	<i>Translations</i> タブで翻訳をレビューします。翻訳が適切なものである場合は、Git リポジトリにプッシュします。

① 注記

このオプションを選択すると、SAP Translation Hub では Git リポジトリから最新バージョンの `.properties` ファイルが取得されます。

① 注記

`.properties` ファイルが翻訳され、Git リポジトリで更新されていることを確認するには、Git リポジトリブラウザで詳細を表示します。

SAP Business Technology Platform では、SAP Business Technology Platform コックピットのナビゲーション領域から Git リポジトリを表示します。▶ **リポジトリ** ▶ **Git リポジトリ** ▶ を選択し、必要な Git リポジトリの行でメガネアイコンを選択します

`.properties` ファイルが、翻訳プロジェクトで指定した翻訳先言語に翻訳されます。詳細については、以下のセクションを参照してください。

翻訳のレビュー

プロジェクトの翻訳を表示または変更し、テキストごとの翻訳プロバイダを確認するには、*Translations* タブを選択します。

翻訳の品質の表示

品質指数は、翻訳の品質の判断に役立ちます。0 から 100 の段階で、数値が高いほど品質が良くなります。詳細については、品質指数を参照してください。

Git リポジトリ内の翻訳の更新

翻訳を変更する場合は、変更を保存し、その変更をマニュアルで Git リポジトリにプッシュします。

例

SAP Web IDE で開発し、SAP Business Technology Platform の Git リポジトリで管理する `.properties` ファイルを翻訳する方法の管理の概要については、以下のビデオを参照してください。

関連情報

[翻訳ワークフローシナリオのアプリケーションへのアクセス \[68 ページ\]](#)

[品質指数 \[32 ページ\]](#)

6.2.5.1.5 プロパティファイルの翻訳の更新

SAP Translation Hub UI を使用して、翻訳ワークフローで SAP Translation Hub によって作成された翻訳を追加または変更できます。

SAP Translation Hub の翻訳ワークフローを使用して、アプリケーションの `.properties` ファイルのテキストを翻訳しておく必要があります。

SAP Translation Hub の翻訳ワークフローを使用すると、SAP Translation Hub により翻訳先言語ごとに `.properties` ファイルに翻訳が入力されます。必要に応じて、翻訳先言語ごとに `.properties` ファイルのテキストを作成または更新できます。

1. SAP Translation Hub UI で、翻訳を更新する `.properties` ファイルを参照している翻訳プロジェクトを選択します。
2. *Translations* タブを選択します。

SAP Translation Hub には、翻訳プロジェクトに定義されている言語が、`.properties` ファイルの翻訳元テキストおよびその翻訳とともに表示されます。

3. 翻訳をチェックまたは更新する翻訳先言語を選択します。
4. *Translated Text* 列で、必要に応じて翻訳を更新します。

翻訳プロバイダが更新され、SAP Translation Hub によって入力されたテキストを変更したことが示されません。

5. 変更を保存します。

他の翻訳先言語の翻訳を変更する必要がある場合は、翻訳先言語ごとに前のステップを繰り返します。

6. 翻訳の変更を Git リポジトリの `.properties` ファイルに追加するには、*Push* を選択します。

開発環境（たとえば、SAP Web IDE）で `.properties` ファイルを表示するには、Git リポジトリから最新の変更を取得する必要があります。

関連情報

[翻訳ワークフローシナリオのアプリケーションへのアクセス \[68 ページ\]](#)

6.2.5.2 Web でホストされる Git リポジトリ

SAP Translation Hub は、サードパーティプロバイダによって Web 上でホストされる Git リポジトリに接続可能です。

それにより、SAP Translation Hub は Web Git リポジトリから翻訳のファイルを取得し、翻訳されたファイルをプッシュして戻すことができます。

このプロセスは、以下の主なステップで構成されています。

1. ファイルをコミットして Git リポジトリにプッシュします。
2. SAP Translation Hub により、Git リポジトリ内のファイルが読み込まれます。
3. SAP Translation Hub でテキストが翻訳された後、翻訳されたファイルが Git リポジトリにプッシュされます。
4. Git リポジトリでの変更を開発プロジェクトにプルします。

以下の図は、このシナリオの主なステップおよびパートを示しています。



関連情報

[Web でホストされる Git リポジトリの前提条件 \[100 ページ\]](#)

[Web でホストされる Git リポジトリの翻訳プロジェクトの作成 \[100 ページ\]](#)

6.2.5.2.1 Web でホストされる Git リポジトリの前提条件

このセクションでは、サードパーティの Web ホストでホストされる Git リポジトリを使用可能にするために満たす必要がある前提条件が示されています。

- サードパーティの Web ホストによってホストされる Git リポジトリに対するアカウントログオンの詳細が必要です。
- Web ホストによってホストされる Git リポジトリが作成されている必要があります。

6.2.5.2.2 Web でホストされる Git リポジトリの翻訳プロジェクトの作成

SAP Translation Hub での翻訳プロジェクトの作成は、サードパーティの Web ホストによってホストされる Git リポジトリを参照して行うことができます。

[Web でホストされる Git リポジトリの前提条件 \[100 ページ\]](#) を参照してください。

ソース.properties ファイルを翻訳するには、Git リポジトリ内のソース.properties ファイルの場所や必要な翻訳先言語など、いくつかの詳細が SAP Translation Hub に必要です。

1. [翻訳ワークフローシナリオの UI へのアクセス](#) で説明されているように、翻訳プロジェクトの UI を呼び出します。
2. タイプとして [Git プロジェクト](#) を選択して、翻訳プロジェクトを作成します。

3. 以下のデータを入力します。

フィールド	エントリ
プロジェクト名	翻訳プロジェクトを表す名前を入力します。
ドメイン	アプリケーションのビジネスコンテキストに最も近い翻訳ドメインを選択します (財務会計またはロジスティクスなど)。 → ヒント ドメインや類似のコンセプトを使用せず、選択する項目が不確かな場合は、 一般 をお奨めします。
翻訳元言語	ソースファイル内のテキストの翻訳対象にする翻訳元言語を選択します。詳細については、 サポートされている言語 [44 ページ] を参照してください。
翻訳先言語	.properties ファイルのテキストの翻訳に使用する翻訳先言語を選択します。 ① 注記 パフォーマンスを改善するため、必要な翻訳先言語のみを選択します。
Git サーバ	Web を選択します。
Git URL	翻訳プロジェクトで使用する Git リポジトリの URL を入力します。 ① 注記 有効な URL は http:// または https:// のいずれかで始まります。有効なユーザーアカウントが Git URL にリンクされている必要があります。
分岐	デフォルトでは、分岐は マスタ です。Git リポジトリの別の分岐を使用する場合は、必要に応じてこのエントリを変更します。
Git 認証情報	Git 認証情報を SAP Translation Hub に保存するには、 保存 を選択します。Git 認証情報を入力することで、翻訳プロジェクト UI のドロップダウンで使用可能な .properties を選択可能になり、翻訳プロジェクトの翻訳を行うたびに Git 認証情報を入力する必要がありません。 ① 注記 Github.com および Enterprise GitHub には、個人アクセストークンを使用します。個人アクセストークンを作成するには、 https://help.github.com/en/enterprise/2.18/user/github/authenticating-to-github/creating-a-personal-access-token-for-the-command-line を参照してください。機能する個人アクセストークンを作成するには、少なくとも リポジトリ および ワークフロー セクションのエントリを有効化する必要があります。 ① 注記 SAP Translation Hub では、翻訳プロジェクト UI での Git 認証情報の保存時に、その有効性および正確性がチェックされません。SAP Translation Hub では、翻訳を Git リポジトリにプッシュする場合にのみ認証情報がチェックされます。
プロパティファイルへのパス	Git リポジトリにおけるアプリケーションのソース .properties ファイルを入力または選択します。

フィールド	エントリ
	<p>→ ヒント</p> <p>ドロップダウンから必要な <code>.properties</code> ファイルを選択するには、Git 認証情報を保存します。</p>
非 ASCII 文字のエスケープ	<p>ダウンロードされた翻訳ファイルで機械可読テキストを表示するように選択します。それにより、非 ASCII 文字に対してユニコードエスケープシーケンスがファイルに含まれます (¥uxxxx)。これが必要なのは、翻訳で ISO-8859-1 エンコードが関連し、コンテンツを解釈する必要がある場合のみです。</p> <p>このオプションを選択しない場合 (デフォルト)、翻訳済みファイルには人間可読のテキストが含まれます。</p>
翻訳の保持	<p>たとえば <code>.properties</code>、SAP Translation Hub に対する別の翻訳プロバイダを使用して、ファイル内のテキストをすでに翻訳している場合は、アプリケーションに言語固有の <code>.properties</code> ファイルに翻訳がすでに含まれています。Keep Translations オプションは、それらの既存の翻訳に対する SAP Translation Hub での処理方法の設定に使用します。</p> <ul style="list-style-type: none">既存の翻訳を保持し、SAP Translation Hub ではアプリケーションにまだ翻訳が存在しないテキストのみを翻訳するようにするには、Yes を選択します。 <p>④ 注記</p> <p>SAP Translation Hub を使用して <code>.properties</code> ファイル内のテキストを翻訳する場合は、SAP Translation Hub によりその翻訳が保存されます。SAP Translation Hub を使用してファイルを翻訳する <code>.properties</code> 2 回目以降に、翻訳元言語でテキストを追加する場合、SAP Translation Hub では、<code>.properties</code> ファイルの以前の翻訳時に使用された既存のテキストと同じ翻訳が使用されます。</p> <p>Git プロジェクトにおいて言語固有の <code>.properties</code> ファイルで任意の翻訳を直接変更した後、SAP Translation Hub を再度使用した場合、SAP Translation Hub ではその翻訳の変更が無視されます。Git プロジェクトによる翻訳の変更は失われます。</p> <p>SAP Translation Hub で Git プロジェクトでの翻訳が上書きされないようにするには、すべての翻訳の変更を SAP Translation Hub で行うことをお勧めします。</p> <ul style="list-style-type: none">SAP Translation Hub で <code>.properties</code> ファイル内のすべてのテキストを最初から翻訳し、言語固有 <code>.properties</code> ファイル内の既存の翻訳を上書きする場合は、No を選択します。
後編集必須	<p>2 ステッププロセスを使用して翻訳をチェックするかどうかを決定します。このオプションにより、レビューステップの前に専用の事後編集ステップを実行できるようになります。これらのステップと各テキストに対応するライフサイクルステータスを使用して、事後編集およびレビュープロセスを管理します。このオプションを有効にする場合は、レビュー必須も有効にしてください。詳細については、事後編集およびレビューステップの管理を参照してください。</p>
レビュー必須	<p>少なくとも1つのステップを使用して翻訳をチェックするかどうかを決定します。レビューステップは、単独で使用することも、2 ステッププロセスの一部として事後編集後に使用することもできます。これらのステップと各テキストに対応するライフサイクルステータスを使用して、事後編集およびレビュープロセスを管理します。詳細については、事後編集およびレビューステップの管理を参照してください。</p>
社内 MLTR の使用	<p>ユーザ独自の言語データが含まれている会社 MLTR を翻訳プロバイダとして使用するかどうかを決定します。</p>

フィールド	エントリ
社内 MLTR の選択	会社 MLTR を使用することを決定した場合は、使用する MLTR を選択する必要があります。翻訳プロジェクトごとに1つの会社 MLTR を選択できます。有効な会社 MLTR のみが選択可能です。
4 桁の対象ファイル	このオプションを選択して、翻訳先ファイルを 4 桁の言語コード (ja_JP や de_DE など) で作成します。このオプションを選択しない場合、翻訳先ファイルは 2 桁の言語コード (ja や de など) を使用して作成されます。

- プロジェクト設定セクションでは、翻訳プロジェクトに対して必要な編集およびレビューの要件を指定します。
- 保存を選択します。
- 翻訳プロジェクトが保存されたら、UI の右下で必要な翻訳オプション (翻訳およびプッシュまたは翻訳 (プッシュなし)) を選択します。
- Git の認証情報を入力します。必要な場合は、SAP Translation Hub にその認証情報を保存できます。このオプションを選択した場合は、翻訳プロジェクトを編集することで、後の時点で認証情報を更新できます。
- 実行ステータスが完了になると、翻訳タブで翻訳を表示できます。

関連情報

[翻訳ワークフローシナリオのアプリケーションへのアクセス \[68 ページ\]](#)

[独自の言語データの統合 \[57 ページ\]](#)

[事後編集およびレビューステップの管理 \[106 ページ\]](#)

[品質指数 \[32 ページ\]](#)

[サポートされている言語 \[44 ページ\]](#)

[Translate Properties Files](#)

[Update Translations in Properties Files](#)

6.2.5.2.3 プロパティファイルの翻訳

SAP Translation Hub の翻訳ワークフローの一環として、Git リポジトリに保存されている .properties ファイルを翻訳するには、翻訳プロジェクトを使用します。

翻訳する .properties ファイルが含まれているアプリケーションの翻訳プロジェクトが存在している必要があります。

ファイル内での .properties 一重引用符またはアポストロフィの処理:

プレースホルダのあるメッセージ文字列では、一重引用符またはアポストロフィ文字 (') は、書式設定されていないメッセージパターン内のセクションを表すため、特別な目的があります。

そのため、アプリケーションで一重引用符またはアポストロフィを正しく表示するには、プレースホルダを含む文字列の中の一重引用符またはアポストロフィをエスケープ (二重引用符) する必要があります。

プレースホルダのないテキストでは、一重引用符をエスケープする必要はありません。

これは、翻訳者やレビュー担当者、特にフランス語やイタリア語などの収縮でアポストロフィが使用されている言語では混乱を招く可能性があります。

便宜上、SAP Translation Hub では、この複雑さがバックグラウンドで処理され、翻訳ファイル内で一重引用符が正しく処理されるため、他のツールや環境のようにエスケープする必要はありません。

フランス語への翻訳を使用した例:

i18n.properties のソース文字列	SAP Translation Hub に入力するフランス語の翻訳者	翻訳された i18n_fr.properties
textkey1=ユーザー名 {0}	ユーティリティツール {0}	textkey1=リモートノード d'utilisateur {0}
textkey2=結果セットは '{0}' です。	^ a b c a b c a b c a b 0}。	textkey2=le jeu de résultats est '{0}'.
textkey3= ユーザー名	Nom d'utilisateur	textkey3=Nom d'utilisateur

翻訳プロジェクトの SAP Translation Hub UI で、翻訳する .properties ファイルを参照している翻訳プロジェクトを選択し、画面右下のいずれかの翻訳オプションを選択します。

必要な処理	選択するオプション	後続のタスク
ファイル内のテキストを翻訳し、.properties 翻訳先言語ごとにファイルを Git リポジトリに作成します。最初レビューする必要はありません。	<p>Translate and Push</p> <p>① 注記 このオプションを選択すると、SAP Translation Hub では Git リポジトリから最新バージョンの .properties ファイルが取得されます。</p>	翻訳先言語のプロパティファイルはすでに Git リポジトリに存在していますが、 Translations タブで翻訳をチェックできます。
テキストを翻訳し、レビューします。一部のテキストは難しいため、Git リポジトリにプッシュする前に、翻訳が一定の水準に達していることを確認する必要があります。	<p>Translate and Push ボタンで、Translate Without Push を選択します。</p> <p>① 注記 このオプションを選択すると、SAP Translation Hub では Git リポジトリから最新バージョンの .properties ファイルが取得されます。</p>	Translations タブで翻訳をレビューします。翻訳が適切なものである場合は、Git リポジトリにプッシュします。

① 注記

.properties ファイルが翻訳され、Git リポジトリで更新されていることを確認するには、Git リポジトリブラウザで詳細を表示します。

SAP Business Technology Platform では、SAP Business Technology Platform コックピットのナビゲーション領域から Git リポジトリを表示します。▶ [リポジトリ](#) ▶ [Git リポジトリ](#) ▶ を選択し、必要な Git リポジトリの行でメガネアイコンを選択します

.properties ファイルが、翻訳プロジェクトで指定した翻訳先言語に翻訳されます。詳細については、以下のセクションを参照してください。

翻訳のレビュー

プロジェクトの翻訳を表示または変更し、テキストごとの翻訳プロバイダを確認するには、[Translations](#) タブを選択します。

翻訳の品質の表示

品質指数は、翻訳の品質の判断に役立ちます。0 から 100 の段階で、数値が高いほど品質が良くなります。詳細については、品質指数を参照してください。

Git リポジトリ内の翻訳の更新

翻訳を変更する場合は、変更を保存し、その変更をマニュアルで Git リポジトリにプッシュします。

例

SAP Web IDE で開発し、SAP Business Technology Platform の Git リポジトリで管理する `.properties` ファイルを翻訳する方法の管理の概要については、以下のビデオを参照してください。

関連情報

[翻訳ワークフローシナリオのアプリケーションへのアクセス \[68 ページ\]](#)

[品質指数 \[32 ページ\]](#)

6.2.5.2.4 プロパティファイルの翻訳の更新

SAP Translation Hub UI を使用して、翻訳ワークフローで SAP Translation Hub によって作成された翻訳を追加または変更できます。

SAP Translation Hub の翻訳ワークフローを使用して、アプリケーションの `.properties` ファイルのテキストを翻訳しておく必要があります。

SAP Translation Hub の翻訳ワークフローを使用すると、SAP Translation Hub により翻訳先言語ごとに `.properties` ファイルに翻訳が入力されます。必要に応じて、翻訳先言語ごとに `.properties` ファイルのテキストを作成または更新できます。

1. SAP Translation Hub UI で、翻訳を更新する `.properties` ファイルを参照している翻訳プロジェクトを選択します。
2. *Translations* タブを選択します。

SAP Translation Hub には、翻訳プロジェクトに定義されている言語が、`.properties` ファイルの翻訳元テキストおよびその翻訳とともに表示されます。

3. 翻訳をチェックまたは更新する翻訳先言語を選択します。
4. *Translated Text* 列で、必要に応じて翻訳を更新します。

翻訳プロバイダが更新され、SAP Translation Hub によって入力されたテキストを変更したことが示されず。

5. 変更を保存します。

他の翻訳先言語の翻訳を変更する必要がある場合は、翻訳先言語ごとに前のステップを繰り返します。

6. 翻訳の変更を Git リポジトリの `.properties` ファイルに追加するには、`Push` を選択します。

開発環境 (たとえば、SAP Web IDE) で `.properties` ファイルを表示するには、Git リポジトリから最新の変更を取得する必要があります。

関連情報

[翻訳ワークフローシナリオのアプリケーションへのアクセス \[68 ページ\]](#)

6.2.6 事後編集およびレビューステップの管理

SAP Translation Hub により体系的に提供された翻訳をチェックおよび調整する場合、さまざまなライフサイクルステータスを使用して、翻訳プロジェクトの各翻訳に対する事後編集ステップとレビューステップを管理できません。

事後編集プロセスとレビュープロセスをできる限り柔軟に管理するために、SAP Translation Hub では特定のロールは不要であり、ロールベースの UI もありません。組織での設定および要件に基づいて、事後編集ステップとレビューステップを省略するか、各ステップを個別に使用するか、またはそれらを 2 ステッププロセスの一部として組み合わせるかを選択できます。たとえば、組織で 1 人に多数のロールが割り当てられているか、異なるロールごとに専任者がいるかに関係なく、ライフサイクルステータスを使用できます。

事後編集およびレビューステップ管理のデシジョンテーブル

組織内でのロールの割当	SAP の推奨
プロセスの各ステップに専門家がいます。各エキスパートにプロセスの担当部分をサインオフしてほしいと考えています。	個別の事後編集ステップおよびレビューステップに対する 2 ステッププロセス。
1 人がすべてを行います。不必要に厳密なステータスを設定したくありません。	事後編集ステップとレビューステップの組合せに対する 1 ステッププロセス。
いくつかの小規模な翻訳プロジェクトしかないため、どのようなステータスも設定したくありません。	特別なプロセスはありません。特別な事後編集またはレビューステータスはありません。

以下のビデオで、事後編集およびレビューオプションの使用法を示します。

関連情報

[翻訳プロジェクトの設定 \[107 ページ\]](#)

[1 ステッププロセスの使用 \[107 ページ\]](#)

[2 ステッププロセスの使用 \[108 ページ\]](#)

[翻訳プロジェクトの使用 \[110 ページ\]](#)

6.2.6.1 翻訳プロジェクトの設定

翻訳プロジェクトを作成する場合、事後編集およびレビューのステップの管理方法を決定することができます。

使用するプロセスの種類	設定	この設定の意味
特定ステップなし	<i>Post-Editing Required</i> も <i>Review Required</i> も選択しません。	通常の業務では、翻訳プロジェクトで特別なレビューや事後編集のステータスを見ることはありません。テキストレベルでのライフサイクルステータス、およびプロジェクトステータスは、テキストが SAP Translation Hub によって翻訳されているかどうかのみを示しています。
1ステッププロセス	<i>Review Required</i> を選択します。	SAP Translation Hub で翻訳プロジェクトのテキストが翻訳されると、ライフサイクルステータスは <i>In Review</i> です。レビュー担当者は、翻訳のレビューが終了すると、その翻訳を承認してレビューステップを完了します。
2ステッププロセス	<i>Post-Editing Required</i> および <i>Review Required</i> を選択します。	SAP Translation Hub で翻訳プロジェクトのテキストが翻訳された後、最初のステップはテキストを事後編集することです。プロセスの2番目および最後のステップとして、レビュー担当者はその翻訳を承認します。

6.2.6.2 1ステッププロセスの使用

1つのステータスの設定のみが必要な簡単なプロセスを使用して SAP Translation Hub が提供する翻訳をチェックするには、レビューステップを使用することをお奨めします。

翻訳プロジェクトの設定において、レビューステップが必要であると指定しておく必要があります。詳細については、[翻訳プロジェクトの設定 \[107 ページ\]](#) を参照してください。

このプロセスは、一人の担当者が事後編集とレビューの両ステップを完了する場合に使用します。

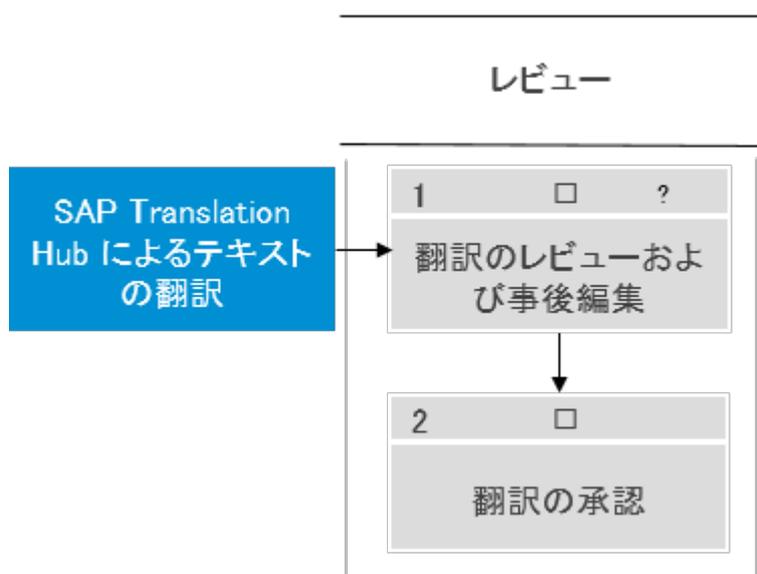
翻訳プロジェクト内の翻訳ごとのライフサイクルステータスによって、翻訳プロジェクトでの最後の翻訳以降に追加された翻訳または翻訳元テキストを一覧で確認できます。

SAP Translation Hub では、翻訳プロジェクト画面の右上部に全体ステータスを表示して、翻訳プロジェクト内のすべての翻訳がレビューされたかが示されます。

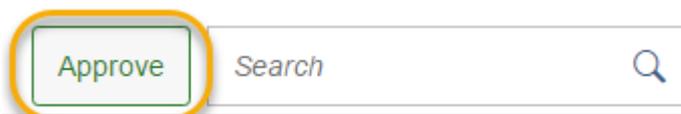
以下の図は、このプロセスにおけるメインステップを示しています。

① 注記

作業内容が失われないように、作業をマニュアルで頻繁に保存してください。



1. SAP Translation Hub で翻訳プロジェクト内のテキストが翻訳されます。
2. 翻訳プロジェクト内の翻訳の現在のライフサイクルステータスをレビューするには、*Translations* タブに切り替えます。翻訳プロジェクト画面の右上部に、翻訳ごとの現在のライフサイクルステータス、および翻訳プロジェクトの全体ステータスが表示されます。新しく翻訳されたテキストの場合、それぞれの翻訳のライフサイクルステータスは *In Review* であり、翻訳プロジェクトのステータスは *Review in Progress* です。
レビュー担当者が承認する必要があるテキストを容易に確認できるようにするため、翻訳をライフサイクルステータス *In Review* でフィルタリングすることをお奨めします。
3. レビュー担当者により、必要に応じて翻訳が調整され、その翻訳が承認されます。翻訳プロジェクトの現在の画面で、それぞれの翻訳を個別に、または複数のテキストを選択し、*Approve* を選択して承認することができます。



ます。

4. レビュープロセスを完了するため、レビュー担当者は翻訳プロジェクトを保存します。すべての翻訳が承認され、ステータスが *Reviewed* である場合、その翻訳プロジェクトのステータスは *Review Complete* に変化します。
5. オプション: レビュー担当者または他の人がすでに承認されている翻訳を変更した場合、SAP Translation Hub によりライフサイクルステータスがリセットされます。このプロセスを完了するには、ステータスがリセットされたすべての翻訳を再度承認する必要があります。

6.2.6.3 2 ステッププロセスの使用

翻訳プロセスに複数のロールがある場合は、SAP Translation Hub から提供された翻訳を事後編集する担当者を最初に割り当てることができます。次に、専任のレビュー担当者が事後編集された翻訳を承認できます。

翻訳プロジェクトの設定において、事後編集とレビューの両方のステップが必要であると指定しておく必要があります。詳細については、[翻訳プロジェクトの設定 \[107 ページ\]](#) を参照してください。

このプロセスは、翻訳プロセスにおいて事後編集およびレビューの専用ステップがある場合に使用します。

① 注記

各ステップにはそれ独自の視点や対応するライフサイクルステータスがありますが、ロールベースのアクセスを除き、両方のステップに対して同じ UI を使用します。

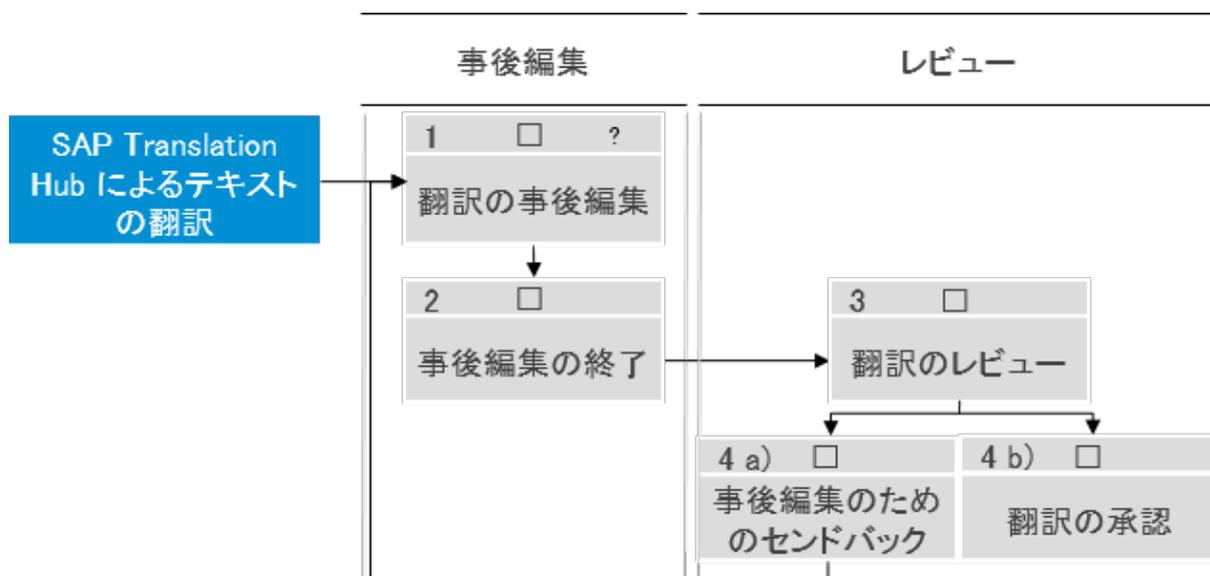
翻訳プロジェクトにおける翻訳ごとのライフサイクルステータスにより、各翻訳がレビュー済であるか、または事後編集済であるかを一覧で確認できます。また、このライフサイクルステータスにより、翻訳プロジェクトでの最後の翻訳以降に追加された翻訳または翻訳元テキストを特定することもできます。

SAP Translation Hub では、翻訳プロジェクト画面の右側上部に全体ステータスを表示して、翻訳プロジェクト内のすべての翻訳がレビュー済であるか、または事後編集済であるかが示されます。

① 注記

作業内容が失われないように、作業をマニュアルで頻繁に保存してください。

以下の図は、このプロセスのメインステップを示しています。



1. SAP Translation Hub で翻訳プロジェクト内のテキストが翻訳されます。
2. 翻訳プロジェクト内の翻訳の現在のライフサイクルステータスをレビューするには、*Translations* タブに切り替えます。翻訳プロジェクト画面の右上部に、翻訳ごとの現在のライフサイクルステータス、および翻訳プロジェクトの全体ステータスが表示されます。新しく翻訳されたテキストの場合、それぞれの翻訳のライフサイクルステータスは *In Post-Editing* であり、翻訳プロジェクトのステータスは *Translation in Progress* です。
事後編集担当者がチェックする必要があるテキストを容易に確認できるようにするため、翻訳をライフサイクルステータス *In Post-Editing* でフィルタリングすることをお奨めします。
3. 事後編集担当者は翻訳をチェックして、その担当者が事後編集を終了したことを確認します。翻訳プロジェクトの現在の画面で、それぞれの翻訳を個別に、または複数のテキストを選択し、*Finish Post-Edit* を選択して事後編集ステップを確認することができます。



4. 事後編集担当者が翻訳プロジェクトを保存します。翻訳プロジェクト内のすべての翻訳のステータスが *In Review* である場合、その翻訳プロジェクトのステータスは *Translation in Progress* から *Review in Progress* に変化します。
5. レビュー担当者は、事後編集された翻訳をチェックします。
レビュー担当者がチェックする必要があるテキストを容易に確認できるようにするため、翻訳をライフサイクルステータス *In Review* でフィルタリングすることをお奨めします。
6. オプション: レビュー担当者は、事後編集担当者が事後編集ステップを再度実行することを希望する場合は、該当するエントリを選択して、次の *Send Back for Post-Editing* を選択します。



このステップにより、ライフサイクルステータスが *In Post-Editing* にリセットされ、その後、事後編集担当者は *Finish Post-Edit* を選択して事後編集が完了したことを再度確認する必要があります。

7. レビュー担当者は、事後編集された翻訳を承認します。翻訳プロジェクトの現在の画面で、それぞれの翻訳を個別に、または複数のテキストを選択し、*Approve* を選択して承認することができます。



8. この2ステッププロセスを完了するため、レビュー担当者は翻訳プロジェクトを保存します。すべての翻訳が承認され、ステータスが *Reviewed* である場合、その翻訳プロジェクトのステータスは *Review Complete* に変化します。
9. オプション: すでに承認され翻訳プロジェクトで保存された翻訳をレビュー担当者または他の人が変更した場合、SAP Translation Hub によりライフサイクルステータスが *In Post-Editing* にリセットされ、プロセスが最初から開始されます。

6.2.7 翻訳プロジェクトの使用

この文書では、翻訳プロジェクト UI のさまざまな部分、および翻訳プロジェクトを使用する場合に遭遇する状況について説明します。

ヘッダセクション

ヘッダセクションには、以下の情報が含まれています。

- 翻訳プロジェクト全体のステータス
このステータスは、翻訳プロジェクトのすべての翻訳およびすべての翻訳先言語に関連します。たとえば、ある翻訳先言語の翻訳をまだレビュー中である場合の全体のプロジェクトステータスは、その翻訳先言語のステータスを反映します。すべての言語でのすべての翻訳に対して特定のステータスを設定し、翻訳プロジェクトを保存した場合にのみ、プロジェクトレベルのステータスが変わります。
- 翻訳先言語ごとの翻訳の数

Translations タブ

テキストが翻訳されると、必要な各翻訳先言語の翻訳が SAP Translation Hub によって *Translations* タブに表示されます。以下の機能により、翻訳のレビューが簡単になります。

ファイル、ソート、および複数選択

- *In Post-Editing* や *Reviewed* などのライフサイクルステータスごとの翻訳の数、およびライフサイクルステータスの順序を表示できます。
ライフサイクルステータスのボタンを選択して、指定のライフサイクルステータスごとに翻訳をフィルタリングできます。
- 画面の右上にあるオプションを使用して、品質指数または翻訳プロバイダに基づいて翻訳をフィルタリングし、結果をソートできます。
- 複数翻訳のライフサイクルステータスを一度に変更するには、各行の左側にあるチェックボックスを使用します。行を少なくとも1つ選択した場合は、UI の下部にあるステータスアクションボタン (*Approve* や *Send Back for Post-Editing* など) が有効になります。
- 任意の ABAP、GIT、またはファイルプロジェクトを含めるには、*Add New Project* が使用可能です。
- *Delete Project* ボタンを使用してプロジェクトを削除するオプションがあります。

① 注記

一度プロジェクトを削除すると、以降そのプロジェクトを取得または復元できなくなります。

- 各プロジェクトに対して使用可能なアクションボタンを使用して、以下にアクセスできます。
 - 詳細: 作成元のアカウント、プロジェクトを作成した処理者、プロジェクトのステータス、ドメイン、翻訳元言語、翻訳先言語などのプロジェクトの詳細です。詳細設定では、会社 MLTR、編集後、およびレビューのオプションが表示されます。
 - ソースファイル: 翻訳が必要なアップロードされたすべてのソースファイルを表示できます。
 - 翻訳: アップロードされたソーステキストの翻訳済テキストをすべての翻訳先言語で表示可能であり、翻訳済テキストの翻訳プロバイダおよび品質指数も表示されます。
 - 実行: プロジェクトの実行ログの詳細を表示できます。

テキストレベルでの追加情報

翻訳者と翻訳レビュー担当者がテキストに関する情報をできるだけ多く取得できるようにするには、以下の属性を参照することができます。

① 注記

属性は、ソースファイルまたは開発環境に存在している場合にのみ表示されます。

- 項目ラベルのテキストタイプ (XFLD など)
- 開発者が開発環境で入力するコメント形式の各テキストのコンテキスト情報
- 各翻訳済テキストの許容最大文字数。入力した翻訳がこの文字数を超過すると、該当する翻訳済テキストの下にメッセージが表示されます。

翻訳プロジェクトでのメッセージおよび特別な動作

以下の表には、SAP Translation Hub で翻訳プロジェクトを使用する場合に遭遇する可能性がある一部の状況が示されています。

状況	説明
一部の翻訳を変更して変更内容を保存するときに、追加の変更ができないことを示すエラーメッセージが表示される。変更内容を保存できないのはなぜか。	<p>この状況は、2人の翻訳者が同じテキストに対して同じ言語で同時に変更を行う場合に発生します。これは、データベースでの翻訳の整合性を確保するために、SAP Translation Hub で使用されるロックプロセスの結果です。</p> <p>この問題はほとんど発生しませんが、同じ言語で他の翻訳者と共に作業する場合は、ロックメカニズムが影響しないようにアクティビティを計画することを考慮してください。</p>
翻訳ファイルに(¥u で始まる)見慣れないコードが表示される。これらの意味は何か。	<p>これらのコードはユニコードエスケープシーケンスです。翻訳プロジェクトの作成時に <i>Escape Non-ASCII characters</i> オプションを選択したために表示されます。</p> <p>これらのコードが表示されないようにするには、現在の翻訳プロジェクトについて <i>Escape Non-ASCII characters</i> オプションを変更し、翻訳済みのファイルを再度ダウンロードします。これらのコードは翻訳ファイルに表示されなくなります。</p>
ABAP 翻訳プロジェクトを作成しているが、ドロップダウンに ABAP システムが表示されず、代わりに <i>System Configured on Subscription Level</i> が表示される。これはいずれのシステムか。	<p>この記述は、ABAP システムの RFC 宛先がサブアカウントレベルではなく、サブスクリプションレベルで作成されていることを意味します。サブアカウントレベルで RFC 宛先を作成することが推奨されていますが、サブアカウントレベルで作成された既存の RFC 接続も引き続き機能します。</p> <p>詳細については、SAP Business Technology Platform コックピット [78 ページ]を参照してください。</p>
自身の ABAP 翻訳プロジェクトで、ライフサイクルステータス <i>Not Applicable</i> が表示される。このステータスの意味は何か。	<p>ステータス <i>Not Applicable</i> は、翻訳プロジェクトの翻訳先言語がテキストのマスタ言語と同じである場合に表示されます。SAP Translation Hub ではマスタ言語のテキストは編集できないため、特別なステータスが必要です。さらに、<i>Translated Text</i> 列のテキストはグレー表示され、編集できません。</p>

6.3 開発

SAP Translation Hub は、多言語テキストリポジトリ (MLTR) および機械翻訳を使用したテキストの翻訳にアプリケーションが利用できる、一連の API メソッドで構成されています。

これらの API メソッドを使用して、たとえば開発または拡張するアプリから、あるいは統合開発環境 (IDE) で作成した翻訳ツールを使用して、テキストを翻訳できます。このセクションでは、SAP Business Technology Platform で SAP Translation Hub API を利用する方法について説明します。

使用可能な API メソッドは、以下のとおりです。

- domains
- languages
- Translation project
- suggestions
- texttypes
- translate

アクセス

API メソッドには、HTTPS プロトコルを使用してアクセスします。SAP Business Technology Platform Identity Authentication サービスの標準機能により、API メソッドのユーザ権限が管理されます。API メソッドを使用する場合は、Basic 認証を使用します (ユーザとパスワード)。

SAP Translation Hub の API メソッドを利用できるようにするには、以下の項目に対処してください。

1. SAP Business Technology Platform のライセンスがありますか？
取得してある場合は、次のステップに進みます。
2. これまでに SAP Translation Hub について聞いたことがある場合は、自分のアカウントで SAP Translation Hub サービスがすでに有効になっている可能性があります。その場合は、次のステップに進みます。そうでない場合は、以下の 2 つのステップを完了してください。
 1. SAP Business Technology Platform コックピットで、ナビゲーションツリーの **サービス** を選択します。
 2. ▶ **SAP Translation Hub** ▶ **有効化** ▶ を選択します。
サービスの有効化の詳細については、Neo 環境でのサービスの使用を参照してください。
3. 複数のユーザが SAP Translation Hub API にアクセスする必要がある場合は、その各ユーザのユーザ ID を割り当てます。
ロール割当の詳細については、ユーザ認証と権限を参照してください。

API の URL

API にアクセスするには、SAP Translation Hub のベース URL と、API メソッドおよび API 固有のパラメータが必要になります。ベース URL については、*SAP Translation Hub* のベース URL の構築を参照してください。

パラメータ

応答をフィルタまたは変更する場合、ペイロードのボディがない API メソッドでは、URL のクエリ部分にあるクエリパラメータを使用します。

❁ 例

```
<ベース URL>/v1/languages?search=<query_parameters>
```

内容

API では、HTTPS 要求または応答のコンテンツとして JSON が使用されます。JSON が含まれているすべての API の応答の JSON コンテンツタイプは、`application/json; charset=utf-8` です。

エラー処理

エラーコード

Error	説明
400 Bad Request Content-Length: 0	このエラーは、必要なクエリパラメータの一部が指定されていない場合、または要求で無効な値タイプが送信された場合に発生します。
404 Not Found Content-Length: 0	このエラーは、不適切な URL が API の呼出に使用された場合に発生します。

関連情報

[SAP Business Accelerator Hub](#)

[domains メソッド \[119 ページ\]](#)

[languages メソッド \[121 ページ\]](#)

[texttypes メソッド \[123 ページ\]](#)

[translate メソッド \[124 ページ\]](#)

[API のテスト \[117 ページ\]](#)

[翻訳プロジェクト API \[150 ページ\]](#)

[監視およびトラブルシューティング \[371 ページ\]](#)

[SAP Translation Hub ユーザーインターフェイスにアクセスする権限をユーザに付与する \[38 ページ\]](#)

6.3.1 SAP Translation Hub API の使用

多言語再利用と AI を活用した機械翻訳を統合するために、ソフトウェア翻訳用の SAP Translation Hub API の使用を開始するために必要な基本情報。

前提条件

SAP Translation Hub への API アクセスは、SAP Business Technology Platform (SAP BTP) の Cloud Foundry 環境で SAP Authorization and Trust Management サービス (XSUAA) によって実装される OAuth 2.0 仕様に基づいています。

SAP Translation Hub API を使用するには、以下の前提条件を満たす必要があります。

- SAP BTP のサブアカウントの管理者である必要があります。<チェックしてください>
- サービスインスタンスおよびサービスバインディングを作成して、クライアント認証情報を取得しておく必要があります。[サービスインスタンスおよびサービスバインディングの作成 \[38 ページ\]](#) を参照してください。
- (オプション) SAP Translation Hub を使用するための適切な権限が必要です。これは、パスワード認証情報 (ユーザ名およびパスワード) を必要とする翻訳プロジェクト API を使用するために必要です。[SAP Translation Hub ユーザインタフェースにアクセスする権限をユーザに付与する \[38 ページ\]](#) および [翻訳プロジェクト API 入門 \[150 ページ\]](#) を参照してください。

API にアクセスするためのステップ

サービスインスタンスに対して、サービスキーを作成します。各サービスキーには、API アクセスのアクセストークンの取得に関連する一連の認証情報が含まれています。

1. [サービスキーを取得します \[115 ページ\]](#)。
2. [アクセストークンの生成 \[116 ページ\]](#) を参照してください。
3. [API を呼び出します \[118 ページ\]](#)。

6.3.1.1 サービスキーの取得

サービスキーにより、サービスインスタンスへのアクセスが提供されます。SAP Translation Hub API のアクセストークンを取得するには、サービスキーが必要です。

1. SAP BTP コックピットにログインします。
2. グローバルアカウントを選択してから、サブアカウントを選択します。
3. ナビゲーションパネルで、[▶▶ サービスインスタンスおよびサブスクリプション ▶](#) を選択します。
4. サービス SAP Translation Hub の関連インスタンスの詳細を開きます。
5. [サービスキー](#)で、必要なサービスキーのオプションを表示し、[ダウンロード](#)を選択します。
サービスキーが JSON 形式で表示されます。
サービスキーには、そのタイプに応じて以下の値が含まれます。

Value	詳細
クライアント ID	サービスキーの uaa オブジェクト内。client_id の値を確認します。
クライアントシークレット	サービスキーの uaa オブジェクト内。client_secret の値を確認します。
API アクセスのベース URL	ソフトウェア翻訳と文書翻訳の基本 URL が異なります。ソフトウェア翻訳のベース URL は、https://software-translation で始まります。ベース URL を完了するには、/translationhub/api を追加します。ベース URL の例: https://software-translation.api.eu10.translationhub.cloud.sap
アクセストークンエンドポイントの URL	サービスキーの uaa オブジェクト内。<url> の値を確認します。

① 注記

ベース URL に追加する API メソッドおよびクエリパラメータの詳細については、個別の API メソッドの文書を参照してください。

6.3.1.2 アクセストークンの生成

SAP Translation Hub API へのアクセスを可能にする OAuth アクセストークンを取得します。

サービスキーデータを使用して、アクセス/ベアラトークンを取得します。

① 注記

トークンは 12 時間 (43199 秒) 有効です。その後、新しいものを生成する必要があります。

選択した REST API クライアントを使用して、サービスキーに含まれている URL に POST 呼出を行うことで、トークンを作成します。URL を以下のように調整します。

<authentication-URL>/oauth/token)。

POST 呼び出しで以下のプロパティを設定します。

- メッセージヘッダ (Content-Type): <application/x-www-form-urlencoded>
- メッセージ本文:

キー	Value
client_id	<クライアント ID>
client_secret	<クライアントシークレット>

キー	Value
grant_type	エンドポイント translate、texttypes、domains の場合、grant_type は client_credentials です。 翻訳プロジェクト API の場合、grant_type は password です。
response_type	トークン
username	Translation Project (翻訳プロジェクト) API にのみ必要です。
password	

① 注記

使用される API に応じて、認証情報の違いがあります。翻訳プロジェクト API ではパスワード認証情報が必要ですが、翻訳、ドメイン、言語、およびテキストタイプのメソッドではクライアント認証情報のみが必要です。

アクセス/ベアラートークンが応答に含まれています。これで、これを使用して API を呼び出すことができます。

6.3.1.3 API のテスト

個々の API メソッド (translate メソッドなど) をテストするには、SAP Business Accelerator Hub または REST サービスクライアントを使用します。

SAP Business Accelerator Hub の使用

ペイロードおよび API 属性を REST サービスクライアントにマニュアルでペーストせずに SAP Translation Hub API を試すには、を使用します SAP Business Accelerator Hub。では SAP Business Accelerator Hub、要求および応答モデルを表示し、ログオンする場合は1つのセントラルコンソールで API を試すことができます。

REST サービスクライアントの使用

API メソッドのテストには、REST サービスクライアントを使用できます。たとえば、Web ブラウザの拡張としてインストールできるクライアントなどです。

- REST サービスクライアントで、API 文書に指定されている URL を入力します。
- API ごとに以下の属性を正しく指定します。
 - メソッド値: *GET* または *POST*
 - ヘッダにある *Content-Type* パラメータ: *application/json; charset=utf-8*

① 注記

API を利用するには、SAP Business Technology Platform で自分のアカウントのユーザとパスワードを入力します。使用する REST サービスクライアントによっては、要求の送信後にユーザおよびパスワードの

入力を求められます。あるいは、ユーザ名とパスワードを要求ヘッダに属性として格納します。詳細については、使用している REST サービスクライアントの文書を参照してください。

3. 開始点として、API 文書に用意されているサンプルコードを使用し、必要に応じてオプションのパラメータを使用して API 呼出を調整します。

関連情報

[SAP Translation Hub](#) オン [SAP Business Accelerator Hub](#)

6.3.1.4 API の呼出

REST API クライアントを使用して API を呼び出すことができます。

任意の REST API クライアントを使用して、エンドポイント URL を使用して呼出を行います。URL は以下の部分で構成されます。ベース URL は、サービスキーで確認できます。[サービスキーの取得 \[115 ページ\]](#) を参照してください。

🔗 サンプルコード

```
<base URL>/<API name>/api/<version>/<endpoint>
```

🔗 サンプルコード

```
https://software-translation.api.eu10.translationhub.cloud.sap/  
translationhub/api/v2/translate
```

API 呼出の権限ヘッダで、前のステップで取得したトークンをベアラトークンとして使用します。

POST 呼び出しのヘッダキーの例

キー	Value
Content-Type	application/json
認証	ベアラ <token> (<token> は独自のトークンに置き換えます)

6.3.2 domains メソッド

このメソッドを使用すると、SAP Translation Hub で使用可能なドメインを表示できます。

用途

SAP 製品の用語および翻訳は、ドメイン別に編成されています。ドメインは、特定のアプリケーションやビジネスコンテキストでの、所与のテキストに対する正しい翻訳の特定に使用されます。

→ ヒント

SAP ソフトウェアでの翻訳のコンテキストにおけるドメインの概念をご存知でしょうか。説明と例については、[ドメイン \[29 ページ\]](#)を参照してください。

domains メソッドは、SAP Translation Hub で使用可能なドメインおよびドメイングループの一覧を返します。テキストのサブジェクトエリアをより正確に反映するために、domains メソッドと translate メソッドを組み合わせることができます。

要求

アクセス

URL	<base URL>/v2/domains
HTTP メソッド	GET
権限	Bearer <token> (<token> を独自の OAuth トークンに置換)
Content-Type	application/json; charset=utf-8

要求パラメータ

特定のドメインまたはドメイングループが使用可能かどうかを確認するには、URL に以下のパラメータを追加します。

パラメータ	説明	タイプ
search	特定のドメインが SAP Translation Hub で使用可能かどうかを確認できるようにします。例: <base URL>/v2/domains?search=<ドメイン名>	オプション

① 注記

たとえば [account](#) のように、ドメイン名またはドメイングループ名の全部または一部を入力できます。

パラメータ	説明	タイプ
<code>onlyGroups</code>	SAP Translation Hub がサポートしているドメイングループの 一覧を表示できるようにします。ドメイングループを一覧表 示するには、このパラメータの値として <code>true</code> を入力します。	オプション

→ ヒント

ドメインまたはドメイングループの ID を使用して、
`translate` メソッドで特定のサブジェクトエリアを指
定できます。

要求本文の例

<base URL>/v2/domains?search=financial

応答

結果は、JSON オブジェクトであり、以下のキーと値のペアが含まれています。

キー	説明	応答に含まれるか
<code>id</code>	要求で <code>onlyGroups</code> パラメータを使用するかどうかに応じて、 ドメインまたはドメイングループの ID になります。	常に応答にあり
<code>name</code>	要求で <code>onlyGroups</code> パラメータを使用するかどうかに応じて、 ドメインまたはドメイングループの内容説明になります。	常に応答にあり

応答本文の例

サンプルコード

```
{
  "domains": [
    {
      "id": "FI",
      "name": "Financial Accounting"
    },
    {
      "id": "FS",
      "name": "Financial Services"
    },
    {
      "id": "FB",
      "name": "Financials Basis"
    },
    {
      "id": "FN",
      "name": "Financials"
    },
    {
      "id": "1F",
      "name": "Business ByDesign Financial Accounting"
    },
    {
      "id": "FB",
      "name": "Financials Basis"
    }
  ]
}
```

```
} ]
```

関連情報

[アクセストークンの生成 \[116 ページ\]](#)

[API の呼出 \[118 ページ\]](#)

[ドメイン \[29 ページ\]](#)

6.3.3 languages メソッド

このメソッドを使用すると、SAP Translation Hub でサポートされている言語を表示できます。

用途

SAP Translation Hub で翻訳先言語として利用可能な言語の一覧を返します。

要求

アクセス

URL	<code><base URL>/v2/languages</code>
HTTP メソッド	GET
権限	Bearer <token> (<token> を独自の OAuth トークンに置換)
Content-Type	application/json; charset=utf-8

要求パラメータ

特定の言語が使用できるかどうかをチェックするには、URL に以下のパラメータを追加します。

パラメータ	説明	タイプ
<code>search</code>	特定の言語が SAP Translation Hub で使用可能かどうかを確認できるようにします。例: <code><base URL>/v2/languages?search=<language_name></code>	オプション

注記
言語の名前を入力します。たとえば、中国語のコードではなく *Chinese* と入力します。

要求本文の例

```
<base URL>/v2/languages?search=Bulgarian
```

応答

結果は JSON オブジェクトであり、以下のキーと値のペアが含まれています。

キー	説明	応答に含まれるか
<code>id</code>	言語コード	常に応答にあり
<code>name</code>	言語の名前	常に応答にあり
<code>bcpcode</code>	Best Current Practice (BCP) 47 に準拠する ISO 言語コード。	常に応答にあり

応答本文の例

サンプルコード

```
{
  "languages": [
    {
      "id": "bg",
      "name": "Bulgarian",
      "bcpcode": "bg-BG"
    }
  ]
}
```

関連情報

[アクセストークンの生成 \[116 ページ\]](#)

[API の呼出 \[118 ページ\]](#)

[API のテスト \[117 ページ\]](#)

6.3.4 texttypes メソッド

このメソッドを使用すると、SAP Translation Hub で使用可能なテキストタイプにアクセスできます。

用途

ユーザインタフェース (UI) で使用されるような SAP 製品のテキスト (短) は、さまざまなテキストタイプが存在することが特徴です。特定のテキストのタイプは、そのテキストで説明している UI エlement によって決まります。たとえば、ボタンテキストはテキストタイプ XBUT によって記述されます。

texttypes メソッドは、SAP Translation Hub で使用できるテキストタイプの一覧を返します。メソッド texttypes とメソッドを組み合わせて、suggestionssuggestions メソッドの結果を絞り込むことができます。

要求

アクセス

URL	<base URL>/v2/texttypes
HTTP メソッド	GET
権限	Bearer <token> (<token> を独自の OAuth トークンに置換)
Content-Type	application/json; charset=utf-8

要求パラメータ

特定のテキストタイプが使用できるかどうかを確認するには、URL に以下のパラメータを追加します。

パラメータ	説明	タイプ
search	特定のテキストタイプが SAP Translation Hub で使用可能かどうかを確認できるようにします。例: <base URL>/v2/texttypes?search=<テキストタイプ名>	オプション

注記

テキストタイプの名前の全部または一部を、たとえば *message* というように入力することができます。

要求本文の例

```
<base URL>/v2/texttypes?search=message
```

応答

結果は、JSON オブジェクトであり、以下のキーと値のペアが含まれています。

キー	説明	応答に含まれるか
<code>id</code>	テキストタイプの ID。	常に応答にあり
<code>name</code>	テキストタイプの簡単な説明。	常に応答にあり

応答本文の例

サンプルコード

```
{
  "texttypes": [
    {
      "id": "MSAG",
      "name": "Message Classes"
    },
    {
      "id": "XMSG",
      "name": "Message text"
    }
  ]
}
```

関連情報

[アクセストークンの生成 \[116 ページ\]](#)

[API の呼出 \[118 ページ\]](#)

6.3.5 translate メソッド

このメソッドを使用すると、テキスト (短) を SAP Translation Hub でサポートされている言語に翻訳できます。

用途

複数の翻訳プロバイダに基づくテキスト (短) の翻訳を提供します。このメソッドでは、以下の順序で翻訳プロバイダから適合する翻訳が検索されます。

1. 会社多言語テキストリポジトリ (会社 MLTR) - 利用可能な場合。[独自の言語データの統合 \[57 ページ\]](#) を参照してください。
2. SAP 多言語テキストリポジトリ (SAP MLTR)
3. SAP 機械翻訳 (SAP MT)

要求

アクセス

URL	<base URL>/v2/translate
HTTP メソッド	POST
権限	Bearer <token> (<token> を独自の OAuth トークンに置換)
Content-Type	application/json; charset=utf-8

要求パラメータ

この API には、JSON 要求ペイロードおよび要求コンテンツタイプ `application/json; charset=utf-8` が必要です。このコンテンツタイプを使用しないと、API 呼出は失敗します。

JSON 要求には、`units` JSON オブジェクトの配列が含まれています。以下の表は、JSON 要求のさまざまなキーと値のペアを示しています。

① 注記

以下の表に示した JSON 要求のキーの理解を深めるには、表の下にある要求本文のサンプルコードを参照してください。

ルートキー	説明	タイプ
<code>targetLanguages</code>	API がテキストの翻訳を返すときに使用する翻訳先言語のコード。サポートされている言語のコードを表示するには、SAP Translation Hub のメソッド <code>languages</code> を呼び出します。翻訳先言語を指定しないと、API は使用可能なすべての翻訳先言語でテキストを返します。	オプション
<code>sourceLanguage</code>	英語以外の翻訳元言語。SAP Translation Hub が翻訳元言語としてサポートする、任意の言語のコードを入力できます。このパラメータを使用しない場合は、API により翻訳元言語が英語であるとみなされます。	オプション
<h4>① 注記</h4> <p>翻訳元言語と翻訳先言語のどの組合せが可能であるかを確認するには、サポートされている言語を参照してください。</p>		
<code>enableMT</code>	SAP Translation Hub が多言語テキストリポジトリ (MLTR) だけでなく SAP 機械翻訳 (SAP MT) も使用してテキストを翻訳するかどうかを決定します。 デフォルトでは、SAP MT が有効になっています。無効化するには、このパラメータの値として <code>false</code> を入力します。	オプション
<code>minQuality</code>	品質指数に基づく翻訳の制限が可能になります。したがって、品質指数が所定のしきい値未満となっている出力結果を制限することができます。これは、翻訳 API の <code>MinQuality</code> フィールドを使用して行うことができます。	オプション

ルートキー	説明	タイプ
<i>StatsOnly</i>	翻訳 API でシミュレーションの実行が可能になります。このフィールドの値を True に設定すると、シミュレーションが可能になります。この場合、翻訳が更新されることはなく、翻訳プロバイダや品質指数といったメタデータのみが表示されます。シミュレーションで提示されるデータは、請求の対象外となることに注意してください。デフォルトでは、 <i>StatsOnly</i> フィールドの値が False になります。	オプション
<i>domain</i>	翻訳ドメインの ID (CRM の場合は B2 など) またはドメイングループの ID (販売の場合は 02 など)。ドメインまたはドメイングループを指定しないと、API は使用可能なすべてのドメインで翻訳を検索します。	オプション
	<p>注記</p> <p>複数のドメインを入力することはできません。</p>	
<i>companyMLTRId</i>	会社 MLTR の ID。このパラメータにより、翻訳プロバイダとして会社 MLTR を指定できるようになります。	オプション
	<p>→ ヒント</p> <p>会社 MLTR の ID を取得するには、会社 MLTR を管理する UI での URL の末尾にある括弧内の数字を確認します。詳細については、独自の言語データを統合する UI へのアクセスを参照してください。</p>	
	<p>例</p> <p>以下の例で会社 MLTR の ID は 31 です。https://cdia7d9108fa-aa956e39a.hana.ondemand.com/cdi-web/ui/#/ManageMltr/XliffMltrSet(31).</p>	
<i>units</i>	翻訳する単一のテキストを表すキー。 <i>units</i> キーは、複数のキーで構成されています。以下の表を参照してください。	必須
units キー	説明	タイプ
<i>textType</i>	テキストタイプの ID (たとえば、フィールドラベルを表す XFLD)。	オプション
	<p>注記</p> <p>複数のテキストタイプを入力することはできません。</p>	

units キー	説明	タイプ
<i>key</i>	<p><i>units</i> キーで特定のテキストおよびそのテキストに続く翻訳を一意に識別するために役立つキー。SAP Translation Hub ではこのキーが API 要求でのテキストとともに保管され、特定のテキストとその翻訳の識別が、テキストを単独で使用する場合より容易になります。たとえば、翻訳しようとしているプロパティファイルの各テキストのキーを指定すると、キーを使用してターゲットプロパティファイルの各テキストに対する翻訳を識別できます。</p>	オプション
<p>注記</p> <p>キーを保存する目的は、<i>units</i> キー内のテキストの識別を容易にすることだけです。多言語テキストリポジトリで将来参照するために保存するものではありません。</p>		
<i>value</i>	翻訳するテキスト。	必須
<p>注記</p> <p>複数のテキストを翻訳するために必要な要求ペイロードを確認するには、<i>translate</i> メソッド: <i>More Code Examples</i> を参照してください。</p>		
<i>maxLength</i>	翻訳を構成する文字の最大数。	オプション
<p>注記</p> <p>API で、少なくとも1つの翻訳先言語で必要な長さの翻訳を見つけることができない場合、その要求には翻訳が含まれません。</p>		
<i>searchData</i>	<p>要求されたいずれかの翻訳先言語での UI テキストの翻訳を指定できるようにするキー。与えられたソーステキストに可能な翻訳が複数存在することが判明しており、結果を特定の翻訳に制限する場合、このパラメータを使用します。</p>	オプション
<p>例</p> <p><i>Cancel</i> という単語について考えてみます。ドイツ語への翻訳としては <i>Abbrechen</i> または <i>Stornieren</i> が考えられます。特定の事例ではドイツ語翻訳を <i>Abbrechen</i> にする必要があると分かっている場合は、<i>Abbrechen</i> を指定して、API によりドイツ語 (およびその他の言語) で正しい翻訳が戻されるようになります。</p> <p>このパラメータには必須であるプロパティが2つあります。<i>language</i> (languages メソッドによって提供される言語コード) と <i>value</i> (翻訳先言語のテキスト) です。</p>		

要求本文の例

以下は、使用可能なキーのいくつかがペイロードに含まれている、サンプルコードの一部です。ペイロードに他のキーが含まれているいくつかのコード例を確認するには、*translate* メソッド - その他のコード例を参照してください。

サンプルコード

```
{
  "targetLanguages": [
    "de",
    "fr",
    "ru"
  ],
  "domain": "B2",
  "units": [
    {
      "textType": "XFLD",
      "key": "LOGIN_USERNAME_FIELD",
      "value": "User Name"
    }
  ]
}
```

サンプルコード

```
{
  "targetLanguages": [
    "de-DE",
    "fr-FR",
    "ru-RU"
  ],
  "domain": "B2",
  "units": [
    {
      "textType": "XFLD",
      "key": "LOGIN_USERNAME_FIELD",
      "value": "User Name"
    }
  ]
}
```

応答

翻訳応答は JSON 形式です。応答には、*units* キーの配列が含まれています。応答の各 *units* キーは、要求の *units* キーに対応しています。*units* キーが複数ある場合は、要求でのキーの順序が保持されます。応答には、以下のキーと値のペアが含まれています。

ルートキー	説明	応答に含まれるか
<i>units</i>	翻訳する単一のテキストおよび追加のコンテキスト情報について説明します。 <i>units</i> キーは、複数のキーで構成されています。以下の表を参照してください。	常に応答にあり

応答の各 *units* キーは、要求の *units* キーに対応し、以下のキーが含まれています。

units キー	説明	応答に含まれるか
<i>textType</i>	テキストタイプの ID (たとえば、XFLD)。	要求によって異なる
<i>domain</i>	要求でドメイングループを指定した場合であっても、API により提供される翻訳に割り当てられた翻訳ドメインの ID。	要求およびドメイン割当の使用可否によって異なる
	<p>注記</p> <p>すべての翻訳にドメインが割り当てられているわけではありません。</p>	
<i>key</i>	<i>units</i> キー内のテキストを一意に識別するキー。	要求によって異なる
	<p>注記</p> <p>キーを保存する目的は、<i>units</i> キー内のテキストの識別を容易にすることだけです。多言語テキストリポジトリ (MLTR) で将来参照するために保存するものではありません。</p>	
<i>value</i>	翻訳するテキスト。	常に応答にあり
<i>translations</i>	翻訳されたテキストを表すキー。 <i>translations</i> キーは、複数のキーで構成されています。以下の表を参照してください。	常に応答にあり

要求の *targetLanguages* キーに指定されている翻訳先言語ごとに、応答には一連の *translations* キーがあります。要求で *searchData* キーの値を指定した場合は、翻訳は要求で指定した *value* パラメータのテキストに基づいたものになります。

注記

要求で指定した翻訳先言語のいずれかに翻訳が存在しない場合は、その翻訳先言語用の *translations* キーのセットが応答に含まれていません。テキストの翻訳が存在しない場合には、*translations* 配列は応答に含まれますが、空になります。

translations キー	説明	応答に含まれるか
<i>language</i>	テキストの翻訳に使用される翻訳先言語のコード。	要求によって異なる
<i>value</i>	テキストの翻訳。	要求によって異なる
<i>translationProvider</i>	翻訳済テキストのソース。 <ul style="list-style-type: none"> 0 = SAP 多言語テキストリポジトリ (SAP MLTR) 1 = SAP 機械翻訳 (SAP MT) 5 = 会社 MLTR 	常に応答にあり
<i>qualityIndex</i>	品質指数は、翻訳の品質の判断に役立ちます。0 から 100 の段階で、数値が高いほど品質が良くなります。詳細については、品質指数を参照してください。	翻訳プロバイダと要求によって異なります。 <ul style="list-style-type: none"> MLTR が翻訳プロバイダである場合は、常に応答に含まれます。

応答本文の例

↔ サンプルコード

```
{
  "units": [
    {
      "textType": "XFLD",
      "domain": "B2",
      "key": "LOGIN_USERNAME_FIELD",
      "value": "User Name",
      "translations": [
        {
          "language": "de",
          "value": "Benutzername",
          "translationProvider": 0,
          "qualityIndex": 92
        },
        {
          "language": "ru",
          "value": "Имя пользователя",
          "translationProvider": 0,
          "qualityIndex": 92
        },
        {
          "language": "fr",
          "value": "Nom de l'utilisateur",
          "translationProvider": 0,
          "qualityIndex": 77
        }
      ]
    }
  ]
}
```

↔ サンプルコード

```
{
  "units": [
    {
      "textType": "XFLD",
      "domain": "B2",
      "key": "LOGIN_USERNAME_FIELD",
      "value": "User Name",
      "translations": [
        {
          "language": "de-DE",
          "value": "Benutzername",
          "translationProvider": 0,
          "qualityIndex": 92
        },
        {
          "language": "ru-RU",
          "value": "Имя пользователя",
          "translationProvider": 0,
          "qualityIndex": 92
        },
        {
          "language": "fr-FR",
          "value": "Nom de l'utilisateur",
          "translationProvider": 0,
          "qualityIndex": 77
        }
      ]
    }
  ]
}
```

```
}
```

関連情報

[独自の言語データを統合する UI へのアクセス \[63 ページ\]](#)

[アクセストークンの生成 \[116 ページ\]](#)

[API の呼出 \[118 ページ\]](#)

[独自の言語データの統合 \[57 ページ\]](#)

[languages メソッド \[121 ページ\]](#)

[サポートされている言語 \[44 ページ\]](#)

[API のテスト \[117 ページ\]](#)

[translate メソッド: その他のコード例 \[131 ページ\]](#)

[品質指数 \[32 ページ\]](#)

6.3.5.1 translate メソッド: その他のコード例

translate メソッドで使用可能な個別のパラメータへの理解を深めるには、この文書で例を参照します。

最低限のパラメータでのテキストの翻訳

用語 *purchase order* をフランス語およびイタリア語に翻訳するとします。追加の機能を使用せずに簡易的な翻訳を行うとします。たとえば、ドメインのコンセプトや、テキストタイプの区別は使用しません。これらの要件に基づき、以下の要求ペイロードを使用します。

要求本文の例

⇄ サンプルコード

```
{
  "targetLanguages": [
    "fr",
    "it"
  ],
  "units": [
    {
      "value": "Purchase Order"
    }
  ]
}
```

応答本文の例

サンプルコード

```
{
  "units": [
    {
      "domain": "MM",
      "value": "Purchase Order",
      "translations": [
        {
          "language": "fr",
          "value": "Commande d'achat",
          "translationProvider": 0,
          "qualityIndex": 91
        },
        {
          "language": "it",
          "value": "Ordine d'acquisto",
          "translationProvider": 0,
          "qualityIndex": 91
        }
      ]
    }
  ]
}
```

複数テキストの翻訳

用語 *user name*、*password*、および *sales order* をフランス語、イタリア語、およびスペイン語に翻訳するとします。テキストを使用しているアプリケーションに基づき、以下の要件を満たすように翻訳するとします。

- 項目ラベルのテキストタイプ (*XFLD*) で使用
- CRM の翻訳ドメイン (*B2*) に割当済

翻訳の品質を判断するために、翻訳の品質評価も知ろうとしています。これらの要件に基づき、以下の要求ペイロードを使用します。

要求本文の例

サンプルコード

```
{
  "targetLanguages": [
    "fr",
    "it",
    "es"
  ],
  "domain": "B2",
  "units": [
    {
      "textType": "XFLD",
      "key": "LOGIN_USERNAME_FIELD",
      "value": "User Name"
    },
    {
      "textType": "XFLD",
      "key": "PWD_FIELD",

```

```
        "value": "Password"
      },
      {
        "textType": "XFLD",
        "key": "SALES_ORDER_FIELD",
        "value": "Sales Order"
      }
    ]
  }
}
```

応答本文の例

{ } サンプルコード

```
{
  "units": [
    {
      "textType": "XFLD",
      "domain": "B2",
      "key": "LOGIN_USERNAME_FIELD",
      "value": "User Name",
      "translations": [
        {
          "language": "it",
          "value": "Nome utente",
          "translationProvider": 0,
          "qualityIndex": 94
        },
        {
          "language": "es",
          "value": "Usuario",
          "translationProvider": 0,
          "qualityIndex": 82
        },
        {
          "language": "fr",
          "value": "Nom de l'utilisateur",
          "translationProvider": 0,
          "qualityIndex": 77
        }
      ]
    },
    {
      "textType": "XFLD",
      "domain": "B2",
      "key": "PWD_FIELD",
      "value": "Password",
      "translations": [
        {
          "language": "es",
          "value": "Clave de acceso",
          "translationProvider": 0,
          "qualityIndex": 84
        },
        {
          "language": "fr",
          "value": "Mot de passe",
          "translationProvider": 0,
          "qualityIndex": 96
        },
        {
          "language": "it",
          "value": "Password",
          "translationProvider": 0,
          "qualityIndex": 98
        }
      ]
    }
  ]
}
```

```
    ]
  },
  {
    "textType": "XFLD",
    "domain": "B2",
    "key": "SALES_ORDER_FIELD",
    "value": "Sales Order",
    "translations": [
      {
        "language": "es",
        "value": "Pedido cliente",
        "translationProvider": 0,
        "qualityIndex": 88
      },
      {
        "language": "it",
        "value": "Ordine cliente",
        "translationProvider": 0,
        "qualityIndex": 88
      },
      {
        "language": "fr",
        "value": "Commande client",
        "translationProvider": 0,
        "qualityIndex": 98
      }
    ]
  }
]
}
```

特定の翻訳の指定

単語 *cancel* を中国語、フランス語、ドイツ語、および日本語に翻訳するとします。フランスの子会社にいる同僚により、単語 *cancel* はフランス語では複数の意味に翻訳できると知らされていました。当該のアプリでは、*cancel* の翻訳を *annuler* にする必要があります。さらに、以下の要件を満たすように翻訳する必要があります。

- 項目ラベルのテキストタイプ (*XFLD*) で使用
- 販売の翻訳ドメイングループ (*02*) に割当

翻訳の品質を判断するために、翻訳の品質評価も知ろうとしています。MLTR に存在する翻訳のみを使用し、機械翻訳は使用しないことを希望しています。

これらの要件に基づき、以下の要求ペイロードを使用します。

要求本文の例

⇄ サンプルコード

```
{
  "targetLanguages": [
    "de",
    "fr",
    "zh",
    "ja"
  ],
  "enableMT": false,
  "domain": "02",
  "units": [
```

```
{
  "textType": "XFLD",
  "key": "CANCEL",
  "value": "Cancel",
  "searchData": {
    "language": "fr",
    "value": "annuler"
  }
}
]
```

応答本文の例

↔ サンプルコード

```
{
  "units": [
    {
      "textType": "XFLD",
      "domain": "HC",
      "key": "CANCEL",
      "value": "Cancel",
      "translations": [
        {
          "language": "fr",
          "value": "annuler",
          "translationProvider": 0,
          "qualityIndex": 88
        },
        {
          "language": "de",
          "value": "stornieren",
          "translationProvider": 0,
          "qualityIndex": 75
        },
        {
          "language": "ja",
          "value": "中止",
          "translationProvider": 0,
          "qualityIndex": 77
        },
        {
          "language": "zh",
          "value": "取消",
          "translationProvider": 0,
          "qualityIndex": 98
        }
      ]
    }
  ]
}
```

英語以外の言語からのテキストの翻訳

ドイツ語の単語 *Benutzerdaten* を英語、中国語、および日本語に翻訳するとします。可能であれば、CRM の領域で使用される翻訳が希望です (ドメイン *B2*)。翻訳の品質を判断するために、翻訳の品質評価を確認します。

これらの要件に基づき、以下の要求ペイロードを使用します。

要求本文の例

サンプルコード

```
{
  "targetLanguages": [
    "en",
    "ja",
    "zh"
  ],
  "sourceLanguage": "de",

  "domain": "B2",
  "units": [
    {
      "key": "USER_DATA",
      "value": "Benutzerdaten"
    }
  ]
}
```

応答本文の例

サンプルコード

```
{
  "units": [
    {
      "domain": "B2",
      "key": "USER_FRIENDLY",
      "value": "Benutzerdaten",
      "translations": [
        {
          "language": "zh",
          "value": "用户数据",
          "translationProvider": 0,
          "qualityIndex": 100
        },
        {
          "language": "en",
          "value": "User Data",
          "translationProvider": 0,
          "qualityIndex": 96
        },
        {
          "language": "ja",
          "value": "ユーザデータ",
          "translationProvider": 0,
          "qualityIndex": 100
        }
      ]
    }
  ]
}
```

会社 MLTR の参照によるテキストの翻訳

特定のプロジェクトでの翻訳の第一選択肢として使用する会社 MLTR (その ID は 325) が準備されているとします。他のすべての翻訳に対しては、CRM の領域 (ドメイン [B2](#)) での SAP MLTR および SAP MT を使用するとします。

この要件に基づき、以下の要求ペイロードを使用します。

要求本文の例

サンプルコード

```
{
  "targetLanguages": [
    "de",
    "fr"
  ],
  "companyMltrId": 325,
  "domain": "B2",
  "resultLimit": 10,
  "units": [
    {
      "value": "Cancel"
    },
    {
      "value": "Add"
    },
    {
      "value": "Username"
    }
  ]
}
```

応答本文の例

以下の応答は、会社 MLTR が使用されたことを示しています (翻訳プロバイダの値は 5)。

サンプルコード

```
{
  "units": [
    {
      "value": "Cancel",
      "translations": [
        {
          "language": "de",
          "value": "Stornieren",
          "translationProvider": 1,
          "qualityIndex": 32
        },
        {
          "language": "fr",
          "value": "Annular",
          "translationProvider": 1,
          "qualityIndex": 36
        }
      ]
    }
  ],
  "domain": "B2",
  "value": "Add",
```

```
    "translations": [
      {
        "language": "fr",
        "value": "Ajouter",
        "translationProvider": 0,
        "qualityIndex": 100
      },
      {
        "language": "de",
        "value": "Hinzufügen",
        "translationProvider": 0,
        "qualityIndex": 99
      }
    ]
  },
  {
    "domain": "BC",
    "value": "Username",
    "translations": [
      {
        "language": "de",
        "value": "Benutzernamen",
        "translationProvider": 5,
        "qualityIndex": 100
      },
      {
        "language": "fr",
        "value": "Identifiant",
        "translationProvider": 0
      }
    ]
  }
]
```

最小品質指標によるテキストの翻訳

特定の値を上回る品質指標で翻訳を行おうとしています。これらの要件に基づき、以下の要求ペイロードを使用します。

要求本文の例

🔗 サンプルコード

```
{
  "targetLanguages": [
    "fr"
  ],
  "enableMT": false,
  "minQuality": 50,
  "accountId": "qcad4wfgio",
  "units": [
    {
      "key": "key1",
      "value": "cancel",
      "maxLength": 40,
      "searchData": {
        "language": "de",
        "value": "Abbrechen"
      }
    }
  ],
}
```

```
{
  "key": "key2",
  "value": "apply",
  "maxLength": 40
}
]
```

応答本文の例

↔ サンプルコード

```
{
  "units": [
    {
      "domain": "CA",
      "key": "key1",
      "value": "cancel",
      "translations": [
        {
          "language": "fr",
          "value": "Interrompre",
          "translationProvider": 0,
          "qualityIndex": 88
        }
      ]
    },
    {
      "domain": "PO",
      "key": "key2",
      "value": "apply",
      "translations": [
        {
          "language": "fr",
          "value": "appliquer",
          "translationProvider": 0,
          "qualityIndex": 71
        }
      ]
    }
  ]
}
```

シミュレーション実行でのテキストの翻訳

シミュレーション実行で翻訳を行おうとしています。翻訳は更新されず、翻訳プロバイダや品質索引などのメタデータのみが表示されます。提示されるデータは、請求の対象外にもなります。これらの要件に基づき、以下の要求ペイロードを使用します。

要求本文の例

↔ サンプルコード

```
{
  "targetLanguages": [
    "fr"
  ],
  "enableMT": false,
  "statsOnly": true,
  "units": [
```

```
{
  "key": "key1",
  "value": "cancel",
  "maxLength": 40,
  "searchData": {
    "language": "de",
    "value": "Abbrechen"
  }
},
{
  "key": "key2",
  "value": "apply",
  "maxLength": 40
}
]
```

応答本文の例

🔗 サンプルコード

```
{
  "units": [
    {
      "domain": "CA",
      "key": "key1",
      "value": "cancel",
      "translations": [
        {
          "language": "fr",
          "translationProvider": 0,
          "qualityIndex": 88
        }
      ]
    },
    {
      "domain": "PO",
      "key": "key2",
      "value": "apply",
      "translations": [
        {
          "language": "fr",
          "translationProvider": 0,
          "qualityIndex": 71
        }
      ]
    }
  ]
}
```

6.3.5.2 translate メソッド BCP: その他のコード例

translate メソッドで使用可能な個別のパラメータへの理解を深めるには、この文書で例を参照します。

最低限のパラメータでのテキストの翻訳

用語 *purchase order* をフランス語およびイタリア語に翻訳するとします。追加の機能を使用せずに簡易的な翻訳を行うとします。たとえば、ドメインのコンセプトや、テキストタイプの区別は使用しません。これらの要件に基づき、以下の要求ペイロードを使用します。

要求本文の例

サンプルコード

```
{
  "targetLanguages": [
    "fr-FR",
    "it-IT"
  ],
  "units": [
    {
      "value": "Purchase Order"
    }
  ]
}
```

応答本文の例

サンプルコード

```
{
  "units": [
    {
      "domain": "MM",
      "value": "Purchase Order",
      "translations": [
        {
          "language": "fr-FR",
          "value": "Commande d'achat",
          "translationProvider": 0,
          "qualityIndex": 91
        },
        {
          "language": "it-IT",
          "value": "Ordine d'acquisto",
          "translationProvider": 0,
          "qualityIndex": 91
        }
      ]
    }
  ]
}
```

複数テキストの翻訳

用語 *user name*、*password*、および *sales order* をフランス語、イタリア語、およびスペイン語に翻訳するとします。テキストを使用しているアプリケーションに基づき、以下の要件を満たすように翻訳するとします。

- 項目ラベルのテキストタイプ (*XFLD*) で使用
- CRM の翻訳ドメイン (*B2*) に割当済

翻訳の品質を判断するために、翻訳の品質評価も知ろうとしています。これらの要件に基づき、以下の要求ペイロードを使用します。

要求本文の例

サンプルコード

```
{
  "targetLanguages": [
    "fr-FR",
    "it-IT",
    "es-ES"
  ],
  "domain": "B2",
  "units": [
    {
      "textType": "XFLD",
      "key": "LOGIN_USERNAME_FIELD",
      "value": "User Name"
    },
    {
      "textType": "XFLD",
      "key": "PWD_FIELD",
      "value": "Password"
    },
    {
      "textType": "XFLD",
      "key": "SALES_ORDER_FIELD",
      "value": "Sales Order"
    }
  ]
}
```

応答本文の例

サンプルコード

```
{
  "units": [
    {
      "textType": "XFLD",
      "domain": "B2",
      "key": "LOGIN_USERNAME_FIELD",
      "value": "User Name",
      "translations": [
        {
          "language": "it-IT",
          "value": "Nome utente",
          "translationProvider": 0,
          "qualityIndex": 94
        }
      ]
    }
  ]
}
```

```
        "language": "es-ES",
        "value": "Usuario",
        "translationProvider": 0,
        "qualityIndex": 82
      },
    ],
    "textType": "XFLD",
    "domain": "B2",
    "key": "PWD_FIELD",
    "value": "Password",
    "translations": [
      {
        "language": "es-ES",
        "value": "Clave de acceso",
        "translationProvider": 0,
        "qualityIndex": 84
      },
      {
        "language": "fr-FR",
        "value": "Mot de passe",
        "translationProvider": 0,
        "qualityIndex": 96
      },
      {
        "language": "it-IT",
        "value": "Password",
        "translationProvider": 0,
        "qualityIndex": 98
      }
    ]
  },
  {
    "textType": "XFLD",
    "domain": "B2",
    "key": "SALES_ORDER_FIELD",
    "value": "Sales Order",
    "translations": [
      {
        "language": "es-ES",
        "value": "Pedido cliente",
        "translationProvider": 0,
        "qualityIndex": 88
      },
      {
        "language": "it-IT",
        "value": "Ordine cliente",
        "translationProvider": 0,
        "qualityIndex": 88
      },
      {
        "language": "fr-FR",
        "value": "Commande client",
        "translationProvider": 0,
        "qualityIndex": 98
      }
    ]
  }
]
```

特定の翻訳の指定

単語 *cancel* を中国語、フランス語、ドイツ語、および日本語に翻訳するとします。フランスの子会社にいる同僚により、単語 *cancel* はフランス語では複数の意味に翻訳できると知らされていました。当該のアプリでは、*cancel* の翻訳を *annuler* にする必要があります。さらに、以下の要件を満たすように翻訳する必要があります。

- 項目ラベルのテキストタイプ (XFLD) で使用
- 販売の翻訳ドメイングループ (02) に割当

翻訳の品質を判断するために、翻訳の品質評価も知ろうとしています。MLTR に存在する翻訳のみを使用し、機械翻訳は使用しないことを希望しています。

これらの要件に基づき、以下の要求ペイロードを使用します。

要求本文の例

サンプルコード

```
{
  "targetLanguages": [
    "de-DE",
    "fr-FR",
    "zh-CN",
    "ja-JP"
  ],
  "enableMT": false,
  "domain": "02",
  "units": [
    {
      "textType": "XFLD",
      "key": "CANCEL",
      "value": "Cancel",
      "searchData": {
        "language": "fr-FR",
        "value": "annuler"
      }
    }
  ]
}
```

応答本文の例

サンプルコード

```
{
  "units": [
    {
      "textType": "XFLD",
      "domain": "HC",
      "key": "CANCEL",
      "value": "Cancel",
      "translations": [
        {
          "language": "fr-FR",
          "value": "annuler",
          "translationProvider": 0,
          "qualityIndex": 88
        },
        {
          "language": "de-DE",
          "value": "stornieren",

```

```
    "translationProvider": 0,
    "qualityIndex": 75
  },
  {
    "language": "ja-JP",
    "value": "中止",
    "translationProvider": 0,
    "qualityIndex": 77
  },
  {
    "language": "zh-CN",
    "value": "取消",
    "translationProvider": 0,
    "qualityIndex": 98
  }
]
}
```

英語以外の言語からのテキストの翻訳

ドイツ語の単語 *Benutzerdaten* を英語、中国語、および日本語に翻訳するとします。可能であれば、CRM の領域で使用される翻訳が希望です (ドメイン *B2*)。翻訳の品質を判断するために、翻訳の品質評価を確認します。

これらの要件に基づき、以下の要求ペイロードを使用します。

要求本文の例

⇄ サンプルコード

```
{
  "targetLanguages": [
    "en-US",
    "ja-JP",
    "zh-CN"
  ],
  "sourceLanguage": "de-DE",

  "domain": "B2",
  "units": [
    {
      "key": "USER_DATA",
      "value": "Benutzerdaten"
    }
  ]
}
```

応答本文の例

⇄ サンプルコード

```
{
  "units": [
    {
      "domain": "B2",
      "key": "USER_FRIENDLY",
      "value": "Benutzerdaten",
```

```
"translations": [
  {
    "language": "zh-CN",
    "value": "用户数据",
    "translationProvider": 0,
    "qualityIndex": 100
  },
  {
    "language": "en-US",
    "value": "User Data",
    "translationProvider": 0,
    "qualityIndex": 96
  },
  {
    "language": "ja-JP",
    "value": "ユーザデータ",
    "translationProvider": 0,
    "qualityIndex": 100
  }
]
}
```

会社 MLTR の参照によるテキストの翻訳

特定のプロジェクトでの翻訳の第一選択肢として使用する会社 MLTR (その ID は 325) が準備されているとします。他のすべての翻訳に対しては、CRM の領域 (ドメイン *B2*) での SAP MLTR および SAP MT を使用するとします。

この要件に基づき、以下の要求ペイロードを使用します。

要求本文の例

↔ サンプルコード

```
{
  "targetLanguages": [
    "de-DE",
    "fr-FR"
  ],
  "companyMltrId": 325,
  "domain": "B2",
  "resultLimit": 10,
  "units": [
    {
      "value": "Cancel"
    },
    {
      "value": "Add"
    },
    {
      "value": "Username"
    }
  ]
}
```

応答本文の例

以下の応答は、会社 MLTR が使用されたことを示しています (翻訳プロバイダの値は 5)。

⇄ サンプルコード

```
{
  "units": [
    {
      "value": "Cancel",
      "translations": [
        {
          "language": "de-DE",
          "value": "Stornieren",
          "translationProvider": 1,
          "qualityIndex": 32
        },
        {
          "language": "fr-FR",
          "value": "Annuler",
          "translationProvider": 1,
          "qualityIndex": 36
        }
      ]
    },
    {
      "domain": "B2",
      "value": "Add",
      "translations": [
        {
          "language": "fr-FR",
          "value": "Ajouter",
          "translationProvider": 0,
          "qualityIndex": 100
        },
        {
          "language": "de-DE",
          "value": "Hinzufügen",
          "translationProvider": 0,
          "qualityIndex": 99
        }
      ]
    },
    {
      "domain": "BC",
      "value": "Username",
      "translations": [
        {
          "language": "de-DE",
          "value": "Benutzernamen",
          "translationProvider": 5,
          "qualityIndex": 100
        },
        {
          "language": "fr-FR",
          "value": "Identifiant",
          "translationProvider": 0
        }
      ]
    }
  ]
}
```

最小品質指標によるテキストの翻訳

特定の値を上回る品質指標で翻訳を行おうとしています。これらの要件に基づき、以下の要求ペイロードを使用します。

要求本文の例

{ } サンプルコード

```
{
  "targetLanguages": [
    "fr-FR"
  ],
  "enableMT": false,
  "minQuality": 50,
  "accountId": "qcad4wfgio",
  "units": [
    {
      "key": "key1",
      "value": "cancel",
      "maxLength": 40,
      "searchData": {
        "language": "de-DE",
        "value": "Abbrechen"
      }
    },
    {
      "key": "key2",
      "value": "apply",
      "maxLength": 40
    }
  ]
}
```

応答本文の例

{ } サンプルコード

```
{
  "units": [
    {
      "domain": "CA",
      "key": "key1",
      "value": "cancel",
      "translations": [
        {
          "language": "fr-FR",
          "value": "Interrompre",
          "translationProvider": 0,
          "qualityIndex": 88
        }
      ]
    },
    {
      "domain": "PO",
      "key": "key2",
      "value": "apply",
      "translations": [
        {
          "language": "fr-FR",
          "value": "appliquer",
          "translationProvider": 0,

```

```
        "qualityIndex": 71
      }
    ]
  }
```

シミュレーション実行でのテキストの翻訳

シミュレーション実行で翻訳を行おうとしています。翻訳は更新されず、翻訳プロバイダや品質索引などのメタデータのみが表示されます。提示されるデータは、請求の対象外にもなります。これらの要件に基づき、以下の要求ペイロードを使用します。

要求本文の例

↔ サンプルコード

```
{
  "targetLanguages": [
    "fr-FR"
  ],
  "enableMT": false,
  "statsOnly": true,
  "units": [
    {
      "key": "key1",
      "value": "cancel",
      "maxLength": 40,
      "searchData": {
        "language": "de-DE",
        "value": "Abbrechen"
      }
    },
    {
      "key": "key2",
      "value": "apply",
      "maxLength": 40
    }
  ]
}
```

応答本文の例

↔ サンプルコード

```
{
  "units": [
    {
      "domain": "CA",
      "key": "key1",
      "value": "cancel",
      "translations": [
        {
          "language": "fr-FR",
          "translationProvider": 0,
          "qualityIndex": 88
        }
      ]
    }
  ],
}
```

```
"domain": "PO",
"key": "key2",
"value": "apply",
"translations": [
  {
    "language": "fr-FR",
    "translationProvider": 0,
    "qualityIndex": 71
  }
]
```

6.3.6 翻訳プロジェクト API

一連の API メソッドを使用して、SAP Translation Hub がサポートするファイルシナリオの翻訳プロジェクトを作成および管理できます。

全体像

詳細を理解するのではなく、何ができるかの概要を把握するだけでよい場合は、[「翻訳プロジェクト API 入門」\[150 ページ\]](#)にあるいくつかの基本的な例で API を試すことから始めます。

詳細

それぞれのタイプの翻訳プロジェクトでサポートされているメソッドおよびパラメータの完全な一覧が必要である場合は、以下を参照してください。

- [ABAP 翻訳プロジェクトのメソッド \[155 ページ\]](#)
- [ファイル翻訳プロジェクトのメソッド \[177 ページ\]](#)
- [Git 翻訳プロジェクトのメソッド \[207 ページ\]](#)

6.3.6.1 翻訳プロジェクト API 入門

最初に基本的な例を使用して API を試してみる場合は、このページの以下のセクションのサンプルコードと例から開始します。

SAP Translation Hub API を使用するには、以下の前提条件を満たす必要があります。

- サービスインスタンスおよびサービスバインディングを作成して、クライアント認証情報を取得しておく必要があります。[「サービスインスタンスおよびサービスバインディングの作成」\[38 ページ\]](#)を参照してください。

- SAP Translation Hub を使用するための適切な権限が必要です。これは、パスワード認証情報 (ユーザ名およびパスワード) を必要とする翻訳プロジェクト API を使用するために必要です。 [SAP Translation Hub ユーザーインターフェースにアクセスする権限をユーザに付与する \[38 ページ\]](#) を参照してください。
- 以下の手順に従って、[サービスキーを取得 \[115 ページ\]](#)しておきます。
- [手順に従って、アクセストークンを生成 \[116 ページ\]](#)しておきます。
- <ベース URL> を特定しておきます。使用するタイプのグローバルアカウントのベース URL の場所を確認するには、[API の呼出 \[118 ページ\]](#) を参照してください。

API ごとに必要なメソッドは、以下のセクションで示されています。

ABAP 翻訳プロジェクト

ABAP システムでテキストを翻訳するには、以下のように最低限の数の API 呼出が必要です。

1. 翻訳プロジェクトを作成します (abapProjects)。
2. テキストを翻訳します (abapProjects/<translation project ID>/executions)。
3. 翻訳 (abapProjects/<translation project ID>/translations?language=it) または (abapProjects/<translation project ID>/translations?language=it-IT) を取得します。

開始するため、ABAP システム A8T のオブジェクト一覧 ([ABAP バックエンドシステム \[71 ページ\]](#)を参照) のテキストを翻訳すると想定します。

ABAP 翻訳プロジェクトを作成するには、要求ペイロードとして URL <base URL>/v2/abapProjects を POST メソッドおよび以下のサンプルコードとともに使用します。

⇄ サンプルコード

```
{
  "name": "ABAP report texts",
  "sourceLanguage": "en-US",
  "targetLanguages": [
    "de",
    "it"
  ],
  "domain": "05",
  "objectList": "4882",
  "destination": "A8T_000"
}
```

⇄ サンプルコード

```
{
  "name": "ABAP report texts",
  "sourceLanguage": "en-US",
  "targetLanguages": [
    "de-DE",
    "it-IT"
  ],
  "domain": "05",
  "objectList": "4882",
  "destination": "A8T_000"
}
```

テキストを翻訳して ABAP システムに転送するには、URL `<base URL>/v2/abapProjects/<translation project ID>/executions` を POST メソッドで使用します。要求ペイロードとして以下のサンプルコードを使用します。

```
{
  "operation": "PULL_TRANSLATE_PUSH"
}
```

翻訳を取得するには、URL `<base URL>/v2/abapProjects/<translation project ID>/translations` を GET メソッドとともに使用します。1つの言語、たとえばイタリア語の翻訳だけを取得する場合は、URL の末尾に `?language=it` または `?language=it-IT` を追加します。

これらの例によって、実行可能な内容を把握できます。使用できる追加のエンドポイントとパラメータについては、[ABAP 翻訳プロジェクトのメソッド \[155 ページ\]](#)を参照してください。

ファイル翻訳プロジェクト

.properties ファイルなどのファイルでテキストを翻訳するには、以下のように最低限の数の API 呼出が必要です。

1. 翻訳プロジェクトを作成します (fileProjects)。
2. ファイルをアップロードします (fileProjects/<translation project ID>/files)。
3. テキストを翻訳します (fileProjects/<translation project ID>/executions)。
4. 翻訳 (fileProjects/<translation project ID>/translations?language=de) または (fileProjects/<translation project ID>/translations?language=de-DE) を取得します。

ファイル翻訳プロジェクトを作成するには、要求ペイロードとして URL `<base URL>/v2/fileProjects` を POST メソッドおよび以下のサンプルコードとともに使用します。

サンプルコード

```
{
  "name": "File for sales app",
  "sourceLanguage": "en",
  "targetLanguages": [
    "de"
  ]
}
```

サンプルコード

```
{
  "name": "File for sales app",
  "sourceLanguage": "en-US",
  "targetLanguages": [
    "de-DE"
  ]
}
```

.properties ファイルをアップロードするには、URL `<base URL>/v2/fileProjects/<translation project ID>/files` を POST メソッドとともに使用します。本文では、*form-data* ボディタイプと *ファイル* キーを使用します。REST クライアントによっては、このキーの属性を *file* に指定する必要がある場合があります。

ファイルのテキストを翻訳するには、URL `<base URL>/v2/fileProjects/<translation project ID>/executions` を POST メソッドとともに使用します。要求ペイロードとして以下のサンプルコードを使用します。

サンプルコード

```
{
  "operation": "PULL_TRANSLATE"
}
```

URL `<base URL>/v2/fileProjects/<translation project ID>/translations?language=de` または `?language=de-DE` を GET メソッドとともに使用して、翻訳を取得します。

これらの例によって、実行可能な内容を把握できます。使用できる追加のエンドポイントとパラメータについては、[ファイル翻訳プロジェクトのメソッド \[177 ページ\]](#)を参照してください。

Git 翻訳プロジェクト

SAP Business Technology Platform の Git リポジトリなど、Git リポジトリのテキストを翻訳するために最低限必要な API 呼び出しは、以下のとおりです。

1. 翻訳プロジェクトを作成します (gitProjects)。
2. テキストを翻訳し、翻訳を Git リポジトリにプッシュします (gitProjects/<translation project ID>/executions)。

Git 翻訳プロジェクトを作成するには、要求ペイロードとして URL `<base URL>/v2/gitProjects` を POST メソッドおよび以下のサンプルコードとともに使用します。

サンプルコード

```
{
  "name": "Translation project for sales department",
  "sourceLanguage": "en",
  "targetLanguages": [
    "de"
  ],
  "gitType": "SAP Git service",
  "repository": "saleswebapp",
  "branch": "master",
  "fileType": "PROPERTIES",
  "files": [
    {
      "pathToFile": "webapp/il8n/il8n.properties",
      "pathToGenerateTranslations": "webapp/il8n/translations"
    }
  ]
}
```

サンプルコード

```
{
  "name": "Translation project for sales department",
  "sourceLanguage": "en-US",
  "targetLanguages": [
    "de-DE"
  ]
}
```

```
],
  "gitType": "SAP Git service",
  "repository": "saleswebapp",
  "branch": "master",
  "fileType": "PROPERTIES",
  "files": [
    {
      "pathToFile": "webapp/il8n/il8n.properties",
      "pathToGenerateTranslations": "webapp/il8n/translations"
    }
  ]
}
```

Git リポジトリからテキストをプルし、テキストを翻訳し、その翻訳を Git リポジトリにプッシュするには、[<URLbase URL>/v2/gitProjects/<translation project ID>/executions](#) および POST メソッドを使用します。要求ペイロードとして以下のサンプルコードを使用します。

🔄 サンプルコード

```
{
  "projectId": 152334,
  "operation": "PULL_TRANSLATE_PUSH"
,
  "credentials": {
    "user": "p1943729810",
    "email": "denise.smith@webshop.com",
    "password": "*****"
  }
}
```

これらの例によって、実行可能な内容を把握できます。使用できる追加のエンドポイントとパラメータについては、[Git 翻訳プロジェクトのメソッド \[207 ページ\]](#)を参照してください。

関連情報

[アクセストークンの生成 \[116 ページ\]](#)

[API の呼出 \[118 ページ\]](#)

[メッセージの言語の変更 \[154 ページ\]](#)

[ABAP 翻訳プロジェクトのメソッド \[155 ページ\]](#)

[ファイル翻訳プロジェクトのメソッド \[177 ページ\]](#)

[Git 翻訳プロジェクトのメソッド \[207 ページ\]](#)

6.3.6.2 メッセージの言語の変更

API メッセージは、SAP Translation Hub の UI が使用可能な言語で表示できます。

デフォルトでは、すべてのメッセージが英語で出力されます。いずれかのサポート対象言語でメッセージを出力する場合は、API 呼出のヘッダに *Accept-Language* キーを追加します。

→ ヒント

このヘッダで、API 呼出のコンテンツタイプ (**Content-Type**) を定義します。これは、SAP Translation Hub API の場合は `application/json; charset=utf-8` です。

このキーの対応する値は、必要な言語の HTTP コードです。以下の表は、使用可能な言語と対応するコードを示しています。

言語	言語コード
中国語	zh
フランス語	fr-fr
ドイツ語	de-de
日本語	ja
ポルトガル語	pt-br
ロシア語	ru
スペイン語	es-es

❖ 例

メッセージをフランス語で表示するとします。API 呼出のヘッダセクションに (またはテスト目的の場合は REST サービスクライアントに)、**Accept-Language** という新しいキーを入力します。このキーの値に対して、**fr-fr** を入力します。

6.3.6.3 ABAP 翻訳プロジェクトのメソッド

このメソッドを使用して、ABAP 翻訳プロジェクトの作成、翻訳プロセスの実行、および翻訳プロジェクトの詳細の表示を行うことができます。

入門

検索からこのページに来た場合、このページは少し難しく見えるかもしれません。その場合は、最初に[翻訳プロジェクト API \[150 ページ\]](#)で API のわかりやすいユースケースと例を確認することをお奨めします。

前提条件

ABAP システムのテキストを翻訳するには、[RFC を使用して ABAP テキスト \(短\) を翻訳するための前提条件 \[70 ページ\]](#)で説明されている設定を行う必要があります。

ABAP 翻訳プロジェクトの作成

アクセス

URL	<base URL>/v2/abapProjects
HTTP メソッド	POST
権限	Bearer <token> (<token> はユーザ独自の OAuth トークンに置き換えます)
Content-Type	application/json; charset=utf-8

要求

この API には、JSON 要求ペイロードおよび要求コンテンツタイプ **application/json; charset=utf-8** が必要です。このコンテンツタイプを使用しないと、API 呼出は失敗します。

以下の表は、JSON 要求のキーと値のペアを示しています。

① 注記

キーの理解を深めるには、表の下にある要求本文のサンプルコードを参照してください。

キー	説明	タイプ
<i>name</i>	翻訳プロジェクトの名前 (例: ABAP texts for sales demo)。	必須
<i>sourceLanguage</i>	Best Current Practice (BCP) 47 に準拠する翻訳元言語の ISO コード。	必須
<i>targetLanguages</i>	テキストの翻訳先言語の ISO コード。この言語コードは BCP 47 に準拠している必要があります。	必須
	<h4>① 注記</h4> <p>翻訳元言語と翻訳先言語のどの組合せが可能であるかを確認するには、サポートされている言語を参照してください。</p>	
<i>domain</i>	翻訳ドメインの ID (CRM の場合は B2 など) またはドメイングループの ID (販売の場合は 02 など)。ドメインまたはドメイングループを指定しないと、API は使用可能なすべてのドメインで翻訳を検索します。詳細については、ドメインを参照してください。	オプション
	<h4>① 注記</h4> <p>複数のドメインを入力することはできません。</p>	

キー	説明	タイプ
<i>isReviewMandatory</i>	少なくとも1つのステップを使用して翻訳をチェックするかどうかを決定します。レビューステップは、単独で使用することも、2ステッププロセスの一部として事後編集後に使用することもできます。これらのステップと各テキストに対応するライフサイクルステータスを使用して、事後編集およびレビュープロセスを管理します。詳細については、事後編集およびレビューステップの管理を参照してください。	オプション
<i>isPostEditingMandatory</i>	2ステッププロセスを使用して翻訳をチェックするかどうかを決定します。このオプションにより、翻訳プロジェクトUIでレビューステップの前に専用の事後編集ステップを実行できます。これらのステップと各テキストに対応するライフサイクルステータスを使用して、事後編集およびレビュープロセスを管理します。このオプションを有効にする場合は、 <i>isReviewMandatory</i> キーの値も <i>true</i> に設定します。詳細については、事後編集およびレビューステップの管理を参照してください。	オプション
<i>companyMLTRId</i>	<p>翻訳プロバイダとして使用する自社 MLTR を示します。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>→ ヒント</p> <p>自社 MLTR の ID を取得するには、自社 MLTR の UI のアドレスバーを参照してください。詳細については、独自の言語データを統合する UI へのアクセスを参照してください。</p> </div>	オプション
<i>objectList</i>	ABAP システムで翻訳するオブジェクト一覧の ID。	必須
<i>destination</i>	<p>3文字の ABAP システム ID と翻訳するオブジェクト一覧を作成したクライアント。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>❖ 例</p> <p>A8T_000</p> </div>	必須

要求本文の例

```
{
  "name": "Texts for sales department demo",
  "sourceLanguage": "en",
  "targetLanguages": [
    "de",
    "es",
    "fr",
    "it"
  ],
  "domain": "05",
  "isReviewMandatory": true,
  "isPostEditingMandatory": false,
  "objectList": "4012",
  "destination": "A8T_000"
}
```

```
{
  "name": "Texts for sales department demo",
  "sourceLanguage": "en-US",
```

```

"targetLanguages": [
  "de-DE",
  "es-ES",
  "fr-FR",
  "it-IT"
],
"domain": "05",
"isReviewMandatory": true,
"isPostEditingMandatory": false,
"objectList": "4012",
"destination": "A8T_000"
}

```

応答

翻訳応答は、JSON 形式であり、以下のキーと値のペアが含まれています。

キー	説明	応答に含まれるか
<i>id</i>	翻訳プロジェクトの ID。後続の API 呼出でこの ID を使用して、翻訳プロジェクトのテキストの翻訳を行います。	常に応答にあり
<i>name</i>	翻訳プロジェクトの名前 (例: ABAP texts for sales demo)。	常に応答にあり
<i>sourceLanguage</i>	Best Current Practice (BCP) 47 に準拠する翻訳元言語の ISO コード。	常に応答にあり
<i>targetLanguages</i>	<p>テキストの翻訳先言語の ISO コード。この言語コードは BCP 47 に準拠している必要があります。</p> <p>翻訳先言語を指定しないと、API は使用可能なすべての翻訳先言語でテキストを返します。</p>	常に応答にあり
<div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; background-color: #f9f9f9;"> <p>注記</p> <p>翻訳元言語と翻訳先言語のどの組合せが可能であるかを 確認するには、サポートされている言語を参照してください。</p> </div>		
<i>domain</i>	<p>翻訳ドメインの ID (CRM の場合は B2 など) またはドメイングループの ID (販売の場合は 02 など)。ドメインまたはドメイングループを指定しないと、API は使用可能なすべてのドメインで翻訳を検索します。詳細については、ドメインを参照してください。</p>	常に応答にあり
<div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; background-color: #f9f9f9;"> <p>注記</p> <p>複数のドメインを入力することはできません。</p> </div>		
<i>isReviewMandatory</i>	<p>翻訳プロジェクト UI でレビューステップを有効にできるかどうかを示します。このステップと各テキストに対応するライフサイクルステータスを使用して、レビュープロセスを管理します。詳細については、事後編集およびレビューステップの管理を参照してください。</p>	常に応答にあり

キー	説明	応答に含まれるか
<i>isPostEditingMandatory</i>	翻訳プロジェクト UI で事後編集ステップを有効にしたかどうかを示します。このステップと各テキストに対応するライフサイクルステータスを使用して、事後編集およびレビュープロセスを管理します。詳細については、事後編集およびレビューステップの管理を参照してください。	常に応答にあり
<i>companyMLTRId</i>	翻訳プロバイダとして使用する自社 MLTR を示します。	常に応答にあり
	<p>→ ヒント</p> <p>自社 MLTR の ID を取得するには、自社 MLTR の UI のアドレスバーを参照してください。詳細については、独自の言語データを統合する UI へのアクセスを参照してください。</p>	
<i>createdByUserId</i>	翻訳プロジェクトを作成したユーザの ID。	常に応答にあり
<i>createdByUserName</i>	翻訳プロジェクトを作成したユーザの名前。	常に応答にあり
<i>objectList</i>	ABAP システムで翻訳するオブジェクト一覧の ID。	常に応答にあり
<i>destination</i>	3 文字の ABAP システム ID と翻訳するオブジェクト一覧を作成したクライアント。	常に応答にあり
	<p>❖ 例</p> <p>A8T_000</p>	

応答本文の例

⇄ サンプルコード

```
{
  "id": 1202,
  "name": "Texts for sales department demo",
  "sourceLanguage": "en",
  "targetLanguages": [
    "de",
    "es",
    "fr",
    "it"
  ],
  "domain": "05",
  "isReviewMandatory": true,
  "isPostEditingMandatory": false,
  "companyMltrId": null,
  "createdByUserId": "p1943729810",
  "createdByUserName": "Denise Smith",
  "objectList": "4012",
  "destination": "A8T_000"
}
```

⇄ サンプルコード

```
{
  "id": 1202,
  "name": "Texts for sales department demo",
  "sourceLanguage": "en-US",
```

```
"targetLanguages": [
  "de-DE",
  "es-ES",
  "fr-FR",
  "it-IT"
],
"domain": "05",
"isReviewMandatory": true,
"isPostEditingMandatory": false,
"companyMltrId": null,
"createdByUserId": "p1943729810",
"createdByUsername": "Denise Smith",
"objectList": "4012",
"destination": "A8T_000"
}
```

エラー

プロジェクトの作成時に不適切なオブジェクト一覧を指定した場合は、以下のエラーメッセージが表示されます。

サンプルコード

```
{
  "error": {
    "code": 1117,
    "message": "We can't retrieve the object list [{}]"
  }
}
```

ABAP 翻訳プロジェクトの詳細の取得

アクセス

URL	<base URL>/v2/abapProjects/<translation project ID>
HTTP メソッド	GET
権限	Bearer <token> (<token> はユーザ独自の OAuth トークンに置き換えます)
Content-Type	application/json; charset=utf-8

要求

単一の翻訳プロジェクトの詳細を取得するには、URL の末尾に翻訳プロジェクトの ID を指定して API を呼び出します。

特定のサブアカウントで作成されたすべての翻訳プロジェクトの詳細を取得するには、翻訳プロジェクトの ID を指定せずに API を呼び出します。すべての翻訳プロジェクトの API を呼び出す場合、応答は、個別の翻訳プロジェクトの配列で構成されます。

要求の例

- 単一の翻訳プロジェクト: <base URL>/v2/abapProjects/1201
- すべての翻訳プロジェクト: <base URL>/v2/abapProjects

応答

翻訳応答は、JSON 形式であり、以下のキーと値のペアが含まれています。

キー	説明	応答に含まれるか
<i>id</i>	翻訳プロジェクトの ID。後続の API 呼出でこの ID を使用して、翻訳プロジェクトのテキストの翻訳を行います。	常に応答にあり
<i>name</i>	翻訳プロジェクトの名前 (例: ABAP texts for sales demo)。	常に応答にあり
<i>sourceLanguage</i>	Best Current Practice (BCP) 47 に準拠する翻訳元言語の ISO コード。	常に応答にあり
<i>targetLanguages</i>	<p>テキストの翻訳先言語の ISO コード。この言語コードは BCP 47 に準拠している必要があります。</p> <p>翻訳先言語を指定しないと、API は使用可能なすべての翻訳先言語でテキストを返します。</p>	常に応答にあり
	<p>注記</p> <p>翻訳元言語と翻訳先言語のどの組合せが可能であるかを 確認するには、サポートされている言語を参照してください。</p>	
<i>domain</i>	<p>翻訳ドメインの ID (CRM の場合は B2 など) またはドメイングループの ID (販売の場合は O2 など)。ドメインまたはドメイングループを指定しないと、API は使用可能なすべてのドメインで翻訳を検索します。詳細については、ドメインを参照してください。</p>	常に応答にあり
	<p>注記</p> <p>複数のドメインを入力することはできません。</p>	
<i>isReviewMandatory</i>	<p>翻訳プロジェクト UI でレビューステップを有効にできるかどうかを示します。このステップと各テキストに対応するライフサイクルステータスを使用して、レビュープロセスを管理します。詳細については、事後編集およびレビューステップの管理を参照してください。</p>	常に応答にあり
<i>isPostEditingMandatory</i>	<p>翻訳プロジェクト UI で事後編集ステップを有効にしたかどうかを示します。このステップと各テキストに対応するライフサイクルステータスを使用して、事後編集およびレビュープロセスを管理します。詳細については、事後編集およびレビューステップの管理を参照してください。</p>	常に応答にあり
<i>companyMLTRId</i>	<p>翻訳プロバイダとして使用する自社 MLTR を示します。</p>	常に応答にあり
	<p>→ ヒント</p> <p>自社 MLTR の ID を取得するには、自社 MLTR の UI のアドレスバーを参照してください。詳細については、独自の言語データを統合する UI へのアクセスを参照してください。</p>	
<i>createdByUserId</i>	<p>翻訳プロジェクトを作成したユーザの ID。</p>	常に応答にあり

キー	説明	応答に含まれるか
<code>createdByUserName</code>	翻訳プロジェクトを作成したユーザの名前。	常に応答にあり
<code>objectList</code>	ABAP システムで翻訳するオブジェクト一覧の ID。	常に応答にあり
<code>destination</code>	3 文字の ABAP システム ID と翻訳するオブジェクト一覧を作成したクライアント。	常に応答にあり

❖ 例

A8T_000

応答本文の例

単一の翻訳プロジェクト

🔗 サンプルコード

```
{
  "id": 1202,
  "name": "Texts for sales department demo",
  "sourceLanguage": "en-US",
  "targetLanguages": [
    "de",
    "es",
    "fr",
    "it"
  ],
  "domain": "05",
  "isReviewMandatory": true,
  "isPostEditingMandatory": false,
  "companyMltrId": null,
  "createdByUserId": "p1943729810",
  "createdByUserName": "Denise Smith",
  "objectList": "4012",
  "destination": "A8T_000"
}
```

🔗 サンプルコード

```
{
  "id": 1202,
  "name": "Texts for sales department demo",
  "sourceLanguage": "en-US",
  "targetLanguages": [
    "de-DE",
    "es-ES",
    "fr-FR",
    "it-IT"
  ],
  "domain": "05",
  "isReviewMandatory": true,
  "isPostEditingMandatory": false,
  "companyMltrId": null,
  "createdByUserId": "p1943729810",
  "createdByUserName": "Denise Smith",
  "objectList": "4012",
  "destination": "A8T_000"
}
```

すべての翻訳プロジェクト

サンプルコード

```
{
  {
    "id": 1202,
    "name": "Texts for sales department demo",
    "sourceLanguage": "en",
    "targetLanguages": [
      "de",
      "es",
      "fr",
      "it"
    ],
    "domain": "05",
    "isReviewMandatory": true,
    "isPostEditingMandatory": false,
    "companyMltrId": null,
    "createdByUserId": "p1943729810",
    "createdByUsername": "Denise Smith",
    "objectList": "4012",
    "destination": "A8T_000"
  },
  {
    "id": 1198,
    "name": "Texts for partner demo",
    "sourceLanguage": "en-US",
    "targetLanguages": [
      "de",
      "bg",
      "ru"
    ],
    "domain": "07",
    "isReviewMandatory": true,
    "isPostEditingMandatory": true,
    "companyMltrId": null,
    "createdByUserId": "p1943729810",
    "createdByUsername": "Denise Smith",
    "objectList": "4002",
    "destination": "A8T_000"
  }
}
```

サンプルコード

```
[
  {
    "id": 1202,
    "name": "Texts for sales department demo",
    "sourceLanguage": "en-US",
    "targetLanguages": [
      "de-DE",
      "es-ES",
      "fr-FR",
      "it-IT"
    ],
    "domain": "05",
    "isReviewMandatory": true,
    "isPostEditingMandatory": false,
    "companyMltrId": null,
    "createdByUserId": "p1943729810",
    "createdByUsername": "Denise Smith",
    "objectList": "4012",
    "destination": "A8T_000"
  },
]
```

```
{
  "id": 1198,
  "name": "Texts for partner demo",
  "sourceLanguage": "en-US",
  "targetLanguages": [
    "de-DE",
    "bg-BG",
    "ru-RU"
  ],
  "domain": "07",
  "isReviewMandatory": true,
  "isPostEditingMandatory": true,
  "companyMltrId": null,
  "createdByUserId": "p1943729810",
  "createdByUsername": "Denise Smith",
  "objectList": "4002",
  "destination": "A8T_000"
}
```

エラー

プロジェクトの URL が不正な場合は、以下のエラーメッセージが表示されます。

🔗 サンプルコード

```
{
  "error": {
    "code": 1013,
    "message": "There is no ABAP project with ID {id}. Please check the
URL and try again."
  }
}
```

ABAP 翻訳プロジェクトの更新

アクセス

URL	<base URL>/v2/abapProjects/<translation project ID>
HTTP メソッド	PUT
権限	Bearer <token> (<token> はユーザ独自の OAuth トークンに置き換えます)
Content-Type	application/json; charset=utf-8

要求

この API には、JSON 要求ペイロードおよび要求コンテンツタイプ **application/json; charset=utf-8** が必要です。このコンテンツタイプを使用しないと、API 呼出は失敗します。

以下の表は、JSON 要求のキーと値のペアを示しています。

📌 注記

キーの理解を深めるには、表の下にある要求本文のサンプルコードを参照してください。

キー	説明	タイプ
<i>name</i>	翻訳プロジェクトの名前 (例: ABAP texts for sales demo)。	必須
<i>sourceLanguage</i>	Best Current Practice (BCP) 47 に準拠する翻訳元言語の ISO コード。	必須
<i>targetLanguages</i>	テキストの翻訳先言語の ISO コード。この言語コードは BCP 47 に準拠している必要があります。	必須
	<p>① 注記</p> <p>翻訳元言語と翻訳先言語のどの組合せが可能であるかを 確認するには、サポートされている言語を参照してくださ い。</p>	
<i>domain</i>	翻訳ドメインの ID (CRM の場合は B2 など) またはドメイン グループの ID (販売の場合は 02 など)。ドメインまたはドメ イングループを指定しないと、API は使用可能なすべてのドメ インで翻訳を検索します。詳細については、ドメインを参照し てください。	オプション
	<p>① 注記</p> <p>複数のドメインを入力することはできません。</p>	
<i>isReviewMandatory</i>	少なくとも 1 つのステップを使用して翻訳をチェックするか どうかを決定します。レビューステップは、単独で使用する ことも、2 ステッププロセスの一部として事後編集後に使用す ることもできます。これらのステップと各テキストに対応する ライフサイクルステータスを使用して、事後編集およびレビ ュープロセスを管理します。詳細については、事後編集およびレ ビューステップの管理を参照してください。	オプション
<i>isPostEditingMandatory</i>	2 ステッププロセスを使用して翻訳をチェックするかどうか を決定します。このオプションにより、翻訳プロジェクト UI でレビューステップの前に専用の事後編集ステップを実行で きます。これらのステップと各テキストに対応するライフサ イクルステータスを使用して、事後編集およびレビュープロセ スを管理します。このオプションを有効にする場合は、 <i>isReviewMandatory</i> キーの値も <i>true</i> に設定します。詳細につ いては、事後編集およびレビューステップの管理を参照してく ださい。	オプション
<i>companyMLTRId</i>	翻訳プロバイダとして使用する自社 MLTR を示します。	オプション
	<p>→ ヒント</p> <p>自社 MLTR の ID を取得するには、自社 MLTR の UI のアド レスバーを参照してください。詳細については、独自の言 語データを統合する UI へのアクセスを参照してくださ い。</p>	
<i>objectList</i>	ABAP システムで翻訳するオブジェクト一覧の ID。	必須

キー	説明	タイプ
<code>destination</code>	3文字の ABAP システム ID と翻訳するオブジェクト一覧を作成したクライアント。	必須

❖ 例

A8T_000

要求の例

<base URL>/v2/abapProjects/1202

```
{
  "name": "Texts for sales department demo",
  "sourceLanguage": "en",
  "targetLanguages": [
    "de",
    "es",
    "fr",
    "da"
  ],
  "objectList": "4012",
  "destination": "A8T_000"
}
```

```
{
  "name": "Texts for sales department demo",
  "sourceLanguage": "en-US",
  "targetLanguages": [
    "de-DE",
    "es-ES",
    "fr-FR",
    "da-DK"
  ],
  "objectList": "4012",
  "destination": "A8T_000"
}
```

応答

応答メッセージに、更新が正常に行われたかが示されます。更新を確認するには、ABAP 翻訳プロジェクトの詳細の取得で説明されている API を呼び出します。

ABAP 翻訳プロジェクトの実行 (翻訳) の開始

アクセス

URL	<base URL>/v2/abapProjects/<translation project ID>/executions
HTTP メソッド	POST

権限	Bearer <token> (<token> はユーザ独自の OAuth トークンに置き換えます)
Content-Type	application/json; charset=utf-8

要求

この API には、JSON 要求ペイロードおよび要求コンテンツタイプ `application/json; charset=utf-8` が必要です。このコンテンツタイプを使用しないと、API 呼出は失敗します。

以下の表は、JSON 要求のキーと値のペアを示しています。

注記

キーの理解を深めるには、表の下にある要求本文のサンプルコードを参照してください。

キー	説明	タイプ
<code>operation</code>	実行するワークフロー操作。	必須
	<div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> <p>例</p> <p><code>PULL_TRANSLATE_PUSH</code>、<code>PULL_TRANSLATE</code>、<code>TRANSLATE_PUSH</code></p> </div>	

要求本文の例

```
{
  "operation": "PULL_TRANSLATE"
}
```

応答

翻訳応答は JSON 形式です。応答には、以下のキーと値のペアが含まれています。

キー	説明	応答に含まれるか
<code>id</code>	翻訳プロジェクトの単一の実行の ID。	常に応答にあり
<code>projectId</code>	翻訳プロジェクトの ID。	常に応答にあり
<code>operation</code>	実行されたワークワークフロー操作。	常に応答にあり
<code>status</code>	翻訳プロジェクトの実行のステータス。以下のステータスがあります。Created、Executing、Completed。	常に応答にあり
<code>percentDone</code>	翻訳プロジェクトの実行の進捗 (パーセント)。	常に応答にあり
<code>createdBy</code>	翻訳プロジェクトの実行を開始したユーザの名前。	常に応答にあり
<code>createdAt</code>	翻訳プロジェクトの実行が開始された日付 (UTC)。	常に応答にあり
<code>finishedAt</code>	翻訳プロジェクトの実行が終了した日付 (UTC)。	常に応答にあり
<code>cancelled</code>	翻訳プロジェクトの実行がキャンセルされたかどうかを示します。	常に応答にあり

キー	説明	応答に含まれるか
<code>errors</code>	翻訳プロジェクトの実行にエラーが含まれているかどうかを示します。使用可能な値は、True と False です。	常に応答にあり
<code>warnings</code>	翻訳プロジェクトの実行に警告が含まれているかどうかを示します。	常に応答にあり
<code>log</code>	警告やエラーを含むさまざまなタイプのログエントリのキーの配列が含まれます。以下の表を参照してください。	常に応答にあり
<code>childExecutions</code>	プロジェクトの実行を、子実行と呼ばれる複数のより小さなバンドルに分割できます。 <code>childExecutions</code> キーは、メインの実行と同じキーの配列で構成されます。	常に応答にあり

キー	説明	応答に含まれるか
<code>type</code>	エラーなど、ログエントリのタイプ。	常に応答にあり
<code>createdAt</code>	ログが作成された日付 (UTC)。	常に応答にあり
<code>code</code>	ログエントリのコード。	常に応答にあり
<code>message</code>	ログエントリの実際の内容。	常に応答にあり

応答本文の例

🔗 サンプルコード

```
{
  "id": "ccb325e2-3007-4be3-af2b-5c40ad560e5f",
  "projectId": 1203,
  "operation": "PULL_TRANSLATE",
  "status": "CREATED",
  "percentDone": 0,
  "createdBy": "p1943729810",
  "createdAt": "2024-01-30 11:13:45.262",
  "finishedAt": null,
  "cancelled": false,
  "errors": false,
  "warnings": null,
  "log": [
    {
      "type": "INFO",
      "createdAt": "2024-01-03 11:13:45.0",
      "code": null,
      "message": "Action was queued"
    }
  ],
  "childExecutions": null
}
```

実行 (翻訳) の進捗に関する情報の取得

アクセス

URL	<code><base URL>/v2/abapProjects/<translation project ID>/executions/<ID of translation project execu>tion</code>
HTTP メソッド	GET
権限	Bearer <code><token></code> (<code><token></code> はユーザ独自の OAuth トークンに置き換えます)
Content-Type	application/json; charset=utf-8

→ ヒント

翻訳プロジェクトのすべての実行に関する情報を取得するには、翻訳プロジェクトの実行の ID を指定せずに API を呼び出します。すべての翻訳プロジェクト実行の API を呼び出す場合、応答は、翻訳プロジェクトの実行の配列で構成されます。

要求

パラメータを指定せずに API を呼び出します。

要求の例

- 翻訳プロジェクトの単独実施: `<base URL>/v2/abapProjects/1201/executions/c58811d7-e84c-4e96-b4fb-d43fdea93961`
- 翻訳プロジェクトのすべての実施: `<base URL>/v2/abapProjects/1201/executions`

応答

翻訳応答は JSON 形式です。応答には、以下のキーと値のペアを含むキーの配列が含まれています。

キー	説明	応答に含まれるか
<code>id</code>	翻訳プロジェクトの単一の実行の ID。	常に応答にあり
<code>projectId</code>	翻訳プロジェクトの ID。	常に応答にあり
<code>operation</code>	実行されたワークフロー操作。	常に応答にあり
<code>status</code>	翻訳プロジェクトの実行のステータス。以下のステータスが あります。Created、Executing、Completed。	常に応答にあり
<code>percentDone</code>	翻訳プロジェクトの実行の進捗 (パーセント)。	常に応答にあり
<code>createdBy</code>	翻訳プロジェクトの実行を開始したユーザの名前。	常に応答にあり
<code>createdAt</code>	翻訳プロジェクトの実行が開始された日付 (UTC)。	常に応答にあり
<code>finishedAt</code>	翻訳プロジェクトの実行が終了した日付 (UTC)。	常に応答にあり
<code>cancelled</code>	翻訳プロジェクトの実行がキャンセルされたかどうかを示し ます。	常に応答にあり
<code>errors</code>	翻訳プロジェクトの実行にエラーが含まれているかどうかを 示します。使用可能な値は、True と False です。	常に応答にあり

キー	説明	応答に含まれるか
warnings	翻訳プロジェクトの実行に警告が含まれているかどうかを示します。	常に応答にあり
log	警告やエラーを含むさまざまなタイプのログエントリのキーの配列が含まれます。以下の表を参照してください。	常に応答にあり
childExecutions	プロジェクトの実行を、子実行と呼ばれる複数のより小さなバンドルに分割できます。 childExecutions キーは、メインの実行と同じキーの配列で構成されます。	常に応答にあり

キー	説明	応答に含まれるか
type	エラーなど、ログエントリのタイプ。	常に応答にあり
createdAt	ログが作成された日付(UTC)。	常に応答にあり
code	ログエントリのコード。	常に応答にあり
message	ログエントリの実際の内容。	常に応答にあり

応答本文の例

翻訳プロジェクトの単一の実行

🔗 サンプルコード

```
[
  {
    "id": "c58811d7-e84c-4e96-b4fb-d43fdea93961",
    "projectId": 1201,
    "operation": "PULL_TRANSLATE",
    "status": "COMPLETED",
    "percentDone": 100,
    "createdBy": "p1943729810",
    "createdAt": "2024-01-28 09:22:30.0",
    "finishedAt": "2024-01-28 09:23:06.0",
    "cancelled": false,
    "errors": true,
    "warnings": null,
    "log": [],
    "childExecutions": null
  }
]
```

翻訳プロジェクトのすべての実行

🔗 サンプルコード

```
[
  {
    "id": "c58811d7-e84c-4e96-b4fb-d43fdea93961",
    "projectId": 1201,
    "operation": "PULL_TRANSLATE",
    "status": "COMPLETED",
    "percentDone": 100,
    "createdBy": "p1943729810",
    "createdAt": "2024-01-28 09:22:30.0",
    "finishedAt": "2024-01-28 09:23:06.0",
    "cancelled": false,
    "errors": true,
    "warnings": null,

```

```

    "log": [],
    "childExecutions": null
  },
  {
    "id": "d60c678e-92b8-4f2b-b3c1-a1c39f3eb191",
    "projectId": 1203,
    "operation": "PULL_TRANSLATE",
    "status": "IN_PROGRESS",
    "percentDone": 0,
    "createdBy": "p1943729810",
    "createdAt": "2024-01-28 08:19:35.0",
    "finishedAt": "2024-01-28 08:20:10.0",
    "cancelled": false,
    "errors": true,
    "warnings": null,
    "log": [],
    "childExecutions": null
  }
]

```

翻訳の取得

アクセス

URL	<base URL>/v2/abapProjects/<translation project ID>/translations
HTTP メソッド	GET
権限	Bearer <token> (<token> はユーザ独自の OAuth トークンに置き換えます)
Content-Type	application/json; charset=utf-8

要求

URL の末尾にパラメータとして必要な言語を指定して API を呼び出します。

キー	説明	タイプ
<i>language</i>	取得する翻訳の言語コード。	オプション

❖ 例

```

<base URL>/v2/abapProjects/1202/
translations?language=fr,it または <base
URL>/v2/abapProjects/1202/
translations?language=fr-FR,it-IT

```

要求の例

<base URL>/v2/abapProjects/1202/translations?language=it

<base URL>/v2/abapProjects/1202/translations?language=it-IT

応答

翻訳応答は JSON 形式です。応答には、以下のキーと値のペアを含むキーの配列が含まれています。各配列は1つのテキストの翻訳を表しています。

キー	説明	応答に含まれるか
<code>key</code>	翻訳ユニットの一意的キー。	常に応答にあり
<code>displayedKey</code>	翻訳ユニットの読取可能なキー。このキーは一意的であるとは限りません。	常に応答にあり
<code>translatedText</code>	翻訳済テキスト。	常に応答にあり
<code>sourceText</code>	翻訳された翻訳元テキスト。	常に応答にあり
<code>textType</code>	SAP 準拠のテキストタイプコード。	常に応答にあり
	<p>❖ 例</p> <p>フィールドラベルのコードは XFLD です。</p>	
<code>dataType</code>	翻訳のデータ型。	常に応答にあり
	<p>❖ 例</p> <p>プレーンテキスト。</p>	
<code>contextNote</code>	人間の翻訳者または主題エキスパートがより適した翻訳を見つけるために役立つ追加のコンテキスト情報。	常に応答にあり
	<p>❖ 例</p> <p>テキストは、画面の詳細セクションで製品メタデータの一覧に表示されます。</p>	
<code>sourceLanguage</code>	Best Current Practice (BCP) 47 に準拠する翻訳元テキストの言語の ISO コード。	常に応答にあり
<code>targetLanguage</code>	BCP 47 に準拠する翻訳の ISO コード。	常に応答にあり
<code>maxWidth</code>	翻訳に含める最大文字数。	常に応答にあり
<code>changedBy</code>	翻訳を最後に編集した翻訳者の名前。	常に応答にあり
<code>changedAt</code>	翻訳が最後に更新された日付 (UTC)。	常に応答にあり
<code>translationProvider</code>	翻訳の翻訳プロバイダ。	常に応答にあり
	<p>❖ 例</p> <p>多言語テキストリポジトリ (MLTR)。</p>	
<code>status</code>	翻訳のライフサイクルステータス。	常に応答にあり
	<p>❖ 例</p> <p>IN_REVIEW、TRANSLATED。</p>	
<code>abapObjectName</code>	翻訳元テキストが属する ABAP オブジェクトの技術名。	常に応答にあり

キー	説明	応答に含まれるか
<i>originalLanguage</i>	Best Current Practice (BCP) 47 に準拠するソースオブジェクトのマスター言語の ISO コード。	常に応答にあり
<i>qIndex</i>	翻訳の品質評価。0 から 100 の段階で、数値が高いほど品質が良くなります。詳細については、品質指数を参照してください。	常に応答にあり

応答本文の例

↔ サンプルコード

```
[
  {
    "key":
"1e861e2482974d77bb0164a4116b8be3880e4c426334f2b87a5cab5aa2dd6030cc45d2c4d6b30
4df9dcb3f4dc241ea39558bbe71b09ce89724be78759f84f93b",
    "displayedKey": "LOG_EXPORT_CAT",
    "value": "Exportkategorie",
    "sourceValue": "Export Category",
    "textType": "XFLD",
    "dataType": "PLAINTEXT",
    "contextNote": "The text appears in the details section of the
billing screen.",
    "sourceLanguage": "en",
    "targetLanguage": "de",
    "maxWidth": 40,
    "changedBy": "Sabine Mayer",
    "changedAt": "2024-01-13T15:18:01.603Z",
    "source": "MLTR",
    "qIndex": 90,
    "sequence": 1,
    "status": "IN_REVIEW",
    "abapObjectName": "LOG_EXPORT_CAT",
    "originalLanguage": "en"
  },
  {
    "key":
"beeb2bb13874a2868dc1639c2d2fc332dab3a6302deb12ce41ff121770c2e7dcf1d8df2c74c3c
7af8beaecdeb98f8dae981c7404148f55354ec45ea90a337717",
    "displayedKey": "LOG_IMPORT_TITLE",
    "value": "Importkategorie",
    "sourceValue": "Import Category",
    "textType": "XFLD",
    "dataType": "PLAINTEXT",
    "contextNote": "The text appears in the details section of the
billing screen.",
    "sourceLanguage": "en",
    "targetLanguage": "de",
    "maxWidth": 40,
    "changedBy": "Sabine Mayer",
    "changedAt": "2024-01-13T15:18:01.603Z",
    "source": "MLTR",
    "status": "IN_REVIEW",
    "abapObjectName": "LOG_IMPORT_TITLE",
    "originalLanguage": "en",
    "qIndex": 90
  }
]
```

↔ サンプルコード

```
[
```

```

    {
      "key":
"1e861e2482974d77bb0164a4116b8be3880e4c426334f2b87a5cab5aa2dd6030cc45d2c4d6b30
4df9dcb3f4dc241ea39558bbe71b09ce89724be78759f84f93b",
      "displayedKey": "LOG_EXPORT_CAT",
      "value": "Exportkategorie",
      "sourceValue": "Export Category",
      "textType": "XFLD",
      "dataType": "PLAINTEXT",
      "contextNote": "The text appears in the details section of the
billing screen.",
      "sourceLanguage": "en-US",
      "targetLanguage": "de-DE",
      "maxWidth": 40,
      "changedBy": "Sabine Mayer",
      "changedAt": "2024-01-13T15:18:01.603Z",
      "source": "MLTR",
      "qIndex": 90,
      "sequence": 1,
      "status": "IN_REVIEW",
      "abapObjectName": "LOG_EXPORT_CAT",
      "originalLanguage": "en"
    },
    {
      "key":
"beeb2bb13874a2868dc1639c2d2fc332dab3a6302deb12ce41ff121770c2e7dcf1d8df2c74c3c
7af8beaecdeb98f8dae981c7404148f55354ec45ea90a337717",
      "displayedKey": "LOG_IMPORT_TITLE",
      "value": "Importkategorie",
      "sourceValue": "Import Category",
      "textType": "XFLD",
      "dataType": "PLAINTEXT",
      "contextNote": "The text appears in the details section of the
billing screen.",
      "sourceLanguage": "en-US",
      "targetLanguage": "de-DE",
      "maxWidth": 40,
      "changedBy": "Sabine Mayer",
      "changedAt": "2024-01-13T15:18:01.603Z",
      "source": "MLTR",
      "status": "IN_REVIEW",
      "abapObjectName": "LOG_IMPORT_TITLE",
      "originalLanguage": "en",
      "qIndex": 90
    }
  ]

```

翻訳の更新および確認

アクセス

URL	<base URL>/v2/abapProjects/<translation project ID>/translations
HTTP メソッド	PUT
権限	Bearer <token> (<token> を独自の OAuth トークンに置換)
Content-Type	application/json; charset=utf-8

要求

この API には、JSON 要求ペイロードおよび要求コンテンツタイプ `application/json; charset=utf-8` が必要です。このコンテンツタイプを使用しないと、API 呼出は失敗します。

以下の表は、JSON 要求のキーと値のペアを示しています。

① 注記

キーの理解を深めるには、表の下にある要求本文のサンプルコードを参照してください。

キー	説明	タイプ
<code>key</code>	翻訳ユニットの一意的キー。	必須
<code>displayedKey</code>	翻訳ユニットの読取可能なキー。このキーは一意的であるとは限りません。	オプション
<code>translatedText</code>	保存する新規翻訳。	必須
<code>sourceText</code>	翻訳された翻訳元テキスト。	必須
<code>sourceLanguage</code>	Best Current Practice (BCP) 47 に準拠する翻訳元テキストの言語の ISO コード。	オプション
<code>targetLanguage</code>	BCP 47 に準拠する、更新する翻訳の ISO コード。	必須
<code>changedAt</code>	翻訳が更新された日付 (UTC)。	オプション
<code>status</code>	翻訳に設定する新しいライフサイクルステータス。 使用可能な値は INITIAL 、 IN_POST_EDITING 、 IN_REVIEW 、 REVIEWED 、 TRANSLATED 、 NOT_APPLICABLE です。	オプション
<code>abapObjectName</code>	翻訳元テキストが属する ABAP オブジェクトの技術名。	オプション

要求の例

`<base URL>/v2/abapProjects/1202/translations`

```
[
  {
    "key":
"beeb2bb13874a2868dc1639c2d2f332dab3a6302deb12ce41ff121770c2e7dcf1d8df2c74c3c7af8beaecdeb98f8dae981c7404148f55354ec45ea90a337717",
    "displayedKey": "LOG_IMPORT_TITLE",
    "value": "Import-Kategorie",
    "sourceValue": "Import Category",
    "sourceLanguage": "en",
    "targetLanguage": "de",
    "changedAt": "2024-01-31T15:18:01.603Z",
    "status": "TRANSLATED",
    "abapObjectName": "LOG_IMPORT_TITLE"
  }
]
```

`<base URL>/v2/abapProjects/1202/translations`

```
[
  {
    "key":
"beeb2bb13874a2868dc1639c2d2f332dab3a6302deb12ce41ff121770c2e7dcf1d8df2c74c3c7af8beaecdeb98f8dae981c7404148f55354ec45ea90a337717",
```

```
"displayedKey": "LOG_IMPORT_TITLE",
"value": "Import-Kategorie",
"sourceValue": "Import Category",
"sourceLanguage": "en-US",
"targetLanguage": "de-DE",
"changedAt": "2024-01-31T15:18:01.603Z",
"status": "TRANSLATED",
"abapObjectName": "LOG_IMPORT_TITLE"
}
]
```

応答

応答メッセージに、更新が正常に行われたかが示されます。更新を確認するには、応答での翻訳の取得で説明されている API を呼び出します。

ABAP 翻訳プロジェクトの特定の実行のキャンセル

アクセス

URL	<base URL>/v2/abapProjects/<translation project ID>/executions/<ID of translation project execu>tion
HTTP メソッド	DELETE
権限	Bearer <token> (<token> はユーザ独自の OAuth トークンに置き換えます)
Content-Type	application/json; charset=utf-8

要求

パラメータを指定せずに API を呼び出します。

要求の例

<base URL>/v2/abapProjects/1201/executions/c58811d7-e84c-4e96-b4fb-d43fdea93961

応答

応答メッセージに、削除が正常に行われたかが示されます。翻訳プロジェクトの特定の実行が削除されたことを確認するには、実行 (翻訳) の進捗に関する情報の取得で説明されている API を呼び出します。

ABAP 翻訳プロジェクトの削除

アクセス

URL	<base URL>/v2/abapProjects/<translation project ID>
HTTP メソッド	DELETE

権限	Bearer <token> (<token> はユーザ独自の OAuth トークンに置き換えます)
Content-Type	application/json; charset=utf-8

要求

URL の末尾に翻訳プロジェクトの ID のみを指定して API を呼び出します。

要求の例

<base URL>/v2/abapProjects/1201

応答

応答メッセージに、削除が正常に行われたかが示されます。翻訳プロジェクトが削除されたことを確認するには、ABAP 翻訳プロジェクトの詳細の取得で説明されている API を呼び出します。

関連情報

[サービスキーの取得 \[115 ページ\]](#)

[アクセストークンの生成 \[116 ページ\]](#)

[独自の言語データを統合する UI へのアクセス \[63 ページ\]](#)

[ドメイン \[29 ページ\]](#)

[languages メソッド \[121 ページ\]](#)

[事後編集およびレビューステップの管理 \[106 ページ\]](#)

[品質指数 \[32 ページ\]](#)

[サポートされている言語 \[44 ページ\]](#)

6.3.6.4 ファイル翻訳プロジェクトのメソッド

API メソッドを使用して、ファイル翻訳プロジェクトの作成、翻訳プロセスの実行、および翻訳プロジェクトの詳細の表示を行うことができます。

入門

検索からこのページに来た場合、このページは少し難しく見えるかもしれません。その場合は、最初に[翻訳プロジェクト API \[150 ページ\]](#)で API のわかりやすいユースケースと例を確認することをお奨めします。

アクセスおよび権限

API を呼び出すには、SAP Business Technology Platform のユーザおよびパスワードが必要です。また、CSRF トークンを生成する必要があります。

X-CSRF-Token	<トークン>。詳細は Generating CSRF tokens for public APIs (internal, remove) を参照してください。
--------------	---

API の呼出に必要な URL は、ベース URL とメソッドで構成されています。URL とメソッドの詳細については、以下のセクションのアクセスに示されています。

ファイル翻訳プロジェクトの作成

アクセス

URL	<base URL>/v2/fileProjects
HTTP メソッド	POST

要求

この API には、JSON 要求ペイロードおよび要求コンテンツタイプ `application/json; charset=utf-8` が必要です。このコンテンツタイプを使用しないと、API 呼出は失敗します。

以下の表は、JSON 要求のキーと値のペアを示しています。

① 注記

キーの理解を深めるには、表の下にある要求本文のサンプルコードを参照してください。翻訳応答は JSON 形式であり、次のキー-値のペアが含まれています。

キー	説明	タイプ
<code>name</code>	翻訳プロジェクトの名前 (例: <code>Texts in properties file for sales demo</code>)。	必須
<code>sourceLanguage</code>	Best Current Practice (BCP) 47 に準拠する翻訳元言語の ISO コード。	必須
<code>targetLanguages</code>	テキストの翻訳先言語の ISO コード。この言語コードは BCP 47 に準拠している必要があります。	必須

① 注記

翻訳元言語と翻訳先言語のどの組合せが可能であるかを確認するには、サポートされている言語を参照してください。

キー	説明	タイプ
<code>domain</code>	<p>翻訳ドメインの ID (CRM の場合は B2 など) またはドメイングループの ID (販売の場合は O2 など)。ドメインまたはドメイングループを指定しないと、API は使用可能なすべてのドメインで翻訳を検索します。詳細については、ドメインを参照してください。</p>	オプション
	<p>④ 注記</p> <p>複数のドメインを入力することはできません。</p>	
<code>isReviewMandatory</code>	<p>少なくとも 1 つのステップを使用して翻訳をチェックするかどうかを決定します。レビューステップは、単独で使用することも、2 ステッププロセスの一部として事後編集後に使用することもできます。これらのステップと各テキストに対応するライフサイクルステータスを使用して、事後編集およびレビュープロセスを管理します。詳細については、事後編集およびレビューステップの管理を参照してください。</p>	オプション
<code>isPostEditingMandatory</code>	<p>2 ステッププロセスを使用して翻訳をチェックするかどうかを決定します。このオプションにより、翻訳プロジェクト UI でレビューステップの前に専用の事後編集ステップを実行できます。これらのステップと各テキストに対応するライフサイクルステータスを使用して、事後編集およびレビュープロセスを管理します。このオプションを有効にする場合は、<code>isReviewMandatory</code> キーの値も <code>true</code> に設定します。詳細については、事後編集およびレビューステップの管理を参照してください。</p>	オプション
<code>companyMLTRId</code>	<p>翻訳プロバイダとして使用する自社 MLTR を示します。</p>	オプション
	<p>→ ヒント</p> <p>自社 MLTR の ID を取得するには、自社 MLTR の UI のアドレスバーを参照してください。詳細については、独自の言語データを統合する UI へのアクセスを参照してください。</p>	
<code>escapeNonAscii</code>	<p>翻訳ファイルに機械可読テキストを含めるかどうかを設定します。ファイルに、非 ASCII 文字に対してユニコードエスケープシーケンスが組み込まれるようになります (¥uxxxx)。</p>	オプション
	<p>④ 注記</p> <p>このオプションは、ISO-8859-1 エンコードの Java <code>.properties</code> ファイルを翻訳し、コンテンツを解釈する必要がある場合にのみ必要です。</p>	

キー	説明	タイプ
<code>fileType</code>	<p>翻訳するファイルのタイプ。許可されるエントリは、JSON および PROPERTIES です。ファイルタイプの詳細については、サポート対象のファイル形式 [85 ページ]を参照してください。</p>	オプション

注記

ファイルタイプはプロジェクトの作成時にのみ設定できます。後で設定することはできません。ファイルタイプを入力しない場合は、API により、ファイルが `.properties` ファイル (**PROPERTIES**) であるとみなされます。

要求本文の例

```
{
  "name": "Properties file for sales app",
  "sourceLanguage": "en",
  "targetLanguages": [
    "es",
    "pt"
  ],
  "domain": "05",
  "isReviewMandatory": true
}
```

```
{
  "name": "Properties file for sales app",
  "sourceLanguage": "en-US",
  "targetLanguages": [
    "es-ES",
    "pt-BR"
  ],
  "domain": "05",
  "isReviewMandatory": true
}
```

応答

キー	説明	応答に含まれるか
<code>id</code>	翻訳プロジェクトの ID。後続の API 呼出でこの ID を使用して、翻訳プロジェクトのテキストの翻訳などを行います。	常に応答にあり
<code>name</code>	翻訳プロジェクトの名前 (例: Texts in properties file for sales demo)。	常に応答にあり
<code>sourceLanguage</code>	Best Current Practice (BCP) 47 に準拠する翻訳元言語の ISO コード。	常に応答にあり

キー	説明	応答に含まれるか
<code>targetLanguages</code>	<p>テキストの翻訳先言語の ISO コード。この言語コードは BCP 47 に準拠している必要があります。</p> <p>翻訳先言語を指定しないと、API は使用可能なすべての翻訳先言語でテキストを返します。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>① 注記</p> <p>翻訳元言語と翻訳先言語のどの組合せが可能であるかを 確認するには、サポートされている言語を参照してくだ さい。</p> </div>	常に応答にあり
<code>domain</code>	<p>翻訳ドメインの ID (CRM の場合は B2 など) またはドメイン グループの ID (販売の場合は O2 など)。ドメインまたはドメ イングループを指定しないと、API は使用可能なすべてのドメ インで翻訳を検索します。詳細については、ドメインを参照し てください。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>① 注記</p> <p>複数のドメインを入力することはできません。</p> </div>	常に応答にあり
<code>isReviewMandatory</code>	<p>翻訳プロジェクト UI でレビューステップを有効にできるかど うかを示します。このステップと各テキストに対応するライ フサイクルステータスを使用して、レビュープロセスを管理し ます。詳細については、事後編集およびレビューステップの管 理を参照してください。</p>	常に応答にあり
<code>isPostEditingMandatory</code>	<p>翻訳プロジェクト UI で事後編集ステップを有効にしたかどう かを示します。このステップと各テキストに対応するライ フサイクルステータスを使用して、事後編集およびレビュー プロセスを管理します。詳細については、事後編集およびレビュー ステップの管理を参照してください。</p>	常に応答にあり
<code>companyMLTRId</code>	<p>翻訳プロバイダとして使用する自社 MLTR を示します。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>→ ヒント</p> <p>自社 MLTR の ID を取得するには、自社 MLTR の UI のアド レスバーを参照してください。詳細については、独自の言 語データを統合する UI へのアクセスを参照してくださ い。</p> </div>	常に応答にあり
<code>createdByUserId</code>	<p>翻訳プロジェクトを作成したユーザの ID。</p>	常に応答にあり
<code>createdByUserName</code>	<p>翻訳プロジェクトを作成したユーザの名前。</p>	常に応答にあり
<code>escapeNonAscii</code>	<p>翻訳ファイルに機械可読テキストを含めるかどうかを示しま す。ファイルに、非 ASCII 文字に対してユニコードエスケープ シーケンスが組み込まれます (¥uxxxx)。</p>	常に応答にあり
<code>fileType</code>	<p>翻訳したファイルのタイプ。</p>	常に応答にあり

応答本文の例

↔ サンプルコード

```
{
  "id": 1530,
  "name": "Properties file for sales app",
  "sourceLanguage": "en",
  "targetLanguages": [
    "es",
    "pt"
  ],
  "domain": "05",
  "isReviewMandatory": true,
  "isPostEditingMandatory": false,
  "companyMltrId": null,
  "createdByUserId": "p1943729810",
  "createdByUsername": "Cristina Lopez",
  "escapeNonAscii": false,
  "fileType": "PROPERTIES"
}
```

↔ サンプルコード

```
{
  "id": 1531,
  "name": "Properties file for sales app",
  "sourceLanguage": "en-US",
  "targetLanguages": [
    "es-ES",
    "pt-BR"
  ],
  "domain": "05",
  "isReviewMandatory": true,
  "isPostEditingMandatory": false,
  "companyMltrId": null,
  "createdByUserId": "p1943729810",
  "createdByUsername": "Cristina Lopez",
  "escapeNonAscii": false,
  "fileType": "PROPERTIES"
}
```

エラーコード

属性が API またはその他の方法で識別されない場合、以下のエラーメッセージが表示されます。

↔ サンプルコード

```
{
  "error": {
    "code": 1123,
    "message": "Property [checkType] is not recognized. Please refer to the API documentation."
  }
}
```

ファイル翻訳プロジェクトの詳細の取得

アクセス

URL	<base URL>/v2/fileProjects/<translation project ID>
HTTP メソッド	GET

要求

URL の末尾に翻訳プロジェクトの ID のみを指定して API を呼び出します。

→ ヒント

特定のサブアカウントで作成されたすべての翻訳プロジェクトを取得する場合は、翻訳プロジェクトの ID を指定せずに API を呼び出します。すべての翻訳プロジェクトの API を呼び出す場合、応答は、個別の翻訳プロジェクトの配列で構成されます。

要求の例

- 単独の翻訳プロジェクト: <base URL>/v2/fileProjects/1530
- 単独の翻訳プロジェクト: <base URL>/v2/fileProjects/1531
- すべての翻訳プロジェクト: <base URL>/v2/fileProjects

応答

翻訳応答は、JSON 形式であり、以下のキーと値のペアが含まれています。

キー	説明	応答に含まれるか
<i>id</i>	翻訳プロジェクトの ID。後続の API 呼出でこの ID を使用して、翻訳プロジェクトのテキストの翻訳を行います。	常に応答にあり
<i>name</i>	翻訳プロジェクトの名前 (例: Texts in properties file for sales demo)。	常に応答にあり
<i>sourceLanguage</i>	Best Current Practice (BCP) 47 に準拠する翻訳元言語の ISO コード。	常に応答にあり
<i>targetLanguages</i>	テキストの翻訳先言語の ISO コード。この言語コードは BCP 47 に準拠している必要があります。 翻訳先言語を指定しないと、API は使用可能なすべての翻訳先言語でテキストを返します。	常に応答にあり

① 注記

翻訳元言語と翻訳先言語のどの組合せが可能であるかを確認するには、サポートされている言語を参照してください。

キー	説明	応答に含まれるか
<code>domain</code>	<p>翻訳ドメインの ID (CRM の場合は B2 など) またはドメイングループの ID (販売の場合は 02 など)。ドメインまたはドメイングループを指定しないと、API は使用可能なすべてのドメインで翻訳を検索します。詳細については、ドメインを参照してください。</p> <p>注記 複数のドメインを入力することはできません。</p>	常に応答にあり
<code>isReviewMandatory</code>	<p>翻訳プロジェクト UI でレビューステップを有効にできるかどうかを示します。このステップと各テキストに対応するライフサイクルステータスを使用して、レビュープロセスを管理します。詳細については、事後編集およびレビューステップの管理を参照してください。</p>	常に応答にあり
<code>isPostEditingMandatory</code>	<p>翻訳プロジェクト UI で事後編集ステップを有効にしたかどうかを示します。このステップと各テキストに対応するライフサイクルステータスを使用して、事後編集およびレビュープロセスを管理します。詳細については、事後編集およびレビューステップの管理を参照してください。</p>	常に応答にあり
<code>companyMLTRId</code>	<p>翻訳プロバイダとして使用する自社 MLTR を示します。</p> <p>ヒント 自社 MLTR の ID を取得するには、自社 MLTR の UI のアドレスバーを参照してください。詳細については、独自の言語データを統合する UI へのアクセスを参照してください。</p>	常に応答にあり
<code>createdByUserId</code>	<p>翻訳プロジェクトを作成したユーザの ID。</p>	常に応答にあり
<code>createdByUserName</code>	<p>翻訳プロジェクトを作成したユーザの名前。</p>	常に応答にあり
<code>escapeNonAscii</code>	<p>翻訳ファイルに機械可読テキストを含めるかどうかを示します。ファイルに、非 ASCII 文字に対してユニコードエスケープシーケンスが組み込まれます (¥uxxxx)。</p>	常に応答にあり

応答本文の例

単一の翻訳プロジェクト

{ } サンプルコード

```
{
  "id": 1530,
  "name": "Properties file for sales app",
  "sourceLanguage": "en",
  "targetLanguages": [
    "es",
    "pt"
  ],
  "domain": "05",
  "isReviewMandatory": true,
  "isPostEditingMandatory": false,
  "companyMltrId": null,
  "createdByUserId": "p1943729810",
  "createdByUserName": "Cristina Lopez",
```

```
"escapeNonAscii": false,  
"fileType": "PROPERTIES"  
}
```

サンプルコード

```
{  
  "id": 1531,  
  "name": "Properties file for sales app",  
  "sourceLanguage": "en-US",  
  "targetLanguages": [  
    "es-ES",  
    "pt-BR"  
  ],  
  "domain": "05",  
  "isReviewMandatory": true,  
  "isPostEditingMandatory": false,  
  "companyMltrId": null,  
  "createdByUserId": "p1943729810",  
  "createdByUsername": "Cristina Lopez",  
  "escapeNonAscii": false,  
  "fileType": "PROPERTIES"  
}
```

すべての翻訳プロジェクト

サンプルコード

```
[  
  {  
    "id": 1530,  
    "name": "Properties file for sales app",  
    "sourceLanguage": "en",  
    "targetLanguages": [  
      "es",  
      "pt"  
    ],  
    "domain": "05",  
    "isReviewMandatory": true,  
    "isPostEditingMandatory": false,  
    "isLQEEEnabled": true,  
    "companyMltrId": null,  
    "createdByUserId": "p1943729810",  
    "createdByUsername": "Cristina Lopez",  
    "escapeNonAscii": false,  
    "fileType": "PROPERTIES"  
  },  
  {  
    "id": 1536,  
    "name": "Properties file for Cristina's demo",  
    "sourceLanguage": "en",  
    "targetLanguages": [  
      "pt"  
    ],  
    "domain": "05",  
    "isReviewMandatory": true,  
    "isPostEditingMandatory": true,  
    "isLQEEEnabled": true,  
    "companyMltrId": null,  
    "createdByUserId": "p1943729810",  
    "createdByUsername": "Cristina Lopez",  
    "escapeNonAscii": false,  
    "fileType": "PROPERTIES"  
  }  
]
```

```
]
```

サンプルコード

```
[
  {
    "id": 1531,
    "name": "Properties file for sales app",
    "sourceLanguage": "en-US",
    "targetLanguages": [
      "es-ES",
      "pt-BR"
    ],
    "domain": "05",
    "isReviewMandatory": true,
    "isPostEditingMandatory": false,
    "companyMltrId": null,
    "createdByUserId": "p1943729810",
    "createdByUsername": "Cristina Lopez",
    "escapeNonAscii": false,
    "fileType": "PROPERTIES"
  },
  {
    "id": 1537,
    "name": "Properties file for Cristina's demo",
    "sourceLanguage": "en-US",
    "targetLanguages": [
      "pt-PT"
    ],
    "domain": "07",
    "isReviewMandatory": true,
    "isPostEditingMandatory": true,
    "companyMltrId": null,
    "createdByUserId": "p1943729810",
    "createdByUsername": "Cristina Lopez",
    "escapeNonAscii": false,
    "fileType": "PROPERTIES"
  }
]
```

エラー

プロジェクト ID が利用できないか、または有効ではない場合、以下のエラーメッセージが表示されます。

サンプルコード

```
{
  "error": {
    "code": 1008,
    "message": "We can't seem to find project 6329499. Please check your entry and try again. If you're sure it's correct, you may have deleted it already."
  }
}
```

プロジェクトの URL が不正確な場合は、以下のエラーメッセージが表示されます。

サンプルコード

```
{
  "error": {
```

```
"code": 1013,
"message": "There is no File project with ID {id}. Please check the
URL and try again."
}
```

ファイル翻訳プロジェクトの更新

アクセス

URL	<base URL>/v2/fileProjects/<translation project ID>
HTTP メソッド	PUT

要求

この API には、JSON 要求ペイロードおよび要求コンテンツタイプ `application/json; charset=utf-8` が必要です。このコンテンツタイプを使用しないと、API 呼出は失敗します。

以下の表は、JSON 要求のキーと値のペアを示しています。

注記

キーの理解を深めるには、表の下にある要求本文のサンプルコードを参照してください。

キー	説明	タイプ
<code>name</code>	翻訳プロジェクトの名前 (例: <code>Texts in properties file for sales demo</code>)。	必須
<code>sourceLanguage</code>	Best Current Practice (BCP) 47 に準拠する翻訳元言語の ISO コード。	必須
<code>targetLanguages</code>	テキストの翻訳先言語の ISO コード。この言語コードは BCP 47 に準拠している必要があります。	必須
	注記 翻訳元言語と翻訳先言語のどの組合せが可能であるかを 確認するには、サポートされている言語を参照してください。	
<code>domain</code>	翻訳ドメインの ID (CRM の場合は B2 など) またはドメイングループの ID (販売の場合は O2 など)。ドメインまたはドメイングループを指定しないと、API は使用可能なすべてのドメインで翻訳を検索します。詳細については、ドメインを参照してください。	オプション
	注記 複数のドメインを入力することはできません。	

キー	説明	タイプ
<code>isReviewMandatory</code>	少なくとも1つのステップを使用して翻訳をチェックするかどうかを決定します。レビューステップは、単独で使用することも、2ステッププロセスの一部として事後編集後に使用することもできます。これらのステップと各テキストに対応するライフサイクルステータスを使用して、事後編集およびレビュープロセスを管理します。詳細については、事後編集およびレビューステップの管理を参照してください。	オプション
<code>isPostEditingMandatory</code>	2ステッププロセスを使用して翻訳をチェックするかどうかを決定します。このオプションにより、翻訳プロジェクトUIでレビューステップの前に専用の事後編集ステップを実行できます。これらのステップと各テキストに対応するライフサイクルステータスを使用して、事後編集およびレビュープロセスを管理します。このオプションを有効にする場合は、 <code>isReviewMandatory</code> キーの値も <code>true</code> に設定します。詳細については、事後編集およびレビューステップの管理を参照してください。	オプション
<code>companyMLTRId</code>	翻訳プロバイダとして使用する自社 MLTR を示します。	オプション
	<p>→ ヒント</p> <p>自社 MLTR の ID を取得するには、自社 MLTR の UI のアドレスバーを参照してください。詳細については、独自の言語データを統合する UI へのアクセスを参照してください。</p>	
<code>fileType</code>	翻訳するファイルのタイプ。許可されるエンタリは、 JSON および PROPERTIES です。ファイルタイプの詳細については、 サポート対象のファイル形式 [85 ページ] を参照してください。	オプション
	<p>① 注記</p> <p>ファイルタイプはプロジェクトの作成時にのみ設定できます。後で設定することはできません。ファイルタイプを入力しない場合は、API により、ファイルが <code>.properties</code> ファイル (PROPERTIES) であるとみなされます。</p>	

要求の例

<base URL>/v2/fileProjects/1530

```
{
  "name": "Properties file for sales app",
  "sourceLanguage": "en",
  "targetLanguages": [
    "es"
  ],
  "domain": "05",
  "isReviewMandatory": true,
  "isPostEditingMandatory": true
}
```

<base URL>/v2/fileProjects/1531

```
{
  "name": "Properties file for sales app",
  "sourceLanguage": "en-US",
  "targetLanguages": [
    "es-ES"
  ],
  "domain": "05",
  "isReviewMandatory": true,
  "isPostEditingMandatory": true
}
```

応答

応答メッセージに、更新が正常に行われたかが示されます。更新を確認するには、ファイル翻訳プロジェクトの詳細の取得で説明されている API を呼び出します。

ファイル翻訳プロジェクトへのファイルのアップロード

アクセス

URL	<base URL>/v2/fileProjects/<translation project ID >/files
HTTP メソッド	POST

要求

ファイルをアップロードするには、API に *form-data* 本文タイプと以下のキーが必要です。

キー	説明	タイプ
<i>file</i>	アップロードするファイル。	必須
	注記 REST クライアントによっては、このキーの属性を <i>file</i> に指定する必要がある場合があります。ファイルタイプの詳細については、以下を参照してください。 サポート対象のファイル形式	
<i>filePath</i>	翻訳されたデータをダウンロードする先のパス (<i>file</i> キーを参照)。このキーの属性は <i>text</i> に指定する必要があります。	オプション
	例 src/i18n	

キー	説明	タイプ
<code>pathToGenerateTranslations</code>	<p>APIによって翻訳済ファイルが配置される先のフォルダへの相対パス。このキーは、APIによって翻訳済ファイルをフォルダ(ソースファイルが格納されたフォルダとは異なる、翻訳済ファイル専用のサブフォルダなど)に配置する場合にのみ使用します。</p> <p>このキーの属性は <code>text</code> に指定する必要があります。</p> <p>キーの値は、以下のパターンと一致する必要があります。 <code>{sourcePath}/values_{targetLanguage}/{defaultTargetFileName}</code></p> <ul style="list-style-type: none"> <code>{sourcePath}</code> は、 <code>filePath</code> キーの値を表します。必要に応じて、別のパスをマニュアルで入力できます。 <code>values_</code> は変更しないでください。 <code>{targetLanguage}</code> は、翻訳プロジェクトで指定された翻訳先言語の2文字の言語コードを表し、変更はできません。 <code>{defaultTargetFileName}</code> は、翻訳済ファイルのファイル名を表し、変更はできません。 	オプション

① 注記

アップロードするファイルのコンテンツタイプを指定する必要はありません。ファイルを直接アップロードすることができます。

要求の例

```
<base URL>/v2/fileProjects/1530/files
```

応答

翻訳応答は、JSON形式であり、以下のキーと値のペアが含まれています。

キー	説明	応答に含まれるか
<code>id</code>	アップロードするファイルの ID。後続の API 呼出でこの ID を使用して、さまざまなアクションを実行します。	常に応答にあり

キー	説明	応答に含まれるか
<code>pathToFile</code>	<p>翻訳対象の翻訳元テキストが格納されたファイルへのパス、およびファイル名。</p> <p>注記 要求でパスを指定しない場合、このキーの値はファイル名のみです。</p>	常に応答にあり
<code>pathToGenerateTranslations</code>	<p>API によって ZIP ファイルで配置される翻訳済ファイルのロケーションに関するパスとファイル名の情報です。このファイルを後でダウンロードします。</p> <p>注記 要求でこのキーを使用しない場合、応答でのこのキーの値は NULL です。</p>	要求で指定された場合のみ、 応答にあり
<code>uploadedAt</code>	ファイルが翻訳プロジェクトにアップロードされた UTC での日付。	常に応答にあり
<code>uploadedByUserId</code>	ファイルを翻訳プロジェクトにアップロードしたユーザーの ID。	常に応答にあり

応答本文の例

{ } サンプルコード

```
{
  "id": "lu_lPjaYJ9ocIe0kBo_AuF57mvom5uKstpKAtZ2pkaA",
  "pathToFile": "src/il8n/il8n.properties",
  "pathToGenerateTranslations": "{sourcePath}/values_{targetLanguage}/
{defaultTargetFileName} ",
  "uploadedAt": "Thu Jul 05 11:34:48 UTC 2018",
  "uploadedByUserId": "p1943729810"
}
```

エラーコード

ファイルタイプが無効な場合は、以下のエラーメッセージが表示されます。

{ } サンプルコード

```
{
  "error": {
    "code": 1127,
    "message": "The file type you have specified is invalid."
  }
}
```

翻訳プロジェクトの実行 (翻訳) の開始

アクセス

URL	<code><base URL>/v2/fileProjects/<translation project ID>/files/<file ID>/executions</code>
HTTP メソッド	POST

翻訳プロジェクト内のファイルの ID を取得するには、翻訳プロジェクトの詳細の取得の応答の `files` キーを参照してください。

要求

この API には、JSON 要求ペイロードおよび要求コンテンツタイプ `application/json; charset=utf-8` が必要です。このコンテンツタイプを使用しないと、API 呼び出しは失敗します。

→ ヒント

翻訳プロジェクトのすべてのファイルの実行を開始するには、URL に `/files/<file ID>` を指定せずに API を呼び出します。すべてのファイルの API を呼び出す場合、応答は、翻訳プロジェクトのすべてのファイルの実行の配列で構成されます。

要求の例

- プロジェクト内のすべてのファイルの実行: `<ベース URL>/v2/fileProjects/<翻訳プロジェクト ID>/executions`
- プロジェクト内の単一ファイルの実行: `<ベース URL>/v2/fileProjects/<翻訳プロジェクト ID>/files/<ファイル ID>/executions`

以下の表は、JSON 要求のキーと値のペアを示しています。

キー	説明	タイプ
operation	operation は、ユーザが指定した実行タイプを指定します。	必須

❁ 例

PULL_TRANSLATE

① 注記

キーの理解を深めるには、表の下にある要求本文のサンプルコードを参照してください。

要求本文の例

```
{
  "operation": "PULL_TRANSLATE"
}
```

応答

翻訳応答は JSON 形式です。応答には、以下のキーと値のペアが含まれています。

キー	説明	応答に含まれるか
<code>id</code>	翻訳プロジェクトの単一の実行の ID。	常に応答にあり
<code>projectId</code>	翻訳プロジェクトの ID。	常に応答にあり
<code>status</code>	翻訳プロジェクトの実行のステータス。以下のステータスがあります。Created、Executing、Completed。	常に応答にあり
<code>percentDone</code>	翻訳プロジェクトの実行の進捗 (パーセント)。	常に応答にあり
<code>createdBy</code>	翻訳プロジェクトの実行を開始したユーザの名前。	常に応答にあり
<code>fileId</code>	翻訳元テキストが属するファイルの ID。	常に応答に存在。
<code>createdAt</code>	翻訳プロジェクトの実行が開始された日付 (UTC)。	常に応答にあり
<code>finishedAt</code>	翻訳プロジェクトの実行が終了した日付 (UTC)。	常に応答にあり
<code>cancelled</code>	翻訳プロジェクトの実行がキャンセルされたかどうかを示します。	常に応答にあり
<code>errors</code>	翻訳プロジェクトの実行にエラーが含まれているかどうかを示します。使用可能な値は、True と False です。	常に応答にあり
<code>warnings</code>	翻訳プロジェクトの実行に警告が含まれているかどうかを示します。	常に応答にあり
<code>log</code>	警告やエラーを含むさまざまなタイプのログエントリのキーの配列が含まれます。以下の表を参照してください。	常に応答にあり
<code>childExecutions</code>	翻訳プロジェクトの実行が、翻訳プロジェクト内の複数のファイルに分割されます。各ファイルには、1つ以上の <code>childExecutions</code> キーを含めることができる <code>childExecutions</code> キーがあります。各 <code>childExecutions</code> キーは、メインの実行と同じキーの配列で構成されます。	常に応答にあり

ログキー	説明	応答に含まれるか
<code>type</code>	エラーなど、ログエントリのタイプ。	常に応答にあり
<code>createdAt</code>	ログが作成された日付 (UTC)。	常に応答にあり
<code>code</code>	ログエントリのコード。	常に応答にあり
<code>message</code>	ログエントリの実際のコンテンツ。	常に応答にあり

応答本文の例

翻訳プロジェクトの単一のファイルの実行

サンプルコード

```
{
  "id": "080654d4-8557-41f2-96fd-8954c1e6d0be",
  "projectId": 1530,
  "operation": "PULL_TRANSLATE",
  "status": "CREATED",
  "percentDone": 0,
  "createdBy": "Cristina Lopez",
  "createdAt": "2018-07-30 09:59:03.062",
  "finishedAt": null,
  "cancelled": false,
  "errors": false,
  "warnings": null,
```

```
"log": [
  {
    "type": "INFO",
    "createdAt": "2018-07-30 09:59:03.0",
    "code": "execution-queued",
    "message": "Execution was queued"
  }
],
"childExecutions": [
  {
    "id": "3400791e-2840-4ded-b6c7-4b135fe9cb0f",
    "projectId": 152284,
    "operation": "PULL_TRANSLATE",
    "status": "CREATED",
    "percentDone": 0,
    "createdBy": "Cristina Lopez",
    "createdAt": "2018-07-30 09:59:03.0",
    "finishedAt": null,
    "cancelled": false,
    "errors": false,
    "warnings": null,
    "log": [
      {
        "type": "INFO",
        "createdAt": "2018-07-30 09:59:03.0",
        "code": "execution-queued",
        "message": "Execution was queued"
      }
    ],
    "childExecutions": null
  }
]
}
```

翻訳プロジェクトのすべてのファイルの実行

{ } サンプルコード

```
{
  "id": "080654d4-8557-41f2-96fd-8954c1e6d0be",
  "projectId": 1530,
  "operation": "PULL_TRANSLATE",
  "status": "CREATED",
  "percentDone": 0,
  "createdBy": "Cristina Lopez",
  "createdAt": "2018-07-30 09:59:03.062",
  "finishedAt": null,
  "cancelled": false,
  "errors": false,
  "warnings": null,
  "log": [
    {
      "type": "INFO",
      "createdAt": "2018-07-30 09:59:03.0",
      "code": "execution-queued",
      "message": "Execution was queued"
    }
  ],
  "childExecutions": [
    {
      "id": "3400791e-2840-4ded-b6c7-4b135fe9cb0f",
      "projectId": 152284,
      "operation": "PULL_TRANSLATE",
      "status": "CREATED",
      "percentDone": 0,
      "createdBy": "Cristina Lopez",
```

```
"createdAt": "2018-07-30 09:59:03.0",
"finishedAt": null,
"cancelled": false,
"errors": false,
"warnings": null,
"log": [
  {
    "type": "INFO",
    "createdAt": "2018-07-30 09:59:03.0",
    "code": "execution-queued",
    "message": "Execution was queued"
  }
],
"childExecutions": null
},
{
  "id": "f7aead20-e145-4f10-a9a9-82a8f79fa913",
  "projectId": 152284,
  "operation": "PULL_TRANSLATE",
  "status": "CREATED",
  "percentDone": 0,
  "createdBy": "Cristina Lopez",
  "createdAt": "2018-07-30 10:27:13.0",
  "finishedAt": null,
  "cancelled": false,
  "errors": false,
  "warnings": null,
  "log": [
    {
      "type": "INFO",
      "createdAt": "2018-07-30 10:27:13.0",
      "code": "execution-queued",
      "message": "Execution was queued"
    }
  ],
  "childExecutions": null
}
]
```

エラー

操作タイプが無効な場合は、以下のエラーメッセージが表示されます。

❏ サンプルコード

```
{
  "error": {
    "code": 99,
    "message": "Asynchronous process could not be completed due to user interactions."
  }
}
```

現在のプロセスの実行中に翻訳プロジェクトが再実行されると、以下のエラーメッセージが表示されます。

❏ サンプルコード

```
{
  "error": {
    "code": 1114,
    "message": "The translation project {0} is being executed. Please wait for the execution to finish or if you don't need it anymore, cancel it (executionId : {1})."
  }
}
```

```
}  
}
```

無効なファイルパスを指定した場合、以下のエラーメッセージが表示されます。

サンプルコード

```
{  
  "error": {  
    "code": 1125,  
    "message": "The file path specified is invalid."  
  }  
}
```

実行 (翻訳) の進捗に関する情報の取得

アクセス

URL `<base URL>/v2/fileProjects/<translation project ID>/executions/<ID of translation project execution>`

HTTP メソッド GET

翻訳プロジェクトの実行の ID を取得するには、[Start the Execution \(Translation\) of Translation Projects](#) の応答で ID キーを確認します。

→ ヒント

翻訳プロジェクトのすべての実行に関する情報を取得するには、翻訳プロジェクトの実行の ID を指定せずに API を呼び出します。すべての翻訳プロジェクト実行の API を呼び出す場合、応答は、翻訳プロジェクトの実行の配列で構成されます。

要求

パラメータを指定せずに API を呼び出します。

要求の例

- 翻訳プロジェクトの単独実施: `<base URL>/v2/fileProjects/1530/executions/080654d4-8557-41f2-96fd-8954c1e6d0be`
- 翻訳プロジェクトのすべての実施: `<base URL>/v2/fileProjects/1530/executions`

応答

翻訳応答は JSON 形式です。応答には、以下のキーと値のペアを含むキーの配列が含まれています。

キー	説明	応答に含まれるか
<code>id</code>	翻訳プロジェクトの単一の実行の ID。	常に応答にあり
<code>projectId</code>	翻訳プロジェクトの ID。	常に応答にあり

キー	説明	応答に含まれるか
<i>operation</i>	実行されたワークフロー操作。	常に応答にあり
<i>status</i>	翻訳プロジェクトの実行のステータス。以下のステータスがあります。Created、Executing、Completed。	常に応答にあり
<i>percentDone</i>	翻訳プロジェクトの実行の進捗 (パーセント)。	常に応答にあり
<i>createdBy</i>	翻訳プロジェクトの実行を開始したユーザーの名前。	常に応答にあり
<i>fileID</i>	翻訳元テキストが属するファイルの ID。	常に応答に存在。
<i>createdAt</i>	翻訳プロジェクトの実行が開始された日付 (UTC)。	常に応答にあり
<i>finishedAt</i>	翻訳プロジェクトの実行が終了した日付 (UTC)。	常に応答にあり
<i>cancelled</i>	翻訳プロジェクトの実行がキャンセルされたかどうかを示します。	常に応答にあり
<i>errors</i>	翻訳プロジェクトの実行にエラーが含まれているかどうかを示します。使用可能な値は、True と False です。	常に応答にあり
<i>warnings</i>	翻訳プロジェクトの実行に警告が含まれているかどうかを示します。	常に応答にあり
<i>log</i>	警告やエラーを含むさまざまなタイプのログエントリのキーの配列が含まれます。以下の表を参照してください。	常に応答にあり
<i>childExecutions</i>	翻訳プロジェクトの実行が、翻訳プロジェクト内の複数のファイルに分割されます。各ファイルには、1つ以上の <i>childExecutions</i> キーを含めることができる <i>childExecutions</i> キーがあります。各 <i>childExecutions</i> キーは、メインの実行と同じキーの配列で構成されます。	常に応答にあり

ログキー	説明	応答に含まれるか
<i>type</i>	エラーなど、ログエントリのタイプ。	常に応答にあり
<i>createdAt</i>	ログが作成された日付 (UTC)。	常に応答にあり
<i>code</i>	ログエントリのコード。	常に応答にあり
<i>message</i>	ログエントリの実際の内容。	常に応答にあり

応答本文の例

翻訳プロジェクトの単一の実行

🔗 サンプルコード

```
{
  "id": "080654d4-8557-41f2-96fd-8954c1e6d0be",
  "projectId": 1530,
  "operation": "PULL_TRANSLATE",
  "status": "COMPLETED",
  "percentDone": 100,
  "createdBy": "Cristina Lopez",
  "fileID": "fahCmp9Dz_8clFDVF07wbFpr4F4Mppp4vx04eZw"
  "createdAt": "2018-07-30 09:59:03.0",
  "finishedAt": "2018-07-30 09:59:50.0",
  "cancelled": false,
  "errors": false,
  "warnings": null,
  "log": [
```

```

    {
      "type": "INFO",
      "createdAt": "2018-07-30 09:59:50.0",
      "code": "percent-done",
      "message": "Done 100 percent"
    },
    {
      "type": "INFO",
      "createdAt": "2018-07-30 09:59:03.0",
      "code": "execution-queued",
      "message": "Execution was queued"
    }
  ],
  "childExecutions": [
    {
      "id": "3400791e-2840-4ded-b6c7-4b135fe9cb0f",
      "projectId": 1530,
      "operation": "PULL_TRANSLATE",
      "status": "COMPLETED",
      "percentDone": 100,
      "createdBy": "Cristina Lopez",
      "createdAt": "2018-07-30 09:59:03.0",
      "finishedAt": "2018-07-30 09:59:50.0",
      "cancelled": false,
      "errors": false,
      "warnings": null,
      "log": [
        {
          "type": "INFO",
          "createdAt": "2018-07-30 09:59:50.0",
          "code": "completed",
          "message": "Execution was completed"
        },
        {
          "type": "INFO",
          "createdAt": "2018-07-30 09:59:50.0",
          "code": "percent-done",
          "message": "Done 100 percent"
        },
        {
          "type": "INFO",
          "createdAt": "2018-07-30 09:59:21.0",
          "code": "translation-finished",
          "message": "Translation was finished"
        },
        {
          "type": "INFO",
          "createdAt": "2018-07-30 09:59:18.0",
          "code": "percent-done",
          "message": "Done 92 percent"
        },
        {
          "type": "INFO",
          "createdAt": "2018-07-30 09:59:15.0",
          "code": "percent-done",
          "message": "Done 92 percent"
        },
        {
          "type": "INFO",
          "createdAt": "2018-07-30 09:59:12.0",
          "code": "percent-done",
          "message": "Done 0 percent"
        },
        {
          "type": "INFO",
          "createdAt": "2018-07-30 09:59:11.0",
          "code": "translation-started",
          "message": "Translation started"
        }
      ]
    }
  ]
}

```

```
    },
    {
      "type": "INFO",
      "createdAt": "2018-07-30 09:59:03.0",
      "code": "execution-queued",
      "message": "Execution was queued"
    }
  ],
  "childExecutions": null,
}
]
```

翻訳プロジェクトのすべての実行

🔗 サンプルコード

```
[
  {
    "id": "080654d4-8557-41f2-96fd-8954c1e6d0be",
    "projectId": 1530,
    "operation": "PULL_TRANSLATE",
    "status": "COMPLETED",
    "percentDone": 100,
    "createdBy": "Cristina Lopez",
    "createdAt": "2018-07-30 09:59:03.0",
    "finishedAt": "2018-07-30 09:59:50.0",
    "cancelled": false,
    "errors": false,
    "warnings": null,
    "log": [
      {
        "type": "INFO",
        "createdAt": "2018-07-30 09:59:50.0",
        "code": "percent-done",
        "message": "Done 100 percent"
      },
      {
        "type": "INFO",
        "createdAt": "2018-07-30 09:59:03.0",
        "code": "execution-queued",
        "message": "Execution was queued"
      }
    ],
    "childExecutions": [
      {
        "id": "3400791e-2840-4ded-b6c7-4b135fe9cb0f",
        "projectId": 1530,
        "operation": "PULL_TRANSLATE",
        "status": "COMPLETED",
        "percentDone": 100,
        "createdBy": "Cristina Lopez",
        "createdAt": "2018-07-30 09:59:03.0",
        "finishedAt": "2018-07-30 09:59:50.0",
        "cancelled": false,
        "errors": false,
        "warnings": null,
        "log": [
          {
            "type": "INFO",
            "createdAt": "2018-07-30 09:59:50.0",
            "code": "completed",
            "message": "Execution was completed"
          }
        ],
      }
    ]
  }
]
```

```
        "type": "INFO",
        "createdAt": "2018-07-30 09:59:50.0",
        "code": "percent-done",
        "message": "Done 100 percent"
      },
      {
        "type": "INFO",
        "createdAt": "2018-07-30 09:59:21.0",
        "code": "translation-finished",
        "message": "Translation was finished"
      },
      {
        "type": "INFO",
        "createdAt": "2018-07-30 09:59:12.0",
        "code": "percent-done",
        "message": "Done 0 percent"
      },
      {
        "type": "INFO",
        "createdAt": "2018-07-30 09:59:11.0",
        "code": "translation-started",
        "message": "Translation started"
      },
      {
        "type": "INFO",
        "createdAt": "2018-07-30 09:59:03.0",
        "code": "execution-queued",
        "message": "Execution was queued"
      }
    ],
    "childExecutions": null,
  }
]
},
{
  "id": "080654d4-8557-41f2-95fd-8954c1e6d0be",
  "projectId": 1530,
  "operation": "PULL_TRANSLATE",
  "status": "COMPLETED",
  "percentDone": 0,
  "createdBy": "Cristina Lopez",
  "createdAt": "2018-07-30 09:59:03.0",
  "finishedAt": "2018-07-30 09:59:50.0",
  "cancelled": false,
  "errors": false,
  "warnings": null,
  "log": [
    {
      "type": "INFO",
      "createdAt": "2018-07-30 09:59:03.0",
      "code": "execution-queued",
      "message": "Execution was queued"
    }
  ],
  "childExecutions": null,
}
]
```

エラーコード

不適切な実行 ID が使用されている場合は、以下のエラーメッセージが表示されます。

🔗 サンプルコード

```
{
  "error": {
    "code": 1002,
    "message": "We can't seem to find an execution instance with ID
5ac8fcf0-d490-46ee-9266-6ab05c14dd9f123; please check your entry and try
again."
  }
}
```

応答での翻訳の取得

アクセス

URL	<code><base URL>/v2/fileProjects/<translation project ID>/files/<file ID>/translations</code>
HTTP メソッド	GET

翻訳プロジェクト内のファイルの ID を取得するには、翻訳プロジェクトの詳細の取得の応答の `files` キーを参照してください。

→ ヒント

翻訳プロジェクトのすべてのファイルの翻訳を取得する場合は、URL に `/files/<file ID>` を指定せずに API を呼び出します。

要求

パラメータを指定せずに API を呼び出すことができます。1つの言語でのみ翻訳を取得する場合は、URL の末尾に以下のクエリパラメータを指定できます。

キー	説明	タイプ
<code>language</code>	1つの言語でのみ翻訳を取得する場合は、必要な言語コードを指定します。	オプション

要求の例

- 単独ファイルの翻訳を取得: `<base URL>/v2/fileProjects/1530/files/6pwjYksbweOfKRWx-fM3kIqDuMkMYoW-1vWd_6kYsBc/translations?language=es` Or `?language=es-ES`
- 翻訳プロジェクトに含まれる、すべてのファイルの翻訳を取得: `<base URL>/v2/fileProjects/1530/translations?language=es` Or `?language=es-ES`

📌 注記

複数の言語のファイルを取得することもできます。これを行うには、言語コードをカンマで区切って指定します。

要求の例

`<base URL>/v2/abapProjects/153822/translations?language=de,it,fr`

<base URL>v2/abapProjects/153823/translations?language=de-DE,it-IT,fr-FR

応答

キー	説明	応答に含まれるか
<i>key</i>	翻訳ユニットの一意のキー。	常に応答にあり
<i>displayedKey</i>	翻訳ユニットの読取可能なキー。このキーは一意であるとは限りません。	常に応答にあり
<i>translatedText</i>	翻訳済テキスト。	常に応答にあり
<i>sourceText</i>	翻訳された翻訳元テキスト。	常に応答にあり
<i>textType</i>	SAP 準拠のテキストタイプコード。 ❖ 例 フィールドラベルのコードは XFLD です。	常に応答にあり
<i>dataType</i>	翻訳のデータ型。 ❖ 例 プレーンテキスト。	常に応答にあり
<i>contextNote</i>	人間の翻訳者または主題エキスパートがより適した翻訳を見つけるために役立つ追加のコンテキスト情報。 ❖ 例 テキストは、画面の詳細セクションで製品メタデータの一覧に表示されます。	常に応答にあり
<i>sourceLanguage</i>	Best Current Practice (BCP) 47 に準拠する翻訳元テキストの言語の ISO コード。	常に応答にあり
<i>targetLanguage</i>	BCP 47 に準拠する翻訳の ISO コード。	常に応答にあり
<i>maxWidth</i>	翻訳に含める最大文字数。	常に応答にあり
<i>changedBy</i>	翻訳を最後に編集した翻訳者の名前。	常に応答にあり
<i>changedAt</i>	翻訳が最後に更新された日付 (UTC)。	常に応答にあり
<i>translationProvider</i>	翻訳の翻訳プロバイダ。 ❖ 例 多言語テキストリポジトリ (MLTR)。	常に応答にあり
<i>status</i>	翻訳のライフサイクルステータス。 ❖ 例 IN_REVIEW、TRANSLATED。	常に応答にあり

キー	説明	応答に含まれるか
qIndex	翻訳の品質評価。0 から 100 の段階で、数値が高いほど品質が良くなります。詳細については、品質指数を参照してください。	常に応答にあり

サンプルコード

```
[
  {
    "key": "shellTitle",
    "displayedKey": "shellTitle",
    "value": "Tien",
    "sourceValue": "Shop ",
    "textType": "",
    "dataType": "PLAINTEXT",
    "contextNote": "",
    "sourceLanguage": "en",
    "targetLanguage": "es",
    "maxWidth": null,
    "changedBy": "",
    "fileId": "",
    "changedAt": "2018-07-30T11:27:41.278Z",
    "source": "MLTR",
    "sequence": 0,
    "status": "IN_REVIEW",
    "fileId": "6pwjYksbweOfKRWx-fM3kIqDuMkMYoW-1vWd_6kYsBc",
    "qIndex": 77
  },
  {
    "key": "xtit.products",
    "displayedKey": "xtit.products",
    "value": "Productos",
    "sourceValue": "Products",
    "textType": "XTIT",
    "dataType": "PLAINTEXT",
    "contextNote": "",
    "sourceLanguage": "en",
    "targetLanguage": "es",
    "maxWidth": null,
    "changedBy": "",
    "changedAt": "2018-07-30T11:27:41.295Z",
    "source": "MLTR",
    "sequence": 1,
    "status": "IN_REVIEW",
    "fileId": "miQ26XqjXji-0Vj_jy7pZU3K5qaZBooOIaYN-bde3c4",
    "qIndex": 97
  }
]
```

サンプルコード

```
[
  {
    "key": "shellTitle",
    "displayedKey": "shellTitle",
    "value": "Tien",
    "sourceValue": "Shop ",
    "textType": "",
    "dataType": "PLAINTEXT",
    "contextNote": "",
    "sourceLanguage": "en-US",
    "targetLanguage": "es-ES",
```

```
    "maxWidth": null,
    "changedBy": "",
    "fileId": "",
    "changedAt": "2018-07-30T11:27:41.278Z",
    "source": "MLTR",
    "sequence": 0,
    "status": "IN_REVIEW",
    "fileId": "6pwjYksbweOfKRWx-fM3kIqDuMkMYoW-1vWd_6kYsBc",
    "qIndex": 77
  },
  {
    "key": "xtit.products",
    "displayedKey": "xtit.products",
    "value": "Productos",
    "sourceValue": "Products",
    "textType": "XTIT",
    "dataType": "PLAINTEXT",
    "contextNote": "",
    "sourceLanguage": "en-US",
    "targetLanguage": "es-ES",
    "maxWidth": null,
    "changedBy": "",
    "changedAt": "2018-07-30T11:27:41.295Z",
    "source": "MLTR",
    "sequence": 1,
    "status": "IN_REVIEW",
    "fileId": "miQ26XqjXji-0Vj_jy7pZU3K5qaZBooOIaYN-bde3c4",
    "qIndex": 97
  }
]
```

ファイル翻訳プロジェクトの特定の実行のキャンセル

アクセス

URL	<code><base URL>/v2/fileProjects/<translation project ID>/executions/<ID of translation project execution></code>
HTTP メソッド	DELETE

翻訳プロジェクトの実行の ID を取得するには、[Start the Execution \(Translation\) of Translation Projects](#) の応答で ID キーを確認します。

要求

パラメータを指定せずに API を呼び出します。

要求の例

```
<base URL>/v2/fileProjects/1530/executions/c58811d7-e84c-4e96-b4fb-d43fdea93961
```

応答

応答メッセージに、キャンセルが正常に行われたかが示されます。翻訳プロジェクトの特定の実行がキャンセルされたことを確認するには、実行 (翻訳) の進捗に関する情報の取得で説明されている API を呼び出します。

ファイル翻訳プロジェクトのファイルの削除

アクセス

URL	<code><base URL>/v2/fileProjects/<translation project ID>/files/<file ID></code>
HTTP メソッド	DELETE

翻訳プロジェクト内のファイルの ID を取得するには、ファイル翻訳プロジェクトへファイルのアップロードの応答の [ファイルキー](#) を参照してください。

要求

アクセスセクションで説明されているように API を呼び出します。

要求の例

```
<base URL>/v2/fileProjects/1531/files/6pwjYksbweOfKRWx-fM3kIqDuMkMYoW-1vWd_6kYsBc
```

応答

応答メッセージに、削除が正常に行われたかが示されます。ファイルが削除されたことを確認するには、ファイル翻訳プロジェクトの詳細の取得で説明されている API を呼び出します。

ファイル翻訳プロジェクトの削除

アクセス

URL	<code><base URL>/v2/fileProjects/<translation project ID></code>
HTTP メソッド	DELETE

要求

URL の末尾に翻訳プロジェクトの ID のみを指定して API を呼び出します。

要求の例

```
<base URL>/v2/fileProjects/1531
```

応答

応答メッセージに、削除が正常に行われたかが示されます。翻訳プロジェクトが削除されたことを確認するには、ファイル翻訳プロジェクトの詳細の取得で説明されている API を呼び出します。

ZIP ファイルでの翻訳のダウンロード

アクセス

URL	<code><base URL>/v2/fileProjects/<translation project ID>/files/<file ID>/content</code>
HTTP メソッド	GET

翻訳プロジェクト内のファイルの ID を取得するには、翻訳プロジェクトの詳細の取得の応答の `files` キーを参照してください。

→ ヒント

翻訳プロジェクトのすべてのファイルの翻訳をダウンロードするには、URL で `/<file ID>` を使用せずに API を呼び出します。要求セクションの例を参照してください。

要求

URL に翻訳プロジェクトの ID とファイルの ID のみを指定して API を呼び出します。

要求の例

- 単独ファイルの翻訳: `<base URL>/v2/fileProjects/1530/files/6pwjYksbweOfKRWx-fM3kIqDuMkMYoW-1vWd_6kYsBc/content`
- 翻訳プロジェクトに含まれる、すべてのファイルの翻訳: `<base URL>/v2/fileProjects/1530/files/content`

ブラウザで URL を呼び出して、ZIP ファイルをダウンロードします。

応答

zip ファイルには、以下の形式の翻訳済みファイルが含まれています。 `<source file name>_<target language code>.<extension>`

エラー

翻訳プロジェクトのステータスが `Initial` で、ソースファイルがアップロードされていない場合は、以下のエラーメッセージが表示されます。

⇄ サンプルコード

```
{
  "error": {
    "code": 1011,
    "message": "Project {projectId} does not have any source files. As a result, there are no files to download. Please check the content and try again"
  }
}
```

コンテンツを取得するために指定されたファイル ID が正しくないか、または現在の翻訳プロジェクトに属していない場合、以下のエラーメッセージが表示されます。

⇄ サンプルコード

```
{
  "error": {
```

```
"code": 1116,  
  "message": "We can't seem to find a file with the ID {0}. Please  
  check that the file still exists and that the path is correct."  
}
```

翻訳プロジェクトのステータスが `Initial` で、提供されたソースファイルに翻訳がまだ行われていない場合は、以下のエラーメッセージが表示されます。

🔗 サンプルコード

```
{  
  "error": {  
    "code": 1012,  
    "message": "Project {projectId} has status INITIAL and no translations  
    have been carried out. You can't download any translated files yet."  
  }  
}
```

関連情報

[独自の言語データを統合する UI へのアクセス \[63 ページ\]](#)

[Get the Base URL of SAP Translation Hub \(Neo-only, remove\)](#)

[ドメイン \[29 ページ\]](#)

[languages メソッド \[121 ページ\]](#)

[事後編集およびレビューステップの管理 \[106 ページ\]](#)

[品質指数 \[32 ページ\]](#)

[サポートされている言語 \[44 ページ\]](#)

6.3.6.5 Git 翻訳プロジェクトのメソッド

API メソッドを使用して、Git 翻訳プロジェクトの作成、翻訳プロセスの実行、および翻訳プロジェクトの詳細の表示を行うことができます。

入門

検索からこのページに来た場合、このページは少し難しく見えるかもしれません。その場合は、最初に[翻訳プロジェクト API \[150 ページ\]](#)で API のわかりやすいユースケースと例を確認することをお奨めします。

Git 翻訳プロジェクトの作成

アクセス

URL	<base URL>/v2/gitProjects
HTTP メソッド	POST
権限	Bearer <token> (<token> を独自の OAuth トークンに置換)
Content-Type	application/json; charset=utf-8

要求

この API には、JSON 要求ペイロードおよび要求コンテンツタイプ **application/json; charset=utf-8** が必要です。このコンテンツタイプを使用しないと、API 呼出は失敗します。

以下の表は、JSON 要求のキーと値のペアを示しています。

① 注記

キーの理解を深めるには、表の下にある要求本文のサンプルコードを参照してください。

キー	説明	タイプ
<i>name</i>	翻訳プロジェクトの名前 (例: Texts in Web Git project for sales demo)。	必須
<i>sourceLanguage</i>	Best Current Practice (BCP) 47 に準拠する翻訳元言語の ISO コード。	必須
<i>targetLanguages</i>	テキストの翻訳先言語の ISO コード。この言語コードは BCP 47 に準拠している必要があります。	必須

① 注記

翻訳元言語と翻訳先言語のどの組合せが可能であるかを確認するには、サポートされている言語を参照してください。

<i>domain</i>	翻訳ドメインの ID (CRM の場合は B2 など) またはドメイングループの ID (販売の場合は 02 など)。ドメインまたはドメイングループを指定しないと、API は使用可能なすべてのドメインで翻訳を検索します。詳細については、ドメインを参照してください。	オプション
---------------	--	-------

① 注記

複数のドメインを入力することはできません。

キー	説明	タイプ
isReviewMandatory	少なくとも1つのステップを使用して翻訳をチェックするかどうかを決定します。レビューステップは、単独で使用することも、2ステッププロセスの一部として事後編集後に使用することもできます。これらのステップと各テキストに対応するライフサイクルステータスを使用して、事後編集およびレビュープロセスを管理します。詳細については、事後編集およびレビューステップの管理を参照してください。	オプション
isPostEditingMandatory	2ステッププロセスを使用して翻訳をチェックするかどうかを決定します。このオプションにより、翻訳プロジェクトUIでレビューステップの前に専用の事後編集ステップを実行できます。これらのステップと各テキストに対応するライフサイクルステータスを使用して、事後編集およびレビュープロセスを管理します。このオプションを有効にする場合は、 isReviewMandatory キーの値も <code>true</code> に設定します。詳細については、事後編集およびレビューステップの管理を参照してください。	オプション
companyMLTRId	<p>翻訳プロバイダとして使用する自社 MLTR を示します。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>→ ヒント</p> <p>自社 MLTR の ID を取得するには、自社 MLTR の UI のアドレスバーを参照してください。詳細については、独自の言語データを統合する UI へのアクセスを参照してください。</p> </div>	オプション
escapeNonAscii	<p>翻訳ファイルに機械可読テキストを含めるかどうかを設定します。ファイルに、非 ASCII 文字に対してユニコードエスケープシーケンスが組み込まれるようになります (¥uxxxx)。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>① 注記</p> <p>このオプションは、ISO-8859-1 エンコードの Java .properties ファイルを翻訳し、コンテンツを解釈する必要がある場合にのみ必要です。</p> </div>	オプション

キー	説明	タイプ
<i>importExistingTranslations</i>	<p>たとえば、SAP Translation Hub への別の翻訳プロバイダを使用して <code>.properties</code> ファイル内のテキストをすでに翻訳している場合は、そのアプリケーションには言語固有の <code>.properties</code> ファイルに翻訳がすでに含まれています。以前の翻訳を保持オプションを使用して、これらの既存の翻訳に対する SAP Translation Hub の処理方法を決定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存の翻訳を保持し、SAP Translation Hub ではアプリケーションにまだ翻訳が存在しないテキストのみを翻訳するようにするには、Yes を選択します。 	オプション
<p>① 注記</p> <p>SAP Translation Hub を使用して <code>.properties</code> ファイル内のテキストを翻訳する場合は、SAP Translation Hub によりその翻訳が保存されます。SAP Translation Hub を使用してファイルを翻訳する <code>.properties</code> 2 回目以降に、翻訳元言語でテキストを追加する場合、SAP Translation Hub では、<code>.properties</code> ファイルの以前の翻訳時に使用された既存のテキストと同じ翻訳が使用されます。</p> <p>Git プロジェクトにおいて言語固有の <code>.properties</code> ファイルで任意の翻訳を直接変更した後、SAP Translation Hub を再度使用した場合、SAP Translation Hub ではその翻訳の変更が無視されません。Git プロジェクトによる翻訳の変更は失われます。</p> <p>SAP Translation Hub で Git プロジェクトでの翻訳が上書きされないようにするには、すべての翻訳の変更を SAP Translation Hub で行うことをお奨めします。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> SAP Translation Hub で <code>.properties</code> ファイル内のすべてのテキストを最初から翻訳し、その結果としてファイル内の <code>.properties</code> 既存の翻訳を上書きする場合は、No を選択します。 		
<i>gitType</i>	<p>翻訳するファイルが格納されている Git リポジトリのソース。許可されるエントリーは、github.com など、Web でホストされている Git リポジトリの Web です。ファイアウォールの背後にホストされる Git リポジトリの Enterprise。SAP Translation Hub から Enterprise Git リポジトリにアクセスするには、Cloud コネクタを設定する必要があります。さまざまな Git リポジトリの詳細については、Git リポジトリ [90 ページ]を参照してください。</p>	必須
<i>branch</i>	<p>Git ブランチの名前。</p> <p>例</p> <p>メイン</p>	必須

キー	説明	タイプ
<code>fileType</code>	<p>翻訳するファイルのタイプ。許可されるエントリは、JSON および PROPERTIES です。ファイルタイプの詳細については、サポート対象のファイル形式 [85 ページ]を参照してください。</p> <p>注記</p> <p>ファイルタイプはプロジェクトの作成時にのみ設定できます。後で設定することはできません。ファイルタイプを入力しない場合は、API により、ファイルが <code>.properties</code> ファイル (PROPERTIES) であるとみなされます。</p>	オプション
<code>files</code>	<p><code>files</code> キーによって、翻訳するファイルの配列が構成されます。必須</p> <p>各ファイルには、<code>pathToFile</code> キーがあります。このキーの値は、翻訳される翻訳元テキストを含むファイルへの Git リポジトリ内のパスです。</p> <p>例</p> <pre>i18n/i18n.properties</pre> <p>詳細については、下記の <code>files</code> キーの表を参照してください。</p>	
<code>credentials</code>	<p><code>credentials</code> キーは、Git リポジトリのユーザーのログオン情報を提供する一連のキーで構成されます。詳細については、下記の <code>credentials</code> キーの表を参照してください。</p> <p>注記</p> <p>翻訳プロジェクトの作成時、または翻訳プロジェクト実行時に、認証情報を指定できます。</p> <p>注記</p> <p>認証情報が指定されていない場合 (<code>credentials : null</code>)、認証情報属性は表示されません。</p>	オプション

キー	説明	タイプ
<code>repository</code>	<p>サーバタイプ: <i>Web/Enterprise</i></p> <p>説明: Git URL が有効であるかどうかをチェックするためにシステムによって実行される正規表現チェックがあります。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>① 注記</p> <p>アプリケーション名または Git URL にエラーが見つかった場合、ユーザーにエラーが通知されます。</p> <p>Git URL が空または無効である場合は、エラーがスローされ、メッセージ "有効な Git URL を入力してください。有効な Git URL は <code>https://</code> または <code>http://.</code> で始まります。</p> <p>アプリケーション名が空白の場合、エラーがスローされ、メッセージ "アプリケーション名を空白にすることはできません" が表示されます。</p> <p>アプリケーション名が無効な場合、エラーがスローされ、以下のメッセージが表示されます。"アプリケーション名が無効です。アプリケーション名は特定のルールに従う必要があります。先頭は小文字にしてください。その後は、小文字または数字を使用できます。"</p> </div>	必須
ファイルキー	説明	タイプ
<code>pathToFile</code>	<p>各ファイルには、<code>pathToFile</code> キーがあります。このキーの値は、翻訳される翻訳元テキストを含むファイルへの Git リポジトリ内のパスです。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>❖ 例</p> <p><code>i18n/i18n.properties</code></p> </div>	必須

ファイルキー	説明	タイプ
<code>pathToGenerateTranslations</code>	<p>生成される各ファイルのロケーションを追加で指定する必要がある場合は、このパラメータを使用できます。これは、<code>{sourcePath}/values_{targetLanguage}/{defaultTargetFileName}</code> の形式です</p> <p>ここで、<code>{SourcePath}</code> は <code>filePath</code> に、<code>{targetLanguage}</code> はプロジェクトの作成時に指定した値に、<code>{defaultFileName}</code> は翻訳済ファイルの名前に置き換えられます。</p>	オプション

認証情報キー	説明	タイプ
<code>user</code>	Git リポジトリにアクセスするユーザの ID。	必須
<code>email</code>	Git リポジトリにアクセスするユーザの電子メールアドレス。	必須
<code>password</code>	<p>Web Git の Git リポジトリにアクセスするユーザのパスワード。Github.com および Enterprise GitHub には、個人アクセストークンを使用します。個人アクセストークンを作成するには、https://help.github.com/en/enterprise/2.18/user/github/authenticating-to-github/creating-a-personal-access-token-for-the-command-line を参照してください。機能する個人アクセストークンを作成するには、少なくとも リポジトリ および ワークフロー セクションのエントリを有効化する必要があります。</p>	必須

要求本文の例

```
{
  "name": "Cloud app in GitHub",
  "sourceLanguage": "en",
  "targetLanguages": [
    "it",
    "fr",
    "ru"
  ],
  "importExistingTranslations": false,
  "gitType": "WEB",
  "repository": "https://github.com/arktrans/WebGitTranslation.git",
  "branch": "master",
  "files": [
    {
      "pathToFile": "i18n/i18n.properties"
    }
  ],
  "credentials": {
    "user": "matzhao",
    "email": "matthew.zhao@webdevelopment.com",
    "password": "*****"
  }
}
```

🔗 サンプルコード

```

"name": "Cloud app in GitHub",
"sourceLanguage": "en-US",
"targetLanguages": [
  "it-IT",
  "fr-FR",
  "ru-RU"
],
"importExistingTranslations": false,
"gitType": "WEB",
"repository": "https://github.com/arktrans/WebGitTranslation.git",
"branch": "master",
"files": [
  {
    "pathToFile": "i18n/i18n.properties"
  }
],
"credentials": {
  "user": "matzhao",
  "email": "matthew.zhao@webdevelopment.com",
  "password": "*****"
}
}

```

応答

翻訳応答は、JSON 形式であり、以下のキーと値のペアが含まれています。

キー	説明	応答に含まれるか
<i>id</i>	翻訳プロジェクトの ID。後続の API 呼出でこの ID を使用して、翻訳プロジェクトのテキストの翻訳を行います。	常に応答にあり
<i>name</i>	翻訳プロジェクトの名前 (例: Cloud app in GitHub)。	常に応答にあり
<i>sourceLanguage</i>	Best Current Practice (BCP) 47 に準拠する翻訳元言語の ISO コード。	常に応答にあり
<i>targetLanguages</i>	テキストの翻訳先言語の ISO コード。この言語コードは BCP 47 に準拠している必要があります。 翻訳先言語を指定しないと、API は使用可能なすべての翻訳先言語でテキストを返します。	常に応答にあり

📌 注記

翻訳元言語と翻訳先言語のどの組合せが可能であるかを確認するには、サポートされている言語を参照してください。

キー	説明	応答に含まれるか
<i>domain</i>	<p>翻訳ドメインの ID (CRM の場合は B2 など) またはドメイングループの ID (販売の場合は O2 など)。ドメインまたはドメイングループを指定しないと、API は使用可能なすべてのドメインで翻訳を検索します。詳細については、ドメインを参照してください。</p> <p>① 注記 複数のドメインを入力することはできません。</p>	常に応答にあり
<i>isReviewMandatory</i>	<p>翻訳プロジェクト UI でレビューステップを有効にできるかどうかを示します。このステップと各テキストに対応するライフサイクルステータスを使用して、レビュープロセスを管理します。詳細については、事後編集およびレビューステップの管理を参照してください。</p>	常に応答にあり
<i>isPostEditingMandatory</i>	<p>翻訳プロジェクト UI で事後編集ステップを有効にしたかどうかを示します。このステップと各テキストに対応するライフサイクルステータスを使用して、事後編集およびレビュープロセスを管理します。詳細については、事後編集およびレビューステップの管理を参照してください。</p>	常に応答にあり
<i>companyMLTRId</i>	<p>翻訳プロバイダとして使用する自社 MLTR を示します。</p> <p>→ ヒント 自社 MLTR の ID を取得するには、自社 MLTR の UI のアドレスバーを参照してください。詳細については、独自の言語データを統合する UI へのアクセスを参照してください。</p>	常に応答にあり
<i>createdByUserId</i>	<p>翻訳プロジェクトを作成したユーザの ID。</p>	常に応答にあり
<i>createdByUserName</i>	<p>翻訳プロジェクトを作成したユーザの名前。</p>	常に応答にあり
<i>escapeNonAscii</i>	<p>翻訳ファイルに機械可読テキストを含めるかどうかを示します。ファイルに、非 ASCII 文字に対してユニコードエスケープシーケンスが組み込まれます (¥uxxxx)。</p>	常に応答にあり

キー	説明	応答に含まれるか
<code>importExistingTranslations</code>	<p>ソースファイル内のテキストをすでに翻訳した場合 (例: SAP Translation Hub のさまざまな翻訳プロバイダを使用)、ユーザーのアプリケーションには言語に固有のファイルに翻訳が格納されています。このオプションは、それらの既存の翻訳に対する SAP Translation Hub での処理方法を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> このキーの値が <code>true</code> の場合は、既存の翻訳を保持し、SAP Translation Hub ではアプリケーションにまだ翻訳が存在しないテキストのみを翻訳します。 <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>注記</p> <p>SAP Translation Hub を使用してソースファイル内のテキストを翻訳する場合は、SAP Translation Hub によりその翻訳が保存されます。SAP Translation Hub を使用してソースファイルを翻訳することが2回目以降であり、翻訳元言語でテキストを追加する場合、SAP Translation Hub ではソースファイルの以前の翻訳時に使用された既存のテキストと同じ翻訳が使用されます。</p> <p>Git プロジェクトにおいて言語固有のソースファイルで任意の翻訳を直接変更した後、SAP Translation Hub を再度使用した場合、SAP Translation Hub はその翻訳の変更を無視します。Git プロジェクトによる翻訳の変更は失われます。</p> <p>SAP Translation Hub で Git プロジェクトでの翻訳が上書きされないようにするには、すべての翻訳の変更を SAP Translation Hub で行うことをお奨めします。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> このキーの値が <code>false</code> の場合は、SAP Translation Hub でソースファイル内のすべてのテキストを最初から翻訳し、その結果、言語固有のファイル内の既存の翻訳をすべて上書きします。 	常に応答にあり
<code>gitType</code>	<p>翻訳するファイルが格納されている Git リポジトリのソース。さまざまな Git リポジトリの詳細については、Git リポジトリ [90 ページ]を参照してください。</p>	常に応答にあり
<code>branch</code>	<p>Git ブランチの名前。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>例</p> <p>メイン</p> </div>	常に応答にあり
<code>fileType</code>	<p>翻訳したファイルのタイプ。</p>	常に応答にあり
<code>files</code>	<p><code>files</code> キーは、翻訳する Git リポジトリのファイルに関する情報を含むキーの配列で構成されます。配列には、翻訳するファイルごとに一連のキーがあります。詳細については、以下の表を参照してください。</p>	常に応答にあり

ファイルキー	説明	タイプ
<code>id</code>	ファイルの ID。 ❖ 例 4e6533f8-8580-48e6-85bb-c51d8d661288	常に応答にあり
<code>pathToFile</code>	翻訳される翻訳元テキストを含むファイルへの Git リポジトリ内のパス。 ❖ 例 i18n/i18n.properties	常に応答にあり

応答本文の例

❏ サンプルコード

```
{
  "id": 170003,
  "name": "Cloud app in GitHub",
  "sourceLanguage": "en",
  "targetLanguages": [
    "it",
    "fr",
    "ru"
  ],
  "domain": "",
  "isReviewMandatory": false,
  "isPostEditingMandatory": false,
  "companyMltrId": null,
  "addedByUserId": "matzhao",
  "createdByUserName": "Matthew Zhao",
  "escapeNonAscii": false,
  "importExistingTranslations": false,
  "gitType": "WEB",
  "repository": "https://github.com/arktrans/WebGitTranslation.git",
  "branch": "master",
  "fileType": "PROPERTIES",
  "files": [
    {
      "id": "bce2f411-bced-4477-a9f6-ad2e19994a6a",
      "pathToFile": "i18n/i18n.properties",
      "pathToGenerateTranslations": null,
      "addedAt": "2024-01-12-18 08:55:29.0",
      "addedByUserId": "matzhao",
      "size": null
    }
  ],
  "credentials": null
}
```

❏ サンプルコード

```
{
  "id": 170004,
  "name": "Cloud app in GitHub",
  "sourceLanguage": "en",
  "targetLanguages": [
```

```

        "it-IT",
        "fr-FR",
        "ru-RU"
    ],
    "domain": "",
    "isReviewMandatory": false,
    "isPostEditingMandatory": false,
    "companyMltrId": null,
    "addedByUserId": "matzhao",
    "createdByUserName": "Matthew Zhao",
    "escapeNonAscii": false,
    "importExistingTranslations": false,
    "gitType": "WEB",
    "repository": "https://github.com/arktrans/WebGitTranslation.git",
    "branch": "master",
    "fileType": "PROPERTIES",
    "files": [
        {
            "id": "bce2f411-bced-4477-a9f6-ad2e19994a6a",
            "pathToFile": "i18n/i18n.properties",
            "pathToGenerateTranslations": null,
            "addedAt": "2024-01-18 08:55:29.0",
            "addedByUserId": "matzhao",
            "size": null
        }
    ],
    "credentials": null
}

```

エラー

書式が `*.properties` ではないファイルを翻訳しようとする、以下のエラーメッセージが表示されます。

↔ サンプルコード

```

{
  "error": {
    "code": 1118,
    "message": "The file type {0} is not supported for Git scenarios; please use a different file type."
  }
}

```

Git 翻訳プロジェクトの詳細を取得

アクセス

URL	<base URL>/v2/gitProjects/<translation project ID>
HTTP メソッド	GET
権限	Bearer <token> (<token> はユーザ独自の OAuth トークンに置き換えます)
Content-Type	application/json; charset=utf-8

要求

URL の末尾に翻訳プロジェクトの ID のみを指定して API を呼び出します。

→ ヒント

特定のサブアカウントで作成されたすべての翻訳プロジェクトを取得する場合は、翻訳プロジェクトの ID を指定せずに API を呼び出します。すべての翻訳プロジェクトの API を呼び出す場合、応答は、個別の翻訳プロジェクトの配列で構成されます。

要求の例

- 単独の翻訳プロジェクト: `<base URL>/v2/gitProjects/1560`
- すべての翻訳プロジェクト: `<base URL>/v2/gitProjects`

応答

翻訳応答は、JSON 形式であり、以下のキーと値のペアが含まれています。

キー	説明	応答に含まれるか
<code>id</code>	翻訳プロジェクトの ID。後続の API 呼出でこの ID を使用して、翻訳プロジェクトのテキストの翻訳を行います。	常に応答にあり
<code>name</code>	翻訳プロジェクトの名前 (例: Cloud app in GitHub)。	常に応答にあり
<code>sourceLanguage</code>	Best Current Practice (BCP) 47 に準拠する翻訳元言語の ISO コード。	常に応答にあり
<code>targetLanguages</code>	<p>テキストの翻訳先言語の ISO コード。この言語コードは BCP 47 に準拠している必要があります。</p> <p>翻訳先言語を指定しないと、API は使用可能なすべての翻訳先言語でテキストを返します。</p>	常に応答にあり
	<p>注記</p> <p>翻訳元言語と翻訳先言語のどの組合せが可能であるかを確認するには、サポートされている言語を参照してください。</p>	
<code>domain</code>	<p>翻訳ドメインの ID (CRM の場合は B2 など) またはドメイングループの ID (販売の場合は 02 など)。ドメインまたはドメイングループを指定しないと、API は使用可能なすべてのドメインで翻訳を検索します。詳細については、ドメインを参照してください。</p>	常に応答にあり
	<p>注記</p> <p>複数のドメインを入力することはできません。</p>	
<code>isReviewMandatory</code>	<p>翻訳プロジェクト UI でレビューステップを有効にできるかどうかを示します。このステップと各テキストに対応するライフサイクルステータスを使用して、レビュープロセスを管理します。詳細については、事後編集およびレビューステップの管理を参照してください。</p>	常に応答にあり

キー	説明	応答に含まれるか
<i>isPostEditingMandatory</i>	翻訳プロジェクト UI で事後編集ステップを有効にしたかどうかを示します。このステップと各テキストに対応するライフサイクルステータスを使用して、事後編集およびレビュープロセスを管理します。詳細については、事後編集およびレビューステップの管理を参照してください。	常に応答にあり
<i>companyMLTRId</i>	翻訳プロバイダとして使用する自社 MLTR を示します。 → ヒント 自社 MLTR の ID を取得するには、自社 MLTR の UI のアドレスバーを参照してください。詳細については、独自の言語データを統合する UI へのアクセスを参照してください。	常に応答にあり
<i>createdByUserId</i>	翻訳プロジェクトを作成したユーザの ID。	常に応答にあり
<i>createdByUserName</i>	翻訳プロジェクトを作成したユーザの名前。	常に応答にあり
<i>escapeNonAscii</i>	翻訳ファイルに機械可読テキストを含めるかどうかを示します。ファイルに、非 ASCII 文字に対してユニコードエスケープシーケンスが組み込まれます (¥Uxxxx)。	常に応答にあり

キー	説明	応答に含まれるか
<code>importExistingTranslations</code>	<p>ソースファイル内のテキストをすでに翻訳した場合 (例: SAP Translation Hub のさまざまな翻訳プロバイダを使用)、ユーザーのアプリケーションには言語に固有のファイルに翻訳が格納されています。このオプションは、それらの既存の翻訳に対する SAP Translation Hub での処理方法を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> このキーの値が <code>true</code> の場合は、既存の翻訳を保持し、SAP Translation Hub ではアプリケーションにまだ翻訳が存在しないテキストのみを翻訳します。 <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>注記</p> <p>SAP Translation Hub を使用してソースファイル内のテキストを翻訳する場合は、SAP Translation Hub によりその翻訳が保存されます。SAP Translation Hub を使用してソースファイルを翻訳することが2回目以降であり、翻訳元言語でテキストを追加する場合、SAP Translation Hub ではソースファイルの以前の翻訳時に使用された既存のテキストと同じ翻訳が使用されます。</p> <p>Git プロジェクトにおいて言語固有のソースファイルで任意の翻訳を直接変更した後、SAP Translation Hub を再度使用した場合、SAP Translation Hub はその翻訳の変更を無視します。Git プロジェクトによる翻訳の変更は失われます。</p> <p>SAP Translation Hub で Git プロジェクトでの翻訳が上書きされないようにするには、すべての翻訳の変更を SAP Translation Hub で行うことをお勧めします。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> このキーの値が <code>false</code> の場合は、SAP Translation Hub でソースファイル内のすべてのテキストを最初から翻訳し、その結果、言語固有のファイル内の既存の翻訳をすべて上書きします。 	常に応答にあり
<code>gitType</code>	<p>翻訳するファイルが格納されている Git リポジトリのソース。さまざまな Git リポジトリの詳細については、Git リポジトリ [90 ページ]を参照してください。</p>	常に応答にあり
<code>branch</code>	<p>Git ブランチの名前。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>例</p> <p>メイン</p> </div>	常に応答にあり
<code>fileType</code>	<p>翻訳したファイルのタイプ。</p>	常に応答にあり
<code>files</code>	<p><code>files</code> キーは、翻訳する Git リポジトリのファイルに関する情報を含むキーの配列で構成されます。配列には、翻訳するファイルごとに一連のキーがあります。詳細については、以下の表を参照してください。</p>	常に応答にあり

キー	説明	応答に含まれるかどうか?
リポジトリ	Git リポジトリの URL。Git リポジトリが SAP Business Technology Platform 上にあり、要求で Git リポジトリの名前のみを入力した場合は、応答には名前のみが表示されます。URL は自動的に設定されます。	常に応答にあり

ファイルキー	説明	タイプ
<i>id</i>	ファイルの ID。 ❖ 例 4e6533f8-8580-48e6-85bb-c51d8d661288	常に応答にあり
<i>pathToFile</i>	翻訳される翻訳元テキストを含むファイルへの Git リポジトリ内のパス。 ❖ 例 i18n/i18n.properties	常に応答にあり

応答本文の例

単一の翻訳プロジェクト

🔗 サンプルコード

```
{
  "id": 1560,
  "name": "Cloud app in GitHub",
  "sourceLanguage": "en",
  "targetLanguages": [
    "it",
    "fr",
    "ru"
  ],
  "domain": "",
  "isReviewMandatory": false,
  "isPostEditingMandatory": false,
  "companyMltrId": null,
  "addedByUserId": "p1943121765",
  "createdByUserName": "Matthew Zhao",
  "escapeNonAscii": false,
  "importExistingTranslations": false,
  "gitType": "WEB",
  "repository": "https://github.com/arktrans/WebGitTranslation.git",
  "branch": "master",
  "fileType": "PROPERTIES",
  "files": [
    {
      "id": "4e6533f8-8580-48e6-85bb-c51d8d661288",
      "pathToFile": "i18n/i18n.properties",
      "pathToGenerateTranslations": null,
      "addedAt": "2024-01-28 09:10:30.0",
      "addedByUserId": "p1943121765",
      "size": null
    }
  ]
}
```

```
}
```

サンプルコード

```
{
  "id": 1561,
  "name": "Cloud app in GitHub",
  "sourceLanguage": "en-US",
  "targetLanguages": [
    "it-IT",
    "fr-FR",
    "ru-RU"
  ],
  "domain": "",
  "isReviewMandatory": false,
  "isPostEditingMandatory": false,
  "companyMltrId": null,
  "addedByUserID": "p1943121765",
  "createdByUsername": "Matthew Zhao",
  "escapeNonAscii": false,
  "importExistingTranslations": false,
  "gitType": "WEB",
  "repository": "https://github.com/arktrans/WebGitTranslation.git",
  "branch": "master",
  "fileType": "PROPERTIES",
  "files": [
    {
      "id": "4e6533f8-8580-48e6-85bb-c51d8d66a756",
      "pathToFile": "i18n/i18n.properties",
      "pathToGenerateTranslations": null,
      "addedAt": "2020-07-18 09:10:30.0",
      "addedByUserId": "p1943121765",
      "size": null
    }
  ]
}
```

すべての翻訳プロジェクト

サンプルコード

```
[
  {
    "id": 1560,
    "name": "Cloud app in GitHub",
    "sourceLanguage": "en",
    "targetLanguages": [
      "it",
      "fr",
      "ru"
    ],
    "domain": "",
    "isReviewMandatory": false,
    "isPostEditingMandatory": false,
    "enterpriseMltrId": null,
    "addedByUserID": "p1943121765",
    "createdByUsername": "Matthew Zhao",
    "escapeNonAscii": false,
    "importExistingTranslations": false,
    "gitType": "WEB",
    "repository": "https://github.com/arktrans/WebGitTranslation.git",
    "branch": "master",
    "fileType": "PROPERTIES",
    "files": [
```

```
    {
      "id": "4e6533f8-8580-48e6-85bb-c51d8d661288",
      "pathToFile": "i18n/i18n.properties",
      "pathToGenerateTranslations": null,
      "addedAt": "2024-01-28 09:10:30.0",
      "addedByUserId": "p1943121765",
      "size": null
    }
  ]
},
{
  "id": 1563,
  "name": "App for mining client",
  "sourceLanguage": "en",
  "targetLanguages": [
    "it",
    "fr",
    "ru"
  ],
  "domain": "",
  "isReviewMandatory": true,
  "isPostEditingMandatory": true,
  "companyMltrId": null,
  "addedByUserId": "p1943121765",
  "createdByUserName": "Matthew Zhao",
  "escapeNonAscii": false,
  "importExistingTranslations": false,
  "gitType": "SAP Git service",
  "repository": "miningapp",
  "branch": "master",
  "fileType": "PROPERTIES",
  "files": [
    {
      "id": "13b4fdb6-9f84-423a-ae51-4c09d2c47d8e",
      "pathToFile": "i18n/i18n.properties",
      "pathToGenerateTranslations": null,
      "addedAt": "2024-01-26 12:01:21.0",
      "addedByUserId": "p1943121765",
      "size": null
    }
  ]
}
]
```

サンプルコード

```
[
  {
    "id": 1561,
    "name": "Cloud app in GitHub",
    "sourceLanguage": "en-US",
    "targetLanguages": [
      "it-IT",
      "fr-FR",
      "ru-RU"
    ],
    "domain": "05",
    "isReviewMandatory": false,
    "isPostEditingMandatory": false,
    "enterpriseMltrId": null,
    "addedByUserId": "p1943121765",
    "createdByUserName": "Matthew Zhao",
    "escapeNonAscii": false,
    "importExistingTranslations": false,
    "gitType": "WEB",
    "repository": "https://github.com/arktrans/WebGitTranslation.git",
```

```
"branch": "master",
"fileType": "PROPERTIES",
"files": [
  {
    "id": "4e6533f8-8580-48e6-85bb-c51d8d66a723",
    "pathToFile": "il8n/il8n.properties",
    "pathToGenerateTranslations": null,
    "addedAt": "2020-07-18 09:10:30.0",
    "addedByUserId": "p1943121765",
    "size": null
  }
]
},
{
  "id": 1564,
  "name": "App for mining client",
  "sourceLanguage": "en-US",
  "targetLanguages": [
    "it-IT",
    "fr-FR",
    "ru-RU"
  ],
  "domain": "05",
  "isReviewMandatory": true,
  "isPostEditingMandatory": true,
  "companyMltrId": null,
  "addedByUserId": "p1943121765",
  "createdByUserName": "Matthew Zhao",
  "escapeNonAscii": false,
  "importExistingTranslations": false,
  "gitType": "SAP Git service",
  "repository": "miningapp",
  "branch": "master",
  "fileType": "PROPERTIES",
  "files": [
    {
      "id": "13b4fdb6-9f84-423a-ae51-4c09d2c23d4e",
      "pathToFile": "il8n/il8n.properties",
      "pathToGenerateTranslations": null,
      "addedAt": "2020-07-18 12:01:21.0",
      "addedByUserId": "p1943121765",
      "size": null
    }
  ]
}
]
```

エラー

プロジェクトの URL が不正確な場合は、以下のエラーメッセージが表示されます。

🔗 サンプルコード

```
{
  "error": {
    "code": 1013,
    "message": "There is no Git project with ID {id}. Please check the URL
and try again."
  }
}
```

Git 翻訳プロジェクトの更新

アクセス

URL	<code><base URL>/v2/gitProjects/<translation project ID></code>
HTTP メソッド	PUT
権限	Bearer <code><token></code> (<code><token></code> はユーザ独自の OAuth トークンに置き換えます)
Content-Type	<code>application/json; charset=utf-8</code>

要求

この API には、JSON 要求ペイロードおよび要求コンテンツタイプ `application/json; charset=utf-8` が必要です。このコンテンツタイプを使用しないと、API 呼出は失敗します。

以下の表は、JSON 要求のキーと値のペアを示しています。

① 注記

キーの理解を深めるには、表の下にある要求本文のサンプルコードを参照してください。

キー	説明	タイプ
<code>name</code>	翻訳プロジェクトの名前 (例: Texts in Web Git project for sales demo)。	必須
<code>sourceLanguage</code>	Best Current Practice (BCP) 47 に準拠する翻訳元言語の ISO コード。	必須
<code>targetLanguages</code>	テキストの翻訳先言語の ISO コード。この言語コードは BCP 47 に準拠している必要があります。	必須
	<h4>① 注記</h4> <p>翻訳元言語と翻訳先言語のどの組合せが可能であるかを確認するには、サポートされている言語を参照してください。</p>	
<code>domain</code>	翻訳ドメインの ID (CRM の場合は B2 など) またはドメイングループの ID (販売の場合は 02 など)。ドメインまたはドメイングループを指定しないと、API は使用可能なすべてのドメインで翻訳を検索します。詳細については、ドメインを参照してください。	オプション
	<h4>① 注記</h4> <p>複数のドメインを入力することはできません。</p>	

キー	説明	タイプ
<i>isReviewMandatory</i>	少なくとも1つのステップを使用して翻訳をチェックするかどうかを決定します。レビューステップは、単独で使用することも、2ステッププロセスの一部として事後編集後に使用することもできます。これらのステップと各テキストに対応するライフサイクルステータスを使用して、事後編集およびレビュープロセスを管理します。詳細については、事後編集およびレビューステップの管理を参照してください。	オプション
<i>isPostEditingMandatory</i>	2ステッププロセスを使用して翻訳をチェックするかどうかを決定します。このオプションにより、翻訳プロジェクトUIでレビューステップの前に専用の事後編集ステップを実行できます。これらのステップと各テキストに対応するライフサイクルステータスを使用して、事後編集およびレビュープロセスを管理します。このオプションを有効にする場合は、 <i>isReviewMandatory</i> キーの値も <i>true</i> に設定します。詳細については、事後編集およびレビューステップの管理を参照してください。	オプション
<i>companyMLTRId</i>	<p>翻訳プロバイダとして使用する自社 MLTR を示します。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>→ ヒント</p> <p>自社 MLTR の ID を取得するには、自社 MLTR の UI のアドレスバーを参照してください。詳細については、独自の言語データを統合する UI へのアクセスを参照してください。</p> </div>	オプション
<i>escapeNonAscii</i>	<p>翻訳ファイルに機械可読テキストを含めるかどうかを設定します。ファイルに、非 ASCII 文字に対してユニコードエスケープシーケンスが組み込まれるようになります (¥uxxxx)。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>① 注記</p> <p>このオプションは、ISO-8859-1 エンコードの Java .properties ファイルを翻訳し、コンテンツを解釈する必要がある場合にのみ必要です。</p> </div>	オプション

キー	説明	タイプ
<code>importExistingTranslations</code>	<p>たとえば、SAP Translation Hub への別の翻訳プロバイダを使用して <code>.properties</code> ファイル内のテキストをすでに翻訳している場合は、そのアプリケーションには言語固有の <code>.properties</code> ファイルに翻訳がすでに含まれています。以前の翻訳を保持オプションを使用して、これらの既存の翻訳に対する SAP Translation Hub の処理方法を決定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存の翻訳を保持し、SAP Translation Hub ではアプリケーションにまだ翻訳が存在しないテキストのみを翻訳するようにするには、Yes を選択します。 <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>注記</p> <p>SAP Translation Hub を使用して <code>.properties</code> ファイル内のテキストを翻訳する場合は、SAP Translation Hub によりその翻訳が保存されます。SAP Translation Hub を使用してファイルを翻訳する <code>.properties</code> 2 回目以降に、翻訳元言語でテキストを追加する場合、SAP Translation Hub では、<code>.properties</code> ファイルの以前の翻訳時に使用された既存のテキストと同じ翻訳が使用されます。</p> <p>Git プロジェクトにおいて言語固有の <code>.properties</code> ファイルで任意の翻訳を直接変更した後、SAP Translation Hub を再度使用した場合、SAP Translation Hub ではその翻訳の変更が無視されません。Git プロジェクトによる翻訳の変更は失われます。</p> <p>SAP Translation Hub で Git プロジェクトでの翻訳が上書きされないようにするには、すべての翻訳の変更を SAP Translation Hub で行うことをお奨めします。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> SAP Translation Hub で <code>.properties</code> ファイル内のすべてのテキストを最初から翻訳し、その結果としてファイル内の <code>.properties</code> 既存の翻訳を上書きする場合は、No を選択します。 	オプション
<code>gitType</code>	<p>翻訳するファイルが格納されている Git リポジトリのソース。許可されるエンタリは、github.com など、Web でホストされている Git リポジトリの Web です。ファイアウォールの背後にホストされる Git リポジトリの Enterprise。SAP Translation Hub から Enterprise Git リポジトリにアクセスするには、Cloud コネクタを設定する必要があります。さまざまな Git リポジトリの詳細については、Git リポジトリ [90 ページ]を参照してください。</p>	オプション
<code>branch</code>	<p>Git ブランチの名前。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>例</p> <p>メイン</p> </div>	Optional

キー	説明	タイプ
<code>fileType</code>	<p>翻訳するファイルのタイプ。許可されるエント리는、JSON および PROPERTIES です。ファイルタイプの詳細については、サポート対象のファイル形式 [85 ページ]を参照してください。</p> <p>注記</p> <p>ファイルタイプはプロジェクトの作成時にのみ設定できます。後で設定することはできません。ファイルタイプを入力しない場合は、API により、ファイルが <code>.properties</code> ファイル (PROPERTIES) であるとみなされます。</p>	オプション
<code>files</code>	<p><code>files</code> キーによって、翻訳するファイルの配列が構成されます。必須</p> <p>各ファイルには、<code>pathToFile</code> キーがあります。このキーの値は、翻訳される翻訳元テキストを含むファイルへの Git リポジトリ内のパスです。</p> <p>例</p> <pre>i18n/i18n.properties</pre> <p>詳細については、下記の <code>files</code> キーの表を参照してください。</p>	
<code>credentials</code>	<p><code>credentials</code> キーは、Git リポジトリのユーザのログオン情報を提供する一連のキーで構成されます。詳細については、下記の <code>credentials</code> キーの表を参照してください。</p> <p>注記</p> <p>翻訳プロジェクトの作成時、または翻訳プロジェクト実行時に、認証情報を指定できます。</p> <p>注記</p> <p>認証情報が指定されていない場合 (<code>credentials : null</code>)、認証情報属性は表示されません。</p>	オプション

キー	説明	タイプ
リポジトリ	<p>サーバタイプ: SAP Git サービス</p> <p>説明: アプリケーション名は特定のパターンに従う必要があります。最初の文字は小文字にする必要があります。後続の文字は小文字または数字にできます。</p> <p>サーバタイプ: Web/Enterprise</p> <p>説明: Git URL が有効であるかどうかをチェックするためにシステムによって実行される正規表現チェックがあります。</p> <div style="border: 1px solid #0070C0; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>① 注記</p> <p>アプリケーション名または Git URL にエラーが見つかった場合、ユーザーにエラーが通知されます。</p> <p>Git URL が空または無効である場合は、エラーがスローされ、メッセージ "有効な Git URL を入力してください。有効な Git URL は https:// または http://." で始まります。</p> <p>アプリケーション名が空白の場合、エラーがスローされ、メッセージ "アプリケーション名を空白にすることはできません" が表示されます。</p> <p>アプリケーション名が無効な場合、エラーがスローされ、以下のメッセージが表示されます。"アプリケーション名が無効です。アプリケーション名は特定のルールに従う必要があります。先頭は小文字にしてください。その後は、小文字または数字を使用できます。"</p> </div>	必須
認証情報キー	説明	タイプ
<i>user</i>	Git リポジトリにアクセスするユーザーの ID。	オプション
<i>email</i>	Git リポジトリにアクセスするユーザーの電子メールアドレス。	オプション

認証情報キー	説明	タイプ
<code>password</code>	Web Git の Git リポジトリにアクセスするユーザのパスワード。Github.com および Enterprise GitHub には、個人アクセストークンを使用します。個人アクセストークンを作成するには、 https://help.github.com/en/enterprise/2.18/user/github/authenticating-to-github/creating-a-personal-access-token-for-the-command-line を参照してください。機能する個人アクセストークンを作成するには、少なくとも リポジトリ および ワークフロー セクションのエントリを有効化する必要があります。	Optional

要求の例

<base URL>/v2/gitProjects/1560

```
{
  "name": "Cloud app in GitHub",
  "sourceLanguage": "en",
  "targetLanguages": [
    "it",
    "fr",
    "ru",
    "da",
    "pt",
    "bg"
  ],
  "files": [
    {
      "pathToFile": "webapp/i18n/i18n.properties"
    }
  ]
}
```

<base URL>/v2/gitProjects/1561

```
{
  "name": "Cloud app in GitHub",
  "sourceLanguage": "en-US",
  "targetLanguages": [
    "it-IT",
    "fr-FR",
    "ru-RU",
    "da-DK",
    "pt-BR",
    "bg-BG"
  ],
  "files": [
    {
      "pathToFile": "webapp/i18n/i18n.properties"
    }
  ]
}
```

応答

応答メッセージに、更新が正常に行われたかが示されます。更新を確認するには、Git 翻訳プロジェクトの詳細の取得で説明されている API を呼び出します。

翻訳プロジェクトの実行 (翻訳) の開始

アクセス

URL	<base URL>/v2/gitProjects/<translation project ID>/files/<file ID>/executions
HTTP メソッド	POST
権限	Bearer <token> (<token> はユーザ独自の OAuth トークンに置き換えます)
Content-Type	application/json; charset=utf-8

翻訳プロジェクト内のファイルの ID を取得するには、Git 翻訳プロジェクトの詳細の取得の応答の *files* キーを参照してください。

→ ヒント

翻訳プロジェクトに接続されている Git リポジトリのすべてのファイルの実行を開始するには、URL に /files/<file ID> を指定せずに API を呼び出します。すべてのファイルの API を呼び出す場合、応答は、翻訳プロジェクトのすべてのファイルの実行の配列で構成されます。

要求

以下の表は、JSON 要求のキーと値のペアを示しています。

① 注記

キーの理解を深めるには、表の下にある要求本文のサンプルコードを参照してください。

キー	説明	タイプ
<i>operation</i>	実行するワークフロー操作。	必須

❖ 例

PULL_TRANSLATE_PUSH、PULL_TRANSLATE、TRANSLATE_PUSH

要求本文の例

```
{
  "operation": "PULL_TRANSLATE_PUSH"
}
```

応答

翻訳応答は JSON 形式です。応答には、以下のキーと値のペアが含まれています。

キー	説明	応答に含まれるか
<i>id</i>	翻訳プロジェクトの単一の実行の ID。	常に応答にあり

キー	説明	応答に含まれるか
<code>projectId</code>	翻訳プロジェクトの ID。	常に応答にあり
<code>operation</code>	実行されたワークフロー操作。	常に応答にあり
<code>status</code>	翻訳プロジェクトの実行のステータス。以下のステータスがあります。Created、Executing、Completed。	常に応答にあり
<code>percentDone</code>	翻訳プロジェクトの実行の進捗 (パーセント)。	常に応答にあり
<code>createdBy</code>	翻訳プロジェクトの実行を開始したユーザの名前。	常に応答にあり
<code>createdAt</code>	翻訳プロジェクトの実行が開始された日付 (UTC)。	常に応答にあり
<code>finishedAt</code>	翻訳プロジェクトの実行が終了した日付 (UTC)。	常に応答にあり
<code>cancelled</code>	翻訳プロジェクトの実行がキャンセルされたかどうかを示します。	常に応答にあり
<code>errors</code>	翻訳プロジェクトの実行にエラーが含まれているかどうかを示します。使用可能な値は、True と False です。	常に応答にあり
<code>warnings</code>	翻訳プロジェクトの実行に警告が含まれているかどうかを示します。	常に応答にあり
<code>log</code>	警告やエラーを含むさまざまなタイプのログエントリのキーの配列が含まれます。以下の表を参照してください。	常に応答にあり
<code>childExecutions</code>	翻訳プロジェクトの実行が、翻訳プロジェクト内の複数のファイルに分割されます。各ファイルには、1つ以上の <code>childExecutions</code> キーを含めることができる <code>childExecutions</code> キーがあります。各 <code>childExecutions</code> キーは、メインの実行と同じキーの配列で構成されます。	常に応答にあり

ログキー	説明	応答に含まれるか
<code>type</code>	エラーなど、ログエントリのタイプ。	常に応答にあり
<code>createdAt</code>	ログが作成された日付 (UTC)。	常に応答にあり
<code>code</code>	ログエントリのコード。	常に応答にあり
<code>message</code>	ログエントリの実際のコンテンツ。	常に応答にあり

応答本文の例

翻訳プロジェクトの単一のファイルの実行

🔗 サンプルコード

```
{
  "id": "e614e016-fc49-4f1c-a7c0-fce33ffc727a",
  "projectId": 1560,
  "operation": null,
  "status": "CREATED",
  "percentDone": 0,
  "createdBy": "p1943121765",
  "addedAt": "2024-01-30 16:46:11.063",
  "finishedAt": null,
  "cancelled": false,
  "errors": false,
  "warnings": null,
  "log": [
    {
```

```
    "type": "INFO",
    "createdAt": "2024-01-30 16:46:11.0",
    "code": "execution-queued",
    "message": "Execution was queued"
  },
  ],
  "childExecutions": [
    {
      "id": "93ed7e66-613a-4858-ba55-f692f06bf501",
      "projectId": 1560,
      "operation": "PULL_TRANSLATE_PUSH",
      "status": "CREATED",
      "percentDone": 0,
      "createdBy": "p1943121765",
      "addedAt": "2024-01-30 16:46:11.0",
      "finishedAt": null,
      "cancelled": false,
      "errors": false,
      "warnings": null,
      "log": [
        {
          "type": "INFO",
          "createdAt": "2024-01-30 16:46:11.0",
          "code": "execution-queued",
          "message": "Execution was queued"
        }
      ],
      "childExecutions": null
    }
  ]
}
```

翻訳プロジェクトのすべてのファイルの実行

🔄 サンプルコード

```
{
  "id": "e614e016-fc49-4f1c-a7c0-fce33ffc727a",
  "projectId": 1560,
  "operation": null,
  "status": "CREATED",
  "percentDone": 0,
  "createdBy": "p1943121765",
  "addedAt": "2024-01-30 16:46:11.063",
  "finishedAt": null,
  "cancelled": false,
  "errors": false,
  "warnings": null,
  "log": [
    {
      "type": "INFO",
      "createdAt": "2024-01-30 16:46:11.0",
      "code": "execution-queued",
      "message": "Execution was queued"
    }
  ],
  "childExecutions": [
    {
      "id": "93ed7e66-613a-4858-ba55-f692f06bf501",
      "projectId": 1560,
      "operation": "PULL_TRANSLATE_PUSH",
      "status": "CREATED",
      "percentDone": 0,
      "createdBy": "p1943121765",
      "addedAt": "2024-01-30 16:46:11.0",
      "finishedAt": null,

```

```

    "cancelled": false,
    "errors": false,
    "warnings": null,
    "log": [
      {
        "type": "INFO",
        "createdAt": "2024-01-30 16:46:11.0",
        "code": "execution-queued",
        "message": "Execution was queued"
      }
    ],
    "childExecutions": null
  },
  {
    "id": "7d30aa4a-5002-42a2-ab49-3095d00d2a3c",
    "projectId": 1560,
    "operation": "PULL_TRANSLATE_PUSH",
    "status": "CREATED",
    "percentDone": 0,
    "createdBy": "p1943121765",
    "addedAt": "2024-01-30 16:46:11.0",
    "finishedAt": null,
    "cancelled": false,
    "errors": false,
    "warnings": null,
    "log": [
      {
        "type": "INFO",
        "createdAt": "2024-01-30 16:46:11.0",
        "code": "execution-queued",
        "message": "Execution was queued"
      }
    ],
    "childExecutions": null
  }
]
}

```

実行 (翻訳) の進捗に関する情報の取得

アクセス

URL	<base URL>/v2/gitProjects/<translation project ID>/executions/<ID of translation project execu>tion
HTTP メソッド	GET
権限	Bearer <token> (<token> はユーザ独自の OAuth トークンに置き換えます)
Content-Type	application/json; charset=utf-8

→ ヒント

翻訳プロジェクトのすべての実行に関する情報を取得するには、翻訳プロジェクトの実行の ID を指定せずに API を呼び出します。すべての翻訳プロジェクト実行の API を呼び出す場合、応答は、翻訳プロジェクトの実行の配列で構成されます。

要求

パラメータを指定せずに API を呼び出します。

要求の例

- 翻訳プロジェクトの単独実施: `<base URL>/v2/gitProjects/1560/executions/e614e016-fc49-4f1c-a7c0-fce33ffc727a`
- 翻訳プロジェクトのすべての実施: `<base URL>/v2/gitProjects/1560/executions`

応答

翻訳応答は JSON 形式です。応答には、以下のキーと値のペアを含むキーの配列が含まれています。

キー	説明	応答に含まれるか
<code>id</code>	翻訳プロジェクトの単一の実行の ID。	常に応答にあり
<code>projectId</code>	翻訳プロジェクトの ID。	常に応答にあり
<code>operation</code>	実行されたワークフロー操作。	常に応答にあり
<code>status</code>	翻訳プロジェクトの実行のステータス。以下のステータスがあります。Created、Executing、Completed。	常に応答にあり
<code>percentDone</code>	翻訳プロジェクトの実行の進捗 (パーセント)。	常に応答にあり
<code>createdAt</code>	翻訳プロジェクトの実行が開始された日付 (UTC)。	常に応答にあり
<code>finishedAt</code>	翻訳プロジェクトの実行が終了した日付 (UTC)。	常に応答にあり
<code>cancelled</code>	翻訳プロジェクトの実行がキャンセルされたかどうかを示します。	常に応答にあり
<code>errors</code>	翻訳プロジェクトの実行にエラーが含まれているかどうかを示します。使用可能な値は、True と False です。	常に応答にあり
<code>warnings</code>	翻訳プロジェクトの実行に警告が含まれているかどうかを示します。	常に応答にあり
<code>log</code>	警告やエラーを含むさまざまなタイプのログエントリのキーの配列が含まれます。以下の表を参照してください。	常に応答にあり
<code>childExecutions</code>	翻訳プロジェクトの実行が、翻訳プロジェクト内の複数のファイルに分割されます。各ファイルには、1つ以上の <code>childExecutions</code> キーを含めることができる <code>childExecutions</code> キーがあります。各 <code>childExecutions</code> キーは、メインの実行と同じキーの配列で構成されます。	常に応答にあり

ログキー	説明	応答に含まれるか
<code>type</code>	エラーなど、ログエントリのタイプ。	常に応答にあり
<code>createdAt</code>	ログが作成された日付 (UTC)。	常に応答にあり
<code>message</code>	ログエントリの実際のコンテンツ。	常に応答にあり

応答本文の例

翻訳プロジェクトの単一の実行

🔗 サンプルコード

```
{
  "id": "e614e016-fc49-4f1c-a7c0-fce33ffc727a",
  "projectId": 1560,
  "operation": null,
  "status": "COMPLETED",
  "percentDone": 100,
  "createdBy": "p1943121765",
  "addedAt": "2024-01-30 16:46:11.0",
  "finishedAt": "2024-01-30 16:46:55.0",
  "cancelled": false,
  "errors": false,
  "warnings": null,
  "log": [
    {
      "type": "INFO",
      "createdAt": "2024-01-30 16:46:55.0",
      "code": "percent-done",
      "message": "Done 100 percent"
    },
    {
      "type": "INFO",
      "createdAt": "2024-01-30 16:46:11.0",
      "code": "execution-queued",
      "message": "Execution was queued"
    }
  ],
  "childExecutions": [
    {
      "id": "7d30aa4a-5002-42a2-ab49-3095d00d2a3c",
      "projectId": 1560,
      "operation": "PULL_TRANSLATE_PUSH",
      "status": "COMPLETED",
      "percentDone": 100,
      "createdBy": "p1943121765",
      "addedAt": "2024-01-30 16:46:11.0",
      "finishedAt": "2024-01-30 16:46:55.0",
      "cancelled": false,
      "errors": false,
      "warnings": null,
      "log": [
        {
          "type": "INFO",
          "createdAt": "2024-01-30 16:46:55.0",
          "code": "completed",
          "message": "Execution was completed"
        },
        {
          "type": "INFO",
          "createdAt": "2024-01-30 16:46:55.0",
          "code": "percent-done",
          "message": "Done 100 percent"
        },
        {
          "type": "INFO",
          "createdAt": "2024-01-30 16:46:47.0",
          "code": "pushing-git",
          "message": "Pushing Changes to Git"
        },
        {
          "type": "INFO",
          "createdAt": "2024-01-30 16:46:46.0",
          "code": "translation-finished",
          "message": "Translation was finished"
        }
      ]
    }
  ]
}
```

```

        "type": "INFO",
        "createdAt": "2024-01-30 16:46:40.0",
        "code": "translation-started",
        "message": "Translation started"
      },
      {
        "type": "INFO",
        "createdAt": "2024-01-30 16:46:11.0",
        "code": "execution-queued",
        "message": "Execution was queued"
      }
    ],
    "childExecutions": null
  },
  {
    "id": "93ed7e66-613a-4858-ba55-f692f06bf501",
    "projectId": 1560,
    "operation": "PULL_TRANSLATE_PUSH",
    "status": "COMPLETED",
    "percentDone": 100,
    "createdBy": "p1943121765",
    "addedAt": "2024-01-30 16:46:11.0",
    "finishedAt": "2024-01-30 16:46:35.0",
    "cancelled": false,
    "errors": false,
    "warnings": null,
    "log": [
      {
        "type": "INFO",
        "createdAt": "2024-01-30 16:46:35.0",
        "code": "completed",
        "message": "Execution was completed"
      },
      {
        "type": "INFO",
        "createdAt": "2024-01-30 16:46:35.0",
        "code": "percent-done",
        "message": "Done 100 percent"
      },
      {
        "type": "INFO",
        "createdAt": "2024-01-30 16:46:27.0",
        "code": "pushing-git",
        "message": "Pushing Changes to Git"
      },
      {
        "type": "INFO",
        "createdAt": "2024-01-30 16:46:25.0",
        "code": "translation-finished",
        "message": "Translation was finished"
      },
      {
        "type": "INFO",
        "createdAt": "2024-01-30 16:46:22.0",
        "code": "percent-done",
        "message": "Done 0 percent"
      },
      {
        "type": "INFO",
        "createdAt": "2024-01-30 16:46:21.0",
        "code": "translation-started",
        "message": "Translation started"
      },
      {
        "type": "INFO",
        "createdAt": "2024-01-30 16:46:11.0",
        "code": "execution-queued",
        "message": "Execution was queued"
      }
    ]
  }
]

```

```
    }
    ],
    "childExecutions": null
  }
]
```

翻訳プロジェクトのすべての実行

サンプルコード

```
[
  {
    "id": "e614e016-fc49-4f1c-a7c0-fce33ffc727a",
    "projectId": 1560,
    "operation": null,
    "status": "COMPLETED",
    "percentDone": 100,
    "createdBy": "p1943121765",
    "addedAt": "2024-01-30 16:46:11.0",
    "finishedAt": "2024-01-30 16:46:55.0",
    "cancelled": false,
    "errors": false,
    "warnings": null,
    "log": [
      {
        "type": "INFO",
        "createdAt": "2024-01-30 16:46:55.0",
        "code": "percent-done",
        "message": "Done 100 percent"
      },
      {
        "type": "INFO",
        "createdAt": "2024-01-30 16:46:11.0",
        "code": "execution-queued",
        "message": "Execution was queued"
      }
    ]
  },
  {
    "childExecutions": [
      {
        "id": "7d30aa4a-5002-42a2-ab49-3095d00d2a3c",
        "projectId": 1560,
        "operation": "PULL_TRANSLATE_PUSH",
        "status": "COMPLETED",
        "percentDone": 100,
        "createdBy": "p1943121765",
        "addedAt": "2024-01-30 16:46:11.0",
        "finishedAt": "2024-01-30 16:46:55.0",
        "cancelled": false,
        "errors": false,
        "warnings": null,
        "log": [
          {
            "type": "INFO",
            "createdAt": "2024-01-30 16:46:55.0",
            "code": "completed",
            "message": "Execution was completed"
          },
          {
            "type": "INFO",
            "createdAt": "2024-01-30 16:46:55.0",
            "code": "percent-done",
            "message": "Done 100 percent"
          }
        ]
      },
      {
        "type": "INFO",
```

```

        "createdAt": "2024-01-30 16:46:47.0",
        "code": "pushing-git",
        "message": "Pushing Changes to Git"
    },
    {
        "type": "INFO",
        "createdAt": "2024-01-30 16:46:46.0",
        "code": "translation-finished",
        "message": "Translation was finished"
    },
    {
        "type": "INFO",
        "createdAt": "2024-01-30 16:46:40.0",
        "code": "translation-started",
        "message": "Translation started"
    },
    {
        "type": "INFO",
        "createdAt": "2024-01-30 16:46:11.0",
        "code": "execution-queued",
        "message": "Execution was queued"
    }
],
"childExecutions": null
},
{
    "id": "93ed7e66-613a-4858-ba55-f692f06bf501",
    "projectId": 1560,
    "operation": "PULL_TRANSLATE_PUSH",
    "status": "COMPLETED",
    "percentDone": 100,
    "createdBy": "pl943121765",
    "addedAt": "2024-01-30 16:46:11.0",
    "finishedAt": "2024-01-30 16:46:35.0",
    "cancelled": false,
    "errors": false,
    "warnings": null,
    "log": [
        {
            "type": "INFO",
            "createdAt": "2024-01-30 16:46:35.0",
            "code": "completed",
            "message": "Execution was completed"
        },
        {
            "type": "INFO",
            "createdAt": "2024-01-30 16:46:35.0",
            "code": "percent-done",
            "message": "Done 100 percent"
        },
        {
            "type": "INFO",
            "createdAt": "2024-01-30 16:46:27.0",
            "code": "pushing-git",
            "message": "Pushing Changes to Git"
        },
        {
            "type": "INFO",
            "createdAt": "2024-01-30 16:46:25.0",
            "code": "translation-finished",
            "message": "Translation was finished"
        },
        {
            "type": "INFO",
            "createdAt": "2024-01-30 16:46:22.0",
            "code": "percent-done",
            "message": "Done 0 percent"
        }
    ]
}

```

```

        {
          "type": "INFO",
          "createdAt": "2024-01-30 16:46:21.0",
          "code": "translation-started",
          "message": "Translation started"
        },
        {
          "type": "INFO",
          "createdAt": "2024-01-30 16:46:11.0",
          "code": "execution-queued",
          "message": "Execution was queued"
        }
      ],
      "childExecutions": null
    }
  ],
  {
    "id": "e614e016-fc49-4f1c-a7c0-fce33ffc727a",
    "projectId": 1560,
    "operation": null,
    "status": "COMPLETED",
    "percentDone": 0,
    "createdBy": "p1943121765",
    "addedAt": "2024-01-30 16:36:11.0",
    "finishedAt": "2024-01-30 16:36:55.0",
    "cancelled": false,
    "errors": false,
    "warnings": null,
    "log": [
      {
        "type": "INFO",
        "createdAt": "2024-01-30 16:36:11.0",
        "code": "execution-queued",
        "message": "Execution was queued"
      }
    ],
    "childExecutions": null,
    "credentials": null
  }
]

```

応答での翻訳の取得

アクセス

URL	<base URL>/v2/gitProjects/<翻訳プロジェクト ID>/files/<ファイル ID >/translations
HTTP メソッド	GET
権限	Bearer <token> (<token> はユーザ独自の OAuth トークンに置き換えます)
Content-Type	application/json; charset=utf-8

翻訳プロジェクト内のファイルの ID を取得するには、Git 翻訳プロジェクトの詳細の取得の応答の `files` キーを参照してください。

→ ヒント

翻訳プロジェクトのすべてのファイルの翻訳を取得する場合は、URL に `/files/<file ID>` を指定せずに API を呼び出します。

要求

パラメータを指定せずに API を呼び出すことができます。1つの言語でのみ翻訳を取得する場合は、URL の末尾に以下のクエリパラメータを指定できます。

キー	説明	タイプ
<code>language</code>	1つの言語でのみ翻訳を取得する場合は、必要な言語コードを指定します。	オプション

要求の例

- 単独のファイルの翻訳を取得: `<base URL>/v2/gitProjects/1560/files/4e6533f8-8580-48e6-85bb-c51d8d661288/translations?language=fr Or ?language=fr-FR`
- 翻訳プロジェクトに含まれる、すべてのファイルの翻訳を取得: `<base URL>/v2/fileProjects/1560/translations?language=fr Or ?language=fr-FR`

応答

キー	説明	応答に含まれるか
<code>key</code>	翻訳ユニットの一意的キー。	常に応答にあり
<code>displayedKey</code>	翻訳ユニットの読取可能なキー。このキーは一意的であるとは限りません。	常に応答にあり
<code>translatedText</code>	翻訳済テキスト。	常に応答にあり
<code>sourceText</code>	翻訳された翻訳元テキスト。	常に応答にあり
<code>textType</code>	SAP 準拠のテキストタイプコード。 <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>❖ 例 フィールドラベルのコードは XFLD です。</p> </div>	常に応答にあり
<code>dataType</code>	翻訳のデータ型。 <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>❖ 例 プレーンテキスト。</p> </div>	常に応答にあり
<code>contextNote</code>	人間の翻訳者または主題エキスパートがより適した翻訳を見つけるために役立つ追加のコンテキスト情報。 <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>❖ 例 テキストは、画面の詳細セクションで製品メタデータの一覧に表示されます。</p> </div>	常に応答にあり
<code>sourceLanguage</code>	Best Current Practice (BCP) 47 に準拠する翻訳元テキストの言語の ISO コード。	常に応答にあり

キー	説明	応答に含まれるか
<code>targetLanguage</code>	BCP 47 に準拠する翻訳の ISO コード。	常に応答にあり
<code>maxWidth</code>	翻訳に含める最大文字数。	常に応答にあり
<code>changedBy</code>	翻訳を最後に編集した翻訳者の名前。	常に応答にあり
<code>changedAt</code>	翻訳が最後に更新された日付 (UTC)。	常に応答にあり
<code>translationProvider</code>	翻訳の翻訳プロバイダ。	常に応答にあり
	<p>❖ 例</p> <p>多言語テキストリポジトリ (MLTR)。</p>	
<code>status</code>	翻訳のライフサイクルステータス。	常に応答にあり
	<p>❖ 例</p> <p>IN_REVIEW、TRANSLATED。</p>	
<code>qIndex</code>	翻訳の品質評価。0 から 100 の段階で、数値が高いほど品質が良くなります。詳細については、品質指数を参照してください。	常に応答にあり

🔗 サンプルコード

```
[
  {
    "key": "xbut.addToCart",
    "displayedKey": "xbut.addToCart",
    "value": "Ajouter au panier",
    "sourceValue": "Add to Cart",
    "textType": "XBUT",
    "dataType": "PLAINTEXT",
    "contextNote": "Button on screen for product details",
    "sourceLanguage": "en",
    "targetLanguage": "fr",
    "maxWidth": null,
    "changedBy": "",
    "changedAt": "2024-01-30T06:20:30.003Z",
    "source": "MLTR",
    "status": "TRANSLATED",
    "fileId": "4e6533f8-8580-48e6-85bb-c51d8d661288",
    "qIndex": 86
  },
  {
    "key": "xbut.sort",
    "displayedKey": "xbut.sort",
    "value": "Trier",
    "sourceValue": "Sort",
    "textType": "XBUT",
    "dataType": "PLAINTEXT",
    "contextNote": "Button next to column header",
    "sourceLanguage": "en",
    "targetLanguage": "fr",
    "maxWidth": null,
    "changedBy": "",
    "changedAt": "2024-01-30T06:20:30.023Z",
    "source": "MLTR",
    "status": "TRANSLATED",
    "fileId": "4e6533f8-8580-48e6-85bb-c51d8d661288",
    "qIndex": 92
  }
]
```

```
}  
]
```

サンプルコード

```
[  
  {  
    "key": "xbut.addToCart",  
    "displayedKey": "xbut.addToCart",  
    "value": "Ajouter au panier",  
    "sourceValue": "Add to Cart",  
    "textType": "XBUT",  
    "dataType": "PLAINTEXT",  
    "contextNote": "Button on screen for product details",  
    "sourceLanguage": "en-US",  
    "targetLanguage": "fr-FR",  
    "maxWidth": null,  
    "changedBy": "",  
    "changedAt": "2024-01-30T06:20:30.003Z",  
    "source": "MLTR",  
    "status": "TRANSLATED",  
    "fileId": "4e6533f8-8580-48e6-85bb-c51d8d661288",  
    "qIndex": 86  
  },  
  {  
    "key": "xbut.sort",  
    "displayedKey": "xbut.sort",  
    "value": "Trier",  
    "sourceValue": "Sort",  
    "textType": "XBUT",  
    "dataType": "PLAINTEXT",  
    "contextNote": "Button next to column header",  
    "sourceLanguage": "en-US",  
    "targetLanguage": "fr-FR",  
    "maxWidth": null,  
    "changedBy": "",  
    "changedAt": "2024-01-30T06:20:30.023Z",  
    "source": "MLTR",  
    "status": "TRANSLATED",  
    "fileId": "4e6533f8-8580-48e6-85bb-c51d8d661288",  
    "qIndex": 92  
  }  
]
```

翻訳の更新および確認

アクセス

URL	<code><base URL>/v2/gitProjects/<translation project ID>/files/<file ID>/translations</code>
HTTP メソッド	PUT
権限	Bearer <code><token></code> (<code><token></code> はユーザー独自の OAuth トークンに置き換えます)
Content-Type	<code>application/json; charset=utf-8</code>

要求

この API には、JSON 要求ペイロードおよび要求コンテンツタイプ `application/json; charset=utf-8` が必要です。このコンテンツタイプを使用しないと、API 呼出は失敗します。

以下の表は、JSON 要求のキーと値のペアを示しています。

① 注記

キーの理解を深めるには、表の下にある要求本文のサンプルコードを参照してください。

キー	説明	タイプ
<code>key</code>	翻訳ユニットの一意的キー。	必須
<code>displayedKey</code>	翻訳ユニットの読取可能なキー。このキーは一意的であるとは限りません。	オプション
<code>translatedText</code>	保存する新規翻訳。	必須
<code>sourceText</code>	翻訳された翻訳元テキスト。	必須
<code>sourceLanguage</code>	Best Current Practice (BCP) 47 に準拠する翻訳元テキストの言語の ISO コード。	オプション
<code>targetLanguage</code>	BCP 47 に準拠する、更新する翻訳の ISO コード。	必須
<code>status</code>	翻訳に設定する新しいライフサイクルステータス。 使用可能な値は INITIAL 、 IN_POST_EDITING 、 IN_REVIEW 、 REVIEWED 、 TRANSLATED 、 NOT_APPLICABLE です。	オプション

要求の例

`<base URL>/v2/fileProjects/1560/files/4e6533f8-8580-48e6-85bb-c51d8d661288/translations`

```
[
  {
    "key": "xfld.addToCart",
    "value": "Ajouter au Panier",
    "sourceValue": "Shopping Cart",
    "targetLanguage": "fr"
  }
]
```

`<base URL>/v2/fileProjects/1561/files/4e6533f8-8580-48e6-85bb-c51d8d661288/translations`

```
[
  {
    "key": "xfld.addToCart",
    "value": "Ajouter au Panier",
    "sourceValue": "Shopping Cart",
    "targetLanguage": "fr-FR"
  }
]
```

応答

応答メッセージに、更新が正常に行われたかが示されます。更新を確認するには、応答での翻訳の取得で説明されている API を呼び出します。

Git 翻訳プロジェクトの特定の実行のキャンセル

アクセス

URL	<code><base URL>/v2/gitProjects/<translation project ID>/executions/<ID of translation project execu>tion</code>
HTTP メソッド	DELETE
権限	Bearer <code><token></code> (<code><token></code> はユーザ独自の OAuth トークンに置き換えます)
Content-Type	<code>application/json; charset=utf-8</code>

要求

パラメータを指定せずに API を呼び出します。

要求の例

`<base URL>/v2/gitProjects/1560/executions/93ed7e66-613a-4858-ba55-f692f06bf501`

応答

応答メッセージに、キャンセルが正常に行われたかが示されます。翻訳プロジェクトの特定の実行がキャンセルされたことを確認するには、実行 (翻訳) の進捗に関する情報の取得で説明されている API を呼び出します。

Git 翻訳プロジェクトのファイルの削除

アクセス

URL	<code><base URL>/v2/gitProjects/<translation project ID>/files/<file ID></code>
HTTP メソッド	DELETE
権限	Bearer <code><token></code> (<code><token></code> はユーザ独自の OAuth トークンに置き換えます)
Content-Type	<code>application/json; charset=utf-8</code>

翻訳プロジェクト内のファイルの ID を取得するには、Git 翻訳プロジェクトの詳細の取得の応答の `files` キーを参照してください。

要求

アクセスセクションで説明されているように API を呼び出します。

要求の例

`<base URL>/v2/gitProjects/1560/files/6pwjYksbweOfKRWx-fM3kIqDuMkMYoW-1vWd_6kYsBc`

応答

応答メッセージに、削除が正常に行われたかが示されます。ファイルが削除されたことを確認するには、*Git* 翻訳プロジェクトの詳細の取得で説明されている API を呼び出します。

Git 翻訳プロジェクトの削除

アクセス

URL	<code><base URL>/v2/gitProjects/<translation project ID></code>
HTTP メソッド	DELETE
権限	Bearer <code><token></code> (<code><token></code> はユーザ独自の OAuth トークンに置き換えます)
Content-Type	<code>application/json; charset=utf-8</code>

要求

URL の末尾に翻訳プロジェクトの ID のみを指定して API を呼び出します。

要求の例

`<base URL>/v2/gitProjects/1560`

応答

応答メッセージに、削除が正常に行われたかが示されます。翻訳プロジェクトが削除されたことを確認するには、*Git* 翻訳プロジェクトの詳細の取得で説明されている API を呼び出します。

関連情報

[サービスキーの取得 \[115 ページ\]](#)

[アクセストークンの生成 \[116 ページ\]](#)

[独自の言語データを統合する UI へのアクセス \[63 ページ\]](#)

[ドメイン \[29 ページ\]](#)

[languages メソッド \[121 ページ\]](#)

[事後編集およびレビューステップの管理 \[106 ページ\]](#)

[品質指数 \[32 ページ\]](#)

[サポートされている言語 \[44 ページ\]](#)

[Generating CSRF tokens for public APIs \(internal, remove\)](#)

6.3.7 機械翻訳による Document Translation API

これらの API を使用すると、機械翻訳を使用して文書を翻訳できます。

環境:

- Cloud Foundry
- Kubernetes
- Kyma
- その他

詳細については、[API リファレンス](#)を参照してください。

7 文書翻訳

BTP 複数環境バージョンにより、SAP Translation Hub では、ソフトウェア翻訳向け SAP Translation Hub サービスと Document Translation サービスの機能が1つの使いやすいユーザインタフェースにまとめられました。

文書翻訳サービスでは、さまざまな長さの文書を機械翻訳を使用して翻訳できます。サービスと対話するためのユーザインタフェースと、短い文書用の同期翻訳 API、および長い文書用の非同期翻訳 API が提供されます。

ビジネスシナリオ

Document Translation サービスは、さまざまなタイプのビジネス固有のテキストを翻訳し、

- ユーザ独自のアプリケーションへの機械翻訳の簡単な統合
- ユーザフレンドリな翻訳インタフェースを利用します。
- SAP が学習させた機械翻訳エンジンの使用
- セキュアな環境での翻訳タスクの運用

7.1 文書翻訳 - 概要

このサービスを使用して、文書を機械翻訳で翻訳します。

SAP Translation Hub の文書翻訳 サービスにより、ユーザは機械翻訳を使用して文書を翻訳することができます。この機械翻訳サービスは、SAP 関連のコンテンツに特に適しています。

タイプ	書式
HTML	*.html、UTF-8 エンコーディング
Microsoft Office	*.docx、*.xlsx、*.pptx
テキスト	*.txt、UTF-8 エンコーディング
XLIFF	xliff1.2
PDF	*.pdf

① 注記

サードパーティプロバイダである Adobe では、翻訳前に .pdf 文書が変換されることに注意してください。 .pdf 変換は複雑であるため、翻訳結果を確認することをお奨めします。

環境

このサービスは、マルチクラウド環境で動作します。

機能

このサービスでは、1つのユーザインタフェースと2つのAPI(1つは同期翻訳用、もう1つは機械翻訳を使用した非同期文書翻訳用)が提供されます。

お客様は、自分のファイルをアップロードし、元の形式と同じ形式で機械翻訳されたドキュメントを受け取ることができます(PDFを除き、.docxが返されます)。

同期文書翻訳は、短い文書に推奨されるAPIです。アプリケーションに翻訳用のUIエレメントを入れる場合など、インタラクティブなシナリオにおいて使用することもできます。

非同期文書翻訳は、大きいファイルに推奨されます。これを使用して、バッチによる翻訳またはバックグラウンドによる翻訳を行うことができます。

文書翻訳サービスのユーザインタフェース

- 直感的で使いやすい。
- APIとして利用可能な機能を使用して、テキストおよび文書を翻訳できます。

同期文書翻訳 API

- 統合と使用が容易です。
- 非同期翻訳と比べ、若干高速です。
- 100MBを超えるファイル、または40,000文字を超えるドキュメントには使用できません。

非同期文書翻訳 API

- 統合する際の労力が高くなります。
- 大きいファイルや、より多くの単語を含む文書を扱えます。
- ユーザは翻訳に複数回アクセスすることができます。ただし、翻訳は3日間しか保存されません。
- 翻訳は非同期的に行われるため、ユーザによるステータスのクエリが可能となっており、翻訳が行われるまで待機する必要はありません。

7.2 機械翻訳エンジンから最高の品質を得る

文書翻訳 サービスでは、さまざまな文書タイプおよびサイズの翻訳が提供されます。ここで概説する技術的な考慮事項に加えて、ユーザがサービスを使用する際に勘案すべき言語的な考慮事項もあります。

使用ケース

文書翻訳 サービスで提供される未加工の機械翻訳出力は、対象者で使用する前に常にレビューする必要があります。ビジネスシナリオの使用ケースによって、必要なレビューレベルが決まります。テキストの要点だけを提供する場合は、書式が適切でテキストに訳抜けがないことを確認する大まかなレビューで通常は十分です。たとえば、機械翻訳されたテキストをエンドユーザ向けの文書として使用することを計画している場合は、事後編集ステップが推奨されます。

主題

機械翻訳エンジンは、さまざまなテキストタイプとトピックについてトレーニングされます。そのため、翻訳のために送信されるテキストの主題と対象者は、機械翻訳出力の品質に直接影響します。文書翻訳 サービスでは、技術テキストおよびビジネス関連テキスト用に最適化された機械翻訳エンジンが使用されます。最も適しているテキストタイプは、プレゼンテーション、トレーニングマテリアル、ホワイトペーパー、技術ブログなど、プロの対象者向けに書かれたテキストです。販売およびマーケティング指向のテキストやプレスリリース、話し言葉や砕けた言葉を含むテキスト（チャットプロトコル、電子メールなど）は、あまり適していません。

言語

文書翻訳 サービスは多数の言語で利用できます。全体の一覧は、[サポートされている言語 \(文書翻訳\) \[258 ページ\]](#)にあります。ビジネスシナリオのテキストを使用してテストを実施し、対象者の代表からフィードバックを得ることで、そのシナリオでの機械翻訳の適性を評価できます。

① 注記

言語ペアが異なると、同じテキストでも異なる結果が生成されます。そのため、言語間での言語品質を評価するために、該当するすべての言語ペアでテキストをテストすることをお奨めします。

テスト

文書翻訳 サービスの[無償利用枠アカウント](#)にアクセスして、ビジネスシナリオでの機械翻訳の動作をテストできます。無償利用枠アカウントにアクセスし、ビジネスシナリオを正確に反映するさまざまなテキストおよび文書タイプをテストして、結果をレビューすることをお奨めします。機械翻訳されたテキストを許容するかどうかは、文化や対象者、ビジネスシナリオによって異なる場合があります。

特定のシナリオの翻訳を事後編集することにした場合は、事後編集サービスを提供する[翻訳パートナー](#)の一覧を参照できます。

サポートされる XLIFF 機能

文書翻訳 サービスでは、以下のパラメータを使用して XLIFF ファイルが処理されます。

- strict スキーマを含む XLIFF 1.2 ファイルのみが処理されます。
- <g>、<x/>、<bpt>、<ept>、<ph> などのライン要素が転送されます。
- <trans-unit>、<source>、<seg-source>、および <mrk> がサポートされています。
- 属性 equiv-text および mtype は無視されます。
- ユーザがクエリパラメータに翻訳元言語も翻訳先言語も設定しない場合は、属性 source-language と target-language が使用されます。

PDF ファイルの翻訳

PDF を翻訳可能な形式に変換することは、PDF の元の形式や作成元が不明である回数だけ難しい作業です。ユーザーが変換および翻訳のワークフローを容易にするために、Adobe サービスを統合し、PDF から文書翻訳で翻訳可能な形式に変換できるようにしました。

① 注記

PDF ドキュメントを変換するには、Adobe サードパーティサービスで処理するために PDF ドキュメントを共有する必要があります。機密文書を翻訳する場合は、この点を考慮してください。または、最初にこれらの伝票を、会社に適合する変換プロセスに従って文書翻訳で受け入れられる他の書式に変換します。

翻訳プロセスは、PDF を翻訳ファイルとして取得するのではなく、Word 文書バージョンのコンテンツを取得することを除き、他の文書と同様に機能します。これにより、翻訳済バージョンをレビューおよび編集することができます。書式設定は変換メカニズムによって変更される場合があり、調整が必要になる場合もあります。

最適な結果を得るための推奨事項

PDF は、編集不可を意図した形式です。機械翻訳エンジンに到達したコンテンツは、PDF に表示されるコンテンツとまったく異なる場合があります。これにより、最終的な翻訳および書式設定でエラーが発生する可能性があります。Word 文書として受信した翻訳済出力をレビューし、必要に応じて変更することをお奨めします。

翻訳では、ソース/オリジナルファイルが常に推奨されます。PDF を (一般的な意味を理解するために) ギスト翻訳を取得するためのオプションと考えます。

可能であれば、特にプロセスの自動化を検討している場合は、PDF を翻訳形式として使用する方法を検討することを強くお奨めします。

7.2.1 翻訳からのテキストの除外

機械翻訳エンジンによって、未翻訳のままにしておく必要があるテキストが翻訳される場合があります。

このような場合の翻訳の品質を向上させるために、特別なマークアップを追加することで、テキストを翻訳から除外することができます。特別なマークアップを使用した翻訳からのテキストの除外は、HTML および XLIFF 形式でサポートされており、書式ごとに若干異なります。

以下のように、HTML での翻訳からテキストを除外します。

- 段落全体またはセクション全体または既存の HTML エLEMENT の内容を機械翻訳から除外する場合は、以下のように `translate="no"` 属性をELEMENT に追加します。

{ } サンプルコード

```
<p translate="no">This paragraph is now excluded from translation.</p>
```

- 機械翻訳からテキストの一部を除外する場合は、`` ELEMENT のテキストを以下のように囲みます。

{ } サンプルコード

```
The shopping <span translate="no">cart</span> contains ten items.
```

- すでにインラインタグで囲まれているテキストの一部を除外するには、以下のいずれかの方法で `translate="no"` 属性を追加するか、`` タグでテキストをインラインタグでラップします。

{ } サンプルコード

```
<p>Each entry can contain an explicit IP address (<b translate="no">180.175.0.10</b>.</p>
```

または

{ } サンプルコード

```
<p>Each entry can contain an explicit IP address (<span translate="no"><b>180.175.0.10</b></span>.</p>
```

以下の手順で、XLIFF の翻訳からテキストを除外します。

`translate` 属性の html 仕様については、を参照してください。 <https://html.spec.whatwg.org/multipage/dom.html#the-translate-attribute>

- グループまたは翻訳単位全体を翻訳から除外する場合は、以下のように `translate="no"` 属性を `<group>` または `<trans-unit>` 要素に追加します。

{ } サンプルコード

```
<trans-unit id="ID_1" translate="no">
  <source>This paragraph is now excluded from translation.</source>
</trans-unit>
```

- テキストの一部を翻訳から除外する場合は、インラインELEMENT `<mrk mtype="protected">` を使用して、以下のように作業またはフレーズを囲みます。

❏ サンプルコード

```
<trans-unit id="ID_2">
<source>The shopping <mrk mtype="protected">cart</mrk> contains ten
items.</source>
</trans-unit>
```

- インライン要素にすでに囲まれているフレーズまたはテキストがある場合は、それを `<mrk mtype="protected">` 要素で囲み、XLIFF が有効であることを確認します。

❏ サンプルコード

```
<trans-unit id="ID_3">
<source>Each entry can contain an explicit IP address (<mrk
mtype="protected"><g id="1"
ctype="bold">180.175.0.10</g></mrk>.</source>
</trans-unit>
```

XLIFF 1.2 の詳細については、<http://docs.oasis-open.org/xliff/v1.2/os/xliff-core.html> を参照してください。

7.2.2 トレーニングデータのタイプ

SAP 内部データ

文書翻訳 サービスの機械翻訳エンジンは、SAP の翻訳済み技術文書、ユーザーインターフェイスのローカライズ、および 40 の言語で利用可能なサポート文書とトレーニング文書から生成される大量の並列データについてトレーニングされます。

オープンソースデータ

SAP 固有のトレーニングデータは、機械翻訳エンジンのコンテンツ範囲の多様化に役立つ、公開されている並列データセットによって補足されます。

トレーニングには、以下の表の一覧および帰属としてこれらのオープンソースデータセットを使用します。これらの用途は、文書翻訳 サービスでカバーされる言語ペアにのみ適用されます。[言語ペア](#)を参照してください。

データセット名	データセットソース	ライセンス	属性詳細
COVID-19 - 健康ウィキペディア データセット。	https://www.elrc-share.eu/repository/browse/covid-19-health-wikipedia-dataset-multilingual-53-en-x-language-pairs/fe23e2c28c8311ea913100155d0267066f62c6b30ac0429f8d497df0abd2ef72	CC-BY-SA-3.0	
COVID-19 アンチビオティック データセット	https://www.elrc-share.eu/repository/browse/covid-19-antibiotic-dataset-multilingual-cef-languages/e118d7f2903c11ea913100155d02670679a442295c174a899232193999b7abb6	CC-BY-4.0	このデータセットは、2020年4月に European Centre for Disease Prevention and Control のポータル から利用可能な公開コンテンツから生成されています。
COVID-EC EUROPA v1 データセット	https://www.elrc-share.eu/repository/browse/covid-19-ec-europa-v1-dataset-multilingual-cef-languages/69fa228a9c2a11ea913100155d026706a947791e7fb14f9982647620ee06757d	CC-BY-4.0	
COVID-19 EU 圧力コーナー v1 データセット	https://www.elrc-share.eu/repository/browse/covid-19-eu-presscorner-v1-dataset-multilingual-cef-languages/0f41b80e968911ea913100155d0267061a602e936edc49138512eef56af9ec09	CC-BY-4.0	
COVID-19 EU presscorner v2 データセット	https://www.elrc-share.eu/repository/browse/covid-19-eu-presscorner-v2-dataset-multilingual-cef-languages/d39a493ec27e11ea913100155d0267067a4daf5bc0f448118ea66fc1cd68ff8e	CC-BY-4.0	
COVID-19 EUR-LEX データセット	https://www.elrc-share.eu/repository/browse/covid-19-eur-lex-dataset-multilingual-cef-languages/8294be34c14311ea913100155d026706cb5ff68fc5a643369e67a65a37b27ae9	CC-BY-4.0	
COVID-19 EUROPARL データセット v1。	https://www.elrc-share.eu/repository/browse/covid-19-europarl-dataset-v1-multilingual-24-cef-languages/1f409c3a8c8811ea913100155d026706d791275d5576428c8daf5e1ac6cd9848	CC-BY-4.0	

データセット名	データセットソース	ライセンス	属性詳細
COVID-19 EUROPARL データセット v2。	https://www.elrc-share.eu/repository/browse/covid-19-europarl-dataset-v2-multilingual-24-cef-languages/8d6f0e6692ab11ea913100155d026706c30255385cdf4a0c92e1b4fc040f0bdb	CC-BY-4.0	
COVID-19 Parallel Global Voices データセット。	https://www.elrc-share.eu/repository/browse/covid-19-parallel-global-voices-dataset-multilingual-en-es-fr-it-el-ru-ar-mg-nl-sr-bn-pt-pl-de-ro-cs/5aec6990894411ea913100155d0267062a0d90a3ea5e414eb5b6407e98a06cba	CC-BY-3.0	「Covid Parallel Global Voices」データセットは、 欧州言語資源調整アクション (ELRC) のために、Global Voices が著作権を有する一次データを持つ 言語および言語処理研究所 の NLP グループの研究者によって作成され、 CC-BY-3.0 のライセンスを取得している。
EAC (欧州連合の教育文化総局からのデータ)	https://ec.europa.eu/jrc/en/language-technologies/eac-translation-memory	CC-BY-4.0	欧州連合の高度多言語並行企業の概要 。
ECB (欧州中央銀行の Web サイト)	https://tilde-model.s3-eu-west-1.amazonaws.com/Tilde_MODEL_Corpus.html	CC-BY-4.0	Tilde MODEL - EU 言語の多言語オープンデータ 。
ECDC (欧州疾病予防管理センターのデータ)	https://ec.europa.eu/jrc/en/language-technologies/ecdc-translation-memory	CC-BY-4.0	欧州連合 (EU) の高度多言語並行企業の概要
EESC (欧州経済社会委員会文書ポータル)	https://tilde-model.s3-eu-west-1.amazonaws.com/Tilde_MODEL_Corpus.html	CC-BY-4.0	Tilde MODEL - EU 言語の多言語オープンデータ 。
ELITR-ECA	https://opus.nlpl.eu/ELITR-ECA.php	CC-BY-4.0	ELITR ECA Corpus
EMA (欧州医薬品庁文書ポータル)	https://tilde-model.s3-eu-west-1.amazonaws.com/Tilde_MODEL_Corpus.html	CC-BY-4.0	Tilde MODEL - EU 言語の多言語オープンデータ 。
英語 - ブラジルポルトガル語の全文科学記事のコーパス	https://figshare.com/articles/dataset/A_Large_Parallel_Corpus_of_Full-Text_Scientific_Articles/5382757	CC-BY-4.0	全文科学記事の大規模な並列コーパス

データセット名	データセットソース	ライセンス	属性詳細
英語 - ブラジルポルトガル語のこれらと解読のコーパス	https://figshare.com/articles/dataset/A_Parallel_Corpus_of_Thesis_and_Dissertations_Abstracts/5995519	CC-BY-4.0	理論と論文の並列コーパス略語
グローバルボイス	http://nlp.ilsp.gr/pgv/	CC-BY-4.0	並列グローバルボイス: 多言語企業のコレクション
hrenWaC (クロアチア語 - 英語 Parallel Web Corpus)	https://opus.nlpl.eu/hrenWaC.php	CC-BY-SA-3.0	OPUS での並列データ、ツール、およびインタフェース
日本語 - 英語のサブタイトル Corpus	https://nlp.stanford.edu/projects/jesc	CC-BY-SA-4.0	JESC: 日本語 - 英語のサブタイトル Corpus
JRC-Acquis (欧州連合 (EU) の法的テキストの収集)	https://wt-public.emm4u.eu/Acquis/JRC-Acquis.3.0/alignmentsHunAlign/index.html	CC-BY-4.0	JRC Acquis : 20 以上の言語を持つ多言語連携された並列コーパス
Leipzig Corpora Collection	https://wortschatz.uni-leipzig.de/en/download/	CC-BY-4.0	Leipzig Corpora Collection での大規模な単一言語辞書の作成 : 100 ~ 200 の言語
欧州ワクチン接種情報ポータル の多言語コーパス	https://www.elrc-share.eu/repository/browse/multilingual-corpus-from-the-european-vaccination-information-portal/cab9d25a862c11ea913100155d026706fb104331ed0c4a148e077df2a743d9b0	CC-BY-4.0	このデータセットは、2020 年 4 月に European Centre for Disease Prevention and Control の European Vaccination Information Portal で利用できる公開コンテンツから生成されています。
医療分野における EU の出版 事務所の多言語コーパス	https://www.elrc-share.eu/repository/browse/multilingual-corpus-from-the-publications-office-of-the-eu-on-the-medical-domain/4c0cf2a0854811ea913100155d026706787b772f28f840bda632dc86d5c87ae1	CC-BY-4.0	このデータセットは、2020 年 4 月に欧州連合の出版局 (OPポータル) から利用可能な公開コンテンツから生成されています。
医療ドメイン v.2 の EU 出版 局からの多言語コーパス	https://www.elrc-share.eu/repository/browse/multilingual-corpus-from-the-publications-office-of-the-eu-on-the-medical-domain-v2/17c704c88abf11ea913100155d02670696b5382218ac48c0b72d5043b62379f1	CC-BY-4.0	このデータセットは、2020 年 4 月に欧州連合の出版局 (OPポータル) から利用可能な公開コンテンツから生成されています。

データセット名	データセットソース	ライセンス	属性詳細
Rapid (European Commission のプレスリリースデータベース)	https://tilde-model.s3-eu-west-1.amazonaws.com/Tilde_MODEL_Corpus.html	CC-BY-4.0	チルダモデル - EU 言語の多言語オープンデータ
SETIMES (バルカン語のニュース記事)	http://opus.nlpl.eu/SETIMES.php	CC-BY-SA-3.0	OPUS での並列データ、ツール、およびインタフェース
Tatoeba	https://opus.nlpl.eu/Tatoeba-v2020-11-09.php	CC-BY-2.0-FR	OPUS での並列データ、ツール、およびインタフェース
Ubuntu Dialogue Corpus	https://github.com/rkadlec/ubuntu-ranking-dataset-creator	Apache ライセンス 2.0	「Ubuntu Dialogue Corpus: A Large Dataset for Research in Unstructured Multi-Turn Dialogue Systems」
WikiMatrix	https://github.com/facebookresearch/LASER/tree/master/tasks/WikiMatrix	CC-BY-SA-4.0	WikiMatrix: Mining 135M Parallel Sentences in 1620 Language Pairs from Wikipedia

7.3 サポートされている言語 (文書翻訳)

サポートされている言語ペア

翻訳元言語名	翻訳元言語コード	翻訳先言語名	翻訳先言語コード
アラビア語	ar-SA	英語 (米国)	en-US
ブルガリア語	bg-BG	英語 (米国)	en-US
カタロニア語	ca-ES	英語 (米国)	en-US
チェコ語	cs-CZ	英語 (米国)	en-US
中国語 (簡体字)	zh-CN	英語 (米国)	en-US
中国語 (繁体字)	zh-TW	英語 (米国)	en-US
クロアチア語	hr-HR	英語 (米国)	en-US
デンマーク語	da-DK	英語 (米国)	en-US
オランダ語	nl-NL	英語 (米国)	en-US
英語 (米国)	en-US	アラビア語	ar-SA
英語 (米国)	en-US	ブルガリア語	bg-BG

翻訳元言語名	翻訳元言語コード	翻訳先言語名	翻訳先言語コード
英語 (米国)	en-US	カタロニア語	ca-ES
英語 (米国)	en-US	中国語 (簡体字)	zh-CN
英語 (米国)	en-US	中国語 (繁体字)	zh-TW
英語 (米国)	en-US	クロアチア語	hr-HR
英語 (米国)	en-US	チェコ語	cs-CZ
英語 (米国)	en-US	デンマーク語	da-DK
英語 (米国)	en-US	オランダ語	nl-NL
英語 (米国)	en-US	エストニア語	et-EE
英語 (米国)	en-US	フィンランド語	fi-FI
英語 (米国)	en-US	フランス語 (フランス)	fr-FR
英語 (米国)	en-US	ドイツ語	de-DE
英語 (米国)	en-US	ギリシャ語	el-GR
英語 (米国)	en-US	ヘブライ語	he-IL
英語 (米国)	en-US	ヒンディー語	hi-IN
英語 (米国)	en-US	ハンガリー語	hu-HU
英語 (米国)	en-US	イタリア語	it-IT
英語 (米国)	en-US	日本語	ja-JP
英語 (米国)	en-US	カザフ語	kk-KZ
英語 (米国)	en-US	韓国語	ko-KR
英語 (米国)	en-US	ラトビア語	lv-LV
英語 (米国)	en-US	リトアニア語	lt-LT
英語 (米国)	en-US	マレー語	ms-MY
英語 (米国)	en-US	ノルウェー語	nb-NO
英語 (米国)	en-US	ポーランド語	pl-PL
英語 (米国)	en-US	ポルトガル語 (ブラジル)	pt-BR
英語 (米国)	en-US	ルーマニア語	ro-RO
英語 (米国)	en-US	ロシア語	ru-RU
英語 (米国)	en-US	セルビア語 (ラテン)	sr-Latn-RS
英語 (米国)	en-US	スロバキア語	sk-SK
英語 (米国)	en-US	スロベニア語	sl-SI
英語 (米国)	en-US	スペイン語 (スペイン)	es-ES
英語 (米国)	en-US	スウェーデン語	sv-SE
英語 (米国)	en-US	タイ語	th-TH
英語 (米国)	en-US	トルコ語	tr-TR

翻訳元言語名	翻訳元言語コード	翻訳先言語名	翻訳先言語コード
英語 (米国)	en-US	ウクライナ語	uk-UA
英語 (米国)	en-US	ベトナム語	vi-VN
エストニア語	et-EE	英語 (米国)	en-US
フィンランド語	fi-FI	英語 (米国)	en-US
フランス語 (フランス)	fr-FR	英語 (米国)	en-US
ドイツ語	de-DE	ブルガリア語	bg-BG
ドイツ語	de-DE	中国語 (簡体字)	zh-CN
ドイツ語	de-DE	クロアチア語	hr-HR
ドイツ語	de-DE	チェコ語	cs-CZ
ドイツ語	de-DE	英語 (米国)	en-US
ドイツ語	de-DE	フランス語 (フランス)	fr-FR
ドイツ語	de-DE	ハンガリー語	hu-HU
ドイツ語	de-DE	イタリア語	it-IT
ドイツ語	de-DE	ポーランド語	pl-PL
ドイツ語	de-DE	ルーマニア語	ro-RO
ドイツ語	de-DE	ロシア語	ru-RU
ドイツ語	de-DE	セルビア語 (ラテン)	sr-Latn-RS
ドイツ語	de-DE	スロバキア語	sk-SK
ドイツ語	de-DE	スロベニア語	sl-SI
ドイツ語	de-DE	スペイン語 (スペイン)	es-ES
ギリシャ語	el-GR	英語 (米国)	en-US
ヘブライ語	he-IL	英語 (米国)	en-US
ヒンディー語	hi-IN	英語 (米国)	en-US
ハンガリー語	hu-HU	英語 (米国)	en-US
イタリア語	it-IT	英語 (米国)	en-US
日本語	ja-JP	英語 (米国)	en-US
カザフ語	kk-KZ	英語 (米国)	en-US
韓国語	ko-KR	英語 (米国)	en-US
リトアニア語	lt-LT	英語 (米国)	en-US
ラトビア語	lv-LV	英語 (米国)	en-US
マレー語	ms-MY	英語 (米国)	en-US
ノルウェー語	nb-NO	英語 (米国)	en-US
ポーランド語	pl-PL	英語 (米国)	en-US
ポルトガル語 (ブラジル)	pt-BR	英語 (米国)	en-US

翻訳元言語名	翻訳元言語コード	翻訳先言語名	翻訳先言語コード
ルーマニア語	ro-RO	英語 (米国)	en-US
ロシア語	ru-RU	英語 (米国)	en-US
スペイン語 (スペイン)	es-ES	英語 (米国)	en-US
セルビア語 (ラテン)	sr-Latn-RS	英語 (米国)	en-US
スロバキア語	sk-SK	英語 (米国)	en-US
スロベニア語	sl-SI	英語 (米国)	en-US
スウェーデン語	sv-SE	英語 (米国)	en-US
タイ語	th-TH	英語 (米国)	en-US
トルコ語	tr-TR	英語 (米国)	en-US
ウクライナ語	uk-UA	英語 (米国)	en-US
ベトナム語	vi-VN	英語 (米国)	en-US
インドネシア語	id-ID	英語 (米国)	en-US
英語 (米国)	en-US	インドネシア語	id-ID

7.4 言語識別

言語識別機能は、API およびユーザインタフェースの**テキスト翻訳**タブで利用可能です。この機能は、翻訳可能テキストの翻訳元言語が不明なシナリオで、翻訳元言語を認識します。

この機能では、翻訳元言語パラメータなしの API 呼出またはテキストで、翻訳開始前に機械翻訳でサポートされているすべての言語に基づいて翻訳元テキスト言語を識別しようとする言語識別アルゴリズムが使用されます。

言語識別機能を使用する場合は、ユーザインタフェースでソーステキストボックスの上にあるトグルを有効化または無効化します。

API では、翻訳元言語が識別されないか、または利用できない場合は、API からエラー情報が適宜送信されます。さまざまな言語ペアの組み合わせも考慮されます。翻訳元言語が正しく識別されていても要求された言語ペアを提供できない場合は、API からエラー情報が適宜送信されます。

翻訳元テキストに複数の言語が含まれている場合、言語 ID ではテキストの最初から派生した単一の翻訳元言語のみが検出されます。文書翻訳では、この検出された翻訳元言語が文書全体に使用されます。

`sourceLanguage` パラメータを常に指定することをお奨めします。翻訳元言語が不明な場合にのみ、言語識別機能を使用してください。

これに加えて、機械翻訳の使用に適用されるのと同じ推奨事項と要望事項が、以下のように言語識別機能にも適用されます。

- 本稼働で使用する前に、スコープ内のサンプルテキストと言語を使用して、使用ケースでのアルゴリズムの精度をテストします。
- 翻訳元テキストが不適切で不正確である (文法上の誤りなど) か、または翻訳要求が短すぎると、言語の識別精度が低下する可能性があります。

- たとえば、数字、URL、メールアドレス、スペース、特殊文字のみを含む翻訳元テキストにこの機能を使用することはお奨めしません。
- この機能は、英語に翻訳する場合に特に役立ちます。この機能を別の設定で使用すると、言語ペアがサポートされていない場合にエラーが発生する可能性があります。
- 翻訳元言語が正しく識別されないと、提供される翻訳の品質に影響があります。翻訳品質が低い場合、翻訳元言語が正しく識別されていない可能性があります。

7.5 文書翻訳ユーザインタフェースの使用

文書翻訳のユーザインタフェースを使用して、テキストおよび文書を翻訳することができます。翻訳は文書翻訳サービスを使用して行われます。

7.5.1 のユーザインタフェースを開く 文書翻訳

1. サービスが有効化されているサブアカウントを開きます。
2. サービスで、インスタンスおよびサブスクリプションを開きます。
3. アプリケーションで、文書翻訳を検索します。文書翻訳 サービスで、アクションメニューを開き、アプリケーションにジャンプを選択します。アプリケーションがブラウザで開きます。

権限のある任意のユーザとアプリケーション URL を共有して、ユーザがアプリケーションに直接アクセスできるようにすることができます。詳細については、[SAP Translation Hub ユーザインタフェースにアクセスする権限をユーザに付与する \[38 ページ\]](#) を参照してください。

7.5.2 ファイルの翻訳

ファイルを翻訳するには、許可されたファイル範囲内で翻訳できることを確認します。ファイルサイズがサポートされているファイルサイズを超えていないことを確認してください。

左側のメニューの[ファイル翻訳](#)にナビゲートします。[ソースファイル](#)タブにナビゲートします。ファイルを[ファイル](#)項目にドラッグ & ドロップするか、[ファイルアップロード](#)を選択して、ファイルが保存されている関連フォルダにナビゲートすることができます。

ドロップダウンメニューから翻訳元言語および翻訳先言語を選択します。翻訳元言語を自動的に検出することはできません。

次に、[翻訳](#)を選択します。ファイルがアップロードされ、翻訳プロセスが開始されます。進捗バーで進捗を確認することができます。翻訳が終了すると、ステータスが[翻訳完了](#)に変わります。[翻訳済ファイル](#)タブにナビゲートします。このタブでは、翻訳されたファイルをダウンロードできます。ファイル名は、4桁の翻訳元言語コードと翻訳先言語コードが含まれるように調整されました。

保存されている翻訳ファイルの最大ファイルサイズは 600 MB です。ファイルは 3 日間保存されます。

7.5.3 テキストの翻訳

SAP MT ポータルのテキストを翻訳するには、そのテキストをクリップボードにコピーし、[項目ソーステキスト](#)にペーストします。最大長は 10,000 文字です。

翻訳元テキストの言語を選択するか、[言語検出](#)を選択して翻訳元テキスト言語を自動的に検出することができます。

翻訳元言語に応じて、[翻訳先言語項目](#)の上のドロップダウンメニューから異なる[翻訳先言語](#)を選択することができます。

翻訳が完了したら、[コピー](#)を選択して、[翻訳済テキスト](#)をクリップボードにコピーすることができます。[翻訳元言語](#)項目からテキストを削除するには、[クリア](#)を選択します。言語切替ボタンをクリックして、翻訳の言語方向を切り替えることができます。

7.5.4 ユーザ設定の定義

ユーザアクションメニューで、[アプリ設定](#)を選択します。設定ダイアログが開き、以下を選択することができます。

- アプリケーションを利用する UI 言語 (デフォルトではブラウザの言語と同じ)
- 色とビジョン設定に基づくテーマ
- 文書翻訳の既存の言語範囲に基づく、翻訳のデフォルト翻訳元言語および翻訳先言語

① 注記

デフォルトの翻訳元言語および翻訳先言語は、Document Translation サービスの使用時にのみ適用されます。アプリケーションに対して定義するユーザ設定 (言語およびテーマ) は、SAP Translation Hub 全体に適用されます。

7.6 API リファレンス

SAP Translation Hub には、機械学習を使用して文書を複数の言語に翻訳し、SAP BTP 無償利用枠アカウントでテストするための複数の API が用意されています。

クライアント ID とシークレットでトークンを取得するには、[クライアント認証情報の付与 \[310 ページ\]](#) を参照してください。

7.6.1 文書翻訳 API - プロセス文書

この API を使用し、短い文書を機械翻訳で翻訳することができます。

環境: この API は、以下の環境で使用できます。

- Cloud Foundry
- Kubernetes
- Kyma
- その他

この翻訳サービスは、以下の制限を超えないファイルで利用できます。

限度タイプ	説明および値
ファイルサイズの限度	アップロードできるファイルの最大サイズは 100MB です。
文字の制限	以下の表を参照してください。

翻訳元言語	文字の制限
ja-JP	13,500
zh-CN	14,500
ko-KR	12,500
th-TH	7,000
その他すべて	40,000

大きいファイルについては、以下のリンクにある非同期文書翻訳 API を参照してください。

翻訳プロセスは、POST /api/v1/translation から開始します。翻訳元言語および翻訳先言語のパラメータに加え、ファイルを (必要に応じて) 追加することができます。

翻訳は、翻訳が完了するとすぐに返されます。システム内には保存されません。

関連情報

[文書翻訳 API - 技術文書 \[264 ページ\]](#)

[非同期文書翻訳 API - プロセス文書 \[282 ページ\]](#)

7.6.1.1 文書翻訳 API - 技術文書

機械翻訳による同期文書翻訳 API の技術的な詳細です。

以下の文書では、文書翻訳 API の技術的な詳細について説明します。API を使用する以下の 3 つの方法が提供されています。

- formData
- RAW
- JSON

これらのそれぞれのエンドポイントは、POST /api/v1/translation です。これにより、同期の翻訳プロセスが開始されます。

formData による API の呼び出し

formData を使用する場合は、HTML フォーム送信と同様に、ファイル/文書を formData として指定する必要があります。翻訳プロセスが終了すると、翻訳された文書/ファイルが応答本文で提供され、"Accept" ヘッダが application/json に設定されている場合はオプションで JSON オブジェクトにラップされます。"Content Type" ヘッダは multipart/form-data に設定する必要があります。

① 注記

翻訳元言語が不明な場合は、言語識別機能を使用して英語に翻訳することをお奨めします。その他の翻訳先言語では、これによる言語ペアがサポートされていない可能性があります。

翻訳元言語が判明している場合は、このパラメータで翻訳元言語を常に指定することをお奨めします。翻訳元言語が不明である場合にのみ、この言語特定機能を使用します。

言語識別機能の詳細については、[言語識別 \[261 ページ\]](#) を参照してください。

パラメータ

名前	説明	必須?
file	ファイル	いいえ
file (formData)		
sourceLanguage string (query)	sourceLanguage (ファイルの翻訳元言語コードです。一覧については、 サポートされている言語 (文書翻訳) [258 ページ] を参照してください。)このパラメータはオプションです。この翻訳元言語コードを指定しない場合、翻訳元言語はテキストから推測されます。 詳細については、 言語識別 [261 ページ] を参照してください。	いいえ
	<h3>① 注記</h3> <p>翻訳元言語が既知である場合は、このパラメータで翻訳元言語を常に指定することをお奨めします。翻訳元言語が不明である場合にのみ、この言語特定機能を使用します。</p>	
targetLanguage string (query)	targetLanguage (ファイルの翻訳先言語コードです。一覧については、 サポートされている言語 (文書翻訳) [258 ページ] を参照してください。)	はい*

名前	説明	必須?
strictMode ブール (query)	マークアップ転送を strict モードで実行するかどうかを指定します。strict モードでは、タグ配置の一部の構造要素が翻訳出力側で強制されます。これにより特に、タグがそれらを囲むタグ内に残されるようになり、タグシーケンスのタグ間にテキストが含まれていない場合は出力でも同様になります。これにより、タグ配置の品質が悪化する場合がありますが、翻訳後の文書構造の妥当性の維持に役立ちます。これは特に、タグに関するセマンティック情報が存在しない XLIFF ファイルを翻訳する場合など、文書構造に関する元のルールを入力文書から推測できない場合に役立ちます。	no (デフォルト: false)

❖ 例

翻訳元言語コード **en-US** がであるファイルベースの翻訳のサンプルペイロード:

```
curl -X POST "$BASE_URL/api/v1/translation/?sourceLanguage=en-US&targetLanguage=de-DE" \
-H "Authorization: Bearer $XSUAA_TOKEN" \
-F 'file=@/Users/Documents/demo.txt'
```

❖ 例

翻訳元言語コードの指定がないファイルベースの翻訳のサンプルペイロード:

```
curl -X POST "$BASE_URL/api/v1/translation/?targetLanguage=de-DE" \
-H "Authorization: Bearer $XSUAA_TOKEN" \
-F 'file=@/Users/Documents/demo.txt'
```

ファイルなしで翻訳要求を提出する場合は、POST 要求の要求本文で適切な `mime-type` を指定する必要があります。

❖ 例

翻訳元言語コードが **en-US** である formData のサンプルペイロード:

```
curl -X POST "$BASE_URL/api/v1/translation?sourceLanguage=en-US&targetLanguage=de-DE" \
-H 'Authorization: Bearer $XSUAA_TOKEN' \
-H 'Content-Type: multipart/form-data; boundary=-----BOUNDARY' \
--data-binary '$'-----BOUNDARY¥r¥nContent-Disposition: form-data; name="file";¥r¥nContent-Type: text/plain¥r¥n¥r¥nThis sentence needs to be translated.¥r¥n-----BOUNDARY--¥r¥n'
```

❖ 例

翻訳元言語の指定がない formData のサインプルペイロード:

```
curl -X POST "$BASE_URL/api/v1/translation?targetLanguage=de-DE" \
-H 'Authorization: Bearer $XSUAA_TOKEN' \
-H 'Content-Type: multipart/form-data; boundary=-----BOUNDARY' \
--data-binary '$'-----BOUNDARY¥r¥nContent-Disposition: form-data;
```

```
name="file";  
Content-Type: text/plain  
This sentence needs to be translated.  
-----BOUNDARY-----
```

① 注記

sourceLanguage はオプションのパラメータですが、targetLanguage は必須のパラメータです。すべてのファイルタイプで要求 URL にこれらを指定します。ただし、ファイルタイプが XLIFF ファイルである場合は、XLIFF ファイル自体でファイルタイプを指定することもできます。**重要:** XLIFF ファイルとその要求 URL でパラメータを指定すると、URL で指定されたパラメータが XLIFF ファイルで指定されたパラメータよりも優先されます。

応答

コード	説明
200	Ok
201	登録済
401	非認可
400	不正な要求
403	禁止
404	見つかりませんでした
413	要求したテキストは、翻訳を一度に要求できるテキストの最大量を超えています。

↔ サンプルコード

```
{
  "error": {
    "code":
      "CodePointCountLimitExceeded",
    "status": 413,
    "message": "The provided
document's code point count of
108,973 exceeded the code point
count limit of 40,000.",
    "target": "/api/v1/
translation",
    "requestId": "085b5cbe-
c794-4b03-7226-9a19531e98f8"
  }
}
```

413	拒否されました。圧縮されていないファイルサイズが大きすぎます。
-----	---------------------------------

以下の MIME タイプがサポートされます。

書式	拡張子	MIME タイプ
テキスト	.txt	text/plain

書式	拡張子	MIME タイプ
HTML	.html、.htm	text/html
XLIFF	.xlf、.xliff	application/x-xliff+xml
Word	.docx	application/vnd.openxmlformats-officedocument.wordprocessingml.document
Word (マクロ対応)	.docm	application/vnd.ms-word.document.macroenabled.12
Word (テンプレート)	.dotm	application/vnd.openxmlformats-officedocument.wordprocessingml.template
Word (テンプレート、マクロ対応)	.dotm	application/vnd.ms-word.template.macroenabled.12
PowerPoint プレゼンテーション	.pptx	application/vnd.openxmlformats-officedocument.presentationml.presentation
PowerPoint プレゼンテーション (マクロ対応)	.pptm	application/vnd.ms-powerpoint.presentation.macroenabled.12
PowerPoint ショー (スライドショー)	.ppsx	application/vnd.openxmlformats-officedocument.presentationml.slideshow
PowerPoint ショー (スライドショー、マクロ対応)	.ppsm	application/vnd.ms-powerpoint.slideshow.macroenabled.12
PowerPoint デザインテンプレート	.potx	application/vnd.openxmlformats-officedocument.presentationml.template
PowerPoint デザインテンプレート (マクロ対応)	.potm	application/vnd.ms-powerpoint.template.macroenabled.12
Excel	.xlsx	application/vnd.openxmlformats-officedocument.spreadsheetml.sheet
Excel (マクロ対応)	.xlsm	application/vnd.ms-excel.sheet.macroenabled.12
Excel (テンプレート)	.xltx	application/vnd.openxmlformats-officedocument.spreadsheetml.template
Excel (テンプレート、マクロ対応)	.xlsm	application/vnd.ms-excel.template.macroenabled.12

JSON 要求による API の呼び出し

このオプションを使用すると、ファイルの内容を、JSON 要求でのインラインの文字列で、または Base64 でエンコードして、JSON メッセージの本文の一部として受け渡すことができます。受信する応答も JSON メッセージになります。"Content Type" ヘッダは `application/json` に設定する必要があります。

① 注記

ファイルがないため、パラメータ `file` が自動的に生成されます。

必要なパラメータは、クエリとして、または JSON オブジェクトで受け渡すことができます。パラメータを JSON オブジェクトとクエリの両方で指定した場合、JSON オブジェクトのパラメータはクエリパラメータによって上書きされます。

🔗 サンプルコード

```
curl "$BASE_URL/api/v1/translation/" \
  -H "Authorization: Bearer $XSUAA_TOKEN" -H "Accept: application/json" \
  -H "Content-Type: application/json" \
  --data '{ "sourceLanguage": "en-US", "targetLanguage": "de-DE", "data": "This sentence needs to be translated" }'
```

名前	説明	必須?
sourceLanguage string (クエリまたは JSON オブジェクトの一部)	sourceLanguage (ファイルの翻訳元言語コードです。一覧については、 サポートされている言語 (文書翻訳) [258 ページ] を参照してください。)このパラメータはオプションです。この翻訳元言語コードを指定しない場合、翻訳元言語はテキストから推測されます。 詳細については、 言語識別 [261 ページ] を参照してください。	いいえ
<div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <h3>① 注記</h3> <p>翻訳元言語が既知である場合は、このパラメータで翻訳元言語を常に指定することをお奨めします。翻訳元言語が不明である場合にのみ、この言語特定機能を使用します。</p> </div>		
targetLanguage string (クエリまたは JSON オブジェクトの一部)	targetLanguage (ファイルの翻訳先言語コードです。一覧については、 サポートされている言語 (文書翻訳) [258 ページ] を参照してください。)	可

名前	説明	必須?
strictMode ブール (クエリまたは JSON オブジェクトの一部)	マークアップ転送を strict モードで実行するかどうかを指定します。strict モードでは、タグ配置の一部の構造要素が翻訳出力側で強制されます。これにより特に、タグがそれらを囲むタグ内に残されるようになり、タグシーケンスのタグ間にテキストが含まれていない場合は出力でも同様になります。これにより、タグ配置の品質が悪化する場合がありますが、翻訳後の文書構造の妥当性の維持に役立ちます。これは特に、タグに関するセマンティック情報が存在しない XLIFF ファイルを翻訳する場合など、文書構造に関する元のルールを入力文書から推測できない場合に役立ちます。	no (デフォルト: false)

以下のコードの例は、翻訳可能テキストが Business User であるデータの翻訳を示しています。

```
{
  "sourceLanguage": "en-US",
  "targetLanguage": "de-DE",
  "contentType": "text/html",
  "data": "<div>Business <strong>User</strong></div>"
}
```

対応する応答は以下のとおりです。

↔ サンプルコード

```
{
  "contentType": "text/html",
  "encoding": "plain",
  "sourceLanguage": "en-US",
  "targetLanguage": "de-DE",
  "data": "<div><strong>Anwendungsbenutzer</strong></div>"
}
```

Accept ヘッダを application/json に設定するか、ヘッダを完全に省略すると、応答は JSON で提供されません。Accept ヘッダを application/octet-stream に設定すると、翻訳された文書は応答本文として直接戻されます。以下に応答の例を示します。

入力文書がバイナリである場合は、以下のように Base64 でエンコードできます。

↔ サンプルコード

With source language

```
{
  "sourceLanguage": "en-US",
  "targetLanguage": "de-DE",
  "contentType": "text/html",
  "encoding": "base64",
  "data": "PGRpdj5CdXNpbmVzcyA8c3Ryb25nPlVzZXI8L3N0cm9uZz48L2Rpdj4K"
}
```

🔗 サンプルコード

Without source language

```
{
  "targetLanguage": "de-DE",
  "contentType": "text/html",
  "encoding": "base64",
  "data": "PGRpdj5CdXNpbmVzcyA8c3Ryb25nPlVzZXI8L3N0cm9uZz48L2Rpdj4K"
```

両方の場合で、応答は以下のようになります。

🔗 サンプルコード

```
{
  "contentType": "text/html",
  "encoding": "base64",
  "sourceLanguage": "en-US",
  "targetLanguage": "de-DE",
  "data": "PGRpdj48c3Ryb25nPkFud2VuZHVuZ3NiZW51dHplcjwvc3Ryb25nPjwvZGl2Pgo="
```

RAW オプションによる API の呼び出し

このオプションを使用すると、ファイルの内容を RAW で受け渡すことができます。つまり、コンテンツタイプ multipart/formData を選択せず、代わりに text/html などの実際の文書のコンテンツタイプを選択します。サポートされるコンテンツタイプについては、上記の一覧を参照してください。この場合は、本文を直接含めません。このケースでは、クエリパラメータの形式ですべてのパラメータを指定する必要があります。

名前	説明	必須?
sourceLanguage	sourceLanguage (ファイルの翻訳元言語コードです。一覧については、 サポートされている言語 (文書翻訳) [258 ページ] を参照してください。)このパラメータはオプションです。この翻訳元言語コードを指定しない場合、翻訳元言語はテキストから推測されます。	いいえ
string (query)	詳細については、 言語識別 [261 ページ] を参照してください。	

① 注記

翻訳元言語が既知である場合は、このパラメータで翻訳元言語を常に指定することをお奨めします。翻訳元言語が不明である場合にのみ、この言語特定機能を使用します。

名前	説明	必須?
targetLanguage string (query)	targetLanguage (ファイルの翻訳先言語コードです。一覧については、 サポートされている言語 (文書翻訳) [258 ページ] を参照してください。)	可
strictMode 文字列 (query)	マークアップ転送を strict モードで実行するかどうかを指定します。strict モードでは、タグ配置の一部の構造要素が翻訳出力側で強制されます。これにより特に、タグがそれらを囲むタグ内に残されるようになり、タグシーケンスのタグ間にテキストが含まれていない場合は出力でも同様になります。これにより、タグ配置の品質が悪化する場合がありますが、翻訳後の文書構造の妥当性の維持に役立ちます。これは特に、タグに関するセマンティック情報が存在しない XLIFF ファイルを翻訳する場合など、文書構造に関する元のルールを入力文書から推測できない場合に役立ちます。	no (デフォルト: false)

以下のコードの例は、翻訳可能テキストが `This sentence needs to be translated` であるデータの翻訳を示しています。

```
curl -X POST "$BASE_URL/api/v1/translation/?sourceLanguage=en-US&targetLanguage=de-DE" \
-H "Authorization: Bearer $XSUAA_TOKEN" \
-H "Content-Type: text/plain" \
--data "This sentence needs to be translated"
```

🔗 サンプルコード

Without source language

```
curl -X POST "$BASE_URL/api/v1/translation/?targetLanguage=de-DE" \
-H "Authorization: Bearer $XSUAA_TOKEN" \
-H "Content-Type: text/plain" \
--data "This sentence needs to be translated"
```

Accept ヘッダを `application/json` に設定すると応答が JSON で提供され、その他の場合は翻訳された文書が応答本体として直接戻され、翻訳元言語はヘッダで示されます (以下の JSON 応答の例を参照)。

🔗 サンプルコード

```
{
  "contentType": "text/html",
  "encoding": "plain",
  "sourceLanguage": "en-US",
  "targetLanguage": "de-DE",
  "data": "<div><strong>Dieser Satz soll übersetzt werden</strong></div>"
}
```

API 言語優先設定

要求の HTTP ヘッダ `Accept-Language` を使用して、ブラウザの言語優先設定を指定します。この場合、文書翻訳サービスは、応答内のエラーメッセージをローカライズします。次の言語ロケールがサポートされています。
en、de、ja、zh_CN、ru、es、fr、pt。

❁ 例

リクエストペイロード:

```
curl -X POST "<base_url>/api/v1/translation?sourceLanguage=en-US&targetLanguage=de-DE"-H
"authorization: Bearer "
-H "Accept-Language: de,en;q=0.9,en-US;q=0.8,zh-CN;q=0.7,zh;q=0.6"-F
"file=@test.pdf;type=application/pdf"
```

応答:

{ } サンプルコード

```
{
  "error": {
    "code": "UnsupportedInputFormat",
    "status": 415,
    "message": "Die von Ihnen angegebene Datei hat ein Format, das zurzeit nicht
unterstützt wird oder nicht korrekt identifiziert werden konnte.",
    "target": "/api/v1/translation",
    "requestId": "3f1f3b0c-8e52-4985-4d22-a54a5ab71f73"
  }
}
```

モデル

ApiRestErrorMessage

HTTP エラーが発生した場合、応答ではこのモデルが本文として使用されます。

名称	タイプ	内容説明
error	ApiError	発生したエラー。

ApiError

名前	タイプ	説明
code*	string	<p>❖ 例</p> <p>UnsupportedLanguage</p> <p>① 注記</p> <p>一意のエラー ID です。詳細については、エラーコードテーブル (エラーテーブル [278 ページ]) を参照してください。</p>
details	DetailedErrorMessage	以下のモデル DetailedErrorMessage [275 ページ] を参照してください。
internalMessage	string	ロギングまたはデバッグを目的とする、技術的または開発者メッセージです。
message*	string	<p>❖ 例</p> <p>言語コード 'xx-XX' はサポートされていません。</p> <p>ローカライズされたエラーメッセージ</p>
requestId*	string	<p>❖ 例</p> <p>6ffb877c-6d3f-4007-9480-2b9d9bd54e13</p> <p>ログでの要求トレースに使用します。ヘッダの "X-Vcap-Request-Id" と同じです。</p>
status*	integer(\$int32)	<p>❖ 例</p> <p>400</p> <p>HTTP ステータスコードは、HTTP 応答と同じです。</p>
target	string	<p>❖ 例</p> <p>/api/v1/translation/jobs</p> <p>元の要求のリソースパスです。</p>

名前	タイプ	説明
sourceLanguage	string	<p>❖ 例 en-US</p> <p>入力の翻訳元言語です。コードが "UnsupportedLanguagePair" の場合にのみ使用できます。</p>
targetLanguage	string	<p>❖ 例 de-DE</p> <p>翻訳ジョブの翻訳先言語。コードが "UnsupportedLanguagePair" の場合にのみ使用できます。</p>

DetailedErrorMessage

名前	タイプ	説明
code	string	詳細なエラーコードです。
message	string	詳細メッセージコード。

DocumentTranslationRequest

名前	タイプ	説明
sourceLanguage	string	<p>sourceLanguage (ファイルの翻訳元言語コードです。一覧については、サポートされている言語 (文書翻訳) [258 ページ]を参照してください。)このパラメータはオプションです。この翻訳元言語コードを指定しない場合、翻訳元言語はテキストから推測されます。</p> <p>詳細については、言語識別 [261 ページ]を参照してください。</p> <p>注記</p> <p><i>sourceLanguage</i> パラメータを常に指定することをお奨めします。翻訳元言語が不明な場合にのみ、言語識別機能を使用してください。</p> <p>例</p> <p>en-US</p>
targetLanguage	string	<p>targetLanguage (ファイルの翻訳先言語コードです。一覧については、サポートされている言語 (文書翻訳) [258 ページ]を参照してください。)</p> <p>例</p> <p>de-DE</p>
contentType	string	<p>例</p> <p>text/html</p>
encoding	string	<p>データエレメントのエンコーディングです。</p> <p>"plain" または "base64" のいずれか</p> <p>例</p> <p>plain</p>

名前	タイプ	説明
strictMode	boolean	<p>マークアップ転送を strict モードで実行するかどうかを指定します。strict モードでは、タグ配置の一部の構造要素が翻訳出力側で強制されます。これにより特に、タグがそれらを囲むタグ内に残されるようになり、タグシーケンスのタグ間にテキストが含まれていない場合は出力でも同様になります。これにより、タグ配置の品質が悪化する場合がありますが、翻訳後の文書構造の妥当性の維持に役立ちます。これは特に、タグに関するセマンティック情報が存在しない XLIFF ファイルを翻訳する場合など、文書構造に関する元のルールを入力文書から推測できない場合に役立ちます。</p>
		<p>❖ 例</p> <pre>true</pre>
data	string	<p>翻訳する伝票データを指定します。文書がプレーンテキスト (txt、html、xliff など) の場合は、"encoding" パラメータを "plain" に設定するか、省略して、文字列として指定することができます。ドキュメントがバイナリ形式の場合、encoding パラメータを base64 に設定し、データを base64 でエンコードする必要があります。</p>
		<p>❖ 例</p> <pre>エンコーディング: "plain": "<div>Encode the business data as JSON</div>" およ びエンコード: "base64": "PGRpdk5FbmNvZGUgdGhldXzdHJ vbmc+YnVzaWw3L3L3L3NjcyZc mZczu4zu9sl0cmZu4z8c</pre>

DocumentTranslationResult

名前	タイプ	説明
contentType	string	<p>❖ 例</p> <p>text/html</p>
encoding	string	<p>データエレメントのエンコーディング</p> <p>❖ 例</p> <p>plain</p>
data	string	<p>❖ 例</p> <p>"<div>ビジネス データを JSON として エンコード</div>"</p>
sourceLanguage	string	<p>翻訳元の言語 (言語が自動的に検出され たときにも存在します)。</p> <p>❖ 例</p> <p>en-US</p>
targetLanguage	string	<p>❖ 例</p> <p>de-DE</p>

エラーテーブル

HTTP ステータスコード	\$error.code	\$error.message (ユーザに表 示)	説明
400	JsonParseError	JSON 要求を読み込めません。	なし
400	DataValidationError	要求をチェックできません。	1 つ以上の要求引数が無効で す。詳細なエラーメッセージ は \$error.details[] に設定され ます。

HTTP ステータスコード	\$error.code	\$error.message (ユーザに表示)	説明
400	UnsupportedLanguage	言語コード "{0}" はサポートされていません。	<p>要求された翻訳元/翻訳先言語はサポートされていません。</p> <p>① 注記</p> <p>言語コードテーブル (サポートされている言語 (文書翻訳) [258 ページ]) を参照してください。</p>
400	TranslationEngineUnavailable(*core-mt)	要求した言語ペア {0}-{1} に利用可能な翻訳エンジンがありません。	<p>要求された翻訳元/翻訳先言語はサポートされていません。</p> <p>① 注記</p> <p>言語コードテーブル (サポートされている言語 (文書翻訳) [258 ページ]) を参照してください。</p>
400	UnsupportedLanguagePair	言語ペア "{0}" および "{1}" はサポートされていません。有効な翻訳元言語と翻訳先言語の組合せを指定してください。	<p>要求された翻訳元と翻訳先言語のペアはサポートされていません。</p> <p>① 注記</p> <p>言語コードテーブル (サポートされている言語 (文書翻訳) [258 ページ]) を参照してください。</p>
400	LanguageDetectionError	入力文書の言語を検出できませんでした。	<p>入力文書の翻訳元言語を検出できませんでした。</p> <p>① 注記</p> <p>言語コードテーブル () を参照してください。</p>
403	NamedUserRequired	この API は、名前付きエンドユーザとして認証されている場合にのみ使用され、クライアント認証情報フローを使用している場合は使用されません。	API を使用するには、ユーザ固有の JWT トークンが必要です。
404	ResourceNotFound	要求したリソースが見つかりません。	

HTTP ステータスコード	\$error.code	\$error.message (ユーザに表示)	説明
413	CodePointCountLimitExceeded	入力した文書のコードポイントカウント {0} は、コードポイントカウントの限度 {1} を超過しています。	<p>ファイルのコードポイントカウントが、関連する言語の限度を超えています。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>④ 注記</p> <p>非同期文書翻訳 API のコードポイント制限については、非同期文書翻訳 API - プロセス文書 [282 ページ] を参照してください。文書翻訳 API のコードポイント数の制限は、文書翻訳 API - プロセス文書 [263 ページ] を参照してください。</p> </div>
413	RequestTooLarge (*core-mt)	要求した翻訳のサイズ {0} は、最大翻訳サイズ {1} を超過しています。	<p>ファイルの文字数が同期翻訳の 1,000,000 文字の限度を超過しています。非同期翻訳の場合、文字の限度は 2,500,000 文字です。</p>
413	CompressedUploadFileSizeTooLarge	圧縮されていないファイルサイズが {0}MB の限度を超えているため、要求は拒否されました。	<p>多数のテキストを含み、圧縮形式で保存されている文書 (Microsoft Office 文書など) の場合、圧縮ファイルのサイズがアップロードのサイズ制限を下回っていても、非圧縮ファイルサイズが最大ファイルサイズを超える可能性があります。このエラーメッセージをトリガするほとんどの文書に、許容数を超える文字またはコードポイント (あるいはその両方) が含まれており、さらに CodePointCountLimitExceeded もトリガします。この問題を軽減するため、要求を複数のファイルに分割することをお奨めします。</p>

HTTP ステータスコード	\$error.code	\$error.message (ユーザに表示)	説明										
415	UnsupportedInputFormat	入力したファイルは、現在はサポートされていない形式となっているか、または形式を適切に検出できませんでした。	<p>以下のファイル形式がサポートされています。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>タイプ</th> <th>書式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>テキスト</td> <td>*.txt、UTF-8 エンコーディング</td> </tr> <tr> <td>HTML</td> <td>*.html、UTF-8 エンコーディング</td> </tr> <tr> <td>Microsoft Office</td> <td>*.docx、*.xlsx、*.pptx</td> </tr> <tr> <td>XLIFF</td> <td>xliff1.2</td> </tr> </tbody> </table>	タイプ	書式	テキスト	*.txt、UTF-8 エンコーディング	HTML	*.html、UTF-8 エンコーディング	Microsoft Office	*.docx、*.xlsx、*.pptx	XLIFF	xliff1.2
タイプ	書式												
テキスト	*.txt、UTF-8 エンコーディング												
HTML	*.html、UTF-8 エンコーディング												
Microsoft Office	*.docx、*.xlsx、*.pptx												
XLIFF	xliff1.2												
424	TranslationTaskNotFinished	翻訳ジョブが終了していません。API: 'jobs/{jobid}' を使用してジョブのステータスを取得してください。	非同期 API 専用です。ジョブが終了していません。ステータスのクエリを先に行ってください。										
429	UserFileStorageQuotaExceeded	ユーザファイルストレージのクォータを超過しました。ユーザストレージクォータの最大許容数は 600 MiB です。消費されたファイルストレージクォータの合計は {0} バイトです。	ユーザストレージクォータを超過しました。今すぐ作成する前に翻訳ジョブを削除してください。										
429	RateLimitRequestsExceeded	{1} 分あたり {0} 要求の API 要求クォータを超過しました (error.richmt.rateLimitRequests キーにあるその他の言語のメッセージ)。	要求の数が、サブアカウントごとに 1 時間あたり最大 1,000,000 件を超過しました。期間を過ぎた後も使用を続行することができます。期間に関する情報は、API 応答のヘッダーに返されます。										
429	RateLimitCharactersExceeded	{1} 分あたり {0} 文字の API クォータを超過しました (error.richmt.rateLimitCharacters キーにあるその他の言語のメッセージ)。	<p>EU: コードポイントの数が、サブアカウントごとに 1 時間あたり許される最大 600,000,000 を超過しています。</p> <p>US: コードポイントの数が、サブアカウントごとに 1 時間あたり 450,000,000 の最大許容値を超過しています。</p> <p>期間を過ぎた後、API の使用を続行できます。期間に関する情報は、API 応答のヘッダーに返されます。</p>										

HTTP ステータスコード	\$error.code	\$error.message (ユーザに表示)	説明
500	InternalServerErrorRichMT	翻訳中に内部エラーが発生しました。後で再び試すか、または管理者に連絡してください。	翻訳中にエラーが発生しました。
500	InternalServerError	翻訳中に内部エラーが発生しました。後で再び試すか、または管理者に連絡してください。	翻訳ジョブの処理中にエラーが発生しました。

7.6.2 非同期文書翻訳 API - プロセス文書

この API を使用し、大きな文書を機械翻訳で翻訳することができます。

環境: この API は、以下の環境で使用できます。

- Cloud Foundry
- Kubernetes
- Kyma
- その他

この翻訳サービスは、以下の制限を超えないファイルで利用できます。

限度タイプ	説明および値
ファイルサイズの限度	アップロードできるファイルの最大サイズは 100MB です。
文字の制限	アップロードされた各ファイルの最大文字数: 2,500,000 文字。

要求プロセスは以下のとおりです。

1. ユーザが、翻訳する文書を `POST /api/v1/translation/jobs` に送信します。
2. 新しいジョブ ID が作成され、そのステータスが `PENDING` に変更された後、翻訳プロセスが開始されます。
3. エラーが発生する場合はジョブのステータスが `ERROR` に設定され、エラーメッセージが出力されます。

ステータスリトリブプロセスは以下のとおりです。

1. ユーザが、ステータスのクエリを `GET /api/v1/translation/jobs/aaaa-bbbb-cccc-dddd` で行います。aaaa-bbbb-cccc-dddd はジョブ ID です。
2. ジョブの詳細がリトリブされます。
3. ジョブのステータスは、以下のいずれかで返されます。

ステータス	説明	戻り値
<code>PENDING</code>	翻訳ジョブを処理しています。	進捗
<code>ERROR</code>	翻訳ジョブを完了できませんでした。	エラーオブジェクト

ステータス	説明	戻り値
DONE	翻訳ジョブを終了しました。	翻訳された文書の進捗および場所

翻訳された文書の結果リトリーブ プロセスは、以下のとおりです。

- ユーザが、翻訳された文書のリトリーブを `GET /api/v1/translation/jobs/aaaa-bbbb-cccc-dddd/result` で行います。aaaa-bbbb-cccc-dddd はジョブ ID です。
- 翻訳された文書がユーザに返されます。

① 注記

ファイルは 3 日間のみ保存されます。その後、ファイルは削除されます。リトリーブされていないファイルは失われます。

7.6.2.1 非同期文書翻訳 API - 技術文書

機械翻訳による文書翻訳 API の技術的な詳細です。

以下の文書では、文書翻訳 API の技術的な詳細について説明します。API を使用する以下の 3 つの方法が提供されています。

- formData
- RAW
- JSON

`POST /api/v1/translation/jobs`

これにより、非同期翻訳ジョブが作成されます。この API は、"Content-Type" multipart/form-data ("formData")、翻訳する実際のコンテンツタイプ "RAW"、または JSON オブジェクトで要求を囲むこと、のいずれかを使用して指定することで呼び出すことができます。JSON オプションを選択する場合は、正式な定義について、以下のモデルセクションの DocumentTranslationRequest を参照してください。このセクションの下には例が示されています。

ユーザ固有の JWT トークンを使用すると、ユーザごとに保存可能な最大サイズにクォータが適用されます。詳細については、以下の "ストレージ消費" API を参照してください。クォータを超過すると、ジョブは作成されず、代わりに、コード項目が UserFileStorageQuotaExceeded に設定されている HTTP エラー 429 が返されます。

formData または RAW 翻訳のパラメータ

formData を使用する場合は、HTML フォーム送信と同様に、ファイル/文書を formData として指定する必要があります。翻訳プロセスが終了すると、翻訳された文書/ファイルが応答本文で提供されます。

名前	説明	必須?
file	ファイルです。これは、"file" formData	いいえ
file (formData)	フィールドで指定することも、要求本文 で直接指定することもできます。	
sourceLanguage string (query)	sourceLanguage (ファイルの翻訳元言語コードです。一覧については、 サポートされている言語 (文書翻訳) [258 ページ] を参照してください。)このパラメータはオプションです。この翻訳元言語コードを指定しない場合、翻訳元言語はテキストから推測されます。 詳細については、 言語識別 を参照してください。	いいえ
<div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; background-color: #f9f9f9;"> <p>① 注記</p> <p>翻訳元言語が既知である場合は、このパラメータで翻訳元言語を常に指定することをお奨めします。翻訳元言語が不明である場合にのみ、この言語特定機能を使用します。</p> </div>		
targetLanguage string (query)	targetLanguage (ファイルの翻訳先言語コードです。一覧については、 サポートされている言語 (文書翻訳) [258 ページ] を参照してください。)	はい*
strictMode ブール (query)	マークアップ転送を strict モードで実行するかどうかを指定します。strict モードでは、タグ配置の一部の構造要素が翻訳出力側で強制されます。これにより特に、タグがそれらを囲むタグ内に残されるようになり、タグシーケンスのタグ間にテキストが含まれていない場合は出力でも同様になります。これにより、タグ配置の品質が悪化する場合がありますが、翻訳後の文書構造の妥当性の維持に役立ちます。これは特に、タグに関するセマンティック情報が存在しない XLIFF ファイルを翻訳する場合など、文書構造に関する元のルールを入力文書から推測できない場合に役立ちます。	no (デフォルト: false)

ファイルなしで翻訳要求を提出する場合は、POST 要求の要求本文で適切な mime-type を指定する必要があります。

❁ 例

翻訳元言語の指定がある txt ファイルの formData のサンプルペイロード:

```
curl -X POST "${BASE_URL}/api/v1/translation/jobs?sourceLanguage=en-US&targetLanguage=de-DE" \
-H "Authorization: Bearer $XSUAA_TOKEN" \
-F 'file=@/Users/Documents/demo.txt'
```

❁ 例

翻訳元言語の指定がある RAW のサンプルペイロード:

```
curl -X POST "${BASE_URL}/api/v1/translation/jobs?sourceLanguage=en-US&targetLanguage=de-DE" -H
"Content-Type: text/html" --data "This text will be translated" -H "Authorization: Bearer $XSUAA_TOKEN"
```

❁ 例

翻訳元言語の指定がある JSON のサンプルペイロード:

```
curl "$BASE_URL/api/v1/translation/" \
curl -X POST "${BASE_URL}/api/v1/translation/jobs" -H "Content-Type: application/json" --data
'{"sourceLanguage": "en-US", "targetLanguage": "de-DE", "data": "<div>The test <strong>file</strong></div>", "contentType": "text/html"}'
-H "Authorization: Bearer $XSUAA_TOKEN"
```

❁ 例

翻訳元言語の指定がない txt ファイルの formData のサンプルペイロード:

```
curl -X POST "${BASE_URL}/api/v1/translation/jobs?targetLanguage=de-DE" \
-H "Authorization: Bearer $XSUAA_TOKEN" \
-F 'file=@/Users/Documents/demo.txt'
```

❁ 例

翻訳元言語の指定がない JSON のサンプルペイロード:

```
curl "$BASE_URL/api/v1/translation/" \
curl -X POST "${BASE_URL}/api/v1/translation/jobs" -H "Content-Type: application/json" --data
'{"targetLanguage": "de-DE", "data": "<div>The test <strong>file</strong></div>", "contentType": "text/html"}'
-H "Authorization: Bearer $XSUAA_TOKEN"
```

❁ 例

翻訳元言語の指定がない RAW のサンプルペイロード:

```
curl -X POST "${BASE_URL}/api/v1/translation/jobs?targetLanguage=de-DE" -H "Content-Type: text/html" --data "This text will be translated" -H "Authorization: Bearer $XSUAA_TOKEN"
```

① 注記

`sourceLanguage` はオプションのパラメータですが、`targetLanguage` は必須のパラメータです。すべてのファイルタイプで要求 URL にこれらを指定します。ただし、ファイルタイプが XLIFF ファイルである場合は、XLIFF ファイル自体でファイルタイプを指定することもできます。重要: XLIFF ファイルとその要求 URL

でパラメータを指定すると、URL で指定されたパラメータが XLIFF ファイルで指定されたパラメータよりも優先されます。

応答

コード	説明
200	OK
201	登録済
202	承認されました。要求は承認され、現在処理中です。
	<p>↔ サンプルコード</p> <pre>{ "id": "db65da91-7dfe-4d05-bcd8-e46b0b46be62", "progress": 0, "status": "PENDING" }</pre>
400	不正な要求
401	非認可
404	見つかりませんでした
413	拒否されました。圧縮されていないファイルサイズが大きすぎます。
500	翻訳要求が正常に完了しませんでした。
	<p>↔ サンプルコード</p> <pre>{ "error": { "code": "string", "details": [{ "code": "string", "message": "string" }], "internalMessage": "string", "message": "string", "requestId": "string", "status": 0, "target": "string" } }</pre>

以下の MIME タイプがサポートされます。

書式	拡張子	MIME タイプ
テキスト	.txt	text/plain
HTML	.html、.htm	text/html

書式	拡張子	MIME タイプ
XLIFF	.xlf、.xliff	application/x-xliff+xml
Word	.docx	application/vnd.openxmlformats-officedocument.wordprocessingml.document
Word (マクロ対応)	.docm	application/vnd.ms-word.document.macroenabled.12
Word (テンプレート)	.dotm	application/vnd.openxmlformats-officedocument.wordprocessingml.template
Word (テンプレート、マクロ対応)	.dotm	application/vnd.ms-word.template.macroenabled.12
PowerPoint プレゼンテーション	.pptx	application/vnd.openxmlformats-officedocument.presentationml.presentation
PowerPoint プレゼンテーション (マクロ対応)	.pptm	application/vnd.ms-powerpoint.presentation.macroenabled.12
PowerPoint ショー (スライドショー)	.ppsx	application/vnd.openxmlformats-officedocument.presentationml.slideshow
PowerPoint ショー (スライドショー、マクロ対応)	.ppsm	application/vnd.ms-powerpoint.slideshow.macroenabled.12
PowerPoint デザインテンプレート	.potx	application/vnd.openxmlformats-officedocument.presentationml.template
PowerPoint デザインテンプレート (マクロ対応)	.potm	application/vnd.ms-powerpoint.template.macroenabled.12
Excel	.xlsx	application/vnd.openxmlformats-officedocument.spreadsheetml.sheet
Excel (マクロ対応)	.xlsm	application/vnd.ms-excel.sheet.macroenabled.12
Excel (テンプレート)	.xltx	application/vnd.openxmlformats-officedocument.spreadsheetml.template
Excel (テンプレート、マクロ対応)	.xlsm	application/vnd.ms-excel.template.macroenabled.12

GET /api/v1/translation/jobs/{jobid}

これにより、翻訳ジョブのステータスが返されます。

① 注記

ステータスが ERROR の場合でも、HTTP ステータスコード 200 が常に返されます。応答本文と、`$.status` で返される内容を確認してください。ステータスが ERROR の場合は、`$error` に詳細なエラー説明が表示されます (この表: [DetailedErrorMessage \[301 ページ\]](#) を参照)。

HTTP ステータスコードは 5xx ですが、エラーが発生したことを示すとは限りません。このステータスコードは、システムが一時的に利用できない場合にも返されます。すべてのケースについて、妥協しない方法でクエリを統合する必要があります。

パラメータ:

名前	説明
jobid (必須) string (path)	新しい非同期ジョブの作成に対する応答からリトリブされた、ステータスをクエリするジョブの ID
enableRedirect (オプション、デフォルト: true) boolean (query)	ファイル翻訳の完了時に、ステータスに対する要求が結果にリダイレクトされるかどうかを制御します。"enableRedirect" が省略されているか、true に設定されている場合、ステータスが "DONE" であるジョブのステータス要求により、結果の URL (<code>/api/v1/translation/jobs/{jobid}/result</code>) を含む Location ヘッダありで HTTP 303 応答が生成されます。"enableRedirect" が存在していて false に設定されている場合、ステータスが "DONE" であるジョブのステータス要求により、Location ヘッダなしで HTTP 200 応答が生成されます。

❁ 例

サンプルペイロード:

```
curl -X GET "${BASE_URL}/api/v1/translation/jobs/$JOBID?enableRedirect=false" \
-H "Authorization: Bearer $XSUAA_TOKEN"
```

応答:

コード	説明
200	<p data-bbox="804 383 1222 412">ステータスは正常にリトリブされました。</p> <p data-bbox="804 434 1193 463">ジョブのステータスが PENDING の場合:</p> <div data-bbox="804 479 1394 748"><p data-bbox="826 495 1062 524">↔ サンプルコード</p><pre data-bbox="842 562 1310 719">{ "id": "db65da91-7dfe-4d05-bcd8-e46b0b46be62", "progress": 0.11021307861866275, "status": "PENDING" }</pre></div> <p data-bbox="804 770 1222 799">ステータスは正常にリトリブされました。</p> <p data-bbox="804 822 1394 882">ジョブのステータスが DONE の場合 (enableRedirect を false に設定する必要あり):</p> <div data-bbox="804 898 1394 1167"><p data-bbox="826 913 1062 943">↔ サンプルコード</p><pre data-bbox="842 981 1294 1137">{ "id": "db65da91-7dfe-4d05-bcd8-e46b0b46be62", "progress": 1.0, "status": "DONE" }</pre></div> <p data-bbox="804 1189 1171 1218">ジョブのステータスが ERROR の場合:</p> <div data-bbox="804 1234 1394 1863"><p data-bbox="826 1249 1062 1279">↔ サンプルコード</p><pre data-bbox="842 1317 1310 1816">{ "id": "db65da91-7dfe-4d05-bcd8-e46b0b46be62", "status": "ERROR", "error": { "code": "TranslationEngineUnavailable", "status": 400, "message": "No translation engine available for your requested language pair zh-ja.", "target": "/api/v2/text/ translation/jobs", "internalMessage": "Error from Leonardo ML Foundation Translation Service", "requestId": "141ce78f- e7fc-4f52-6704-91da6a006643" } }</pre></div>

コード	説明
303	<p>ステータスがリトリブされた翻訳ジョブは、正常に完了しました。ロケーションヘッダにある URL で結果をリトリブできます。このステータスに到達するには、クエリパラメータ "enableRedirect" を省略するか、または true に設定する必要があります。</p> <p>HTTP 応答ヘッダ</p> <p>場所: https://document-translation.cfapps.sap.hana.ondemand.com/api/v1/translation/jobs/db65da91-7dfe-4d05-bcd8-e46b0b46be62/result</p> <div data-bbox="826 725 1062 757" style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> <p>↔ サンプルコード</p> <pre data-bbox="842 792 1295 949"> { "id": "db65da91-7dfe-4d05-bcd8-e46b0b46be62", "progress": 1.0, "status": "DONE" } </pre> </div>
400	<p>不正な要求</p> <div data-bbox="826 1066 1062 1097" style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> <p>↔ サンプルコード</p> <pre data-bbox="842 1133 1353 1563"> { "error": { "code": "UnsupportedLanguagePair", "status": 400, "message": "Language pair en-US and en-US is not supported. Please provide a valid source and target language combination.", "target": "/api/v1/translation/jobs/41bdf450-fae8-443d-99bf-5a39563960f4/result", "requestId": "fb734e5e-d130-4434-b704-922101d8d1f7" } } </pre> </div>
401	非認可
403	禁止

コード	説明
404	翻訳ジョブが見つかりませんでした。 ⇔ サンプルコード <pre>{ "error": { "code": "ResourceNotFound", "status": 404, "message": "Translation job could not be found.", "target": "/api/v1/translation/ jobs/1111", "requestId": "f191d5c9-4315-4f36-7b41- bc41e7cale58" } }</pre>
413	拒否されました。圧縮されていないファイルサイズが大きすぎます。
500	想定外のエラーが発生しました。 ⇔ サンプルコード <pre>{ "error": { "code": "string", "details": [{ "code": "string", "message": "string" }], "internalMessage": "string", "message": "string", "requestId": "string", "status": 0, "target": "string" } }</pre>

JSON の場合、応答は以下のようになります。

❁ 例

```
curl "${BASE_URL}/api/v1/translation/jobs/$JOBID/result" -H "Authorization: Bearer $XSUAA_TOKEN"
-H "Accept: application/json"
```

GET /api/v1/translation/jobs/{jobid}/result

これにより、翻訳ジョブの結果、すなわち、翻訳後のファイルを取得します。

パラメータ:

名前	説明
jobid (必須)	jobId
string	
(path)	

例

サンプルペイロード:

```
curl -X GET "${BASE_URL}/api/v1/translation/jobs/$JOBID/result" \
-H "Authorization: Bearer $XSUAA_TOKEN"
```

応答:

コード	説明
200	ジョブの翻訳済文書が正常にリトリブされました。
400	不正な要求
	<div data-bbox="821 1019 1066 1055" data-label="Section-Header"><h3>↔ サンプルコード</h3></div> <pre data-bbox="837 1086 1356 1500">{ "error": { "code": "UnsupportedLanguagePair", "status": 400, "message": "Language pair en-US and en-US is not supported. Please provide a valid source and target language combination.", "target": "/api/v1/translation/jobs/41bdf450-fae8-443d-99bf-5a39563960f4/result", "requestId": "fb734e5e-d130-4434-b704-922101d8d1f7" } }</pre>
401	非認可
403	禁止

コード	説明
404	翻訳ジョブが見つかりませんでした。
	<p data-bbox="826 405 1062 439">↔ サンプルコード</p> <pre data-bbox="842 465 1358 853">{ "error": { "code": "ResourceNotFound", "status": 404, "message": "Translation job could not be found.", "target": "/api/v1/translation/ jobs/1111", "requestId": "948a43cc-0091-4809-4a04- ee9527cd67ae" } }</pre>
413	拒否されました。圧縮されていないファイルサイズが大きすぎます。
424	翻訳タスクはまだ終了していません。
	<p data-bbox="826 1050 1062 1084">↔ サンプルコード</p> <pre data-bbox="842 1111 1358 1570">{ "error": { "code": "TranslationTaskNotFinished", "status": 424, "message": "Translation job has not finished, please use API: 'jobs/{jobid}' to get the status of the job.", "target": "/api/v1/translation/ jobs/db65da91-7dfe-4d05-bcd8- e46b0b46be62/result", "requestId": "db65da91-7dfe-4d05-bcd8- e46b0b46be6" } }</pre>

コード	説明
500	想定外のエラーが発生しました。 <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px; background-color: #f9f9f9;"><p>↔ サンプルコード</p><pre>{ "error": { "code": "string", "details": [{ "code": "string", "message": "string" }], "internalMessage": "string", "message": "string", "requestId": "string", "status": 0, "target": "string" } }</pre></div>

Accept ヘッダを application/json に設定すると、以下のように応答が JSON で指定されます。

❁ 例

要求:

```
curl "${BASE_URL}/api/v1/translation/jobs/$JOBID/result" -H "Authorization: Bearer $XSUAA_TOKEN"
-H "Accept: application/json"
```

❁ 例

応答:

```
{
  "contentType": "text/html",
  "encoding": "plain",
  "sourceLanguage": "en-US",
  "targetLanguage": "de-DE",
  "data": "<div>Die <strong>Testdatei</strong></div>"
}
```

応答を RAW 形式で (翻訳されたファイルを応答本文として直接) 取得するには、ヘッダ Accept を省略するか、"application/octet-stream" に設定します。

❁ 例

```
curl "${BASE_URL}/api/v1/translation/jobs/$JOBID/result" -H "Authorization: Bearer $XSUAA_TOKEN"
curl "${BASE_URL}/api/v1/translation/jobs/$ASYNCID/result" -H "Authorization: Bearer $XSUAA_TOKEN"
```

❁ 例

対応する応答は以下のとおりです。

このテキストは機械翻訳されたものです。

```
<div>Die <strong>Testdatei</strong></div>
```

GET /api/v1/translation/jobs/

① 注記

ユーザ固有の JSON Web トークン [312 ページ] を使用している場合のみ利用できます。

システムで認識されている現在のユーザによって登録されたすべての翻訳ジョブが一覧表示されます。

返された一覧のページネーションを制御するために、以下のクエリパラメータを使用することができます。

パラメータ名	説明
\$count ブール値のデフォルト: false	true に設定すると、システムに認識されているユーザの翻訳ジョブの合計数が、応答のフィールドとしてフィールド "count" に返されます。
\$skip 整数のデフォルト: 0	合計の最初からスキップする項目の数。
\$top 整数のデフォルト: 20	応答で返される品目の数。

❖ 例

サンプルペイロード:

```
curl -X GET "${BASE_URL}/api/v1/translation/jobs/?$count=true&$top=20&$skip=0" \
-H "Authorization: Bearer $XSUAA_TOKEN"
```

応答

コード	説明
200	<p>ユーザが登録したジョブの一覧。</p> <p>モデル: JobList</p> <div data-bbox="826 472 1066 510" style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>↔ サンプルコード</p> <pre data-bbox="842 539 1358 1541"> { "count": 3, "value": [{ "id": "94b65423-84d8-4622-8064-5f0b252d7d0b", "progress": 1.0, "status": "DONE", "sourceFilename": "document_94b65423-84d8-4622-8064-5f0b252d7d0b.html", "sourceLanguage": "en-US", "targetLanguage": "de-DE", "sourceSize": 21, "uploadedOn": "2023-01-17T08:57:56.212256836Z" }, { "id": "e56b9e93-25d7-4bb4-8e69-f8cc69f150cb", "progress": 1.0, "status": "DONE", "sourceFilename": "document_e56b9e93-25d7-4bb4-8e69-f8cc69f150cb.html", "sourceLanguage": "en-US", "targetLanguage": "de-DE", "sourceSize": 21, "uploadedOn": "2023-01-17T08:57:55.569195512Z" }] } </pre> </div>
401	非認可
403	<p>不正な要求です。</p> <p>ユーザ固有のトークンではなく、クライアント信用証明書トークンが使用された場合に返されます。</p>

DELETE /api/v1/translation/jobs/{jobid}

以前に登録した翻訳ジョブを削除します。

[ユーザ固有の JSON Web トークン \[312 ページ\]](#) を使用すると、同じユーザが登録したジョブのみを削除することができます。ユーザ固有の JSON Web トークンを使用しない場合は、ユーザ固有の JSON Web トークンを使用せずに作成されたジョブのみを削除できます。

❁ 例

サンプルペイロード:

```
curl -X DELETE "${BASE_URL}/api/v1/translation/jobs/$ASYNCID" -H "Authorization: Bearer $XSUAA_TOKEN"
```

応答

コード	説明
200	削除が完了しました。 応答本文は返されません。
401	非認可
404	翻訳ジョブが見つかりませんでした。

↔ サンプルコード

```
{
  "error": {
    "code": "ResourceNotFound",
    "status": 404,
    "message": "Translation job
could not be found.",
    "target": "/api/v1/translation/
jobs/1111",
    "requestId":
"f191d5c9-4315-4f36-7b41-
bc41e7ca1e58"
  }
}
```

GET /api/v1/translation/jobs/storageconsumption

現在のユーザのストレージ使用に関する情報を取得します。

[ユーザ固有の JSON Web トークン \[312 ページ\]](#) を使用している場合のみ利用できます。現在のユーザの使用バイト数の合計と、ユーザに割り当てられたクォータに関する情報を返します。

❁ 例

サンプルペイロード:

```
curl -X GET "${BASE_URL}/api/v1/translation/jobs/storageconsumption" \
-H "Authorization: Bearer $XSUAA_TOKEN"
```

応答

コード	説明
200	<p>現在のユーザのクォータ情報。</p> <p>モデル: StorageQuota</p> <pre> ↔ サンプルコード { "usedBytes": 63, "quotaBytes": 629145600, "maximumFileSizeBytes": 104857600 } </pre>
401	非認可
403	<p>不正な要求です。</p> <p>ユーザ固有のトークンではなく、クライアント信用証明書トークンが使用される場合に返されます。</p>

モデル

AsyncStatus

名前	タイプ	説明
id	string	<p>非同期翻訳ジョブの ID です。</p> <pre> ❖ 例 db65da91-7dfe-4d05-bcd8- e46b0b46be62 </pre>
progress	number(\$double)	<p>ジョブの進捗です。0.00 から 1.00 まで</p> <pre> ❖ 例 0.1 </pre>
status	Enum:[DONE, PENDING, ERROR]	<p>ジョブのステータスです。</p> <pre> ❖ 例 完了 </pre>
error	ApiError	<p>ApiError は、エラーがある場合にのみ発生します。以下のモデル ApiError [300 ページ] を参照してください。</p>

名前	タイプ	説明
sourceFilename	string	ファイルが最初にアップロードされる際のファイル名。ファイル名が当初存在しなかった場合は、ファイル名が生成されます。 ❖ 例 document_94b65423-84d8-4622-8064-5f0b252d7d0b.html
sourceLanguage	string	翻訳元の言語 (言語が自動的に検出されたときにも存在します)。 ❖ 例 en-US
targetLanguage	string	 ❖ 例 de-DE
sourceSize	数値 (\$int)	オリジナル文書のサイズ (バイト)。 ❖ 例 21
uploadedOn	日付	翻訳ジョブが最初に作成された日付。 ❖ 例 2023-01-17T08:57:56.212256836Z

ApiRestErrorMessage

HTTP エラーが発生した場合、応答ではこのモデルが本文として使用されます。

名称	タイプ	内容説明
error	ApiError	発生したエラー。

ApiError

名前	タイプ	説明
code*	string	<p>❖ 例</p> <p>UnsupportedLanguage</p> <p>① 注記</p> <p>一意のエラー ID です。詳細については、エラーコードテーブル (エラーテーブル [305 ページ]) を参照してください。</p>
details	DetailedErrorMessage	以下のモデル DetailedErrorMessage [301 ページ] を参照してください。
internalMessage	string	ロギングまたはデバッグを目的とする、技術的または開発者メッセージです。
message*	string	<p>❖ 例</p> <p>言語コード 'xx-XX' はサポートされていません。</p> <p>ローカライズされたエラーメッセージ</p>
requestId*	string	<p>❖ 例</p> <p>6ffb877c-6d3f-4007-9480-2b9d9bd54e13</p> <p>ログでの要求トレースに使用します。ヘッダの "X-Vcap-Request-Id" と同じです。</p>
status*	integer(\$int32)	<p>❖ 例</p> <p>400</p> <p>HTTP ステータスコードは、HTTP 応答と同じです。</p>
target	string	<p>❖ 例</p> <p>/api/v1/translation/jobs</p> <p>元の要求のリソースパスです。</p>

名前	タイプ	説明
sourceLanguage	string	<p>❖ 例 en-US</p> <p>入力の翻訳元言語です。コードが "UnsupportedLanguagePair" の場合にのみ使用できます。</p>
targetLanguage	string	<p>❖ 例 de-DE</p> <p>翻訳ジョブの翻訳先言語。コードが "UnsupportedLanguagePair" の場合にのみ使用できます。</p>

DetailedErrorMessage

名前	タイプ	説明
code	string	詳細なエラーコードです。
message	string	詳細メッセージコード。

DocumentTranslationRequest

名前	タイプ	説明
sourceLanguage	string	<p>sourceLanguage (ファイルの翻訳元言語コードです。一覧については、サポートされている言語 (文書翻訳) [258 ページ]を参照してください。)このパラメータはオプションです。この翻訳元言語コードを指定しない場合、翻訳元言語はテキストから推測されます。</p> <p>詳細については、言語識別を参照してください。</p> <div><p>注記</p><p><code>sourceLanguage</code> パラメータを常に指定することをお奨めします。翻訳元言語が不明な場合にのみ、言語識別機能を使用してください。</p></div> <div><p>例</p><p>en-US</p></div>
targetLanguage	string	<p>targetLanguage (ファイルの翻訳先言語コードです。一覧については、サポートされている言語 (文書翻訳) [258 ページ]を参照してください。)</p> <div><p>例</p><p>de-DE</p></div>
contentType	string	<div><p>例</p><p>text/html</p></div>
encoding	string	<p>データエレメントのエンコーディングです。</p> <p>"plain" または "base64" のいずれか</p> <div><p>例</p><p>plain</p></div>

名前	タイプ	説明
strictMode	boolean	<p>マークアップ転送を strict モードで実行するかどうかを指定します。strict モードでは、タグ配置の一部の構造要素が翻訳出力側で強制されます。これにより特に、タグがそれらを囲むタグ内に残されるようになり、タグシーケンスのタグ間にテキストが含まれていない場合は出力でも同様になります。これにより、タグ配置の品質が悪化する場合がありますが、翻訳後の文書構造の妥当性の維持に役立ちます。これは特に、タグに関するセマンティック情報が存在しない XLIFF ファイルを翻訳する場合など、文書構造に関する元のルールを入力文書から推測できない場合に役立ちます。</p>
		<p>❖ 例</p> <pre>true</pre>
data	string	<p>翻訳する伝票データを指定します。文書がプレーンテキスト (txt、html、xliff など) の場合は、"encoding" パラメータを "plain" に設定するか、省略して、文字列として指定することができます。ドキュメントがバイナリ形式の場合、encoding パラメータを base64 に設定し、データを base64 でエンコードする必要があります。</p>
		<p>❖ 例</p> <pre>エンコーディング: "plain": "<div>Encode the business data as JSON</div>" およ びエンコード: "base64": "PGRpdk5FbmNvZGUgdGhldXzdHJ vbmc+YnVzaWw3L3L3L3NjcyZc mZczu4zu9sl0cmZu4z8c</pre>

DocumentTranslationResult

名前	タイプ	説明
contentType	string	<p>❖ 例</p> <p>text/html</p>
encoding	string	<p>データエレメントのエンコーディング</p> <p>❖ 例</p> <p>plain</p>
data	string	<p>❖ 例</p> <p>"<div>ビジネス データを JSON として エンコード</div>"</p>
sourceLanguage	string	<p>翻訳元の言語 (言語が自動的に検出され たときにも存在します)。</p> <p>❖ 例</p> <p>en-US</p>
targetLanguage	string	<p>❖ 例</p> <p>de-DE</p>

JobList

名前	タイプ	説明
count	number(整数)	\$count が true の場合のみ存在しま す。
値	array[AsyncStatus]	システムで認識されている現在のユーザ によって作成された翻訳ジョブ。

StorageQuota

名前	タイプ	説明
usedBytes	number(整数)	ユーザが現在使用しているバイト数。
quotaBytes	number(整数)	ユーザが使用できる最大バイト数。 <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>① 注記</p> <p>現在、クォータを変更することはできません。</p> </div>
maximumFileSizeBytes	number(整数)	個々の翻訳ジョブに設定できる最大バイト数。 <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>① 注記</p> <p>現在、この制限を変更することはできません。</p> </div>

エラーテーブル

HTTP ステータスコード	\$error.code	\$error.message (ユーザに表示)	説明
400	JsonParseError	JSON 要求を読み込めません。	なし
400	DataValidationError	要求をチェックできません。	1つ以上の要求引数が無効です。詳細なエラーメッセージは \$error.details[] に設定されます。
400	UnsupportedLanguage	言語コード "{0}" はサポートされていません。	要求された翻訳元/翻訳先言語はサポートされていません。 <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>① 注記</p> <p>言語コードテーブル (サポートされている言語 (文書翻訳) [258 ページ]) を参照してください。</p> </div>

HTTP ステータスコード	\$error.code	\$error.message (ユーザに表示)	説明
400	TranslationEngineUnavailable(*core-mt)	要求した言語ペア {0}-{1} に利用可能な翻訳エンジンがありません。	要求された翻訳元/翻訳先言語はサポートされていません。 ① 注記 言語コードテーブル (サポートされている言語 (文書翻訳) [258 ページ]) を参照してください。
400	UnsupportedLanguagePair	言語ペア "{0}" および "{1}" はサポートされていません。有効な翻訳元言語と翻訳先言語の組合せを指定してください。	要求された翻訳元と翻訳先言語のペアはサポートされていません。 ① 注記 言語コードテーブル (サポートされている言語 (文書翻訳) [258 ページ]) を参照してください。
400	LanguageDetectionError	入力文書の言語を検出できませんでした。	入力文書の翻訳元言語を検出できませんでした。 ① 注記 言語コードテーブル (サポートされている言語 (文書翻訳) [258 ページ]) を参照してください。
403	NamedUserRequired	この API は、名前付きエンドユーザとして認証されている場合にのみ使用され、クライアント認証情報フローを使用している場合は使用されません。	API を使用するには、ユーザ固有の JWT トークンが必要です。
404	ResourceNotFound	要求したリソースが見つかりません。	

HTTP ステータスコード	\$error.code	\$error.message (ユーザに表示)	説明
413	CodePointCountLimitExceeded	入力した文書のコードポイントカウント {0} は、コードポイントカウントの限度 {1} を超過しています。	<p>ファイルのコードポイントカウントが、関連する言語の限度を超えています。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>① 注記</p> <p>非同期文書翻訳 API のコードポイント制限については、非同期文書翻訳 API - プロセス文書 [282 ページ] を参照してください。文書翻訳 API のコードポイント数の制限は、文書翻訳 API - プロセス文書 [263 ページ] を参照してください。</p> </div>
413	RequestTooLarge (*core-mt)	要求した翻訳のサイズ {0} は、最大翻訳サイズ {1} を超過しています。	<p>ファイルの文字数が同期翻訳の 1,000,000 文字の限度を超過しています。非同期翻訳の場合、文字の限度は 2,500,000 文字です。</p>
413	CompressedUploadFileSizeTooLarge	圧縮されていないファイルサイズが {0}MB の限度を超えているため、要求は拒否されました。	<p>多数のテキストを含み、圧縮形式で保存されている文書 (Microsoft Office 文書など) の場合、圧縮ファイルのサイズがアップロードのサイズ制限を下回っていても、非圧縮ファイルサイズが最大ファイルサイズを超える可能性があります。このエラーメッセージをトリガするほとんどの文書に、許容数を超える文字またはコードポイント (あるいはその両方) が含まれており、さらに</p> <p>CodePointCountLimitExceeded もトリガします。この問題を軽減するため、要求を複数のファイルに分割することをお奨めします。</p>

HTTP ステータスコード	\$error.code	\$error.message (ユーザに表示)	説明										
415	UnsupportedInputFormat	入力したファイルは、現在はサポートされていない形式となっているか、または形式を適切に検出できませんでした。	<p>以下のファイル形式がサポートされています。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>タイプ</th> <th>書式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>テキスト</td> <td>*.txt、UTF-8 エンコーディング</td> </tr> <tr> <td>HTML</td> <td>*.html、UTF-8 エンコーディング</td> </tr> <tr> <td>Microsoft Office</td> <td>*.docx、*.xlsx、*.pptx</td> </tr> <tr> <td>XLIFF</td> <td>xliff1.2</td> </tr> </tbody> </table>	タイプ	書式	テキスト	*.txt、UTF-8 エンコーディング	HTML	*.html、UTF-8 エンコーディング	Microsoft Office	*.docx、*.xlsx、*.pptx	XLIFF	xliff1.2
タイプ	書式												
テキスト	*.txt、UTF-8 エンコーディング												
HTML	*.html、UTF-8 エンコーディング												
Microsoft Office	*.docx、*.xlsx、*.pptx												
XLIFF	xliff1.2												
424	TranslationTaskNotFinished	翻訳ジョブが終了していません。API: 'jobs/{jobid}' を使用してジョブのステータスを取得してください。	非同期 API 専用です。ジョブが終了していません。ステータスのクエリを先に行ってください。										
429	UserFileStorageQuotaExceeded	ユーザファイルストレージのクォータを超過しました。ユーザストレージクォータの最大許容数は 600 MiB です。消費されたファイルストレージクォータの合計は {0} バイトです。	ユーザストレージクォータを超過しました。今すぐ作成する前に翻訳ジョブを削除してください。										
429	RateLimitRequestsExceeded	{1} 分あたり {0} 要求の API 要求クォータを超過しました (error.richmt.rateLimitRequests キーにあるその他の言語のメッセージ)。	要求の数が、サブアカウントごとに 1 時間あたり最大 1,000,000 件を超過しました。期間を過ぎた後も使用を続行することができます。期間に関する情報は、API 応答のヘッダーに返されます。										
429	RateLimitCharactersExceeded	{1} 分あたり {0} 文字の API クォータを超過しました (error.richmt.rateLimitCharacters キーにあるその他の言語のメッセージ)。	<p>EU: コードポイントの数が、サブアカウントごとに 1 時間あたり許される最大 600,000,000 を超過しています。</p> <p>US: コードポイントの数が、サブアカウントごとに 1 時間あたり 450,000,000 の最大許容値を超過しています。</p> <p>期間を過ぎた後、API の使用を続行できます。期間に関する情報は、API 応答のヘッダーに返されます。</p>										

HTTP ステータスコード	\$error.code	\$error.message (ユーザに表示)	説明
500	InternalServerErrorRichMT	翻訳中に内部エラーが発生しました。後で再び試すか、または管理者に連絡してください。	翻訳中にエラーが発生しました。
500	InternalServerError	翻訳中に内部エラーが発生しました。後で再び試すか、または管理者に連絡してください。	翻訳ジョブの処理中にエラーが発生しました。

API 言語優先設定

要求の HTTP ヘッダ `Accept-Language` を使用して、ブラウザの言語優先設定を指定します。この場合、文書翻訳サービスは、応答内のエラーメッセージをローカライズします。次の言語ロケールがサポートされています。
en、de、ja、zh_CN、ru、es、fr、pt。

❁ 例

サンプルペイロード:

```
curl -X POST "$BASE_URL/api/v1/translation/josbs/none-exist-job-id" \
-H "Authorization: Bearer $XSUAA_TOKEN" \
-H "Accept-Language: de,en;q=0.9,en-US;q=0.8,zh-CN;q=0.7,zh;q=0.6"
```

応答:

{ } サンプルコード

```
{
  "error": {
    "code": "ResourceNotFound",
    "status": 404,
    "message": "Übersetzungsjob konnte nicht gefunden werden.",
    "target": "/api/v1/translation/jobs/none-exist-job-id",
    "requestId": "59f7b5bd-6250-483f-55d9-248a12c705af"
  }
}
```

7.6.3 サポート言語 API

サポート言語 API には、サポートされている言語の一覧を取得するメソッドがあります。

エンドポイント `GET /api/v1/languages` では、属性 `languages` を含むオブジェクトが返されますが、この属性はサポートされる翻訳元言語ごとに要素が1つ含まれる配列です。これらの各要素には、その翻訳元言語でサポートされているすべての翻訳先言語コードが一覧となっている配列を含む属性 `to` があります。

これを変更するには、クライアントが使用する言語およびロケールを特定し、ヘッダ値に従ってローカライズされた 'name' 属性 (例: de-DE) を返すために、Accept-Language ヘッダを送信します。文書翻訳が (top8) にローカライズされる言語がサポートされています。それ以外の場合は、デフォルトで英語が返されます。

詳細については、[SAP Business Accelerator Hub](#) を参照してください。

7.6.4 クライアント認証情報の付与

クライアント認証情報を使用して、クライアント ID とシークレットでトークンを取得します。

前提条件

クライアントアプリケーションを SAP Translation Hub (文書翻訳) サービスのインスタンスにバインドしておく必要があります。

① 注記

認可サーバ URL、クライアント ID およびクライアントシークレットは、サービスキーで確認できます。

詳細については、[初期設定](#) を参照してください。

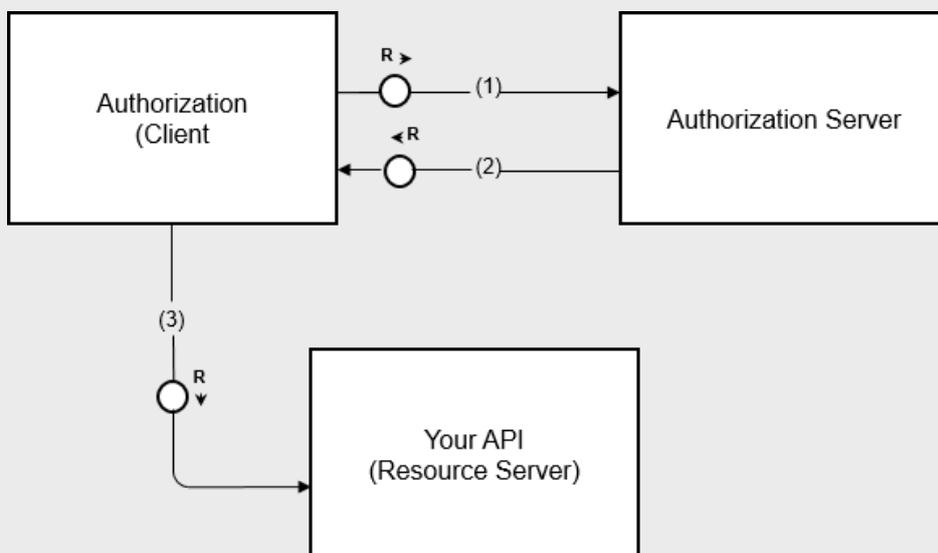
コンテキスト

① 注記

クライアント認証情報の付与は、パートナ API でサポートされています。

このトークンの書式は、JSON Web トークン (JWT) です。

このフローは以下ようになります。



クライアント認証情報付与タイプ (権限なし) の詳細については、[Cloud Foundry 文書](#) を参照してください。

トークンの取得

1. POST 要求を `<Authorization_Server>/oauth/token` に送信します。
2. このパラメータを要求ヘッダに追加します (`content-type:application/x-www-form-urlencoded`)。
3. 以下のパラメータを要求本文に含めます。

パラメータ	タイプ	Value
<code>client_id</code>	String	OAuth 2.0 クライアント ID
<code>client_secret</code>	String	OAuth 2.0 クライアントのシークレット
<code>grant_type</code>	String	<code>client_credentials</code>
<code>response_type</code>	String	<code>token</code>

応答には、以下のデータが含まれています。

パス	タイプ	説明
<code>access_token</code>	String	リソースをネットワークに要求するためのトークンです。
<code>token_type</code>	String	<code>bearer</code>
<code>expires_in</code>	Number	秒単位のトークン有効期間です。 デフォルト値は 43200 (12 時間) です。
<code>scope</code>	String	ネットワークサービスブローカの UAA によって承認された範囲です。
<code>jti</code>	String	このトークンの一意 ID です。

トークンの使用

アクセストークンを取得した後は、Authorization 要求フィールドを使用します。これには、bearer HTTP 認証スキーマを含めておきます。

サンプルコード

```
GET /resource HTTP/1.1
Host: server.example.com
```

```
Authorization: bearer token
```

7.6.5 ユーザ固有の JSON Web トークン

文書翻訳のユーザ固有 API を使用するには、ユーザ固有の JSON Web Token (JWT) が必要です。

これらの JWT は、OAuth 付与タイプ "権限コード" または "パスワード認証情報" を使用して取得することができます。

これらの付与タイプの詳細については、OAuth RFC: <https://www.ietf.org/rfc/rfc6749.txt>

権限コードフローを使用する場合は、権限コードを受け取るアプリケーションが必要です。フローは、指定されたリダイレクト URI を使用してこの URL にリダイレクトします。リダイレクト先に許可されている URL の一覧は、文書翻訳のサービスインスタンスの作成時に以下のようにカスタマイズできます。

サンプルコード

```
{ "xs-security" : { "xsappname": "document-translation-instance", "oauth2-configuration": { "redirect-uris": [ "http://localhost:5000/my-callback" ] } }
```

詳細については、[アプリケーションセキュリティ記述子の設定構文](#)で "xsappname" および "oauth2-configuration" セクションを参照してください。

7.6.6 SAP BTP 無償利用枠アカウントによる API のテスト

SAP Business Accelerator Hub の使用

エンタープライズアカウントを持っている場合は、[SAP Business Accelerator Hub](#) :

- ログオンして環境設定に移動します。
- 名前を入力します。
- 地域として、us10 または eu10 を入力します。
- クライアント ID を無償利用枠アカウントから関連フィールドにコピーします。
- *clientsecret* 情報を無償利用枠アカウントから *secret* フィールドにコピーします。
- アカウントの *url* フィールドから、先頭の数字を authentication の前の最初のピリオドまで (ピリオド自体は含めません) コピーします。これを *subaccount* にペーストします。
- **保存** を選択します。

これで、API にアクセスして **試してみる** を選択できます。翻訳元と翻訳先の言語を選択できます。次に、**ファイル選択** を選択し、ファイルの場所を参照して、翻訳するファイルをアップロードします。そして、**実行** を選択します。翻訳が終了したら、**ファイルのダウンロード** を選択して、翻訳後のファイルをダウンロードして保存することができます。

関連情報

https://help.sap.com/docs/SAP_TRANSLATION_HUB/9f73362817cd48339dd8a6acba160f7f/100d41cc6ea94876ae95d6a6a584e9f7.html

7.6.7 コア MT API

コア MT API により、テキストの広範囲の言語への翻訳が可能になります。

この API により、基礎となる機械翻訳の機能が SAP Translation Hub および Document Translation に提供されます。構造化された文書の処理やテキスト内のマークアップの処理など、拡張された機能による高いレベルの抽象化が必要な場合は、Document Translation API (単純なテキストにも使用可能) を使用することをお勧めします。この API では、インラインエレメントの形式で翻訳可能テキストに追加情報を注釈化できます。このインラインエレメント情報は翻訳時に処理され、より複雑なテキスト処理のシナリオが可能です。

① 注記

この API は、内部サービス計画のサブスクリイバのみが使用可能です。

① 注記

最適なパフォーマンスを確保するため、1 度に翻訳可能な文字の最大数は 100 万です。

メソッド

HTTP メソッド	アクション	URL
POST	翻訳 [319 ページ]	/api/v2/text/translation
POST	非同期翻訳 [333 ページ]	/api/v2/text/translation/jobs
GET	非同期翻訳 [333 ページ]	/api/v2/text/translation/jobs/{jobid}
GET	非同期翻訳 [333 ページ]	/api/v2/text/translation/jobs/{jobid}/result

7.6.7.1 サポートされている言語

サポートされている言語ペア - BCP47

翻訳元言語名	翻訳元言語コード	翻訳先言語名	翻訳先言語コード
アラビア語	ar-SA	英語 (米国)	en-US
ブルガリア語	bg-BG	英語 (米国)	en-US
カタロニア語	ca-ES	英語 (米国)	en-US
チェコ語	cs-CZ	英語 (米国)	en-US
中国語 (簡体字)	zh-CN	英語 (米国)	en-US
中国語 (繁体字)	zh-TW	英語 (米国)	en-US
クロアチア語	hr-HR	英語 (米国)	en-US
デンマーク語	da-DK	英語 (米国)	en-US
オランダ語	nl-NL	英語 (米国)	en-US
英語 (米国)	en-US	アラビア語	ar-SA
英語 (米国)	en-US	ブルガリア語	bg-BG
英語 (米国)	en-US	カタロニア語	ca-ES
英語 (米国)	en-US	中国語 (簡体字)	zh-CN
英語 (米国)	en-US	中国語 (繁体字)	zh-TW
英語 (米国)	en-US	クロアチア語	hr-HR
英語 (米国)	en-US	チェコ語	cs-CZ
英語 (米国)	en-US	デンマーク語	da-DK
英語 (米国)	en-US	オランダ語	nl-NL
英語 (米国)	en-US	エストニア語	et-EE
英語 (米国)	en-US	フィンランド語	fi-FI
英語 (米国)	en-US	フランス語 (フランス)	fr-FR
英語 (米国)	en-US	ドイツ語	de-DE
英語 (米国)	en-US	ギリシャ語	el-GR
英語 (米国)	en-US	ヘブライ語	he-IL
英語 (米国)	en-US	ヒンディー語	hi-IN
英語 (米国)	en-US	ハンガリー語	hu-HU
英語 (米国)	en-US	イタリア語	it-IT
英語 (米国)	en-US	日本語	ja-JP
英語 (米国)	en-US	カザフ語	kk-KZ

翻訳元言語名	翻訳元言語コード	翻訳先言語名	翻訳先言語コード
英語 (米国)	en-US	韓国語	ko-KR
英語 (米国)	en-US	ラトビア語	lv-LV
英語 (米国)	en-US	リトアニア語	lt-LT
英語 (米国)	en-US	マレー語	ms-MY
英語 (米国)	en-US	ノルウェー語	nb-NO
英語 (米国)	en-US	ポーランド語	pl-PL
英語 (米国)	en-US	ポルトガル語 (ブラジル)	pt-BR
英語 (米国)	en-US	ルーマニア語	ro-RO
英語 (米国)	en-US	ロシア語	ru-RU
英語 (米国)	en-US	セルビア語 (ラテン)	sr-Latn-RS
英語 (米国)	en-US	スロバキア語	sk-SK
英語 (米国)	en-US	スロベニア語	sl-SI
英語 (米国)	en-US	スペイン語 (スペイン)	es-ES
英語 (米国)	en-US	スウェーデン語	sv-SE
英語 (米国)	en-US	タイ語	th-TH
英語 (米国)	en-US	トルコ語	tr-TR
英語 (米国)	en-US	ウクライナ語	uk-UA
英語 (米国)	en-US	ベトナム語	vi-VN
エストニア語	et-EE	英語 (米国)	en-US
フィンランド語	fi-FI	英語 (米国)	en-US
フランス語 (フランス)	fr-FR	英語 (米国)	en-US
ドイツ語	de-DE	ブルガリア語	bg-BG
ドイツ語	de-DE	中国語 (簡体字)	zh-CN
ドイツ語	de-DE	クロアチア語	hr-HR
ドイツ語	de-DE	チェコ語	cs-CZ
ドイツ語	de-DE	英語 (米国)	en-US
ドイツ語	de-DE	フランス語 (フランス)	fr-FR
ドイツ語	de-DE	ハンガリー語	hu-HU
ドイツ語	de-DE	イタリア語	it-IT
ドイツ語	de-DE	ポーランド語	pl-PL
ドイツ語	de-DE	ルーマニア語	ro-RO
ドイツ語	de-DE	ロシア語	ru-RU
ドイツ語	de-DE	セルビア語 (ラテン)	sr-Latn-RS
ドイツ語	de-DE	スロバキア語	sk-SK

翻訳元言語名	翻訳元言語コード	翻訳先言語名	翻訳先言語コード
ドイツ語	de-DE	スロベニア語	sl-SI
ドイツ語	de-DE	スペイン語 (スペイン)	es-ES
ギリシャ語	el-GR	英語 (米国)	en-US
ヘブライ語	he-IL	英語 (米国)	en-US
ヒンディー語	hi-IN	英語 (米国)	en-US
ハンガリー語	hu-HU	英語 (米国)	en-US
イタリア語	it-IT	英語 (米国)	en-US
日本語	ja-JP	英語 (米国)	en-US
カザフ語	kk-KZ	英語 (米国)	en-US
韓国語	ko-KR	英語 (米国)	en-US
リトアニア語	lt-LT	英語 (米国)	en-US
ラトビア語	lv-LV	英語 (米国)	en-US
マレー語	ms-MY	英語 (米国)	en-US
ノルウェー語	nb-NO	英語 (米国)	en-US
ポーランド語	pl-PL	英語 (米国)	en-US
ポルトガル語 (ブラジル)	pt-BR	英語 (米国)	en-US
ルーマニア語	ro-RO	英語 (米国)	en-US
ロシア語	ru-RU	英語 (米国)	en-US
スペイン語 (スペイン)	es-ES	英語 (米国)	en-US
セルビア語 (ラテン)	sr-Latn-RS	英語 (米国)	en-US
スロバキア語	sk-SK	英語 (米国)	en-US
スロベニア語	sl-SI	英語 (米国)	en-US
スウェーデン語	sv-SE	英語 (米国)	en-US
タイ語	th-TH	英語 (米国)	en-US
トルコ語	tr-TR	英語 (米国)	en-US
ウクライナ語	uk-UA	英語 (米国)	en-US
ベトナム語	vi-VN	英語 (米国)	en-US
インドネシア語	id-ID	英語 (米国)	en-US
英語 (米国)	en-US	インドネシア語	id-ID

サポートされている言語ペア - 2 文字のコード

以下の翻訳元言語と翻訳先言語のペアがサポートされています。

① 注記

この2文字のコードは非推奨です。BCP47のみを使用することをお奨めします。

翻訳元言語名	翻訳元言語コード	翻訳先言語名	翻訳先言語コード
アラビア語	ar	英語 (米国)	en
ブルガリア語	bg	英語 (米国)	en
カタロニア語	ca	英語 (米国)	en
チェコ語	cs	英語 (米国)	en
中国語 (簡体字)	zh	英語 (米国)	en
中国語 (繁体字)	zf	英語 (米国)	en
クロアチア語	hr	英語 (米国)	en
デンマーク語	da	英語 (米国)	en
オランダ語	nl	英語 (米国)	en
英語 (米国)	en	アラビア語	ar
英語 (米国)	en	ブルガリア語	bg
英語 (米国)	en	カタロニア語	ca
英語 (米国)	en	中国語 (簡体字)	zh
英語 (米国)	en	中国語 (繁体字)	zf
英語 (米国)	en	クロアチア語	hr
英語 (米国)	en	チェコ語	cs
英語 (米国)	en	デンマーク語	da
英語 (米国)	en	オランダ語	nl
英語 (米国)	en	エストニア語	et
英語 (米国)	en	フィンランド語	fi
英語 (米国)	en	フランス語 (フランス)	fr
英語 (米国)	en	ドイツ語	de
英語 (米国)	en	ギリシャ語	el
英語 (米国)	en	ヘブライ語	he
英語 (米国)	en	ヒンディー語	hi
英語 (米国)	en	ハンガリー語	hu
英語 (米国)	en	イタリア語	it
英語 (米国)	en	日本語	ja
英語 (米国)	en	カザフ語	kk
英語 (米国)	en	韓国語	ko
英語 (米国)	en	ラトビア語	lv
英語 (米国)	en	リトアニア語	lt

翻訳元言語名	翻訳元言語コード	翻訳先言語名	翻訳先言語コード
英語 (米国)	en	マレー語	ms
英語 (米国)	en	ノルウェー語	no
英語 (米国)	en	ポーランド語	pl
英語 (米国)	en	ポルトガル語 (ブラジル)	pt
英語 (米国)	en	ルーマニア語	ro
英語 (米国)	en	ロシア語	ru
英語 (米国)	en	セルビア語 (ラテン)	sh
英語 (米国)	en	スロバキア語	sk
英語 (米国)	en	スロベニア語	sl
英語 (米国)	en	スペイン語 (スペイン)	es
英語 (米国)	en	スウェーデン語	sv
英語 (米国)	en	タイ語	th
英語 (米国)	en	トルコ語	tr
英語 (米国)	en	ウクライナ語	uk
英語 (米国)	en	ベトナム語	vi
エストニア語	et	英語 (米国)	en
フィンランド語	fi	英語 (米国)	en
フランス語 (フランス)	fr	英語 (米国)	en
ドイツ語	de	ブルガリア語	bg
ドイツ語	de	中国語 (簡体字)	zh
ドイツ語	de	クロアチア語	hr
ドイツ語	de	チェコ語	cs
ドイツ語	de	英語 (米国)	en
ドイツ語	de	フランス語 (フランス)	fr
ドイツ語	de	ハンガリー語	hu
ドイツ語	de	イタリア語	it
ドイツ語	de	ポーランド語	pl
ドイツ語	de	ルーマニア語	ro
ドイツ語	de	ロシア語	ru
ドイツ語	de	セルビア語 (ラテン)	sh
ドイツ語	de	スロバキア語	sk
ドイツ語	de	スロベニア語	sl
ドイツ語	de	スペイン語 (スペイン)	es
ギリシャ語	el	英語 (米国)	en

翻訳元言語名	翻訳元言語コード	翻訳先言語名	翻訳先言語コード
ヘブライ語	he	英語 (米国)	en
ヒンディー語	hi	英語 (米国)	en
ハンガリー語	hu	英語 (米国)	en
イタリア語	it	英語 (米国)	en
日本語	ja	英語 (米国)	en
カザフ語	kk	英語 (米国)	en
韓国語	ko	英語 (米国)	en
リトアニア語	lt	英語 (米国)	en
ラトビア語	lv	英語 (米国)	en
マレー語	ms	英語 (米国)	en
ノルウェー語	no	英語 (米国)	en
ポーランド語	pl	英語 (米国)	en
ポルトガル語 (ブラジル)	pt	英語 (米国)	en
ルーマニア語	ro	英語 (米国)	en
ロシア語	ru	英語 (米国)	en
スペイン語 (スペイン)	es	英語 (米国)	en
セルビア語 (ラテン)	sh	英語 (米国)	en
スロバキア語	sk	英語 (米国)	en
スロベニア語	sl	英語 (米国)	en
スウェーデン語	sv	英語 (米国)	en
タイ語	th	英語 (米国)	en
トルコ語	tr	英語 (米国)	en
ウクライナ語	uk	英語 (米国)	en
ベトナム語	vi	英語 (米国)	en

7.6.7.2 翻訳

このメソッドでは、翻訳元および翻訳先の言語、および翻訳対象の units (値) を定義する JSON オブジェクトが受け渡されます。翻訳された値、および翻訳先言語キーが含まれている JSON オブジェクトが戻されます。

要求

URL: `/api/v2/text/translation`

HTTP メソッド: `POST`

JSON 要求には、*units* JSON オブジェクトの配列が含まれています。以下の表は、JSON 要求のさまざまなキーと値のペアを示しています。

① 注記

以下の表に示した JSON 要求のキーの理解を深めるには、要求本文のサンプルコードを参照してください。

ルートキー	説明	必須
<i>sourceLanguage</i>	このサービスでテキストを翻訳する翻訳元言語の ID です。サポート対象言語の ID を確認するには、 サポートされている言語 (文書翻訳) [258 ページ] を参照してください。	あり
<i>targetLanguages</i>	このサービスで翻訳が戻される翻訳先言語の ID です。サポート対象言語の ID を確認するには、 サポートされている言語 (文書翻訳) [258 ページ] を参照してください。	あり
<i>units</i>	テキストエンティティを表します。各 unit は、1つ以上の値キーで構成されています。以下の表を参照してください。	あり

units キー	説明	必須
<i>value</i>	翻訳するテキスト。	あり
<i>key</i>	<i>units</i> キーで特定のテキストおよびそのテキストに続く翻訳を一意に識別するために役立つキー。この <i>key</i> を使用すると、テキストを単独で使用する場合と比較して、特定のテキストおよびその翻訳の識別が容易になります。	いいえ

❁ 例

翻訳する `.properties` ファイルのテキストごとにキーを指定すると、そのキーを使用して、ターゲット `.properties` ファイル内の各テキストの翻訳を識別することができます。

units キー

説明

必須

inlineElements

翻訳不可のエLEMENTの属性および位置を記述します。

① 注記

この API で HTML コードなどのマークアップが含まれているテキストの翻訳を可能にするには、呼出側のアプリケーションのコードで、そのマークアップを削除し、テキストでのマークアップの範囲または位置を指定する必要があります。

inlineElements キーは、以下のキーで構成されています。

- *ranges*

翻訳可能テキストでラップされる HTML コードなど、インラインのマークアップを使用して書式設定されるテキストの開始および終了の位置を記述します。この開始および終了の位置は、テキストの先頭からのユニコードのコードポイントで指定されます。

❖ 例

ranges キーは、HTML コード (The shopping cart contains `ten` items.) に埋め込まれている単語 *ten* の先頭と末尾を表します。この例では、マークアップ `ten` は単語 *ten* のユニコードコードポイント 27 から 30 の範囲にあります。

- *markers*

HTML に挿入されるグラフィックなど、翻訳不可ELEMENTの位置を記述します。このテキストの位置は、テキストの先頭からのユニコードのコードポイントで指定されます。

❖ 例

マーカは、Your shopping cart ``. というテキストのイメージの位置を示します。この例では、マークアップ `` はユニコードのコードポイントで測定すると、位置 19 にあります。

範囲が開始されるテキストでの位置です。この開始および終了の位置は、テキストの先頭からのユニコードのコードポイントで指定されます。

❖ 例

以下のテキストでは、*begin* キーの値は **27** です。

```
The shopping cart contains <span style="color:red">ten</span> items.
```

範囲が終了するテキストでの位置です。この開始および終了の位置は、テキストの先頭からのユニコードのコードポイントで指定されます。

❖ 例

以下のテキストでは、*end* キーの値は **30** です。

```
The shopping cart contains <span style="color:red">ten</span> items.
```

このテキストでのエレメントの位置は、テキストの先頭からのユニコードのコードポイントで指定されます。

❖ 例

以下のテキストでは、*ポジション* キーの値は **19** です。

```
Your shopping cart .
```

- *noTranslates*
翻訳対象ではないテキストの開始および終了の位置を記述します。この開始および終了の位置は、テキストの先頭からのユニコードのコードポイントで指定されます。

❖ 例

noTranslates キーは、単語 *cart* の開始と終了をテキスト `The shopping cart contains ten items.` で記述します。ここで、テキストを翻訳から保護する必要があります。この例では、マークアップ `cart` の範囲は、単語 *cart* のユニコードポイント 13 から 17 です。

ranges キー	説明	必須
<i>id</i>	<p>キーを識別する、任意の、正の数字の ID です。この ID は、要求において一意である必要があります。</p> <p>→ 推奨事項</p> <p>コンテンツを簡単に解釈できるように、指定の <code>units</code> キーにおける最初の ID には <code>0</code> を使用します。</p>	あり
<i>begin</i>	<p>範囲が開始されるテキストでの位置です。この開始および終了の位置は、テキストの先頭からのユニコードのコードポイントで指定されます。</p> <p>❖ 例</p> <p>以下のテキストでは、<i>begin</i> キーの値は 27 です。</p> <p>The shopping cart contains <code>ten</code> items.</p>	あり
<i>end</i>	<p>範囲が終了するテキストでの位置です。この開始および終了の位置は、テキストの先頭からのユニコードのコードポイントで指定されます。</p> <p>❖ 例</p> <p>以下のテキストでは、<i>end</i> キーの値は 30 です。</p> <p>The shopping cart contains <code>ten</code> items.</p>	あり
markers キー	説明	必須
<i>id</i>	<p>キーを識別する、任意の、正の数字の ID です。この ID は、要求において一意である必要があります。</p> <p>→ 推奨事項</p> <p>コンテンツを簡単に解釈できるように、指定の <code>units</code> キーにおける最初の ID には <code>0</code> を使用します。</p>	あり
<i>position</i>	<p>このテキストでのエレメントの位置は、テキストの先頭からのユニコードのコードポイントで指定されます。</p> <p>❖ 例</p> <p>以下のテキストでは、<i>position</i> キーの値は 19 です。</p> <p>Your shopping cart <code></code>.</p>	あり
<i>align</i>	<p>エレメントの位置であり、テキストとの相対で左寄せおよび右寄せで表示されます。デフォルトで、エレメントは左寄せです。エレメントの左側にテキストがない場合、そのエレメントは右寄せになります。使用可能な値は <i>left</i> および <i>right</i> です。</p>	いいえ

noTranslates キー	説明	必須
<i>id</i>	<p>キーを識別する、任意の、正の数字の ID です。この ID は必須であり、要求において一意の必要があります。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>注記</p> <p>コンテンツを簡単に解釈できるように、指定の <i>units</i> キーにおける最初の ID には 0 を使用します。</p> </div> <p>以下のコードサンプルで、ID の使用が示されています。</p>	あり
<i>begin</i>	<p>noTranslates が開始されるテキストでの位置です。この開始および終了の位置は、テキストの先頭からのユニコードのコードポイントで指定されます。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>例</p> <p>以下のテキストでは、<i>begin</i> キーの値は 13 です。</p> <pre>The shopping cart contains ten items.</pre> </div>	あり
<i>end</i>	<p>noTranslates が終了するテキストでの位置です。この開始および終了の位置は、テキストの先頭からのユニコードのコードポイントで指定されます。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>例</p> <p>以下のテキストでは、<i>end</i> キーの値は 17 です。</p> <pre>The shopping cart contains ten items.</pre> </div>	あり

基本的な例

注記

コア MT API では、de-DE や fr-FR など、BCP47 言語コードもサポートされています。以下のコードサンプルをレビューする場合は、これらのコードも言語のエントリに使用可能であることに注意してください。

サンプルコード

```
{
  "sourceLanguage": "en",
  "targetLanguages": [
    "de",
    "fr"
  ],
  "units": [
    {
      "value": "The shopping cart contains ten items.",
      "key": "CART_CONTENTS",
      "inlineElements": {
        "ranges": [
          {
            "start": 0,
            "end": 44
          }
        ]
      }
    }
  ]
}
```

```

        "id": 0,
        "begin": 27,
        "end": 30
      },
    ],
    "markers": [
      {
        "id": 1,
        "position": 18,
        "align": "left"
      }
    ],
    "noTranslates": [
      {
        "id": 0,
        "begin": 13,
        "end": 17
      }
    ]
  ]
}

```

要求ヘッダ

このサービスには、JSON 要求ペイロードが必要です。

ヘッダ	必須	説明
Content-Type	あり	メッセージ本体に関連付けられるタイプを示します。 Content-Type パラメータは application/json に設定します。
Accept	いいえ	この API で利用可能なタイプを示します。 Accept パラメータは application/json に設定します。

基本的な例

① 注記

コア MT API では、de-DE や fr-FR など、BCP47 言語コードもサポートされています。以下のコードサンプルをレビューする場合は、これらのコードも言語のエントリに使用可能であることに注意してください。

🔗 サンプルコード

JSON

```

{
  "sourceLanguage": "en",
  "targetLanguages": [
    "de",
    "fr"
  ],
  "units": [
    {
      "value": "It is not possible to add products to the shopping
cart.",

```

```
        "key": "NO_ADD_PROD_CART"
      },
      {
        "value": "The order terminates when you save the delivery
address.",
        "key": "SAVE_DEL_ADDRESS_TERMINATE"
      }
    ]
  }
}
```

インラインマークアップのある例

① 注記

この例のテキストが使用される環境において、以下のテキストおよびマークアップが含まれているとします。

The shopping cart contains ten items.

この API を利用する場合、value キーには翻訳可能なテキストのみが含まれている必要があります。このインラインマークアップの位置および範囲は、inlineElements キーを使用して記述されます。

① 注記

コア MT API では、de-DE や fr-FR など、BCP47 言語コードもサポートされています。以下のコードサンプルをレビューする場合は、これらのコードも言語のエントリに使用可能であることに注意してください。

⇄ サンプルコード

JSON

```
{
  "sourceLanguage": "en",
  "targetLanguages": [
    "de",
    "fr"
  ],
  "units": [
    {
      "value": "The shopping cart contains ten items.",
      "key": "CART_CONTENTS",
      "inlineElements": {
        "ranges": [
          {
            "id": 0,
            "begin": 27,
            "end": 30
          }
        ],
        "markers": [
          {
            "id": 1,
            "position": 18,
            "align": "left"
          }
        ]
      },
      "noTranslates": [
        {
          "begin": 13,
          "end": 17
        }
      ]
    }
  ]
}
```

```

    }
  ]
}

```

応答

翻訳応答は JSON 形式です。応答には、*units* キーの配列が含まれています。応答の各 *units* キーは、要求の *units* キーに対応しています。*units* キーが複数ある場合は、要求でのキーの順序が保持されます。応答には、以下のキーと値のペアが含まれています。

ルートキー	説明	応答に含まれるか
<i>units</i>	単一の翻訳されたテキストエンティティを表します。	常に応答にあり

応答の各 *units* キーは、要求の *units* キーに対応し、以下のキーが含まれています。

<i>units</i> キー	説明	応答に含まれるか
<i>value</i>	翻訳する翻訳元テキストの ID。	常に応答にあり
<i>key</i>	<i>units</i> キー内のテキストを一意に識別するキー。	要求によって異なる
<i>translations</i>	翻訳済テキストについて説明します。 <i>translations</i> キーは、複数のキーで構成されています。以下の表を参照してください。	常に応答にあり

要求の *targetLanguages* キーに指定されている翻訳先言語ごとに、応答には一連の *translations* キーがあります。

<i>translations</i> キー	説明	応答に含まれるか
<i>language</i>	テキストの翻訳に使用される翻訳先言語の ID。	常に応答にあり

注記

要求に BCP47 言語キーが含まれている場合は、応答にも BCP47 言語キーが含まれます。要求に 2 文字の言語キーが含まれている場合は、応答にも 2 文字の言語キーが含まれます。

<i>value</i>	テキストの翻訳。	常に応答にあり
--------------	----------	---------

translations キー	説明	応答に含まれるか
-----------------	----	----------

<code>inlineElements</code>	テキストに挿入されたテーブルやグラフィックなど、翻訳不可のエレメントの属性および位置を記述します。	要求によって異なる
-----------------------------	---	-----------

注記

呼出側アプリケーションのコードで、`inlineElements` キーで指定されているように、テキストの適切な位置にマークアップを再挿入する必要があります。

`inlineElements` キーは、以下のキーで構成されています。

- `ranges`
翻訳可能テキストでラップされる HTML コードなど、インラインのマークアップを使用して書式設定されるテキストの開始および終了の位置を記述します。この開始および終了の位置は、テキストの先頭からのユニコードのコードポイントで指定されます。

例

`ranges` キーは、HTML コード (The shopping cart contains `ten` items.) に埋め込まれている単語 `ten` の先頭と末尾を表します。この例では、マークアップ `ten` は単語 `ten` のユニコードコードポイント 27 から 30 の範囲にあります。

- `markers`
HTML に挿入されるグラフィックなど、翻訳不可エレメントの位置を記述します。このテキストの位置は、テキストの先頭からのユニコードのコードポイントで指定されます。

例

マーカは、Your shopping cart ``. というテキストのイメージの位置を示します。この例では、マークアップ `` はユニコードのコードポイントで測定すると、位置 19 にあります。

- `noTranslates`
翻訳対象ではないテキストの開始および終了の位置を記述します。この開始および終了の位置は、テキストの先頭からのユニコードのコードポイントで指定されます。

translations キー	説明	応答に含まれるか
	<p>❖ 例</p> <p><i>noTranslates</i> キーは、単語 <i>cart</i> の開始と終了をテキスト <code>The shopping cart contains ten items.</code> で記述します。ここで、テキストを翻訳から保護する必要があります。この例では、<code>cart</code> の範囲は、単語 <i>cart</i> のユニコードポイント 13 から 17 です。</p>	
ranges キー	説明	応答に含まれるか
<i>id</i>	要求および応答においてキーを一意に識別する ID です。	要求によって異なる
<i>begin</i>	<p>範囲が開始されるテキストでの位置です。この開始および終了の位置は、テキストの先頭からのユニコードのコードポイントで指定されます。</p> <p>❖ 例</p> <p>以下のテキストでは、<i>begin</i> キーの値は 27 です。</p> <p>The shopping cart contains <code>ten</code> items.</p>	要求によって異なる
<i>end</i>	<p>範囲が終了するテキストでの位置です。この開始および終了の位置は、テキストの先頭からのユニコードのコードポイントで指定されます。</p> <p>❖ 例</p> <p>以下のテキストでは、<i>end</i> キーの値は 30 です。</p> <p>The shopping cart contains <code>ten</code> items.</p>	要求によって異なる
markers キー	説明	応答に含まれるか
<i>id</i>	要求および応答においてキーを一意に識別する ID です。	要求によって異なる
<i>position</i>	<p>❖ 例</p> <p>以下のテキストでは、<i>position</i> キーの値は 19 です。</p> <p>Your shopping cart <code></code>.</p>	要求によって異なる
noTranslates キー	説明	必須
<i>id</i>	要求および応答においてキーを一意に識別する ID です。下記のコード例を参照してください。	はい、要求に存在する場合

noTranslates キー	説明	必須
<i>begin</i>	noTranslates が開始されるテキストでの位置です。この開始および終了の位置は、テキストの先頭からのユニコードのコードポイントで指定されます。	はい、要求に存在する場合
	<p>例</p> <p>以下のテキストでは、<i>begin</i> キーの値は 13 です。</p> <pre>The shopping cart contains ten items.</pre>	
<i>end</i>	noTranslates が終了するテキストでの位置です。この開始および終了の位置は、テキストの先頭からのユニコードのコードポイントで指定されます。	はい、要求に存在する場合
	<p>例</p> <p>以下のテキストでは、<i>end</i> キーの値は 17 です。</p> <pre>The shopping cart contains ten items.</pre>	

基本的な例

① 注記

コア MT API では、de-DE や fr-FR など、BCP47 言語コードもサポートされています。以下のコードサンプルをレビューする場合は、これらのコードも言語のエントリに使用可能であることに注意してください。

↗ サンプルコード

with ID.

```
{
  "units": [
    {
      "value": "The shopping cart contains ten items.",
      "key": "CART_CONTENTS",
      "translations": [
        {
          "language": "de",
          "value": "Der Einkauf cart enthält zehn Artikel.",
          "inlineElements": {
            "ranges": [
              {
                "id": 0,
                "begin": 26,
                "end": 30
              }
            ]
          },
          "markers": [
            {
              "id": 1,
              "position": 17
            }
          ]
        }
      ]
    }
  ]
}
```

```
    ],
    "noTranslates": [
      {
        "id": 0,
        "begin": 12,
        "end": 16
      }
    ]
  },
  {
    "language": "fr",
    "value": "Les achats cart contiennent dix articles.",
    "inlineElements": {
      "ranges": [
        {
          "id": 0,
          "begin": 19,
          "end": 22
        }
      ],
      "markers": [
        {
          "id": 1,
          "position": 9
        }
      ],
      "noTranslates": [
        {
          "id": 0,
          "begin": 16,
          "end": 20
        }
      ]
    }
  }
]
```

基本的な例

① 注記

コア MT API では、de-DE や fr-FR など、BCP47 言語コードもサポートされています。以下のコードサンプルをレビューする場合は、これらのコードも言語のエントリに使用可能であることに注意してください。

↔ サンプルコード

JSON, without ID

```
{
  "units": [
    {
      "value": "It is not possible to add products to the shopping
cart.",
      "key": "NO_ADD_PROD_CART",
      "translations": [
        {
          "language": "de",
          "value": "Es ist nicht möglich, Produkte zum
Einkaufswagen hinzuzufügen."
        }
      ]
    }
  ],
}
```

```

    {
      "language": "fr",
      "value": "Il est impossible d'ajouter des produits au
panier."
    }
  ],
  },
  {
    "value": "The order terminates when you save the delivery
address.",
    "key": "SAVE_DEL_ADDRESS_TERMINATE",
    "translations": [
      {
        "language": "de",
        "value": "Der Auftrag bricht beim Sichern der
Anlieferadresse ab."
      },
      {
        "language": "fr",
        "value": "L'ordre est interrompu lors de la sauvegarde de
l'adresse de livraison."
      }
    ]
  }
]
}

```

インラインマークアップのある例

① 注記

必要である翻訳元テキストを表示するには、`inlineElements` キーを使用して記述されているマークアップを再挿入する必要があります。この情報により、ドイツ語の *Der Einkaufswagen* ` entert` `zehn Positionen` の例に示すように、マークアップを含むテキストを再構築することができます。

① 注記

コア MT API では、de-DE や fr-FR など、BCP47 言語コードもサポートされています。以下のコードサンプルをレビューする場合は、これらのコードも言語のエントリに使用可能であることに注意してください。

↔ サンプルコード

JSON

```

{
  "units": [
    {
      "value": "The shopping cart contains ten items.",
      "key": "CART_CONTENTS",
      "translations": [
        {
          "language": "de",
          "value": "Der Einkauf cart enthält zehn Artikel.",
          "inlineElements": {
            "ranges": [
              {
                "id": 0,
                "begin": 26,
                "end": 30
              }
            ]
          }
        }
      ]
    }
  ],
}

```

```

        "markers": [
          {
            "id": 1,
            "position": 17
          }
        ]
      },
    },
    {
      "language": "fr",
      "value": "Les achats cart contiennent dix articles.",
      "inlineElements": {
        "ranges": [
          {
            "id": 0,
            "begin": 19,
            "end": 22
          }
        ],
        "markers": [
          {
            "id": 1,
            "position": 9
          }
        ]
      }
    }
  ]
}

```

応答ステータスとエラーコード

コード	理由
200	正常終了した結果。
400	JSON の構文解析またはデータ検証に失敗しました。
405	翻訳要求が完了していません。
413	要求されたテキストが、一度に翻訳可能な最大長を超過しています。テキストを小さく分割してください。
415	サポートされないメディアタイプ。
500	翻訳要求が正常終了しませんでした。
504	要求はタイムアウトになりました。

7.6.7.3 非同期翻訳

非同期翻訳メソッドの使用は、翻訳対象のテキストが非常に長く、結果がすぐには必要ない場合に推奨されます。このメソッドでは、翻訳元および翻訳先の言語、および翻訳対象の units (テキスト値) を定義する JSON オブジェクトが受け渡されます。また、翻訳されたテキストが含まれている JSON オブジェクトが戻されます。

要求

URL:

- `/api/v2/text/translation/jobs` - 非同期翻訳ジョブの作成
 - HTTP メソッド: *POST*
- `/api/v2/text/translation/jobs/{jobid}` - 翻訳ジョブのステータスの取得
 - HTTP メソッド: *GET*
- `/api/v2/text/translation/jobs/{jobid}/result` - 翻訳ジョブの結果の取得
 - HTTP メソッド: *GET*

HTTP メソッド: *POST*

JSON 要求には、*units* JSON オブジェクトの配列が含まれています。以下の表は、JSON 要求のさまざまなキーと値のペアを示しています。

① 注記

以下の表に示した JSON 要求のキーの理解を深めるには、要求本文のサンプルコードを参照してください。

ルートキー	説明	必須
<i>sourceLanguage</i>	このサービスでテキストを翻訳する翻訳元言語の ID です。サポート対象言語の ID を確認するには、 サポートされている言語 [314 ページ] を参照してください。	いいえ
<i>targetLanguages</i>	このサービスで翻訳が戻される翻訳先言語の ID です。サポート対象言語の ID を確認するには、 サポートされている言語 [314 ページ] を参照してください。	あり
<i>units</i>	テキストエンティティを表します。各 <i>unit</i> は、1 つ以上の値キーで構成されています。以下の表を参照してください。	あり

<i>units</i> キー	説明	必須
<i>value</i>	翻訳するテキスト。	あり
<i>key</i>	<i>units</i> キーで特定のテキストおよびそのテキストに続く翻訳を一意に識別するために役立つキー。この <i>key</i> を使用すると、テキストを単独で使用する場合と比較して、特定のテキストおよびその翻訳の識別が容易になります。	いいえ

❖ 例

翻訳する `.properties` ファイルのテキストごとにキーを指定すると、そのキーを使用して、ターゲット `.properties` ファイル内の各テキストの翻訳を識別することができます。

units キー	説明	必須
<i>inlineElements</i>	翻訳不可のエレメントの属性および位置を記述します。	いいえ

① 注記

この API で HTML コードなどのマークアップが含まれているテキストの翻訳を可能にするには、呼出側のアプリケーションのコードで、そのマークアップを削除し、テキストでのマークアップの範囲または位置を指定する必要があります。

inlineElements キーは、以下のキーで構成されています。

- *ranges*
翻訳可能テキストでラップされる HTML コードなど、インラインのマークアップを使用して書式設定されるテキストの開始および終了の位置を記述します。この開始および終了の位置は、テキストの先頭からのユニコードのコードポイントで指定されます。

❖ 例

ranges キーは、HTML コード (The shopping cart contains `ten items.`) に埋め込まれている単語 *ten* の先頭と末尾を表します。この例では、マークアップ `ten` は単語 *ten* のユニコードコードポイント 27 から 30 の範囲にあります。

- *markers*
HTML に挿入されるグラフィックなど、翻訳不可エレメントの位置を記述します。このテキストの位置は、テキストの先頭からのユニコードのコードポイントで指定されます。

❖ 例

マーカは、Your shopping cart ``. というテキストのイメージの位置を示します。この例では、マークアップ `` はユニコードのコードポイントで測定すると、位置 19 にあります。

範囲が開始されるテキストでの位置です。この開始および終了の位置は、テキストの先頭からのユニコードのコードポイントで指定されます。

❖ 例

以下のテキストでは、*begin* キーの値は **27** です。

```
The shopping cart contains <span style="color:red">ten</span> items.
```

範囲が終了するテキストでの位置です。この開始および終了の位置は、テキストの先頭からのユニコードのコードポイントで指定されます。

❖ 例

以下のテキストでは、*end* キーの値は **30** です。

```
The shopping cart contains <span style="color:red">ten</span> items.
```

このテキストでのエレメントの位置は、テキストの先頭からのユニコードのコードポイントで指定されます。

❖ 例

以下のテキストでは、*ポジション* キーの値は **19** です。

```
Your shopping cart .
```

• *noTranslates*

翻訳対象ではないテキストの開始および終了の位置を記述します。この開始および終了の位置は、テキストの先頭からのユニコードのコードポイントで指定されます。

❖ 例

noTranslates キーは、単語 *cart* の開始と終了をテキスト `The shopping cart contains ten items.` で記述します。ここで、テキストを翻訳から保護する必要があります。この例では、マークアップ `cart` の範囲は、単語 *cart* のユニコードポイント 13 から 17 です。

ranges キー	説明	必須
<i>id</i>	<p>キーを識別する、任意の、正の数字の ID です。この ID は、要求において一意である必要があります。</p> <p>→ 推奨事項</p> <p>コンテンツを簡単に解釈できるように、指定の <i>units</i> キーにおける最初の ID には 0 を使用します。</p>	あり
<i>begin</i>	<p>範囲が開始されるテキストでの位置です。この開始および終了の位置は、テキストの先頭からのユニコードのコードポイントで指定されます。</p> <p>❖ 例</p> <p>以下のテキストでは、<i>begin</i> キーの値は 27 です。</p> <pre>The shopping cart contains ten items.</pre>	あり
<i>end</i>	<p>範囲が終了するテキストでの位置です。この開始および終了の位置は、テキストの先頭からのユニコードのコードポイントで指定されます。</p> <p>❖ 例</p> <p>以下のテキストでは、<i>end</i> キーの値は 30 です。</p> <pre>The shopping cart contains ten items.</pre>	あり
markers キー	説明	必須
<i>id</i>	<p>キーを識別する、任意の、正の数字の ID です。この ID は、要求において一意である必要があります。</p> <p>→ 推奨事項</p> <p>コンテンツを簡単に解釈できるように、指定の <i>units</i> キーにおける最初の ID には 0 を使用します。</p>	あり
<i>position</i>	<p>このテキストでのエレメントの位置は、テキストの先頭からのユニコードのコードポイントで指定されます。</p> <p>❖ 例</p> <p>以下のテキストでは、<i>position</i> キーの値は 19 です。</p> <pre>Your shopping cart .</pre>	あり
<i>align</i>	<p>エレメントの位置であり、テキストとの相対で左寄せおよび右寄せで表示されます。デフォルトで、エレメントは左寄せです。エレメントの左側にテキストがない場合、そのエレメントは右寄せになります。使用可能な値は <i>left</i> および <i>right</i> です。</p>	いいえ

noTranslates キー	説明	必須
<i>begin</i>	noTranslates が開始されるテキストでの位置です。この開始および終了の位置は、テキストの先頭からのユニコードのコードポイントで指定されます。	あり
<p>❖ 例</p> <p>以下のテキストでは、<i>begin</i> キーの値は 13 です。</p> <pre>The shopping cart contains ten items.</pre>		
<i>end</i>	noTranslates が終了するテキストでの位置です。この開始および終了の位置は、テキストの先頭からのユニコードのコードポイントで指定されます。	あり
<p>❖ 例</p> <p>以下のテキストでは、<i>end</i> キーの値は 17 です。</p> <pre>The shopping cart contains ten items.</pre>		

要求ヘッダ

このサービスには、JSON 要求ペイロードが必要です。

ヘッダ	必須	説明
Content-Type	あり	メッセージ本体に関連付けられるタイプを示します。 Content-Type パラメータは application/json に設定します。
Accept	いいえ	この API で利用可能なタイプを示します。 Accept パラメータは application/json に設定しません。

基本的な例

🔗 サンプルコード

Create asynchronous translation job - JSON POST <BASEURL>/api/v2/text/translation/jobs

```
{
  "sourceLanguage": "en",
  "targetLanguages": [
    "de",
    "fr"
  ],
  "units": [
    {
```

```
"value": "The shopping cart contains ten items.",
"key": "CART_CONTENTS"
  }
]
}
```

インラインマークアップのある例

① 注記

この例のテキストが使用される環境において、以下のテキストおよびマークアップが含まれているとします。

The shopping cart contains ten items.

この API を利用する場合、value キーには翻訳可能なテキストのみが含まれている必要があります。このインラインマークアップの位置および範囲は、inlineElements キーを使用して記述されます。

📄 サンプルコード

JSON

```
{
  "sourceLanguage": "en",
  "targetLanguages": [
    "de",
    "fr"
  ],
  "units": [
    {
      "value": "The shopping cart contains ten items.",
      "key": "CART_CONTENTS",
      "inlineElements": {
        "ranges": [
          {
            "id": 0,
            "begin": 27,
            "end": 30
          }
        ],
        "markers": [
          {
            "id": 1,
            "position": 18,
            "align": "left"
          }
        ],
        "noTranslates": [
          {
            "begin": 13,
            "end": 17
          }
        ]
      }
    }
  ]
}
```

応答

翻訳応答は JSON 形式です。応答には、*units* キーの配列が含まれています。応答の各 *units* キーは、要求の *units* キーに対応しています。*units* キーが複数ある場合は、要求でのキーの順序が保持されます。応答には、以下のキーと値のペアが含まれています。

ルートキー	説明	応答に含まれるか
<i>units</i>	単一の翻訳されたテキストエンティティを表します。	常に応答にあり

応答の各 *units* キーは、要求の *units* キーに対応し、以下のキーが含まれています。

<i>units</i> キー	説明	応答に含まれるか
<i>value</i>	翻訳する翻訳元テキストの ID。	常に応答にあり
<i>key</i>	<i>units</i> キー内のテキストを一意に識別するキー。	要求によって異なる
<i>translations</i>	翻訳済テキストについて説明します。 <i>translations</i> キーは、複数のキーで構成されています。以下の表を参照してください。	常に応答にあり

要求の *targetLanguages* キーに指定されている翻訳先言語ごとに、応答には一連の *translations* キーがあります。

<i>translations</i> キー	説明	応答に含まれるか
<i>language</i>	テキストの翻訳に使用される翻訳先言語の ID。	常に応答にあり
<i>value</i>	テキストの翻訳。	常に応答にあり

① 注記

要求に BCP47 言語キーが含まれている場合は、応答にも BCP47 言語キーが含まれます。要求に 2 文字の言語キーが含まれている場合は、応答にも 2 文字の言語キーが含まれます。

translations キー	説明	応答に含まれるか
-----------------	----	----------

<i>inlineElements</i>	<p>テキストに挿入されたテーブルやグラフィックなど、翻訳不可のエレメントの属性および位置を記述します。</p>	要求によって異なる
-----------------------	--	-----------

④ 注記

呼出側アプリケーションのコードで、*inlineElements* キーで指定されているように、テキストの適切な位置にマークアップを再挿入する必要があります。

inlineElements キーは、以下のキーで構成されています。

- *noTranslates*

翻訳対象ではないテキストの開始および終了の位置を記述します。この開始および終了の位置は、テキストの先頭からのユニコードのコードポイントで指定されます。

❖ 例

noTranslates キーは、単語 *cart* の開始と終了をテキスト `The shopping cart contains ten items.` で記述します。ここで、テキストを翻訳から保護する必要があります。この例では、`cart` の範囲は、単語 *cart* のユニコードポイント 13 から 17 です。

- *ranges*

翻訳可能テキストでラップされる HTML コードなど、インラインのマークアップを使用して書式設定されるテキストの開始および終了の位置を記述します。この開始および終了の位置は、テキストの先頭からのユニコードのコードポイントで指定されます。

❖ 例

ranges キーは、HTML コード `(The shopping cart contains ten items.)` に埋め込まれている単語 *ten* の先頭と末尾を表します。この例では、マークアップ `ten` は単語 *ten* のユニコードコードポイント 27 から 30 の範囲にあります。

- *markers*

HTML に挿入されるグラフィックなど、翻訳不可エレメントの位置を記述します。このテキストの位置は、テキストの先頭からのユニコードのコードポイントで指定されます。

translations キー	説明	応答に含まれるか
	<p>❖ 例</p> <p>マーカは、Your shopping cart <code></code> というテキスト内のイメージの位置を示します。この例では、マークアップ <code></code> の位置はユニコードのコードポイントで指定する場合は 19 です。</p>	

ranges キー	説明	応答に含まれるか
<i>id</i>	要求および応答においてキーを一意に識別する ID です。	要求によって異なる
<i>begin</i>	<p>範囲が開始されるテキストでの位置です。この開始および終了の位置は、テキストの先頭からのユニコードのコードポイントで指定されます。</p> <p>❖ 例</p> <p>以下のテキストでは、<i>begin</i> キーの値は 27 です。</p> <p>The shopping cart contains <code>ten</code> items.</p>	要求によって異なる

<i>end</i>	<p>範囲が終了するテキストでの位置です。この開始および終了の位置は、テキストの先頭からのユニコードのコードポイントで指定されます。</p> <p>❖ 例</p> <p>以下のテキストでは、<i>end</i> キーの値は 30 です。The shopping cart contains <code>ten</code> items.</p>	要求によって異なる
------------	---	-----------

markers キー	説明	応答に含まれるか
<i>id</i>	要求および応答においてキーを一意に識別する ID です。	要求によって異なる
<i>position</i>	<p>このテキストでの要素の位置は、テキストの先頭からのユニコードのコードポイントで指定されます。</p> <p>❖ 例</p> <p>以下のテキストでは、<i>position</i> キーの値は 19 です。</p> <p>Your shopping cart <code></code>.</p>	要求によって異なる

noTranslates キー	説明	必須
<i>begin</i>	noTranslates が開始されるテキストでの位置です。この開始および終了の位置は、テキストの先頭からのユニコードのコードポイントで指定されます。 ❖ 例 以下のテキストでは、 <i>begin</i> キーの値は 13 です。 The shopping cart contains ten items.	いいえ
<i>end</i>	noTranslates が終了するテキストでの位置です。この開始および終了の位置は、テキストの先頭からのユニコードのコードポイントで指定されます。 ❖ 例 以下のテキストでは、 <i>end</i> キーの値は 17 です。 The shopping cart contains ten items.	いいえ

基本的な例

① 注記

コア MT API では、de-DE や fr-FR など、BCP47 言語コードもサポートされています。以下のコードサンプルをレビューする場合は、これらのコードも言語のエントリに使用可能であることを注意してください。

⇄ サンプルコード

Sample code for Create asynchronous translation job - JSON

Response 1: The request was accepted and is being processed.

```
{
  "id": "1aa88709-1337-caf3-dddd-5a7907ef4d2a",
  "progress": 0,
  "status": "PENDING"
}
```

⇄ サンプルコード

Sample code for Create asynchronous translation job - JSON

Response 2: The requested text is more exceeds the maximum limit that can be requested at one time for translation.

```
{
  "error": {
    "code": "RequestTooLarge",
    "status": 413,
  }
}
```

```
    "message": "Sorry your requested translations of size 2500042 exceed
the maximum translation size of 2500000 ",
    "target": "/api/v2/text/translation/jobs",
    "requestId": "0427481f-7eee-42d7-82f4-346428f90c73"
  }
}
```

🔗 サンプルコード

Sample code for Create asynchronous translation job - JSON

Response 3: The translation request did not succeed.

```
{
  "error": {
    "code": "InternalServerError",
    "status": 500,
    "message": "Internal error occured. Please retry after some time or
contact administrator.",
    "target": "/api/v2/text/translation/jobs",
    "requestId": "0427481f-7eee-42d7-82f4-346428f90c73"
  }
}
```

🔗 サンプルコード

Sample code for Get translation job status: - JSON

Response 1 - The status was retrieved successfully

```
{
  "id": "1aa88709-1337-caf3-dddd-5a7907ef4d2a",
  "progress": 0.42,
  "status": "PENDING"
}
```

🔗 サンプルコード

Sample code for Get translation job status: - JSON

Response 2 - The translation job for which the status was retrieved, completed successfully. The result can be retrieved at the URL in the location header.

```
{
  "id": "1aa88709-1337-caf3-dddd-5a7907ef4d2a",
  "progress": 1.0,
  "status": "DONE"
}
```

🔗 サンプルコード

Sample code for Get translation job status: - JSON

Response 3 - The translation job for which the status was retrieved, completed with an error.

```
{
  "id": "1aa88709-1337-caf3-dddd-5a7907ef4d2a",
  "status": "ERROR",
  "error": {
    "code": "InternalServerError",

```

```
    "status": 500,
    "message": "Internal error ocured. Please retry after some time or
contact administrator.",
    "target": "/api/v2/text/translation/jobs",
    "requestId": "0427481f-7eee-42d7-82f4-346428f90c73"
  }
}
```

🔗 サンプルコード

Sample code for Get translation job status: - JSON

Response 4 : An unexpected error occurred

```
{
  "error": {
    "code": "InternalServerError",
    "status": 500,
    "message": "Internal error ocured. Please retry after some time or
contact administrator.",
    "target": "/api/v2/text/translation/jobs",
    "requestId": "0427481f-7eee-42d7-82f4-346428f90c73"
  }
}
```

🔗 サンプルコード

Sample code for Get translation job results: - JSON

Response 1: The result of the job was retrieved successfully.

```
{
  "units": [
    {
      "value": "The shopping cart contains ten items.",
      "key": "CART_CONTENTS",
      "translations": [
        {
          "language": "de",
          "value": "Der Einkaufswagen enthält zehn Positionen."
        },
        {
          "language": "fr",
          "value": "Le panier contient dix postes."
        }
      ]
    }
  ]
}
```

🔗 サンプルコード

Sample code for Get translation job results: - JSON

Response 2: An unexpected issue occurred.

```
{
  "error": {
    "code": "InternalServerError",
    "status": 500,
    "message": "Internal error ocured. Please retry after some time or
contact administrator.",

```

```
    "target": "/api/v2/text/translation/jobs",
    "requestId": "0427481f-7eee-42d7-82f4-346428f90c73"
  }
}
```

インラインマークアップのある例

① 注記

必要である翻訳元テキストを表示するには、`inlineElements` キーを使用して記述されているマークアップを再挿入する必要があります。この情報により、ドイツ語の *Der Einkaufswagen* `` *entert* `zehn` *Positionen* の例に示すように、マークアップを含むテキストを再構築することができます。

🔗 サンプルコード

JSON

```
{
  "units": [
    {
      "value": "The shopping cart contains ten items.",
      "key": "CART_CONTENTS",
      "translations": [
        {
          "language": "de",
          "value": "Der Einkauf cart enthält zehn Artikel.",
          "inlineElements": {
            "ranges": [
              {
                "id": 0,
                "begin": 26,
                "end": 30
              }
            ],
            "markers": [
              {
                "id": 1,
                "position": 17
              }
            ]
          }
        },
        {
          "language": "fr",
          "value": "Les achats cart contiennent dix articles.",
          "inlineElements": {
            "ranges": [
              {
                "id": 0,
                "begin": 19,
                "end": 22
              }
            ],
            "markers": [
              {
                "id": 1,
                "position": 9
              }
            ]
          }
        }
      ]
    }
  ]
}
```

```
]
}
```

応答ステータスとエラーコード

コード	理由
200	正常終了した結果。
202	要求は承認され、現在処理中です。
303	ステータスがリトリブされた翻訳ジョブは、正常に完了しました。結果は、ロケーションヘッダにある URL で取得できます。
400	JSON の構文解析またはデータ検証に失敗しました。
405	翻訳要求が完了していません。
413	要求されたテキストが、一度に翻訳可能な最大長を超過しています。テキストを小さく分割してください。
415	サポートされないメディアタイプ。
500	翻訳要求が正常終了しませんでした。
504	要求はタイムアウトになりました。

7.7 FAQ

以下の一覧には、文書翻訳 サービス機械翻訳エンジンに関する FAQ が記載されています。

機械翻訳エンジンは、文書を翻訳のために送信すると学習しますか？

いいえ。翻訳の記録もその他のデータも保存されないため、機械翻訳エンジンは学習しません。

機械翻訳の品質を評価するにはどうすればよいですか？

対象者の代表と翻訳を共有し、翻訳の正確さを確認することで、品質を評価できます。必要な翻訳品質のレベルは、テキストタイプとシナリオによって異なります。

機械翻訳出力の品質を改善したいのですが、どうすればよいですか？

機械翻訳エンジンが最適に機能するテキストタイプは、プロの対象者向けの技術テキストとビジネス関連テキストです。販売およびマーケティング指向のテキストはあまり適していません。出力の品質を改善するために、テ

テキストが明確に構造化されていること、および使用される言語が技術的かつ実際であることを確認してください。また、ソーステキストにスペルミスや文法上の誤りが含まれていないことを確認するのも重要です。

8 統合

SAP Translation Hub を、さまざまなビジネスシナリオと統合する方法です。

SAP Translation Hub を統合したり、SAP またはサードパーティプロバイダが提供する統合を使用したりするには、さまざまな方法があります。

- SAP Translation Hub は、[ソフトウェア翻訳の統合シナリオ \[349 ページ\]](#) で説明されているように、複数の統合ソフトウェア翻訳シナリオで使用できます。
- SAP Translation Hub の文書翻訳は、[文書翻訳の統合シナリオ \[357 ページ\]](#) で説明されているさまざまなシナリオで使用できます。

8.1 ソフトウェア翻訳の統合シナリオ

SAP Translation Hub を使用して、SAP 製品の範囲のテキストを翻訳できます。

以下のセクションでは、それぞれの製品で SAP Translation Hub を使用する方法が説明されています。

- [ABAP システムでの SAP Translation Hub の使用 \[349 ページ\]](#)
- [SAP Business ByDesign での SAP Translation Hub の使用 \[356 ページ\]](#)
- [Use SAP Translation Hub with SAP Business Technology Platform SDK for iOS Assistant \(internal-only - removed\)](#)
- [Use SAP Translation Hub in SAP Web IDE \(internal - remove\)](#)
- [Enable Now の学習教材に SAP Translation Hub 文書翻訳 を使用 \[358 ページ\]](#)
- [SAP Translation Hub を使用して、SAP Focused Build テストステップの多言語テストケースを提供 \[356 ページ\]](#)
- [Use SAP Translation Hub Document Translation with SAP for Me: Expert Chat \(internal - change to Virtual Agent?\)](#)
- [Use SAP Translation Hub Document Translation with SAP for Me: Customer Incidents \(internal - change to virtual agent?\)](#)
- [SAP Translation Hub を使用した Solution Manager の構造エレメントの説明の翻訳 \[357 ページ\]](#)
- [SAP Translation Hub の XTM の機械翻訳プロバイダとしての使用 \[358 ページ\]](#)
- [SAP BTP for ABAP アプリでの SAP Translation Hub の使用 \[357 ページ\]](#)

8.1.1 ABAP システムでの SAP Translation Hub の使用

SAP Translation Hub を使用すると、SAP Translation Hub API を呼び出すレポートを使用して ABAP システムでテキストを翻訳できます。

SAP Translation Hub との統合により、既存の ABAP 翻訳環境を継続して使用する一方で、SAP Translation Hub の翻訳機能を活用できます。

翻訳の提案をレビューする追加のサポートの詳細については、[初期設定 \[34 ページ\]](#)にある SAP 認証のパートナーによる追加のサポートを参照してください。

次の文書も参照してください。[SAP Translation Hub を使用したテキスト \(短\) の翻訳](#)

8.1.1.1 ABAP システムで SAP Translation Hub を使用する前提条件

SAP Translation Hub を使用して ABAP システムのテキスト (短) を翻訳するには、複数の前提条件が必要です。

以下のトピックで説明されている設定を順番に完了します。

1. [SAP Business Technology Platform の前提条件 \[350 ページ\]](#)
2. [ABAP システムでの前提条件 \[351 ページ\]](#)

8.1.1.1.1 SAP Business Technology Platform の前提条件

SAP Translation Hub を使用して ABAP システムのテキスト (短) を翻訳するには、SAP Business Technology Platform で SAP Translation Hub アプリケーションおよびサービスインスタンスをサブスクライブしておく必要があります。

すでに **SAP Translation Hub** を使用しています。他に何か行う必要がありますか。

SAP Translation Hub on BTP マルチクラウドには OAuth 権限が必要であるため、サービスインスタンス (サービスキーとも呼ばれる) の認証情報を取得する必要があります。クライアント ID、クライアントシークレット、および URL を取得するには、[サービスインスタンスおよびサービスバインディングの作成 \[38 ページ\]](#)を参照してください。これらの詳細の ABAP システムへの入力が必要になります。

→ 推奨事項

使用する ABAP システムでこの手順を進める前に、SAP Business Technology Platform コックピットにログインして、必要な詳細を用意しておきます。

SAP Business Technology Platform のアカウントがありません。何を行う必要がありますか。

使用ケースに応じて、SAP BTP 無償利用枠アカウントまたはエンタープライズアカウントにサインアップします。使用可能な商業モデルの詳細については、[エンタープライズおよび SAP BTP 無償利用枠アカウント \[42 ページ\]](#)を参照してください。アカウントを取得したら、SAP Translation Hub サービスをサブスクライブし、サービスインスタンスを作成して認証情報を取得します。

SAP Translation Hub の設定の詳細については、[初期設定 \[34 ページ\]](#)を参照してください。

関連情報

[ABAP システムでの前提条件 \[351 ページ\]](#)

8.1.1.1.2 ABAP システムでの前提条件

SAP Translation Hub を使用して ABAP システムのテキスト (短) を翻訳するには、使用する ABAP システムで複数の前提条件が必要です。SAP BTP マルチクラウドの変更に伴い、認証が Basic から OAuth に変更されました。これには、ABAP システムでの OAuth クライアントプロファイルおよび設定の設定が必要です。OAuth 認証を設定するには、クライアント ID、クライアントシークレット、および認証およびトークン URL が必要です。

→ 推奨事項

- 以下のように接続をテストすることができます。
 1. **パス接頭辞**項目に、エンドポイントを入力します (例: `/translationhub/api/v2/domains`)。接続に成功すると、**HTTP 応答ステータス** 200 が表示されます。
 2. 接続のテスト後、パス接頭辞を `/translationhub/api` に戻してください。

必要なすべてのステップを完了するには、以下の順序でステップを実行します。

1. ユニコードコードページのチェック

使用するシステムはユニコードシステムである必要があります。不明な場合は、以下のいずれかのオプションを使用して確認します。

- トランザクションコード SNLS を呼び出します。
- **System > Status... > SAP System Data** を選択する。

2. OAuth プロファイルの設定

前提条件:

ロール開発者では、OAuth 2.0 クライアントプロファイルを登録するための権限 S_DEVELOP (開発オブジェクト OA2P) が必要です。

管理者ロールでは、OAuth 2.0 クライアントを設定するための権限 S_OA2C_ADM (少なくともアクティビティ 01、02、および 03) が必要です。詳細については、https://help.sap.com/docs/SAP_NETWEAVER_750/3c4e8fc004cb4401a4fdd737f02ac2b9/6f679081b5444f91bf68e600025c2cf6.html を参照してください。

手順:

1. SAP GUI を開きます。
2. オブジェクトナビゲータ (トランザクション SE80) を開始します。

3. ドロップダウンリストで開発オブジェクトを選択します。
4. SAP 名称領域に開発オブジェクトを登録するには、オブジェクト名のコンテキストメニューで▶ [その他](#) ▶ [OAuth 2.0 クライアントプロファイル](#) ▶ の登録 ▶ を選択します。
5. ポップアップのクライアントプロファイル項目に、オブジェクト名 ZOAUTH_CLIENT_PROFILE_STH_CF を入力します。
6. サービスプロバイダのタイプとしてデフォルトを選択します。
7. 次のポップアップで変更を保存します。
8. 範囲は空白のままにします。
9. OAuth 2.0 クライアントプロファイルを保存します。

詳細については、[サービスプロバイダにアクセスするための OAuth 2.0 クライアントの設定の前提条件](#)および [AS ABAP での OAuth 2.0 クライアントプロファイルの登録](#)を参照してください。

3. OAuth 2.0 クライアントの設定

前提条件:

[サービスインスタンスおよびサービスバインディングの作成 \[38 ページ\]](#) の説明に従って、サービスインスタンスおよびクライアント認証情報を準備しておく必要があります。

手順

1. トランザクション OA2C_CONFIG を呼び出して、OAuth2.0 クライアントを設定します。
2. [登録](#) をクリックします。
3. [OAuth2.0 クライアントプロファイル](#) として ZOAUTH_CLIENT_PROFILE_STH_CF (ステップ 2 で設定したクライアントプロファイル) を選択し、[OAuth 2.0 クライアント ID](#) フィールドに [クライアント ID](#) を指定します。
4. [詳細セクションの一般設定](#) で、クライアントシークレットフィールドに [クライアントシークレット](#) を入力します。
5. 権限およびトークンエンドポイントに対応するフィールドに入力します。
6. [ヘッダ項目](#) に [Client Authentication](#) として [Basic](#)、[Resource Access Authentication](#) を入力し、[Client Credentials](#) として付与タイプを選択します。
7. [Save](#) をクリックします。OAuth2.0 設定名は [ZOAUTH_CLIENT_PROFILE_STH_CF](#) (または指定した名称) です。

4. HTTP 接続の作成

使用する ABAP システムで SAP Translation Hub API の呼出を可能にするには、SAP Translation Hub への HTTP 接続が必要です。

1. [RFC 接続の設定](#) (SM59) トランザクションを呼び出します。
2. 以下の詳細で HTTP 接続を作成します。

一般設定

フィールド	エントリ
RFC 宛先	SAP_TRANSLATION_HUB
接続タイプ	外部サーバへの HTTP 接続 (G)
テキスト 1 (オプション)	SAP Translation Hub への接続

技術設定タブ

グループボックス	フィールド	エントリ	追加情報
対象システム設定	対象ホスト	<p><https:// の後から .com の後のベース URL></p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>❖ 例</p> <ul style="list-style-type: none"> エンタープライズアカウント: https://software-translation.api.eu10.translationhub.cloud.sap.com </div>	<p>クライアント認証情報からベース URL を取得します。サービスインスタンスおよびサービスバインディングの作成 [38 ページ] を参照してください。</p>
	Port	443	なし
	① 注記	<p>システムにインストールされている SAP NetWeaver のバージョンに応じて、このフィールドはサービス番号になる場合があります。</p>	
	パス接頭辞	/translationhub/api	なし

ログオン & セキュリティタブ

グループボックス	フィールド	エントリ	追加情報
ユーザでログオン	oAuth 設定 > Profil	ステップ 3 OAuth 2.0 クライアントの設定で設定した oAuth 2.0 クライアントプロファイルを選択します。	なし。
	oAuth 設定 > 設定	ステップ 3、OAuth 2.0 クライアントの設定で設定した対応する OAuth 2.0 クライアント設定を選択します。	なし。
セキュアプロトコルのステータス	SSL	有効を選択します。	なし。

グループボックス	フィールド	エントリ	追加情報
	SSL 証明書	DEFAULT SSL クライアント (標準) を選択します。	なし。

3. エントリを保存します。

- ① 注記

続行する前に接続をテストすることをお奨めします。接続をテストするには、次の手順に従います。

1. **パス接頭辞**項目に、エンドポイントを入力します (例: `/translationhub/api/v2/domains`)。接続に成功すると、**HTTP 応答ステータス** 200 が表示されます。
2. 接続のテスト後、パス接頭辞を `/translationhub/api` に戻してください。

5. ABAP システムに特定のレポートが存在するかどうかをチェックし、URL 拡張を変更します。

ABAP システムで SAP Translation Hub の呼出を可能にするには、その ABAP システムにレポートが必要です。

Get Translations from MLTR Based on Object List (RS_LXE_MLTR_GET_TEXTS_FOR_OL) レポートがシステムに存在しない場合は、SAP ノート [2644105](#) を適用してください。

さらに、SAP BTP マルチクラウド (v2) 上の新しい SAP Translation Hub バージョンの API に合わせて、URL 拡張を設定する必要があります。

プロシージャ:

1. URL 拡張を変更できるようにするには、[SAP Note 3415537](#) を実装します。このレポートでは、レポートの UI で URL 拡張を変更するための項目が公開されます。
2. [SAP Translation Hub を使用してテキスト \(短\) を翻訳するための前提条件が満たされていることを確認](#) します。
3. トランザクション SE38 を呼び出します。
4. **プログラム**項目に RS_LXE_MLTR_GET_TEXTS_FOR_OL を入力し、**実行**を選択します。**MLTR からの翻訳の取得画面**が表示されます。
5. パラメータグループボックスで、[SAP Translation Hub を使用したテキスト \(短\) の翻訳の説明に従って](#) レポートパラメータを更新します。
6. 宛先および SAP Translation Hub API の設定オプションを以下のように追加します。
 - 項目 *STH Destination* に、以前に設定した SAP Translation Hub の RFC 宛先 (など) を入力します。SAP_TRANSLATION_HUB_CF)。
 - 項目 URL 拡張に、API の新規バージョンの URL 拡張を入力します。システム設定によっては、URL 拡張子 `/v2/translate/` に末尾のスラッシュを追加する必要がある場合があります (一部のシステムでは `/v2/translate` が必要な場合がありますことに注意してください)。
 - 必要に応じて他のすべての項目に入力します (注記: レポートを使用する前に、以下の設定ステップを完了する必要がある場合があります)。

6. 翻訳環境の設定

Get Translations from MLTR Based on Object List (RS_LXE_MLTR_GET_TEXTS_FOR_OL) では、翻訳環境が設定されている必要があります。この設定には、以下のステップが含まれています。

- オブジェクトタイプの言語への割当
- コレクションまたはパッケージの翻訳グラフへの割当
- 翻訳先言語の定義

→ ヒント

翻訳環境の設定の詳細については、SAP Help Portal (https://help.sap.com/viewer/p/SAP_NETWEAVER) を参照してください。

SAP NetWeaver Platform で、SAP NetWeaver のバージョン (例: *SAP NetWeaver 7.5*) を選択し、**setting up the translation environment** を検索します。

7. オブジェクト一覧の登録

Get Translations from MLTR Based on Object List (RS_LXE_MLTR_GET_TEXTS_FOR_OL) により、翻訳環境でのオブジェクト一覧に基づいてテキストが翻訳されます。

オブジェクト一覧がまだない場合は、翻訳するオブジェクトが含まれているオブジェクト一覧を作成して、オブジェクト一覧レポートをスケジュールします。

→ ヒント

オブジェクト一覧の詳細については、SAP Help Portal (https://help.sap.com/viewer/p/SAP_NETWEAVER) を参照してください。

SAP NetWeaver Platform で、SAP NetWeaver のバージョン (例: *SAP NetWeaver 7.5*) を選択し、**creating object lists** を検索します。

関連情報

[ABAP システムでの SAP Translation Hub を使用したテキスト \(短\) の翻訳 \[355 ページ\]](#)

8.1.1.2 ABAP システムでの SAP Translation Hub を使用したテキスト (短) の翻訳

SAP Translation Hub を使用した ABAP システムでのテキスト (短) の翻訳には専用のレポートを使用します。

[ABAP システムで SAP Translation Hub を使用する前提条件 \[350 ページ\]](#) で説明されている設定が行われている必要があります。

このレポートを実行すると、SAP Translation Hub が呼び出され、以下の順序で翻訳プロバイダが使用されて ABAP オブジェクトのテキスト (短) が翻訳されます。

1. 自社マルチリンガルテキストリポジトリ (自社 MLTR)
2. SAP 多言語テキストリポジトリ (SAP MLTR)
3. SAP 機械翻訳 (SAP MT)

必要に応じて、SAP Translation Hub から取得した翻訳の品質指数に基づいて標準翻訳プールに標準翻訳を作成できます。

1. [Get Translations from MLTR Based on Object List](#) (RS_LXE_MLTR_GET_TEXTS_FOR_OL) レポートを呼び出します。
2. 選択画面のフィールドに必要なデータを入力します。
3. レポートを実行します。

オブジェクト一覧に含まれているテキストが、翻訳環境の設定に従って翻訳されます。選択画面で標準翻訳の作成を指定した場合は、選択画面で入力した品質指数を超えた翻訳に対して標準翻訳が作成されます。

翻訳先言語ごとに、レポートでは翻訳されたオブジェクトおよびテキストに関する情報が表示されます。

① 注記

詳細なプロセスについては、この[文書](#)を参照してください。

8.1.2 SAP Business ByDesign での SAP Translation Hub の使用

カスタマ言語アダプテーションツールを SAP Business ByDesign で使用すると、ワークセンタを翻訳できます。SAP Translation Hub との統合を使用して、ワークセンタのテキストを SAP Translation Hub がサポートする言語に翻訳できます。

詳細については、[カスタマ言語アダプテーションツール](#)を参照してください。

追加情報は、このブログの投稿にあります。[カスタマ言語アダプテーションツールによる自動翻訳](#)

8.1.3 SAP Translation Hub を使用して、SAP Focused Build テストステップの多言語テストケースを提供

SAP Translation Hub を SAP Solution Manager と統合し、Focused Build テストステップで多言語テストケースを作成します。

Focused Build テストステップにより、SAP Solution Manager を使用したマニュアルテストの設計および実行を、より簡単かつ迅速に行えるようになります。ただし、これらのテストケースを多言語環境で提供すると、所要時間とコストが増大する場合があります。SAP Translation Hub の統合により、テストケースをさまざまな翻訳先言語で自動的に提供することができます。SAP Business Technology Platform で SAP Translation Hub API に接続するだけです。

システムで統合がどのように動作するかを、動画で確認します。[SAP Focused Build テストステップのテストケースの自動翻訳](#)

詳細については、このブログの投稿である [Focused Build テストステップによるテストケースの自動翻訳](#) をご覧ください。

8.1.4 SAP Translation Hub を使用した Solution Manager の構造エレメントの説明の翻訳

SAP Translation Hub の機械翻訳を使用して、Solution Manager の構造エレメントの説明を自動的に翻訳できます。

⚠ 制限

この機能は、SAP Translation Hub ライセンスを所有している場合にのみ使用可能です。ライセンスがない場合は、[SAP Store](#) で取得できます。

SAP ノート [2902416](#) に、サービスの統合方法が説明されています。

SAP Translation Hub が SAP Solution Manager でどのように機能するかについては、[多言語処理](#) を参照してください。

8.1.5 SAP BTP for ABAP アプリでの SAP Translation Hub の使用

SAP BTP 翻訳の更新アプリで SAP Translation Hub を使用して、RAP ベースのアプリを翻訳できます。

詳細については、[翻訳の更新](#) を参照してください。また、詳細について以下のビデオを視聴することもできます。[SAP Translation Hub での SAP BTP ABAP アプリの翻訳](#)。

8.2 文書翻訳の統合シナリオ

SAP Translation Hub の統合シナリオ 文書翻訳

SAP では、SAP Translation Hub 文書翻訳 に対して複数の統合シナリオを提供しています。それぞれのシナリオの詳細については、以下を参照してください。

- [Use SAP Translation Hub Document Translation with SAP for Me: Expert Chat \(internal - change to Virtual Agent?\)](#)
- [Use SAP Translation Hub Document Translation with SAP for Me: Customer Incidents \(internal - change to virtual agent?\)](#)
- [Enable Now の学習教材に SAP Translation Hub 文書翻訳 を使用 \[358 ページ\]](#)
- [SAP Translation Hub の XTM の機械翻訳プロバイダとしての使用 \[358 ページ\]](#)

8.2.1 Enable Now の学習教材に SAP Translation Hub 文書翻訳を使用

Enable Now コンテンツ用に機械翻訳を SAP Translation Hub 文書翻訳 と統合します。

さまざまな言語で教材を提供すると、所要時間とコストの増大につながりますが、これは多言語組織における学習コンテンツでしばしば起きる課題です。また、特定の地域では、その地域向けに特別に設計された学習内容が必要になる場合があります。Enable Now では、学習コンテンツを作成および公開するためのソリューションが提供されます。SAP Translation Hub との統合により、SAP 機械翻訳ソリューションを使用して多言語のコンテンツを提供することができます。

SAP Translation Hub と Enable Now の統合を設定する方法については、このビデオ ([Integrating SAP Translation Hub with Enable Now](#)) を参照してください。

詳細については、ブログ記事 [機械翻訳 \(Enable Now\)](#) を参照してください。

8.2.2 SAP Translation Hub の XTM の機械翻訳プロバイダとしての使用

SAP Translation Hub を XTM と統合し、[Document Translation サービス](#)から機械翻訳の提案を取得します。

翻訳シナリオに XTM Cloud を使用する場合は、文書翻訳 サービスからの提案を使用する機械翻訳プロバイダとして SAP Translation Hub を選択できるようになりました。前提条件として、有効な SAP Translation Hub ライセンスが必要です。この統合により、SAP の機械翻訳エンジンから提案を取得し、それらを XTM Cloud の翻訳プロジェクトおよびワークフローで使用できます。

SAP Business Technology Platform を使用して文書翻訳 サービスを無償でテストすることができます。さらに、エンドツーエンドのワークフローを試す必要がある場合は、XTM を 30 日間無料でテストすることもできます。

XTM の詳細については、<https://xtm.cloud/> を参照してください。

このビデオを視聴して、SAP Translation Hub を XTM の機械翻訳プロバイダとして設定する方法を確認します。

- SAP BTP 無償利用枠アカウントを使用している場合: [XTM integration for SAP Translation Hub with an SAP BTP Free Tier アカウント](#)

詳細については、および <https://xtm.cloud/blog/xtm-and-sap-the-future-is-now/> の <https://blogs.sap.com/2021/12/06/newest-integration-scenario-of-sap-translation-hub/> ブログ投稿を参照してください。

9 チュートリアル

チュートリアルに従って、SAP Translation Hub の機能に習熟します。一部のチュートリアルは、SAP Translation Hub, Neo 環境に適用されます。また、SAP Translation Hub の動作に関するインサイトも提供されます。

学習対象	参照
SAP Translation Hub (BTP マルチクラウド) の設定方法	SAP Translation Hub の設定およびサービスインスタンスの作成
SAP Web IDE で SAP Fiori アプリを作成し、それを SAP Translation Hub (Neo 環境) を使用して翻訳する方法	SAP Translation Hub での Fiori アプリの作成と翻訳
SAP Translation Hub (Neo 環境) を使用した iOS アプリの翻訳方法	SAP Translation Hub での iOS アプリのローカライズ
Java アプリを開発する Eclipse の設定方法、および SAP Translation Hub (Neo 環境) を使用したアプリの翻訳	SAP Translation Hub での Java アプリの作成と翻訳

関連情報

[チュートリアルナビゲータ](#)

10 セキュリティ

10.1 開始する前に

基本的なセキュリティガイド

SAP Translation Hub は、SAP Business Technology Platform 上で SAP NetWeaver の一部として構築されています。したがって、対応するセキュリティガイドが SAP Translation Hub にも適用されます。以下の表に示すように、もっとも関連性の高いセクションまたは特定の制限事項について特に注意してください。

シナリオ、アプリケーション、またはコンポーネントのセキュリティガイド	どのオプションに適用できるか
SAP Business Technology Platform のセキュリティ情報	文書翻訳/ソフトウェア翻訳
RFC/ICF セキュリティガイド	ソフトウェア翻訳
SAP NetWeaver セキュリティガイド	ソフトウェア翻訳

重要な SAP ノート

以下の表は、SAP Translation Hub のセキュリティ に適用される最も重要な SAP ノートを示しています。

タイトル	SAP ノート	コメント
STH ABAP API	2349776	SAP Translation Hub の ABAP RFC レイヤ

① 注記

その他のセキュリティ関連ニュースと SAP ノートの一覧については、<https://support.sap.com/en/my-support/knowledge-base/security-notes-news.html> で SAP Security Notes & News を参照してください。

追加情報

特定のセキュリティピックの詳細については、以下の表のリンクを参照してください。

内容	リンク
セキュリティコミュニティ	https://www.sap.com/community/topic/security.html
関連する SAP ノート	https://support.sap.com/en/my-support/knowledge-base.html および https://support.sap.com/en/my-support/knowledge-base/security-notes-news.html
リリース済プラットフォーム	https://support.sap.com/en/release-upgrade-maintenance.html#section_1969201630
SAP Solution Manager	https://support.sap.com/en/solution-manager.html
SAP NetWeaver Technology Community	https://www.sap.com/community/topic/netweaver.html

10.2 概要

⚠ 警告

このガイドは、本稼働運用向けの管理ガイドまたは操作ガイドに代わるものではありません。

対象となる読者層

- 技術コンサルタント
- セキュリティコンサルタント
- システム管理者

この文書は、インストールガイド、設定ガイド、技術操作マニュアル、またはアップグレードガイドの一部ではありません。これらのガイドは、ソフトウェアのライフサイクルの特定のフェーズにのみ関連していますが、セキュリティガイドは、ライフサイクルのすべてのフェーズに関連する情報を提供しています。

セキュリティの必要性

ビジネスデータを管理するための分散システムおよびインターネットの使用の増加に伴い、セキュリティに対する要求も高まっています。分散システムを使用する場合は、重要な情報が不正にアクセスされないようにすると同時に、データおよびプロセスでビジネスニーズが確実にサポートされるようにする必要があります。つまり、

ユーザエラー、過失、システムの不正操作などにより、情報の喪失や処理時間の損失を招くことがないようにする必要があります。セキュリティに関するこのような必要性は、SAP Translation Hub にも同様に当てはまりません。このセキュリティガイドは、SAP Translation Hub の保護を支援します。

この文書について

このセキュリティガイドには、SAP Translation Hub (文書翻訳を含む) に適用されるセキュリティ関連情報の概要が記載されています。

10.3 ID およびアクセス管理

SAP Business Technology Platform での ID およびアクセス管理の詳細については、[Cloud Foundry 環境での SAP Authorization and Trust Management サービス](#)を参照してください。

10.4 データ保護およびプライバシー

業界におけるデータおよびプライバシーを保護するための法的要件は、政府によって設定されます。これらの要件を満たす場合に役立つ機能が用意されています。

① 注記

SAP はいかなる形式でも、法的アドバイスを発行しません。SAP ソフトウェアは、個人データのブロックや削除など、セキュリティ機能およびデータ保護関連機能を提供することにより、データ保護の遵守をサポートしています。多くの場合、データ保護とプライバシーに関する適用法への遵守は、製品機能の対象ではありません。また、この情報を、特定の IT 環境で必要になる追加機能に関するアドバイスや推奨と見なさないください。データ保護に関連する決定は、状況に応じて、特定のシステムランドスケープや適用される法的要件を考慮して行う必要があります。この文書で使用されている定義およびその他の条件は、特定の法的ソースから取得されたものではありません。

データ保護は、多数の法的要件およびプライバシーに関する懸念に関連しています。一般的なデータプライバシー保護法への準拠に加えて、各国における業界固有の法律への準拠も考慮する必要があります。このセクションでは、関連する法的要件およびデータプライバシーの遵守をサポートするために SAP が提供する特定の機能について説明します。

このセキュリティガイドの当セクションおよび他のセクションは、これらの機能が会社、業界、地域、または国固有の要件を満たす最適な方法であるかどうかについてアドバイスするものではありません。また、このガイドでは、特定の環境で必要になる追加機能に関するアドバイスまたは推奨を行うものでもありません。データ保護に関連する決定は、状況に応じて、特定のシステムランドスケープや適用される法的要件を考慮して行う必要があります。

△ 警告

データ保護がどの程度確保されるかは、セキュアなシステム操作に依存します。ネットワークセキュリティ、セキュリティノートの適用、システム変更の適切なロギング、およびシステムの適切な使用は、データプライバシー法およびその他の法律に準拠するための基本的な技術要件です。

10.4.1 用語集

以下の用語は、SAP 製品全般で使用されます。すべての用語が SAP 製品に関連するわけではありません。

用語	定義
ブロック	主なビジネス目的が終了したデータへのアクセスを制限する方法。
ビジネス目的	エンドツーエンドのビジネスプロセスを完了するための個人データの処理に関する、法的、契約、またはその他の形式の正当化された理由。プロセスの完了に使用される個人データは、目的において事前に定義され、データ管理者によって定義されます。このプロセスは、その目的の遂行に必要な個人データが特定できる前に定義する必要があります。
承諾	データ主体が、特定の目的のために自分の個人データの使用を許可することを確認するアクション。承諾機能では、特定の目的に関して承諾レコードを格納でき、データ主体が承諾を許可、取消、または拒否したかどうかが表示されます。
データ主体	EU GDPR などの適用可能なデータ保護法に関連して定義された特定済みまたは特定可能な個人。
削除	これ以上使用できないように個人データを削除すること。
ビジネス終了	有効なビジネスの終了、および保存期間と保持期間の開始を定義します。
目的終了 (EoP)	目的の終了とブロック期間の開始。主要な処理目的が終了した (例、契約が履行された) 時点。
目的終了 (EoP) チェック	主なビジネス目的で個人データの処理が不要になったデータセットの特定の時点を識別する方法。EoP に到達すると、データはブロックされ、特別な権限を持つユーザ (税務監査官など) のみがアクセス可能になります。
個人データ	EU GDPR などの適用可能なデータ保護法に関連して定義された、特定済みまたは特定可能な個人 ("データ主体") の関連情報。
目的	特定の個人データのセットの処理に関する理由および目標を示す情報です。原則として、この目的は個人データの処理に関連する法的基準を参照します。

用語	定義
保存期間範囲	データがデータベース内に保持され、当初の目的に関連する後続処理で使用可能な、データセットのビジネス終了と目的終了 (EoP) の間の期間。設定された最長の保存期間範囲の終了時、データはブロックまたは削除されます。保存期間範囲は、保持期間全体の一部です。
保持期間	特定のオブジェクト (例: ビジネスパートナー) が関係する最後のビジネスアクティビティの終了から、適用される法令の対象となる、対応するデータの削除までの期間です。この保持期間は、保存期間とブロック期間の組み合わせです。
個人データ	<p>通常、以下のタイプの情報を含む個人データのカテゴリ。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 人種的/種族的出身、政治的見解、宗教的/哲学的信念、労働組合メンバーシップ、遺伝データ、または生体データを開示するデータ、健康、性生活、または性的指向に関するデータなど、個人データの特別なカテゴリ • 守秘義務の対象となる個人データ • 刑法上または行政上の違反に関連する個人データ • 保険、銀行口座、またはクレジットカード口座に関する個人データ
技術的および組織的な措置 (TOM)	<p>データ保護およびプライバシーをサポートする一部の基本的要件は、技術的および組織的な措置 (TOM) と呼ばれることがあります。以下のトピックは、データ保護およびプライバシーに関連し、たとえば、適切な TOM に必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アクセス制御: 認証機能 • 権限: 権限コンセプト • 読込アクセスロギング • 送信制御/通信セキュリティ • 入力制御/変更ロギング • 可用性制御 • 目的による分離: 実装された組織モデルの対象であり、権限コンセプトの一部として適用される必要があります。
使用先チェック (WUC)	<p>ビジネスパートナーデータがブロックされる可能性がある場合に、データ完全性を保証することを目的としたプロセス。アプリケーションの使用先チェック (WUC) により、データベース内に特定のビジネスパートナーの依存データが存在するかが判別されます。依存データが存在する場合、これは、このデータがビジネスアクティビティに引き続き必要であることを意味します。このため、データで参照されているビジネスパートナーのブロックは回避されます。</p>

10.4.2 読み取りアクセスロギング

SAP Translation Hub には、ユーザ名、ユーザ ID、およびサブアカウント ID だけがビジネス要件の一部として保存されます。そのため、個人データへの読込アクセスを監視および記録するツールは適用されません。

10.4.3 個人データレコード

SAP Translation Hub には、ユーザ名、ユーザ ID、およびサブアカウント ID だけがビジネス要件の一部として保存されます。

ユーザ名やその他のデータを変更する機能はありません。値は、SAP Business Technology Platform および SAP Business Technology Platform Identity Authentication のサービスツールの一部として取得されます。

10.4.4 変更ログ

SAP Translation Hub には、ユーザ名、ユーザ ID、およびサブアカウント ID だけがビジネス要件の一部として保存されます。

ユーザ名やその他のデータを変更する機能はありません。値は、SAP Business Technology Platform および SAP Business Technology Platform Identity Authentication のサービスツールの一部として取得されます。

10.4.5 ユーザの承諾

SAP Translation Hub には、ユーザ名、ユーザ ID、およびサブアカウント ID だけがビジネス要件の一部として保存されます。これはアカウント作成の一部であるため、明示的な同意は必要ありません。

ユーザ名やその他のデータを変更する機能はありません。値は、SAP Business Technology Platform および SAP Business Technology Platform Identity Authentication のサービスツールの一部として取得されます。

10.4.6 個人データの翻訳

SAP Translation Hub は、厳密に個人データの翻訳を対象としていません。

① 注記

個人データを意図的に翻訳する場合、SAP ではその件に関するいかなるアクティビティにも責任を負わず、読み取りアクセスのロギングはありません。

10.4.7 個人データの削除

用途

SAP Translation Hub では、特定の国に適用されるデータ保護法の対象となる user name、email ID、および subaccount ID などの個人データが処理されます。

法的基準として、SAP Translation Hub には、翻訳のユーザ名を保管して、Git リポジトリに保存されたテキストを翻訳する際に、技術的な理由から顧客の Git リポジトリのクローンを保存する正当なメリットがあります。さらに、SAP Translation Hub はサービスプロバイダとして機能します。

データ主体は、法人顧客、パートナ、および従業員です。事後編集ユーザインタフェースで翻訳を変更する翻訳者の姓名は、現在、将来参照するために保存されています。

影響を受ける IT システムは SAP Business Technology Platform アカウントであり、データの物理的な場所は SAP HANA Cloud データベース、および Git クローン用に SAP Business Technology Platform に一時的に接続されたストレージです。

関連プロセスおよび利用可能な削除機能

ロジスティクスからの	詳細説明	削除機能	削除プロセス
Git クローニング	<p>Git リポジトリのコンテンツを翻訳する場合は、SAP Translation Hub が Git リポジトリに接続して、Git リポジトリ全体を一時フォルダにクローニングします。</p> <p>Git には .properties ファイルのような特定のファイルパターンに一致するファイルのみをチェックアウトする機能がありますが、この不規則のチェックアウト手法は、Git (EGit) または GJIT 向け Eclipse では利用できず、SAP Translation Hub のオプションではありません。詳細については、https://bugs.eclipse.org/bugs/show_bug.cgi?id=383772 を参照してください。</p> <p>SAP Translation Hub では、Git リポジトリ全体をローカルファイル共有にクローニングして、翻訳が必要なファイルを取得する必要があります。</p> <p>このステップには、独自のカスタマコーディングとユーザー情報が含まれます。</p> <p>このファイル共有へは、SAP Translation Hub 変換サービスを使用してのみアクセスできます。SAP Translation Hub ユーザーが実行できるダイレクトファイルアクセスはありません。</p>	6 カ月後のマニュアル削除プロセスです。	<ol style="list-style-type: none"> 1. SAP Translation Hub チーム (translationhub@sap.com) に電子メールを送信することによって、個人データの削除を依頼します。 <div data-bbox="1155 712 1394 1070" style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>① 注記</p> <p>削除依頼の発信者を検証するために、SAP Translation Hub チームはカスタマアカウントの管理者を呼び出し、依頼の配信元と正当性を確認します。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> 2. SAP Translation Hub は、関連データセンタの妥当なデータベースクエリを使用して、マニュアル削除プロセスを開始し、データが正常に削除された後で依頼者に通知します。

ロジスティクスからの	詳細説明	削除機能	削除プロセス
独自の言語データの統合	<p>翻訳と用語を SAP Translation Hub にアップロードすることにより、独自の言語データを SAP Translation Hub に統合します。管理上の目的から、SAP Translation Hub には、データをアップロードするユーザのユーザ ID が保存されます。</p>	<p>6 か月後のマニュアル削除プロセスです。</p>	<ol style="list-style-type: none"> SAP Translation Hub チーム (translationhub@sap.com) に電子メールを送信することによって、個人データの削除を依頼します。 <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>① 注記</p> <p>削除依頼の発信者を検証するために、SAP Translation Hub チームはカスタマアカウントの管理者を呼び出し、依頼の配信元と正当性を確認します。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> SAP Translation Hub は、関連データセンタの妥当なデータベースクエリを使用して、マニュアル削除プロセスを開始し、データが正常に削除された後で依頼者に通知します。

10.5 監査とロギングの情報

以下は、文書翻訳 サービスに関連する監査およびロギング情報の概要です。

- 文書翻訳サービスでは、アップロードされた文書のコンテンツがログに記録されません。
- HTTP ロギングは、Business Technology Platform Cloud Foundry の慣習に厳密に従っています。

同期文書翻訳 API

- アップロードされたファイルは文書翻訳 サービスに保持されません。
- 翻訳されたテキストコンテンツは、翻訳キャッシュのために、データベースに最大 14 日間保存されます。

非同期文書翻訳 API

- アップロードしたすべての(元の)文書は少なくとも3日間保持されます。また、Object Store システムおよびデータベースで翻訳ジョブを登録した後は、最長3日と6時間後まで保持されます。
- 翻訳されたすべての文書は少なくとも3日間保持されます。また、Object Store システムおよびデータベースで翻訳を取得した後は、最長3日と6時間後まで保持されます。
- 翻訳されたテキストコンテンツは、翻訳キャッシュのために、データベースに最大14日間保存されます。

文書翻訳 サービスの監査ログは、Business Technology Platform 監査ログサービスに保存されます。現在、このサービスのサブスクライバは、監査ログのエントリを利用できません。

10.6 ネットワークおよび通信のセキュリティ

文書翻訳 サービスでは、SAP Business Technology Platform Cloud Foundry で提供される XSUAA サービスが使用されます。

認証は、OAuth クライアントの認証情報ワークフローを介して管理されます。

11 監視およびトラブルシューティング

SAP Translation Hub の操作中に、他の人がすでに解決した問題が発生する場合があります。特定の問題の真相を突き止めるには、以下のセクションでさまざまなオプションを確認してください。

計画されたダウンタイムや予定外のダウンタイムの把握

更新のためや、制御不能の何かが発生してサービスが停止する場合に電子メール通知を受信するには、[SAP Translation Hub Announcements](#) で登録します。

SAP Community の参照

[SAP Community](#) でブログとチュートリアルを確認するか、または [FAQ](#) を参照します。

カスタマイズインシデントの作成

標準の SAP アプローチに従って問題を追跡し、管理するには、[サポートを受ける](#) で説明されているように、カスタマイズインシデントを登録してください。このプロセスの [インシデント詳細](#) を入力の部分で使用するコンポーネントは、[SAP Translation Hub \(LOD-TH\)](#) です。

メールによる連絡

より直接的なコミュニケーションをご希望であれば、<mailto:translationhub@sap.com> までメールでご連絡ください。

重要免責事項および法的情報

ハイパーリンク

リンクの一部は、アイコンやマウスオーバーテキストで分類されています。これらのリンクから、追加の情報を得ることができます。アイコンについて。

-  このアイコンが付いたリンク: SAP がホストしているものではない Web サイトに移動します。これらのリンクを使用することで、お客様は (お客様と SAP との契約書に別段の明示的な記載がない限り) 以下のことに同意することになります。
 - リンク先のサイトのコンテンツが SAP のドキュメンテーションではないこと。お客様は、この情報に基づいて SAP に対する製品クレームを推断することはできません。
 - SAP が、リンク先のサイトのコンテンツについて同意することも反対することもなく、また SAP がその利用可能性や正確性について保証しないこと。SAP は、かかるコンテンツの使用により発生した損害が、SAP の重大な過失又は意図的な違法行為が原因で発生したものでない限り、その損害に対して一切責任を負いません。
-  このアイコンが付いたリンク: 当該の特定の SAP 製品又はサービスのドキュメンテーションから離れ、SAP がホストしている Web サイトに移動します。これらのリンクを使用することで、お客様は (お客様と SAP との契約書に別段の明示的な記載がない限り)、この情報に基づいて SAP に対する製品クレームを推断することはできないことに同意します。

外部プラットフォームでホストされているビデオ

一部のビデオは、サードパーティのビデオホスティングプラットフォームに置かれている場合があります。SAP では、これらのプラットフォームに保存されているビデオが将来にわたって利用できることを保証することはできません。また、これらのプラットフォームにホストされている、いかなる広告またはその他のコンテンツ (関連ビデオまたは同じサイトでホストされている別のビデオに移動する場合など) については、SAP の管理外であり責任を負いません。

ベータおよびその他の試験的機能

試験的機能は、SAP が将来のリリースを保証する正式に提供される機能の範囲外です。これは、試験的機能は、SAP により通知なく理由の如何を問わず随時変更される場合があることを意味します。試験的機能は、本稼働使用のためのものではありません。お客様は、試験的機能を実際の運用環境で、又は十分なバックアップがとられていないデータとともに、デモンストレーション、テスト、試験、評価その他の方法で使用してはなりません。

試験的機能の目的は、早期にフィードバックを得ることで、それに応じて顧客の皆様やパートナーが将来の製品に影響を与えることを可能にすることです。SAP コミュニティなどにおいてフィードバックを提供することで、お客様は、投稿物や二次的著作物の知的財産権が SAP の独占的所有物であり続けることを承認することになります。

コード例

ソフトウェアのコーディングやコードスニペットはすべて、例です。それらは、本稼働使用のためのものではありません。コード例は、構文や表現規則を分かりやすく説明し視覚化することのみを目的としています。SAP は、コード例の正確性や完全性について保証しません。SAP は、コード例の使用により発生した過誤や損害が、SAP の重大な過失又は意図的な違法行為が原因で発生したものでない限り、損害に対して一切責任を負いません。

偏見のない表現

SAP は、ダイバーシティ & インクルージョンの文化を支持しています。SAP の文書では、可能な限り、文化、民族性、ジェンダー、および障がいの有無を問わず、すべての人々に対する偏見を伴わない表現を採用します。

このテキストは機械翻訳されたものです。

© 2024 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved.

本書のいかなる部分も、SAP SE 又は SAP の関連会社の明示的な許可なくして、いかなる形式でも、いかなる目的にも複製又は伝送することはできません。本書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。

SAP SE 及びその頒布業者によって販売される一部のソフトウェア製品には、他のソフトウェアベンダーの専有ソフトウェアコンポーネントが含まれています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。

これらの文書は、いかなる種類の表明又は保証もなしで、情報提供のみを目的として、SAP SE 又はその関連会社によって提供され、SAP 又はその関連会社は、これら文書に関する誤記脱落等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP 又はその関連会社の製品及びサービスに対する唯一の保証は、当該製品及びサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。

本書に記載される SAP 及びその他の SAP の製品やサービス、並びにそれらの個々のロゴは、ドイツ及びその他の国における SAP SE（又は SAP の関連会社）の商標若しくは登録商標です。本書に記載されたその他のすべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。

商標に関する詳細の情報や通知については、<https://www.sap.com/japan/about/legal/trademark.html> をご覧ください。